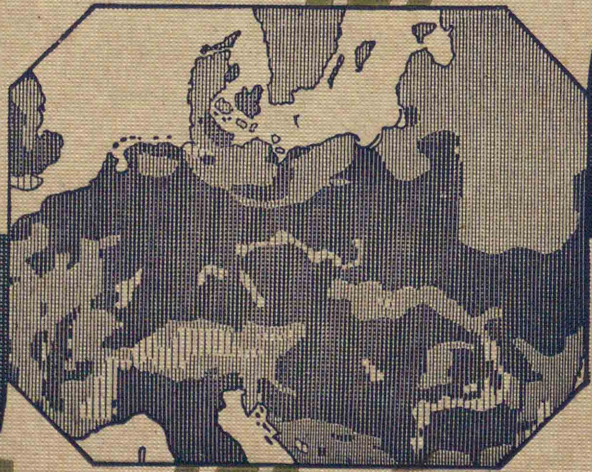


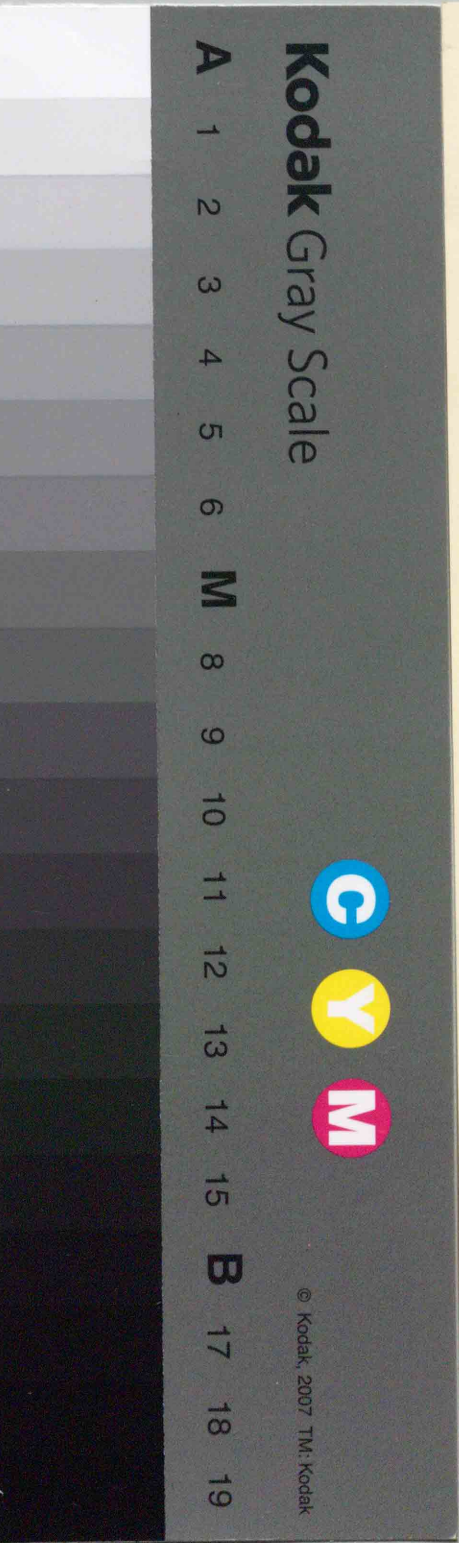
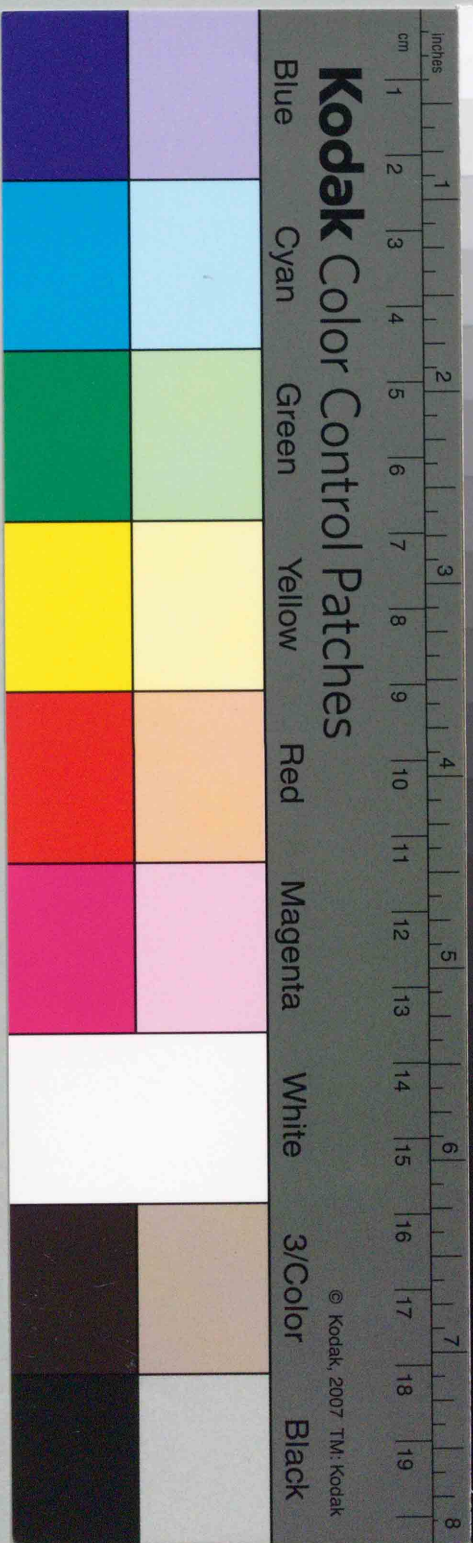
# 師範 新外國地理

田中啓爾著

改訂版



教科書文庫  
4  
293  
51-1941  
2000081591



42922  
教科書文庫  
4  
293  
51-1941  
20000  
81591

資料室

教科書文庫
4
293
51-1941
2000081591

師 範  
新 外 國 地 理  
改 訂 版

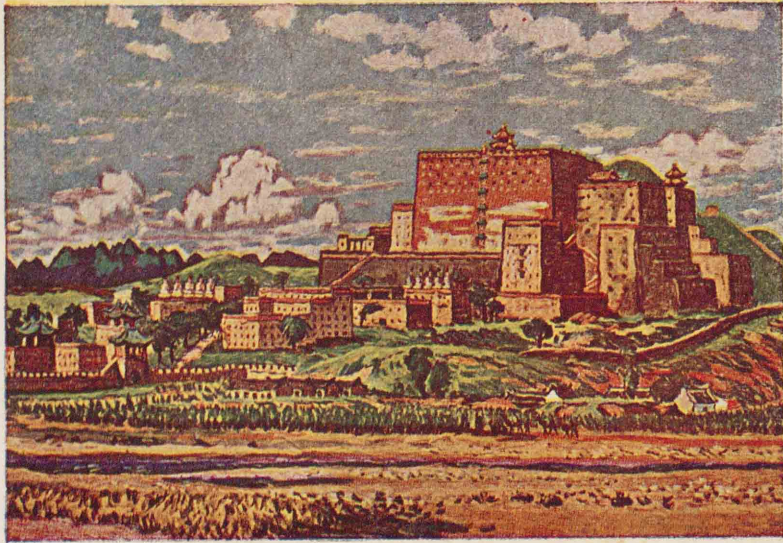
田中啓爾著

昭和六十一年十一月三十日  
師範學校地理科  
文部省檢定

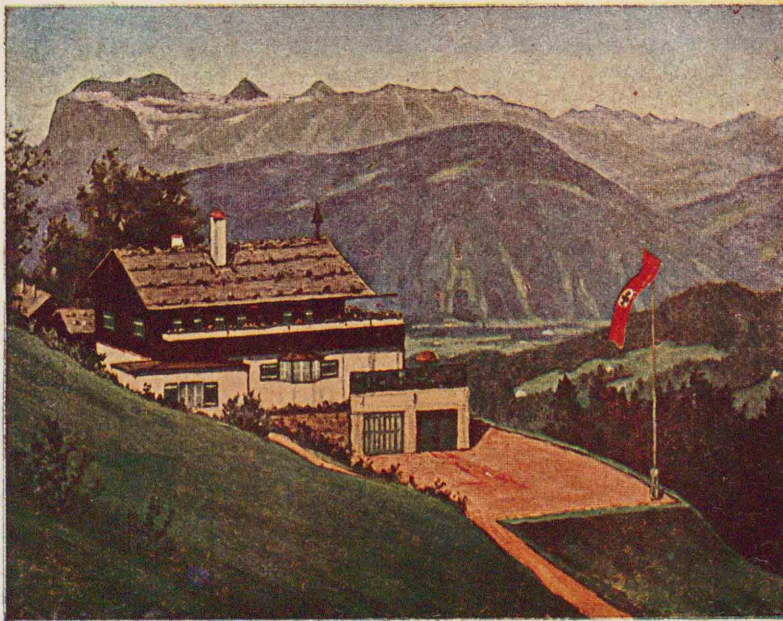


広島大学図書  
2000081591

5a  
293  
AB16



熱河喇嘛廟 矢崎千代二氏筆



ベルヒテスガーデン山莊



飛行機から見たニューヨーク



飛行機から瞰た上海

## 緒言

本書は師範學校教授要目に準據して編纂し、拙著「師範新日本地理改訂版」及「師範新地理概説改訂版」と姉妹篇をなす。編纂に當つては世界各地の自然及人類生活の情態を理會せしめ、兩者の相互關係を明かにし、特に人類が自然を利用開發して各種の文化を形成せる所以を知らしめ、更に我が國の情勢を基礎とし、諸外國との比較によりて我が國の特性及世界に於ける地位を正しく把握せしめ、以て國民精神を涵養し、國家の興隆と民族の發展とに資すると共に國民教育者たるの信念を啓培するに力め、教授要目の趣旨に適合せしめんことを期した。

編纂及改訂に際して特に留意した點を擧ぐれば左の如くである。

一、各大陸の説述の順序は我が國の延長である東亞より始め、その外縁をなすア  
ジャ及オセアニヤを述べ、次にヨーロッパとその外縁をなすアフリカに及び、最  
後に北米とその外縁をなす南米に終ることにした。かく世界を地理的三大

ブロックに分ちて述べ、大西洋太平洋を附加して結んだ。

一、東亞に關しては詳細を極め本書の半を當て、その外も我が國に關係の密接な地域及我が國策の參考に資すべき國については多くの紙數を割いた。

一、我が國に關する海外の重要資源及我が商品の状態については特に留意してこれを詳かに述べた。

一、各大陸を區分するには各國は國として獨立性を認め一區として取扱つてあるが、地理區的説述はその内に充分に含ませてある。

一、在外邦人の活動情況については能ふ限り詳細にこれを記述し、海外發展の精神の涵養に資した。

一、各大陸を説くに當つては、地勢、氣候、植物帶等の自然總説を説き、各地方誌を終つた後に人文を總説し、各地方別に習得した知識の相互の關係を系統づける點に重きを置き、すべて歸納的に説述した。

一、各地方を説くに當つては最初に地勢、氣候等の自然を説き、その際それと地形區、氣候區的に説述し、人文及處誌を述べる時に至つて、人文とそれ等との關係を學習者に發見せしめ歸納的に統括した。

一、記述は單に羅列的にせず、能ふ限り説明的にし、問題は地理的意義の豐富なものを選んだ。

一、各地の標式的の現象は重要視して殊に多くの紙數を割いた。

一、カットの選擇に際して地形圖、氣候圖、生産分布圖、交通運輸圖、人種分布圖、航空寫眞、歴史的沿革圖及繪畫等の各種の挿畫を挿入したのは、學習者に地理的に考察させて、理法を發見させ、これによつて地理的讀圖力を養成し、將來の應用を期待したためである。

一、統計は出来るだけ地圖化して地理的表現にとめた。

一、拙著「外國地圖(改版)」に記載しある各大陸主要圖及重要地域の地形圖、氣候圖、植物分布圖、土地分類圖、人種分布圖、宗教分布圖、交通圖、人口分布圖、人口密度圖は重複を避け本書より割愛し、同圖により考察させることにした。

昭和十五年十月

著者識

師範 新外國地理 改訂版

目次

第一篇 アシヤ(亞細亞)……………一

序 說……………一

第一章 アジヤの自然總說……………一

第二章 東 亞……………四

第一節 滿洲國……………四

第二節 支 那……………二七

第三節 南 洋……………七三

一 印度支那半島……………七三

二 マレー諸島……………八一

第四節 極東シベリヤ……………九一

第三章 西部シベリヤ及中亞……………九七

第四章 印 度……………九九

第五章 西亞地方……………一〇七

第六章 アジヤの人文總說……………一一一

第二篇 オセアニア(大洋洲)……………一二五

第一章 オーストララシヤ……………一二五

第一節 オーストラリヤ……………一二五

第二節 ニュージールランド……………一二二

第二章 太平洋諸島……………一二三

第三篇 ヨーロッパ(歐羅巴)……………一二八

序 說……………一二八

第一章 ヨーロッパの自然總說……………一二八

第二章 東部ヨーロッパ(東歐)……………一三二

第一節 ツヴェエト聯邦(ロシア)……………一三三

第二節 フィンランド(芬蘭)……………一四〇

第三章	北部ヨーロッパ(北歐).....	一四一
第一節	スカンデナヴィヤ—スウェーデン(瑞典)ノルウェー(ノルウェー)	一四一
第二節	デンマルク(丁抹) 附イスタンブール.....	一四三
第四章	中央ヨーロッパ(中欧).....	一四五
第一節	ポーランド(波蘭).....	一四五
第二節	ドイツ(獨逸).....	一四六
第三節	ハンガリヤ(洪牙利).....	一五四
第四節	スイス(瑞西).....	一五四
第五節	オランダ(和蘭).....	一五六
第六節	ベルギー(白耳義).....	一五九
第五章	西部ヨーロッパ(西歐).....	一六一
第一節	フランス(佛蘭西).....	一六一
第二節	イギリス(英吉利).....	一六八
第六章	南部ヨーロッパ(南歐)地中海地方.....	一七九
第一節	イベリヤ半島—スペイン(西班牙)イタリヤ(イタリヤ)ポルトガル	一七九
	(葡萄牙).....	一七九
第二節	イタリヤ(伊太利).....	一八〇
第三節	バルカン半島.....	一八五
第七章	ヨーロッパの人文總説.....	一八八

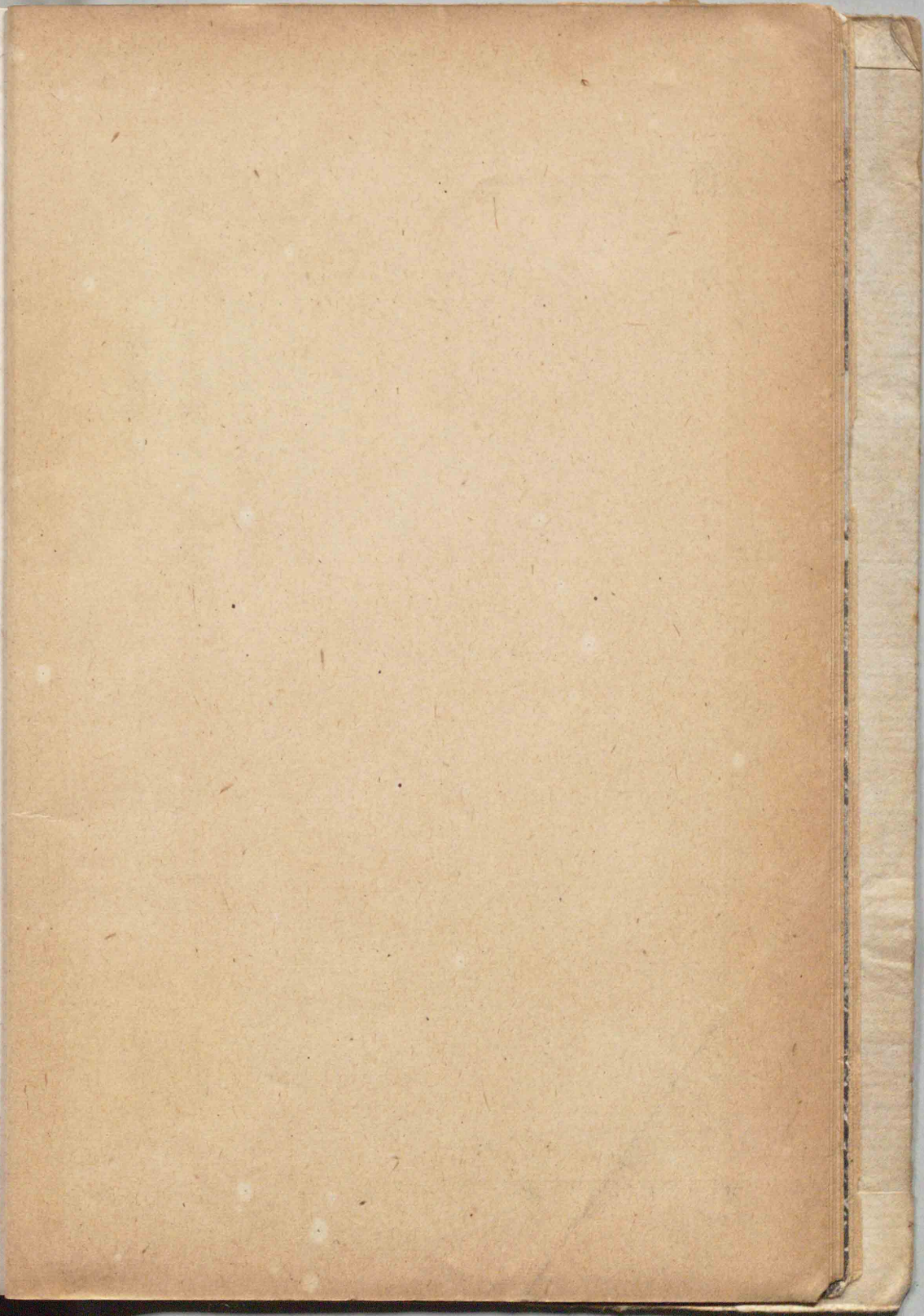
第四篇	アフリカ(阿弗利加).....	一九四
序説	.....	一九四
第一章	アフリカの自然總説.....	一九四
第二章	北部アフリカ.....	一九五
第一節	バルバリ諸國.....	一九五
第二節	エジプト.....	一九六
第三節	サハラ.....	一九八
第三章	中部アフリカ.....	一九九
第四章	東部アフリカ.....	一九九
第五章	南部アフリカ.....	二〇一



第六章	アフリカの人文總説……………	二〇二
第五篇	北アメリカ(北亞米利加北米)……………	二〇五
	序 説……………	二〇五
第一章	北アメリカの自然總説……………	二〇五
第二章	カナダ(加奈陀)……………	二〇七
第三章	北米合衆國……………	二一一
第四章	メキシコ及中央アメリカ……………	二二六
第五章	西印度諸島……………	二二八
第六章	北アメリカの人文總説……………	二二九
第六篇	南アメリカ(南亞米利加南米)……………	二三一
	序 説……………	二三一
第一章	南アメリカの自然總説……………	二三一
第二章	東部南アメリカ(ブラジル)……………	二三三
第三章	南部南アメリカ(アルゼンチン)……………	二三五
第四章	西部南アメリカ(チリ・ペルー)……………	二三七
第五章	南アメリカの人文總説……………	二四〇
第七篇	兩極地方……………	二四三
第八篇	大西洋と太平洋……………	二四五



ヒマラヤの靈峰カンチンジャンガ



師範 外國地理 改訂版

第一篇 アジヤ(亞細亞)

序説

位置・面積・區分

アジヤ大陸は北半球にあつて、舊大陸の東半を占め、西半のヨーロッパ大陸と共にユーラシヤ大陸と呼ばれ、我が國と最も關係の深い大陸である。面積は約四、四〇〇萬平方呎で、六大洲中最大で世界陸地の三分の一強を占める。政治的には數多の國家及植民地に分れてゐるが、地理的には東亞・西シベリヤ・中亞・印度西亞の五區となる。

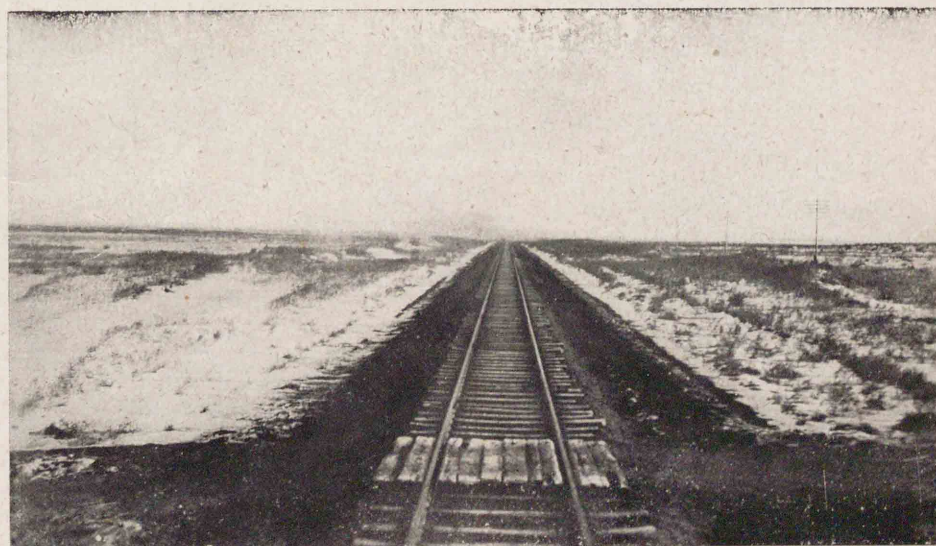
第一章 アジヤの自然總説

地勢・海洋

世界の屋根といはれるパミル高原を軸として、東西に高



新京の忠靈塔



廣漠人を待つ北滿平野(平齊線)

原とこれを挟む山脈とが展開し、南部のヒマラヤ山脈は大屈曲をなして印度支那山脈となり、更に延びてマレー群島の弓状の島軸を造り、西方のヒンヅークシ山脈はコーカサス山脈に續き、スリーマン山脈はタウルス山脈に連絡がある。大陸の東縁には數多の弓状列島が相連り、縁海には陸棚廣く、外側には海溝が列び、火山脈は各列島に沿うて走る。中央高地を出づる諸大河は、或は肥沃な沖積大平原を形成し、或は沿岸低地を形成してゐる。印度・アラビヤ兩半島は高原狀地塊である。かくてこの大陸を

地形圖・氣候圖・植物帶圖は附圖参照

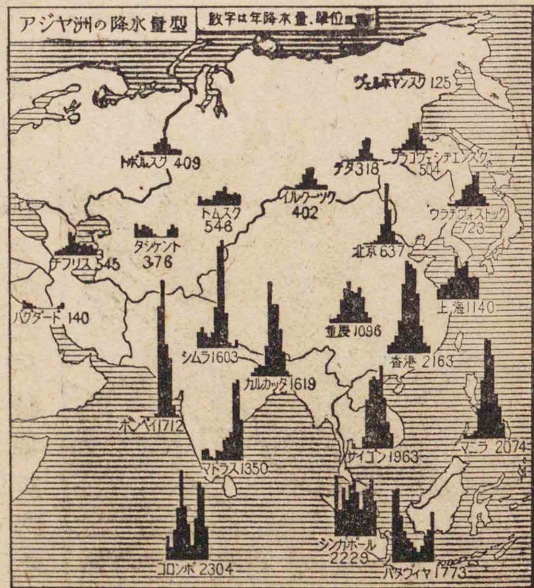
地形的に大別すると、東部邊緣地方、中央高地、西部高原、西部及北部平原、南部半島の五區となる。太平洋には日本海流と千島海流が相對して流れ、印度洋には季節風海流があり、北極海は結氷期が長い。

**氣候**

夏はイラン高原、アラビヤ半島が著しく高温となり、冬はシベリヤの東北部を中心として最低温部が生ずる。夏と冬の等温線のカーヴが略反對であるのは、内陸が大陸性で、海岸地方が海洋性であることを

示してゐる。夏は大陸の中央が低氣壓となり、季節風が吹き、我が國では南東風、印度では南西風が吹く。冬はその反對に大陸の中央が高氣壓となり、冬の季節風が卓越し、我が國では北西風、印度では北東風が強く吹く。従つて夏は海岸に雨多く、冬はマレー諸島、裏日本等を除いては一般に乾燥する。而して一年を通じて、季節風帯は濕潤多雨、内陸流域は乾燥寡雨地帯となる。

**植物帶** 高温多濕の南部には熱帶林繁茂し、低温寡雨の北部には純寒帶針葉樹林が廣く、東西に横たはる。寒暑の較差が大で、降水量の少い内陸は草原又は沙漠を、寒帶の最北部は凍土帯をなしてゐる。



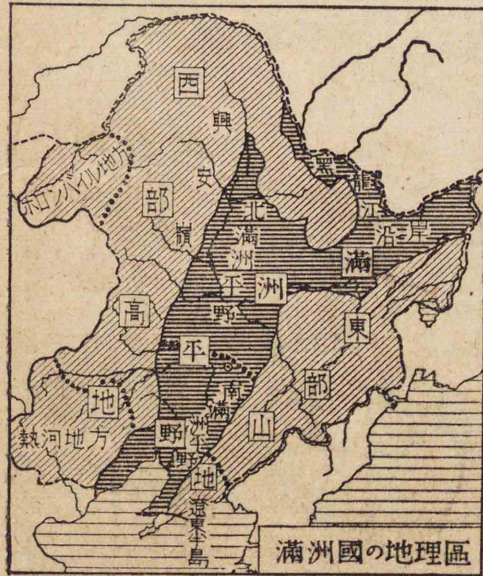
## 第二章 東亞

### 第一節 滿洲國

#### 位置・面積・區分

滿洲國は朝鮮の北に接し、東と北とはソ聯領シベリヤに、西は蒙古に、南は支那本部に境し、我が國の接壤地帯として極めて重要な位置を占める。緯度上からは略我が北海道・樺太等と同位置にある。

面積は約一三〇萬方  
 〇萬方  
 料で、我が國の約二倍に當る。  
 行政上、



奉天・四平・吉林・濱江・龍江・北安・黑河・三江・東安・牡丹江・間島・通化・安東・錦州・熱河と興安四省(東西南北)の一九省に分れるが、地理的には、東部山地・南滿洲平野・北滿洲平野及西部高地の四區となる。

#### 地勢氣候

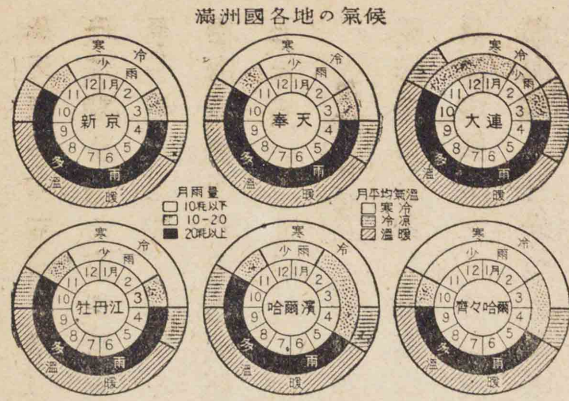
西部に大興安嶺があり、東方に向つて急斜し、北部には小興安嶺、東部には



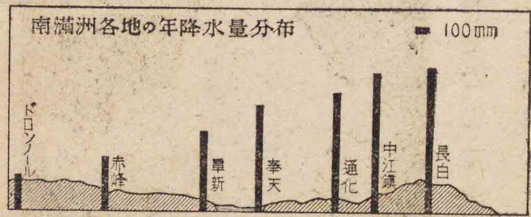
長白山脈が走り、その西南部は丘陵性の遼東半島をなして突出し、黄海と渤海灣とを分つてゐる。これ等の高地に囲まれて内部には滿洲の大平原がある。南滿洲平野は黄土で、北滿洲平野は黒土で被はれ、北滿は松花江・嫩江・牡丹江等の流域で、南滿は遼河の流域に屬し、南北の二斜面に分たれるが、地形的には著しい分水界は認められない。西部高地は大興安嶺の西に呼倫貝爾高原、南に熱河高地がある。北滿洲平野は小興安嶺によつて分たれた三江平野及黒河平野を含み、それと松花江と黒龍江との

流域に属する。東部國境は烏蘇里江、北部國境は黒龍江によつてソ聯と境する。

東部山地の長白山脈は滿洲最高の白頭山(二七七四米)を中心として滿鮮水系の主要源泉をなし、鴨綠江・豆滿江の外に黒龍江に注ぐ松花江・烏蘇里江も源をこゝに發してゐる。



氣候は大陸性で寒暑の差著しく、殊に寒氣が厳しいが、南するに従ひ緩和される。雨量は一般に少いが、東南部に多く西北部に至るに従ひ少く、寡雨地は沙漠をなせる所もある。雨季は夏

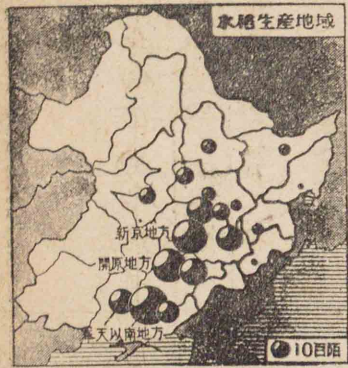
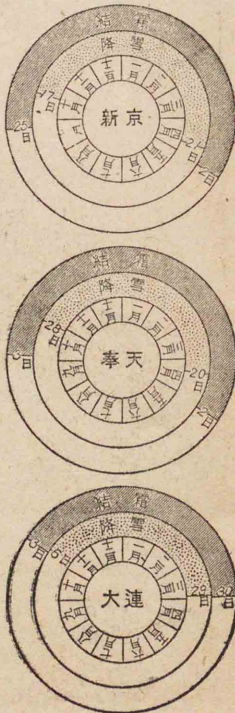


季數ヶ月で、年の三分の一は快晴がつゞく。冬季は概して烈風がないので温度の割合に皮膚の刺戟は強くない。又冬は朝鮮と同じく三寒四溫の現象もある。

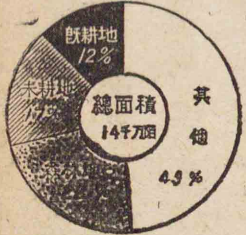
**産業**

新國家獨立と共に資源の開拓、産業の振興に努力し、我が國と相互依存の經濟關係に重點を置いて著しく成績を挙げつゝある。可耕地は總面積の約三割、人口の過半數は農民、輸出總額の八割までは農産物であるからこの國は農業國である。水稻作は朝鮮人によつて

南滿洲の結霜降雪期

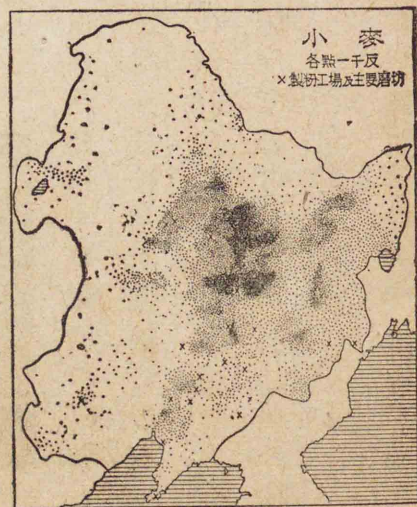
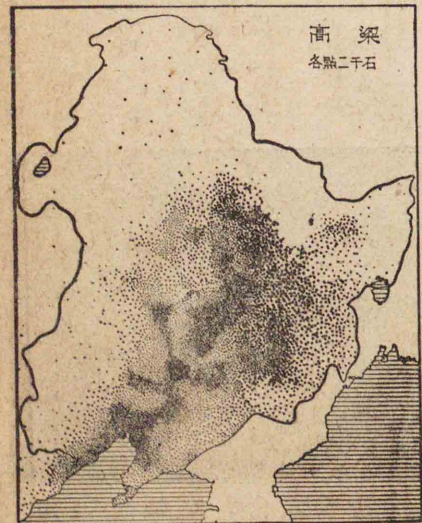
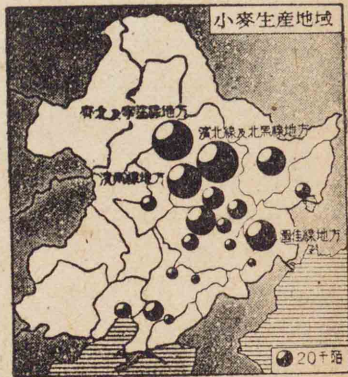
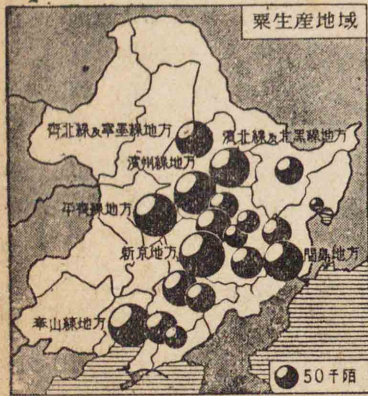


滿洲國の土地利用

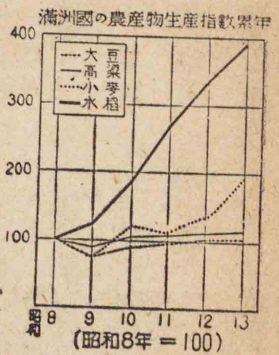


鮮人によつて始められ、今は高緯度の北滿にまで波及し、内地人も耕作

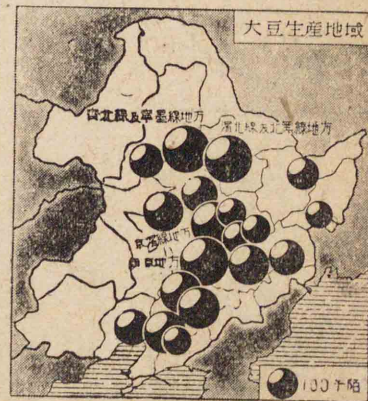
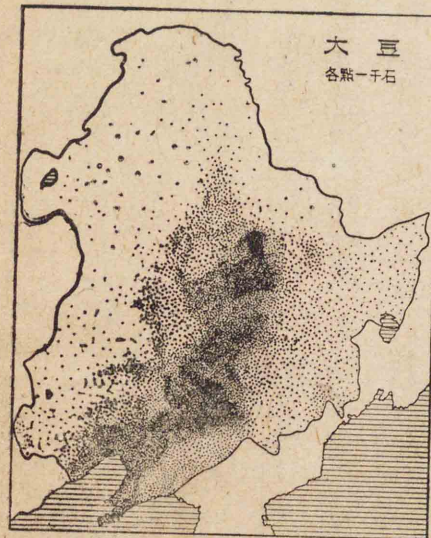
高粱玉蜀黍等多量に産出し、何れも海外へ輸出してゐる。大豆は世界産額の六割を占め、質は南滿のものに勝れ、量は北滿に多い。大豆は日本の生絲に匹敵する滿洲農民の重要作物である。豆粕・豆油を製造する在來式の油房は各地にあるが、大連の如き新式のものゝが哈爾濱・安東・營口等に



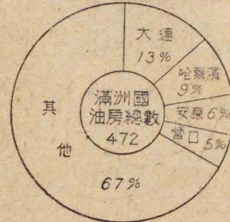
大豆の山



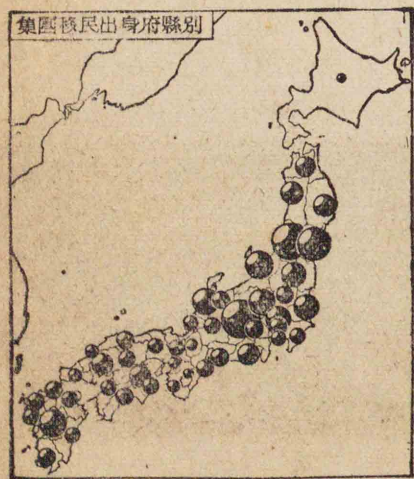
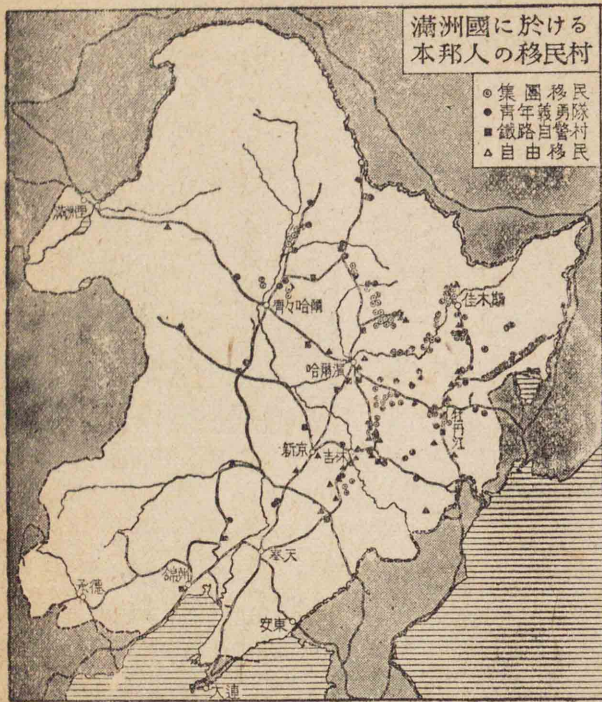
粟し、産を物作良 世界的優 小麥等の 適し、大豆 ち畑作に 燥農業即 のため乾 に従事してゐるが、一般には寡雨



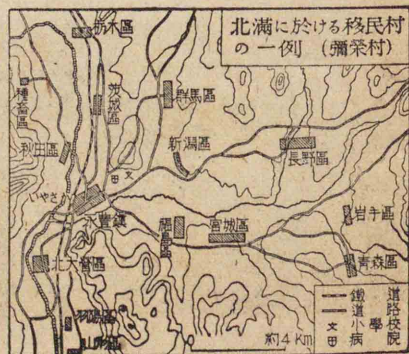
滿洲國油房數百分率



奉天附近の大豆と高粱畑



北滿洲  
 平野には可耕未墾地が多く、我が内地の耕地面積  
 の約三倍に當るほどである。日滿兩國は國策と  
 して産業國防のため内地人開拓民及び青少年義  
 勇隊を  
 年々計  
 畫的に



高粱は農家の主食物で、高粱酒の原料と  
 もなり、玉蜀黍と共に常用食料である。  
 棉花は北緯四三度半以南に栽培され、産  
 額は自給程度であるが、我が内地への輸  
 出を目標として増産を急ぎつゝある。  
 苹果は氣候上關東州の隣接地域が適地

興つた。豆粕は我が内地へ、豆油及大豆はドイツ  
 その他の歐洲諸國へ輸出される。小麦は南滿の  
 大豆と同じく北滿の重要作物で、寡雨と黒土とに  
 適し、哈爾濱その他に於て製粉され、我が内地にも  
 輸出されるが、未だ國內消費に不足する程度であ  
 る。粟は朝鮮へ仕向けて、米を我が内地へ移出す  
 る朝鮮人の食料  
 に當ててゐる。



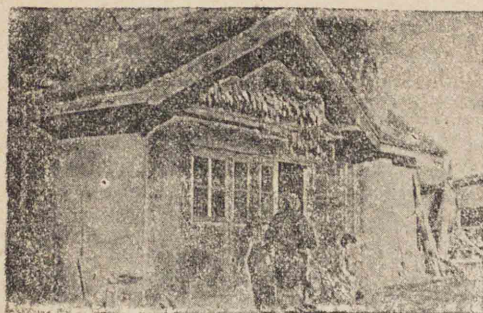
高 梁 畑



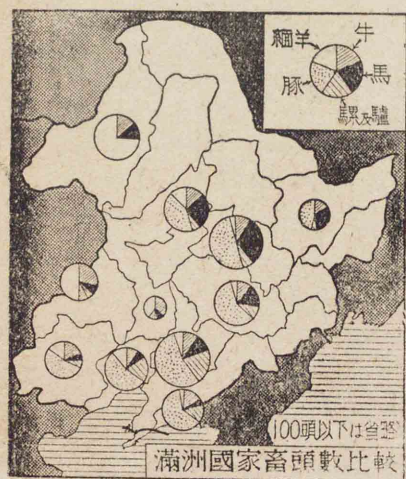


北滿開拓民

入植せしめつゝある。佳木斯附近の彌榮千振兩村は第一二次の武装移民團の村である。特産の柞蠶蠶絲は遼東半島を主産地とする。



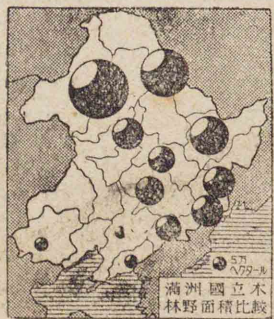
開拓村の農家



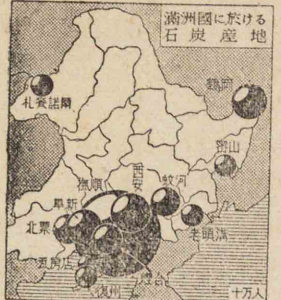
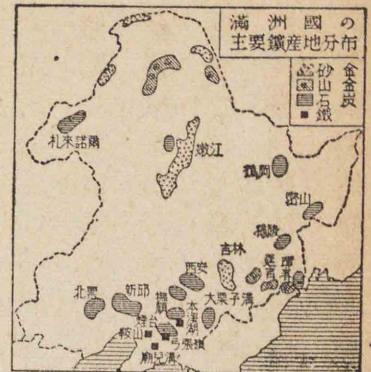
羊の群

畜産業は滿洲の豚・蒙古の羊・馬等が有名であつたが、羊は食用として飼はれてゐたので、これを羊毛用に適する品種に改良して日本内地の羊毛の需要に役立たせることに努力してゐる。呼倫貝爾高原を中心とした西部地方の寡雨草原地帯は羊・牛・馬の好牧場で、蒙古人の遊牧生活が見られる。

森林面積は二割餘に當り、略我が内地に等しい。寒帯性の自然林で北海道産に類似し北朝鮮のものと同種で、紅松が内地向パルプ原料として有望視されてゐる。大・小興安嶺の森林は國內消費、長白山脈のものは我が内地の需要向として好地位にある。鴨綠江方面安東・豆滿江方面(圖們)松花江方面吉林・牡丹江方面(敦化)等に伐り出されてゐるが、パルプ工業も始まつてゐる。



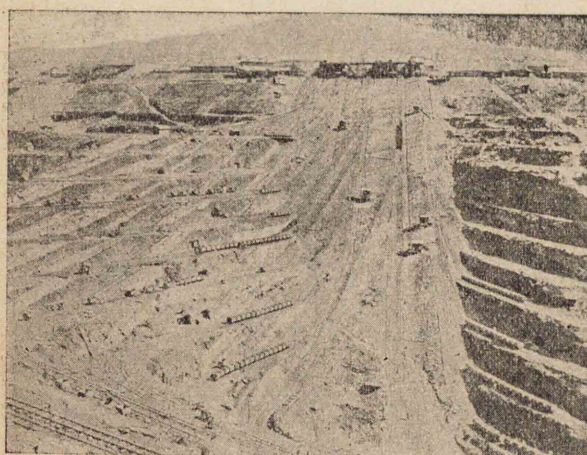
滿洲國鹽は大豆石炭と並んで滿洲三大物産の一つである。關東州鹽産地に續く沿岸一帯に天日製鹽法で造られ、我が内地へ工業鹽としての



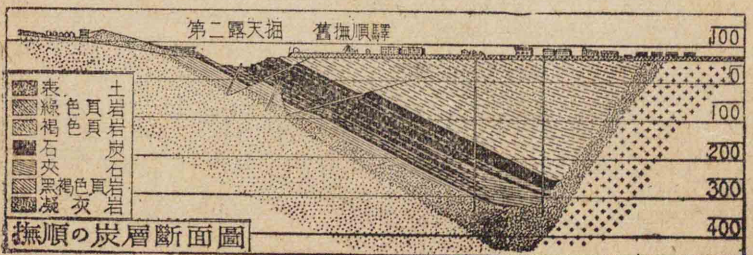
蔵量は莫大で質も良く炭坑の主要

將來の輸入が期待されてゐる。滿洲は世界の鑛産資源國の一つで、石炭鐵が殊に重要で、埋藏量が豊富である。石炭は大豆と並ぶ重要物産で、埋

なものは南滿では撫順西安煙臺本溪湖新邱(阜新)炭田北票東滿では密山北滿

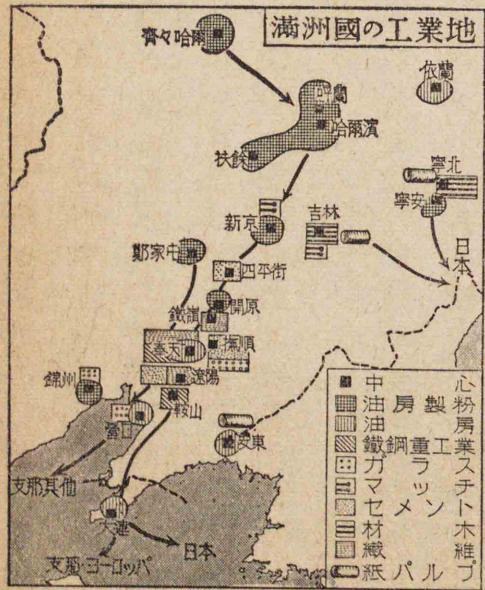


撫順の露天掘



撫順の炭層断面圖

では鶴岡西部高地では札賚諾爾等で、中でも撫順及阜新兩炭田は埋藏量多く、且つ採掘も容易で、共に露天掘を行ひ、撫順炭坑の出炭量は全滿の七割を占め東洋第一である。鐵鑛は主に鞍山弓張嶺廟兒溝等で採掘され、その中、鞍山弓張嶺の鐵鑛は鞍山の昭和製鋼所で、廟兒溝のものは本溪湖の工場で精鍊される。貧鑛ではあるが、量の多いのと、炭田に近いので、貧鑛處理法にも成功し増産に努めつゝある。この外東邊道の通化附近にも良質の鐵鑛と石炭とが発見され、通化を中心とする將來の重工業が期待されてゐる。金(砂金山)金鑛床の發見地は北部東部の六十餘ヶ所に及び、大石橋附近のマグネサイト(菱苦土鑛)は世界的の大鑛區と稱せられ、耐火煉瓦等の資料として役立つ。石油製造原料としての油母頁岩も

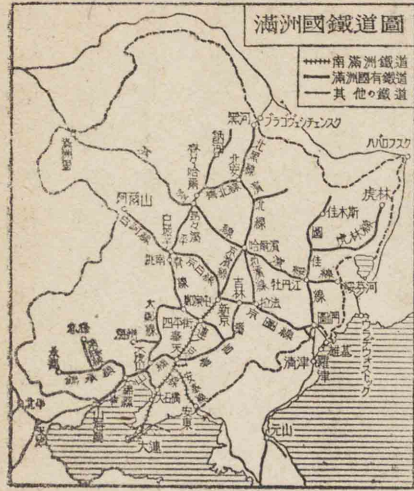


亦頗る豊富で、撫順炭田の表面は全部この岩石で蔽はれ、同地に製油工場がある。依蘭にも無盡蔵の埋藏が発見された。石炭を液化して石油を製造する工場も撫順・錦州・四平街等に設けられた。最近阜新に油井が發掘されてゐる。

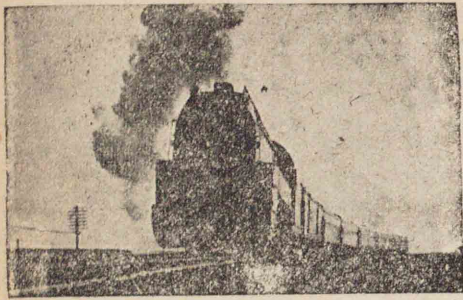
動力原料としては火力發電の外、東部山地の鴨綠江・松花江・鏡泊湖等に大規模な水力發電所を建設しつゝある。

前記の製鐵・製鋼・油母頁岩による製油・石炭液化・豆粕・豆油・麥粉及びパルプの製造等と共に、航空機（奉天・自動車）同工作機械・紡績・硫酸アンモニヤ（硫安）等の製造工業は滿洲が東亞ブロック經濟に寄與する新興工業である。

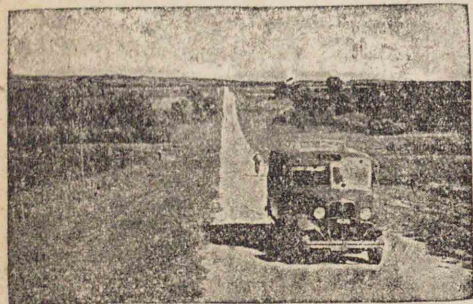
**交通** 鐵道は最初露國の經營に端を發し、日露戰役の結果、南滿洲の鐵道は我が領有に歸し、その後南滿洲鐵道會社滿鐵は



その改善と擴張とに努め、滿洲國獨立後は國有鐵道國鐵はその經營を滿鐵に委任された。總延長は日本の約三分の一に當り、其の半は建國以後の建設にかゝる。滿鐵の連京線は國鐵の京濱・濱洲・濱綏三線と丁字形に連絡し、朝鮮に至る安奉線と共に歐亞連絡の大幹線の一部をなしてゐる。我が日本海方面と首府新京を結ぶ近道である京圖線、及び內蒙古に至る京白・白溫兩線は、濱洲・濱綏兩線に並行して滿洲を東西に横斷し、京濱・連京

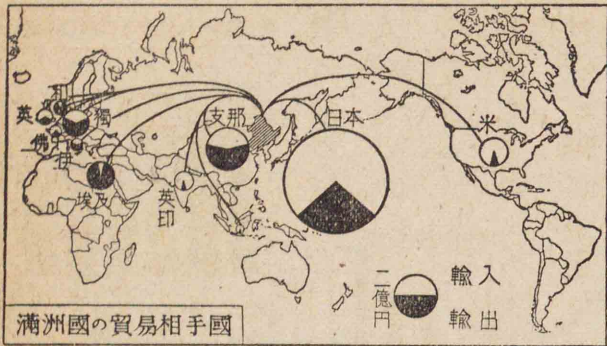


滿鐵の超特急あじあ號

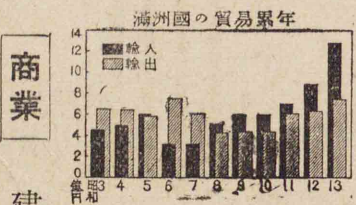


滿鐵總局のバス

兩線の並行線として東に拉濱奉吉、西に平齊、大鄭の諸線があつて滿洲を南北に縦貫してゐる。別に北支に連絡する奉山線と、それより分岐する錦承線とがあり、古北口を経て北京に通ずる線もある。北滿開發のためには齊



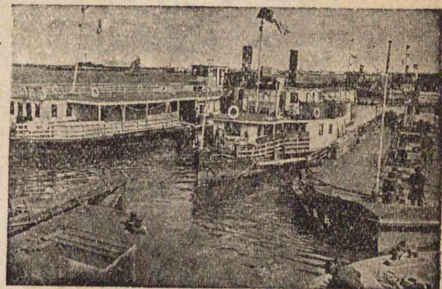
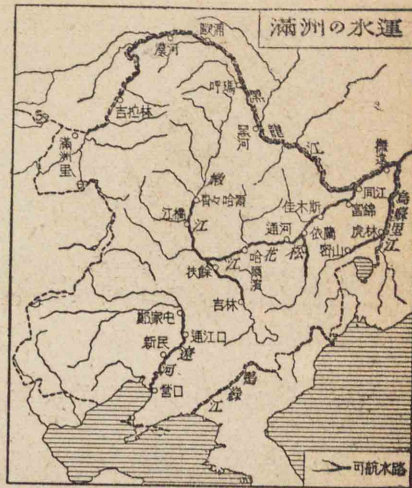
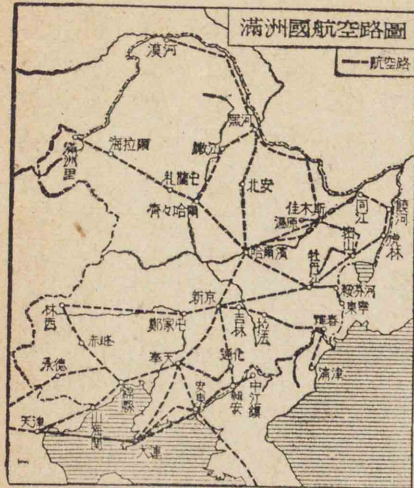
つれて貿易額は急激に増進した。輸出品は大豆、粕、石炭、粟、高粱、玉蜀黍、硫安、豆油等が主で、大豆類に関するものが輸出総額の半を占め、輸入品は鐵鋼機械類、綿織物、車輛類、スフ類、小麥粉等で、これ等の工產品



商業

建國以來政治の安定、産業交通の發展に上重要な地位を占めてゐる。航空路は地形氣候共に恵まれて發達し、日滿支連絡の航空路も近時大いに利用せられ、奉天は大連と共に航空の中心地である。

して好適である。南滿では鐵道と河運とは貨物輸送上で競争線となり、北滿では河運は寧ろ鐵道の培養線となる。道路は雨季には泥濘となり、頗る不便であるが、冬季には凍結して大豆の如き大量積出しに利用される。新道路を走る鐵道總局のバスは鐵道交通を補つて四通し、地方交通

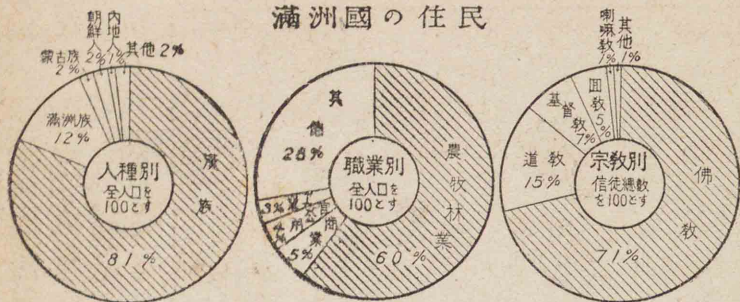


松花江哈爾濱埠頭

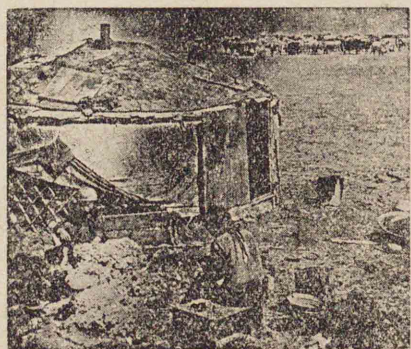
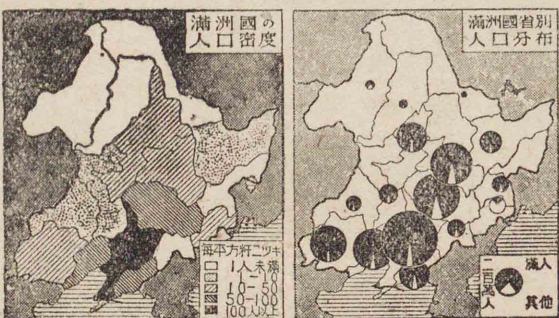
中であるが、日滿一體の關係から大連、羅津、雄基、清津の利用が大である。これ等の内、大連と壺盧島は不凍港として價值がある。汽船の溯航し得る大河は松花江、哈爾濱まで、黒龍江、烏蘇里江等で、遼河と鴨綠江は水深淺く、戎克ワグによつて利用される。凍結期にはこれ等の河川は橇及自動車の通路と

北濱、北、北黒の三線と北鮮へ直接連絡する圖佳線とがあつてその使命を果してゐる。渤海には營口の外に壺盧島、黄海には安東の外に大東港を築造

滿洲國の住民



約一〇〇萬人に達する。ロシア人は哈爾濱を中心と



蒙古人の生活

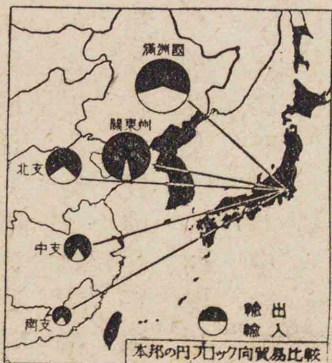
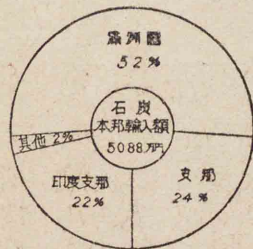
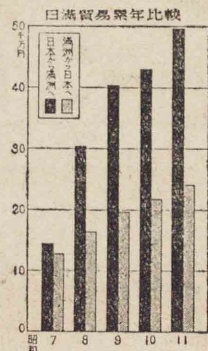
を営んでゐる。蒙古族は興安四

には漢族と滿洲族と合せて、人口の八割を占め、

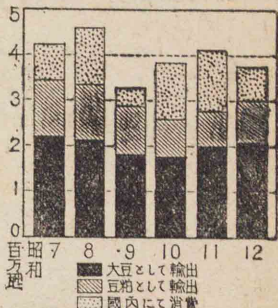
住民 人口は約三七〇〇萬で、滿洲族は原住民であるがその一割餘に過ぎず、河・山東兩省より移住又は定期的出稼に入り込んだ漢族(普通

易場は約七割を占める大連の外、海岸では安東營口と壺盧島、内陸では奉天、新京、哈爾濱、國境では圖們と山海關等である。

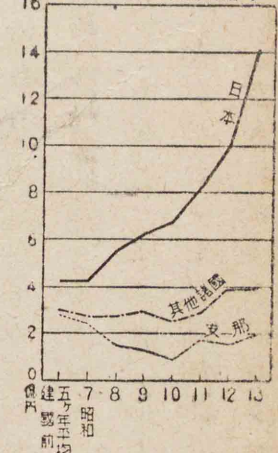
機械類の輸入が多いからである。貿易相手國は我が國が優勢でその過半を占めるのは日滿不可分の經濟ブロックの然らしむるところで、これに次ぐものは支那、ドイツ(大豆取引)、英領米國等である。貿易相手國



滿洲國の大豆生産と輸出累年

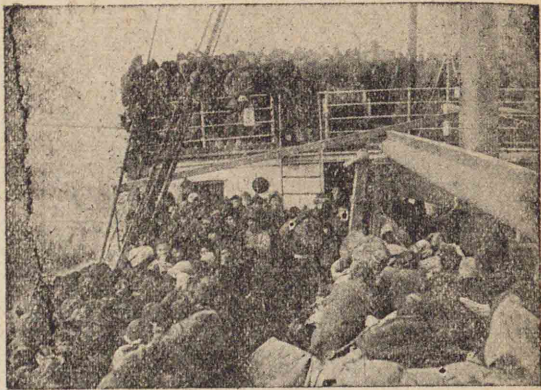


滿洲國の貿易相手國別累年

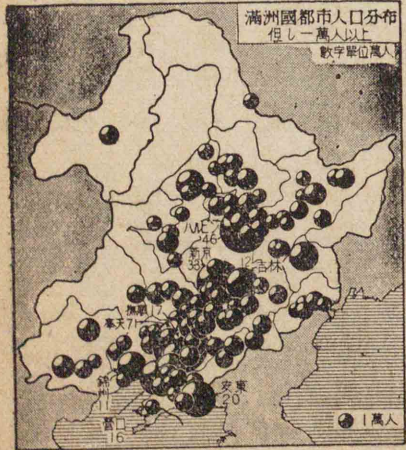
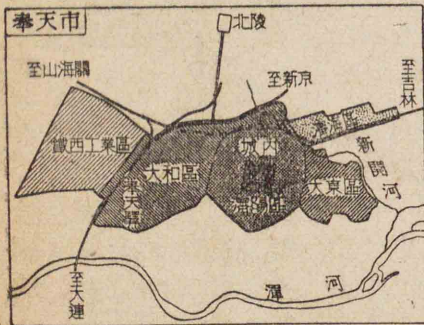


が輸入總額の過半を占めてゐる。建國以來輸入超過が著しくなつたのは、新建築事業に伴ふ建築材料及

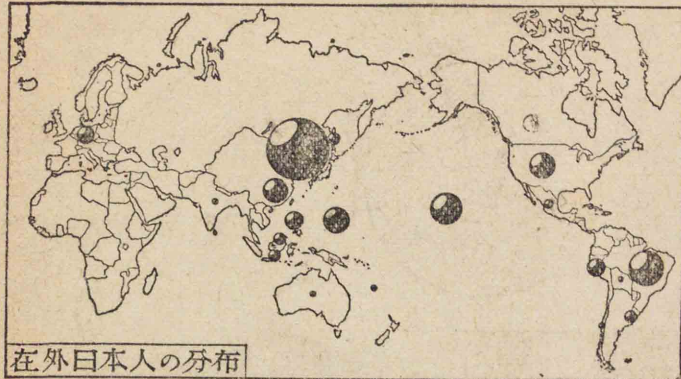
れた新都は壯觀である。  
奉天は全滿の商工業の中  
心で、舊市街・新市街の商業  
區と鐵西の工業區とに分  
れ、又全滿交通の中樞であ



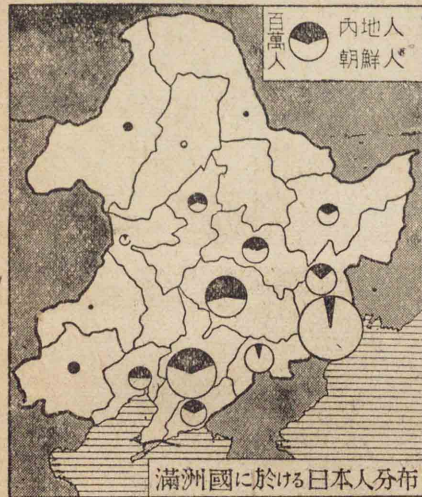
山東移民の渡來



るため北滿國境は日滿兩國國防上の重要警  
備地域である。  
**都邑** 全滿の中心は新京南滿の中心は  
奉天、北滿の中心は哈爾濱で、これ等は縦貫線  
の特急列車によつて連絡されてゐる。首府  
新京は政治經濟軍事學術等の中樞地で、我が  
大使館が置かれ、諸官衙を中心として建設さ



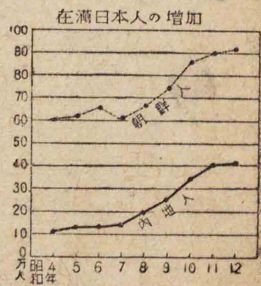
在外日本人の分布



滿洲國に於ける日本人分布

**政治** 立憲君  
主國で首府新京に  
中央政府があり、地  
方各省に省長を置  
き、五族協和の政治  
が行はれてゐる。  
極東ソ聯に隣接す

した北滿に住み、我が内地人は最近著しく増加して國  
内に入る處に住み、政治・産業・國防等あらゆる方面に所謂  
五族の指導者として活動してゐる。人口密度は一方  
約二八人、我が内地に比すれば遙かに小で、移住開拓の餘地  
が充分にある。密度の比較的大な所は南部の滿  
鐵沿線である。





ロシア風のハルビン市街

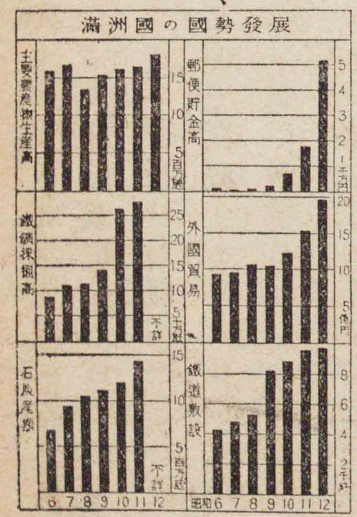
る。哈爾濱はロシア風の景觀を有し、製粉工場等があり、松花江の河港で、北滿の商工業の中心である。南滿には奉天の外、撫順、鞍山、本溪湖の重工業地と四平街、開原、鐵嶺、遼陽等の農産物の集散地とがあり、都市密度の最も大な地域をなしてゐる。更にその西南部には遼河口の營口港の外に、錦州がある。北滿には哈爾濱の西北に齊齊哈爾、嫩江流域の中心があ

り、東南に牡丹江があり、佳木斯は移住開拓地の新興都市、黒河は東の綏芬河、西の滿洲里（シベリヤ鐵道との連絡驛）と共にソ聯に對する國境都市である。東滿地方には吉林（松花江上流地方の中心）をはじめ、安東、圖們、通化の外、朝鮮人の開拓地、間島を中心に延吉、龍井村がある。西部の漢蒙兩族接觸地帯には海拉爾、洮南、鄭家屯、遼源、通遼、赤峯等の兩族交易都市が發達し、殊

に海拉爾は呼倫貝爾地方の中心として重要である。熱河地方の中心は承德で、清代の離宮と壯麗な喇嘛廟の所在地で知られ、支那との國境の町として山海關が萬里の長城の海に盡きる所にある。

我が國との關係

滿洲國は我が朝鮮の接壤地帯であるから、その地域の治安は我が自衛と重大な關係がある。それ故嘗てこの地が露國の南下策のため侵略を蒙るや、我が國は滿洲の領土保全と我が國防のために立つてこれと戦つた。その結果、我が國は露國に代つて關東州を租借し、南滿洲に於ける鐵道、森林、鑛山等に關する利權を得たが、後南滿洲鐵道會社を設立し、種々な文化的施設によつて南滿の開發に貢獻した。その後この地に滿洲帝國が成立し、我が國との間に外交上、日滿議定書の交換、軍事上、滿洲國防の共同防衛、經濟上、日滿プロットの形成等を見るに至り、兩國の關係は頗る親善を加へた。滿



洲國の最近の目ざましい國勢發展は我が國に負ふ所極めて大である。我が國との貿易は緊密な日滿經濟提携の上に飛躍的發展をとげ、主な輸入品は悉く我が國が占め、圓ブロッケ内取引國中の最重要地域である。更にこの國の廣大な面積と稀薄な人口とは、富源を開發するため我が國民の移住を要望するので、我が開拓民の數は近來頓に激増した。これ等の移民は主として農業移民であるが、中には日滿合辦事業や各種の大企業に従事してゐるものも多い。このやうに滿洲國は我が國防及經濟上緊密不可分な關係を有するので、我が生命線であるといはれてゐる。

- (一) 滿洲國と我が内地との地勢氣候を比較せよ。
- (二) 滿洲國と我が國との關係を詳述せよ。
- (三) 我が國の移民地としての滿洲國について所感を述べよ。
- (四) 滿洲國と大連との關係を説述せよ。
- (五) 滿洲國の産業について詳述せよ。

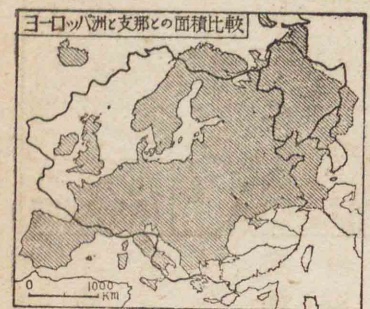
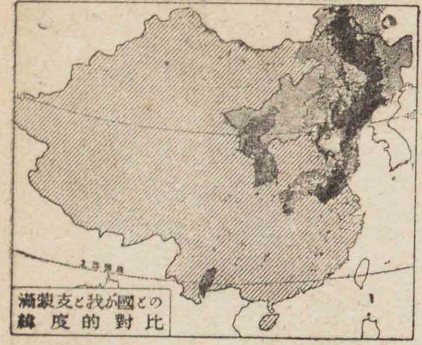
## 第二節 支那 (中華民國)

### 位置面積區分

支那はアジアの東部及中部を占め、その東部は黃海、東支那海等の縁海を隔てて我が國と相對してゐる。面積は約一千萬方呎で、アジアの四分の一を占め、ヨーロッパよりも廣く、我が國の約一五倍に當つてゐる。行政上、廿二省と蒙古聯合自治政府、蒙古人民共和國、西藏とに分たれてゐるが、地理的に分つと支那本部、蒙疆地方、邊疆地方の三大別となり、支那本部は更に北支那、中支那、南支那の三區となる。

### 地勢

西部高地はアジア大陸の中央に於ける高峻且つ廣大な部分で、更にチベット高原、タリム盆地、蒙古高原に三大別され、多くは内陸流域で沙漠をなし、これ等の境をなすヒマラヤ、崑崙山、天山等の諸山脈は略東西の方向に走る。西部は諸山脈が



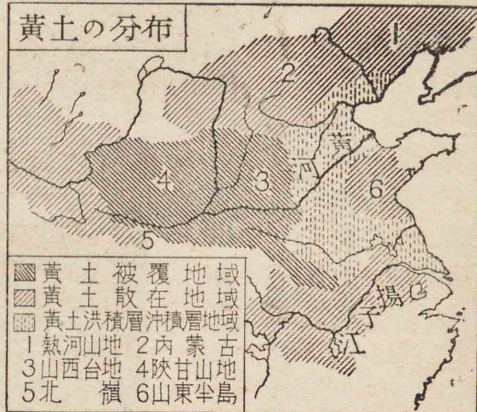


鄱陽のりから平野の江浙の二盆地及流の湖廣地

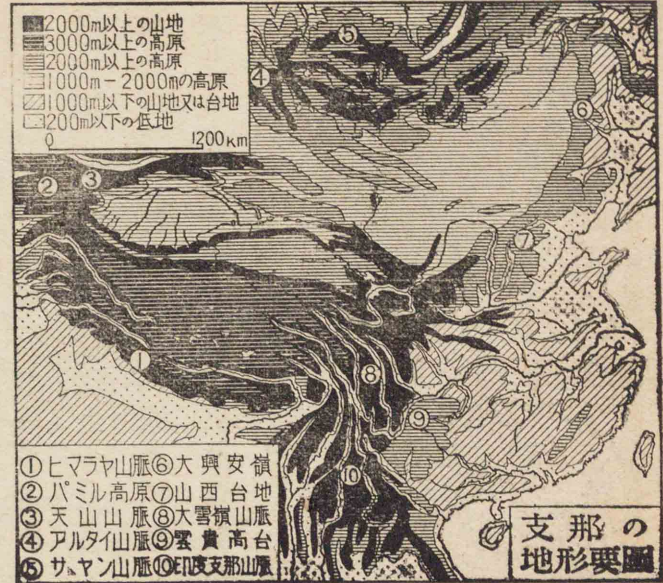


黄土層中の隘路

平野は白河及黄河の下流の堆積低地である。中支那平野は揚子江中流の湖廣盆地及江西盆地の二盆地と下流



等から成り、その東に渤海海峡によつて遼東半島と對する山東半島の地塊がある。以上の三平野は北嶺伏牛山脈・大別山脈・南嶺によつて境されてゐる。北支那



平野 支那 野 南 平

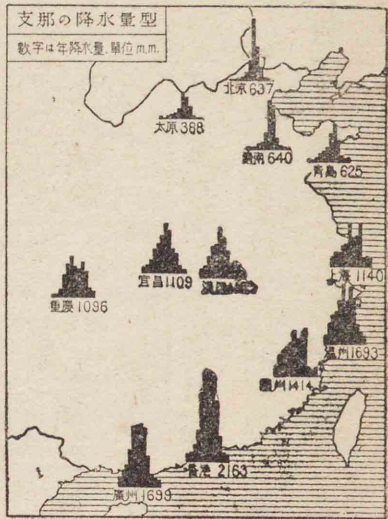
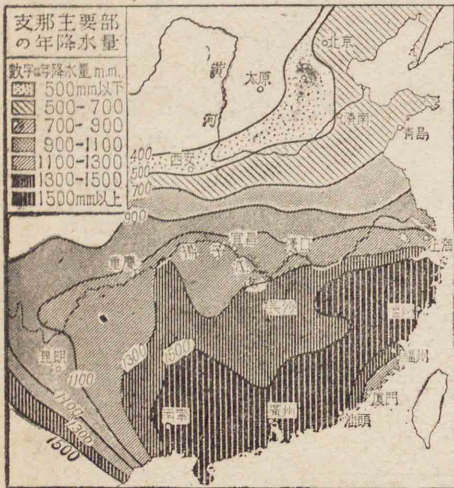


パミル高原に集つて中央アジアと境する。東部は大興安嶺・太行山脈等によつて東部低地に臨む。東流する黄河揚子江の二大河川の上流に各渭水盆地・四川盆地等の諸盆地があつて、北嶺(秦嶺山脈)・大巴山脈によつて境されてゐる。東部低地は北支那平野・中支

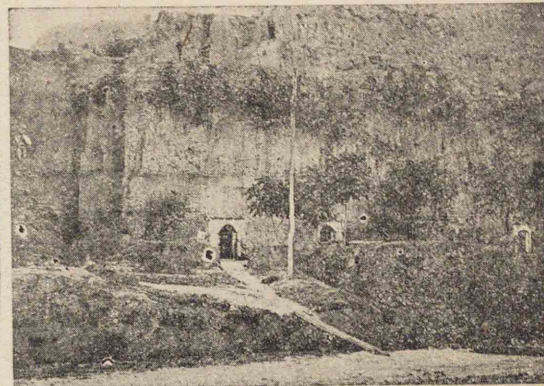
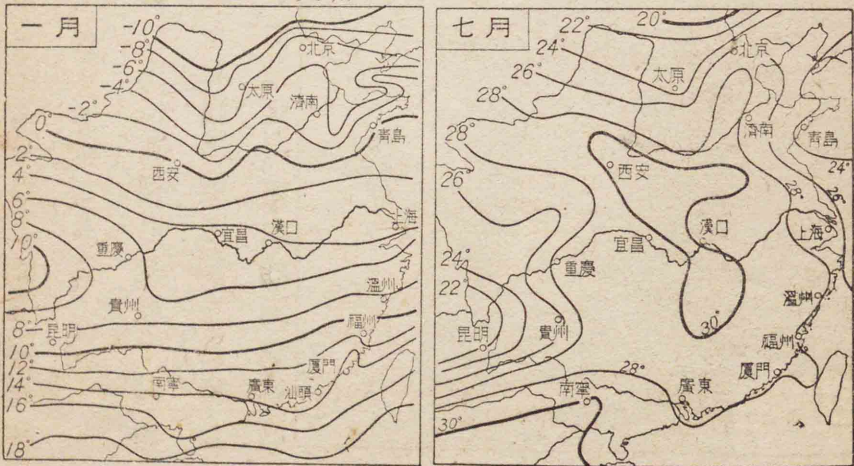
は夏であつて、乾季は冬である。西部高地は寒暑の差が極めて大で、降水量は著しく少く、遂に沙漠となつてゐる。

(甲) 支那本部  
面積は全支

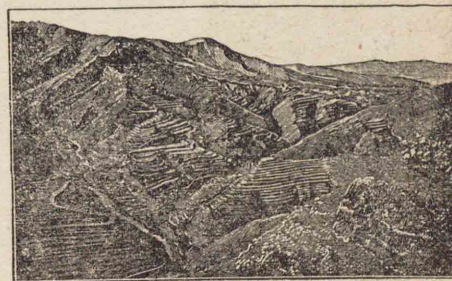
處誌



支那主要部の氣温



河南省の黄土層中の穴居生活

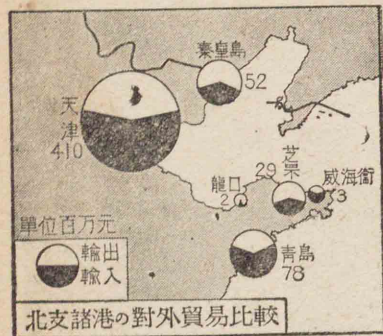


山西臺地の黄土層の階段耕地

**氣候** 東部低地は季節風帯に屬し、西部高地は大陸性の氣候をもつ。東部低地の北部は溫帯に屬するも、冬季著しく氣温の下ることがあり、中部は適度の氣温を帯び、南部は亞熱帶性及び熱帶性である。雨は南部に多く、北部に少く、海岸に多く、内地には少い。雨季

は南嶺の海に臨む所て到る處小出入に富む。二大湖は二盆地の低所に湛へる。南支那平野は珠江の流域にある。海岸は北部は山東半島の突出と渤海の彎入とがあり、半島部は沿岸に小出入があるが、その他は三角洲の砂濱海岸が多く、南部

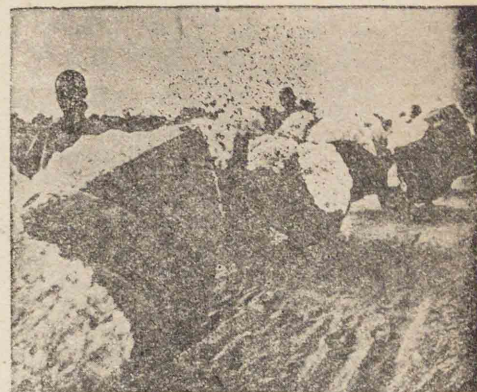




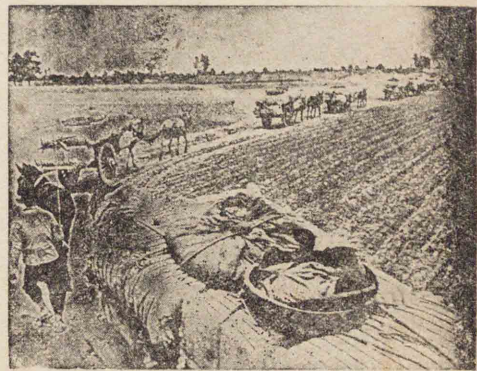
貿易は天津青島が盛で、我が國との取引はその約半に達し、日滿の占める比率は、輸出に於ては事變前  
 三六%であつたものが最近四一%となり、輸入に於  
 ては四八%であつたものが六二%に激増した。  
 (1) 北支那平野(河北河南) 北支那の心臓であり、又  
 久しく全支那政治の中心であつた地域である。黄

の八割強鐵の埋藏量は全支の半を有し、山西河北山東等がこれ等の産地として知られてゐるが、未だ殆ど採掘されず、開灤(英支井陘)日支兩炭坑の採掘量は全支の四割に及び、金嶺鎮の鐵山坊子淄川博山等の炭坑は日支合辦で採掘されてゐる。この外山東の金アルミニウム原礦、陝西の石油等が注目されてゐる。北支の沿岸は地形氣候が製鹽に適し、天日製鹽による長蘆鹽と山東鹽とは全支の約四割を占め、我が國へ工業鹽として輸出する。工業は天津青島を中心として行はれ、兩地に於ける我が紡績業の進展は著しい。

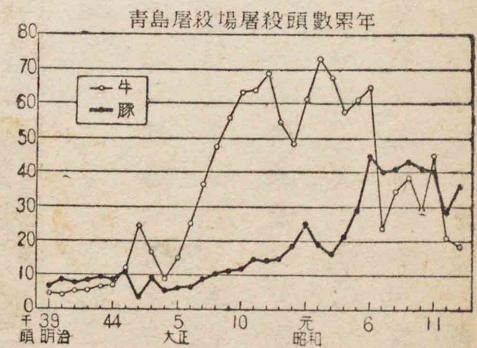
水量は多くないが、夏の成育時期が雨季で、一年の三分の二はその時期に當るため、耕作に便宜を得る。然しその降水量が少しく不足すれば旱魃となり、又時に量が過ぎれば洪水となり、往々にして不作を來し、時に饑饉の憂がある。北支の農産資源の全支に對する比率は棉花約六割、小麥約五割、大豆約五割の多きを占めてゐる。馬驢は滿洲に似て最も多く、山東牛は我が國に輸入され、羊は西部高原が主である。石炭の埋藏量は全支



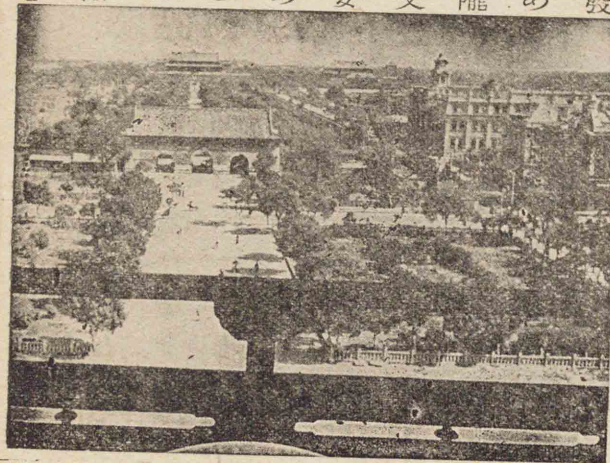
北支平野の棉花の輸送(一輪車)



北支平野の棉花の輸送(二輪車)



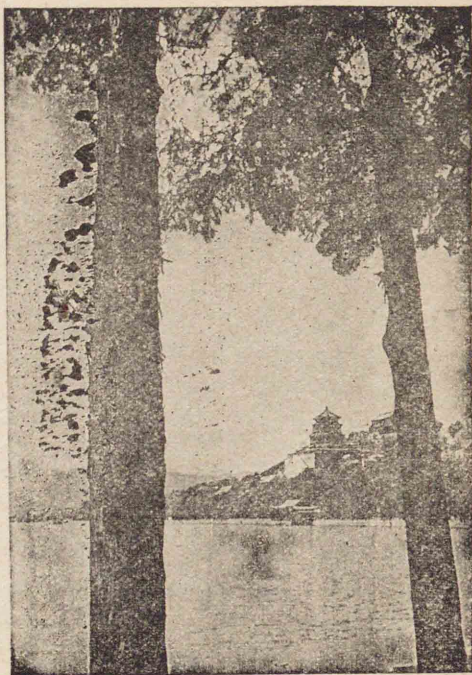
河の流域の河南開封は舊都で、河南はもと洛陽と稱し黄河の支流洛水の北畔にある。この附近は所謂中原の地であつたが、政治の中心が北方に移動したため、河南開封共に振はず、その中間の鄭州が京漢線と隴海線との交叉點に當り發達しつゝある。津浦隴海兩線の交叉點には要地徐州がある。北支の政治文化の中心北京は北に偏する



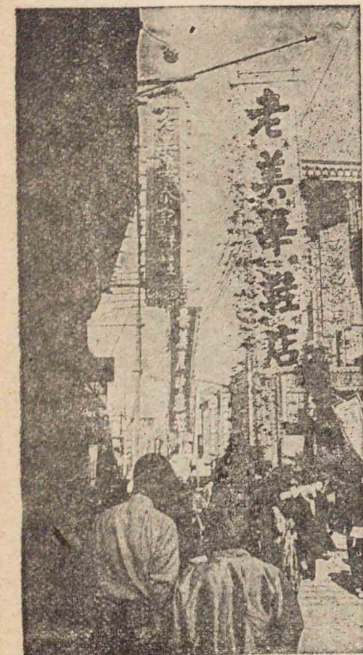
北京城



北京正陽門の朝

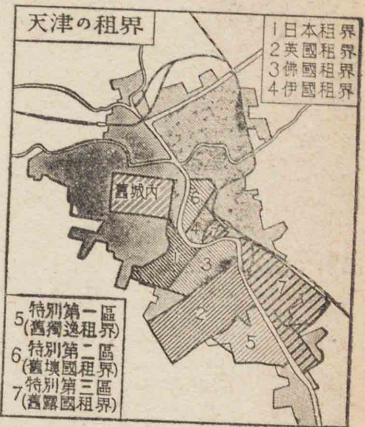


北京城外の萬壽山



北京の買物街

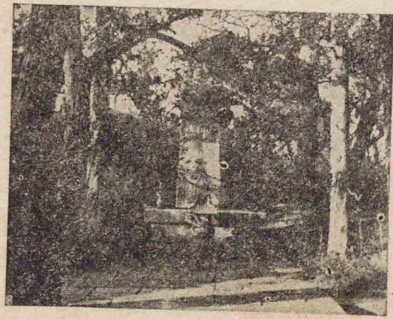
が北方に滿蒙を控え嘗て全支那の政治の中心として建設せられた都市である。この首府に從屬する經濟市として天津が發達し、蒙古の防禦のために萬里の長城延長三千裡が建設された。北京は宏壯な城門、宮殿と城壁とに圍まれた標式的城郭市で、内城外城共に整然と區劃される。天津は手指狀をなす白河の支流の會合する要に當り、全流域の物資を集め、又紡績製粉を始め工業の盛なことは北支那第一である。この地を起點



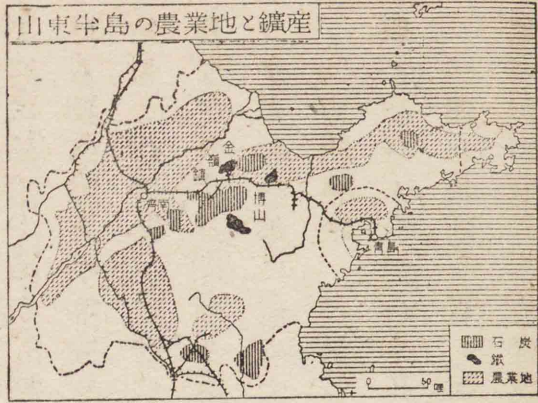
とする大運河も天津の繁榮を助け、津浦線京漢線等によつてその沿線との取引が盛で、京包線の内蒙古への進出はその後背地を一層廣大ならしめた。冬季河海凍結する時は秦皇島を以てこれに代へる。東北部の石炭の産地は開平と灤州で、長城の東端の關門山海關は京山奉山

兩線の連絡する國境の要地である。白河河口の塘沽と白河溯航の終點通州は共に京津に於ける要地である。京漢線に沿つて保定石門石家巷新郷があり石門は石太線の分岐する要地で、邦人の進出も著しい。

(2) 山東半島 山東半島地塊の一部に支那第一の名山である泰山が平野に臨んで聳え、その南麓の曲阜にはこの地を郷土とする孔子の廟がある。出入に富む岩石海岸は青島威海衛(元英租借地)芝

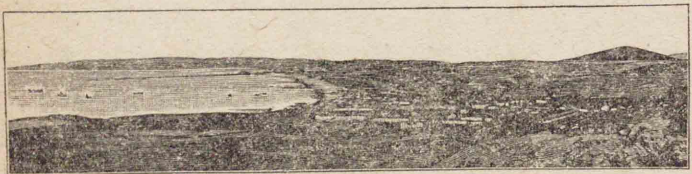


曲阜に於ける孔子の廟

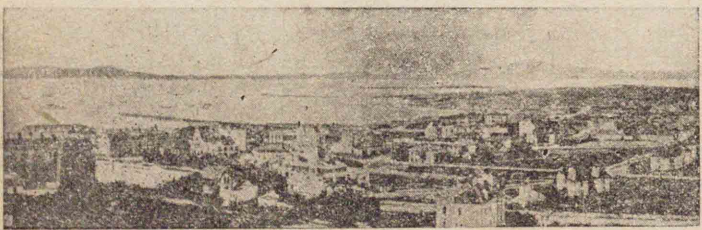


る。この地方の中心は西部に位する濟南で津浦線はこの地を通過し、又膠濟線はこれより分れ、半島の中樞を横斷して青島に達する。ドイツは夙にこの地方の石炭鐵の富源と膠州灣の良港と、その北部平原の

粟等の良港を持つ。この地方は柞蠶を飼ひ、繭糸を製し、石炭鐵に富み、製鐵も亦行はれる點は滿洲に類似する。住民は勞力が過剩であるため、滿洲國及内蒙古地方に農繁期となれば集團的に大規模の出稼をする

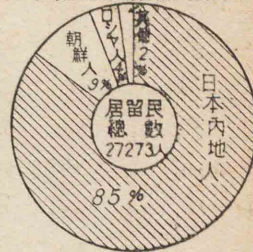


一八九八年の青島

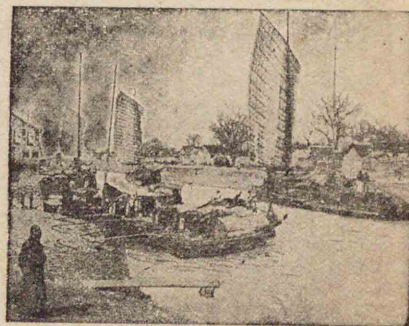


一九〇七年の青島

青島在住各國居留民百分率



商圏に對する位置の優秀とに着眼し、膠州灣を九十九箇年間租借の約を結び支那に於ける發展の基を開き、青島に新に港灣及びドイツ式の市街を建設し、膠濟鐵道を敷設し、鑛山の採掘權を得、東洋に於ける獨逸勢力の根據地とした。然し世界大戰の結果これ等は一時我が國の有に歸したが後還附され、鑛山のみは日支合辦で經營するに至り、尙最近は青島に我が紡績工場等が多く設けられ、マツチの製造等に從事する者もある。



北支那の大運河

(3) 山西臺地 石炭の埋藏量は頗る多く、質も良く、この地方の中心は太原で紡績工場があり、邦人の居住者も漸次増加しつつある。

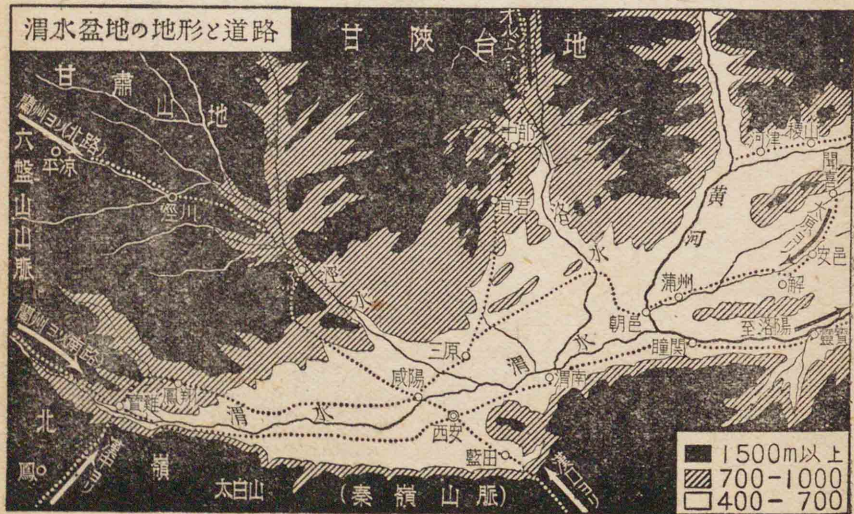
(4) 渭水盆地 陝西 函谷關 潼關の狹隘を關門とする渭水盆地は西部高地の別天地で、耕地發達し、西域路の要所に當る。故に嘗て秦は咸陽に、漢

は西安、當時長安に奠都し、高度の文化が發達したが、今は政治經濟の中心が東漸し、一地方都市と化した。この地は隴海線により鄭州と連絡してゐる。

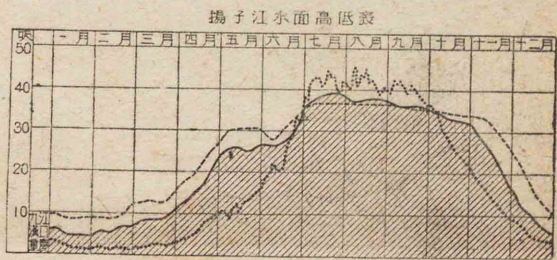
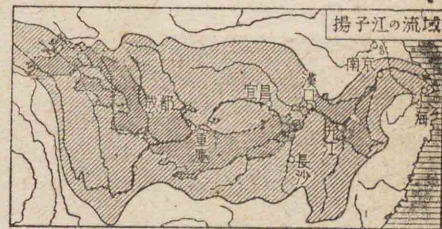
(5) 甘肅地方 ソ聯領中央アジアに通ずる要路に當る蘭州は羊毛の集散地で、長城の西端の關門として嘉峪關がある。

(二) 中支那 主に揚子江の流域で、北嶺から南嶺に至る間を占め、行政上主として江蘇、浙江、安徽、江西、湖北、湖南、四川、貴州、雲南、及西康の一〇省を含み、地理的には揚子江下流、平野、江西盆地、湖廣盆地、四川盆地、雲貴高原等に分れる。

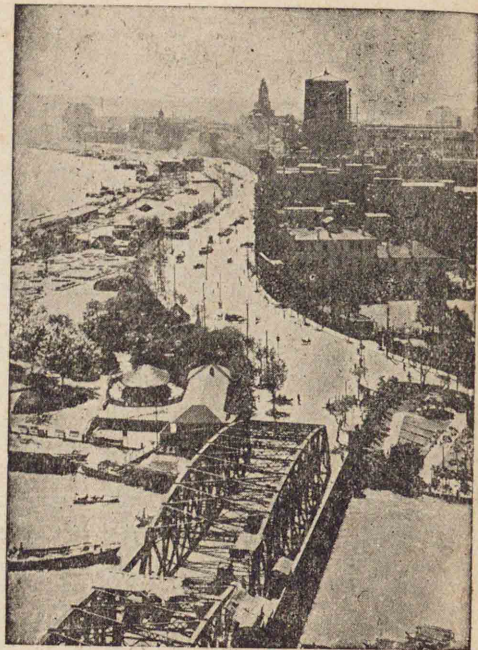
揚子江は青海地方から發し、四川盆地の



水を集めて所謂三峽の險をなして東流し、湖廣盆地に於て、漢江、湘江、沅江等の諸水を合せ、そこに洞庭湖があり、江西盆地には鄱陽湖があり、揚子江下流平野は大三角洲をしてゐる。揚子江は黄河に比すれば水量は多いが、夏の増水期と冬の減水期とではその水量に著しい相違がある。洞庭、鄱陽の二湖は増水期には著しく湖面が擴大して流水を調節し、洪水の害を少くする。



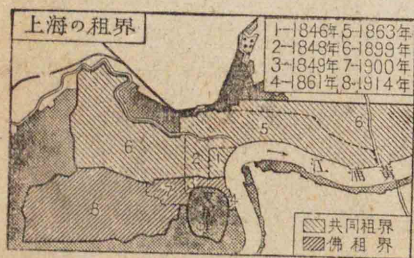
諸平野は氣候溫暖で、降水量も多く、温帯の季節風帯を代表する地域で、耕地發達し、殊に水田多く、米の主産地で、住民は米を常食とし、その輸出を禁ずる程重要視する。養蠶が盛んで、茶を多く産出すること等は米作と同じく我が國に類似し、季節風帯の特色を現すが、棉を産する點は我が國と異なる。養鶏は北支と共に盛んで、揚子江下流、四川盆地を主な地方とし、上



上海

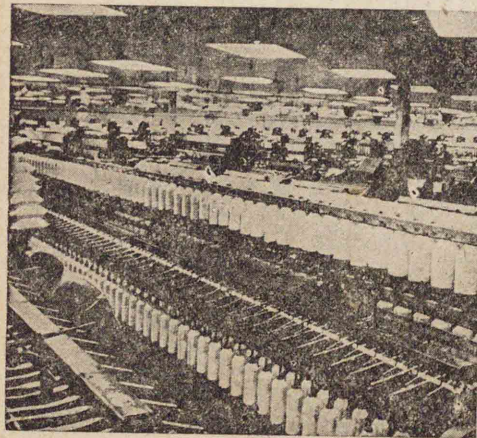
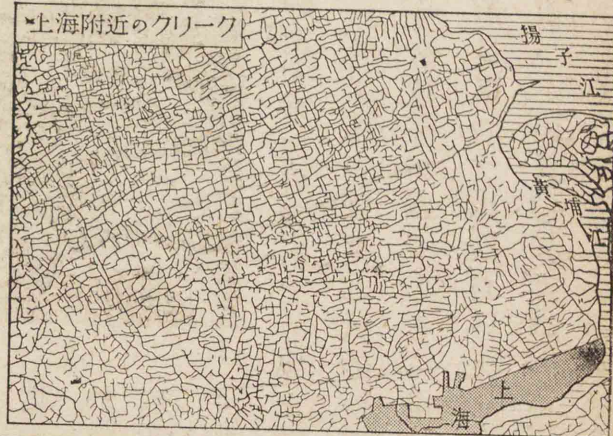
海は有名な鶏卵の集散地である。養蠶に伴ひ生絲の産多く、従つて絹機業が古來發達し、杭州、蘇州等はその中心で、近代工業としては上海を始め各地に於ける紡績業の發達が著しい。漢口ではソ聯向の磚茶を製造する。

(1) 揚子江下流平野(江蘇、浙江、安徽) 中心地上海は急速に發達した支那第一の商工業の盛な近代的の都市で、殊に我が國人の經營する紡績業が盛である。揚子江口に近く、黄浦江を溯つた所にあつて、西、漢口へ九七〇〇斤、北、天津へ一、一七〇〇斤、南、廣東へ一、四六〇〇斤、香港へ一、三二〇〇斤で、支那本部の中樞に位し、殊に揚子江の全流域を商圏とし、





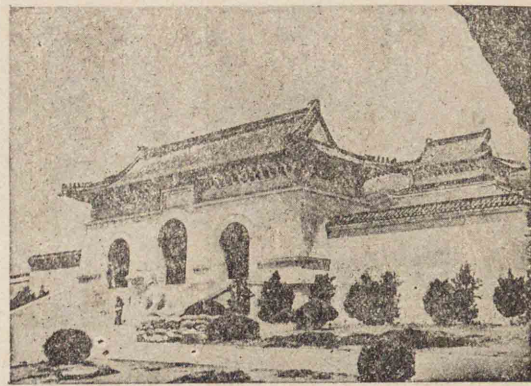
漢口九江その他の貿易港は殆どこの港を仲繼港として取引をする。我が日清汽船會社もこの地を起點として揚子江上中流にまで航路網を張り、歐洲航路もこの地に寄航し、東洋に於ける大小航路の焦點である。主に生絲・茶・棉花等を輸出し、その外港は吳淞である。海南線は工業市無錫省城鎮江を経て上海と南京とを結んでゐる。首府南京は江畔にあり、丘陵



上海紡績工場内部



飛行機から瞰たクリーク



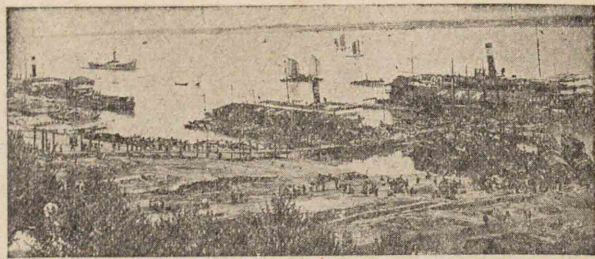
南京の中山陵

標式的の支那都市の景觀を有し、附近は名勝古蹟に富み、杭州の西湖は特に景色がよい。寧波は我が國と古くから交渉のあつた港である。南京から揚子江を溯れば蕪湖安慶を経て江西地方に達する。

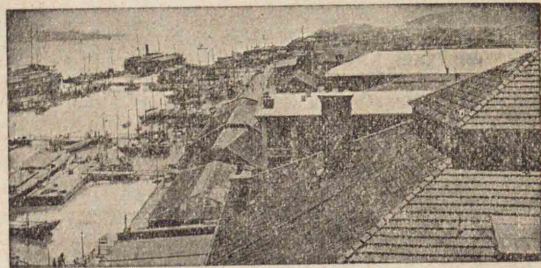
と城壁とをもつて囲まれた都市で、屢、首府となり、最近又北京に代つて新支那の政治の中心地として復活した。對岸の浦口は津浦線の終點で、水運の便ある淮河と津浦線との交叉點の蚌埠は運輸の要地である。大運河に沿ふ蘇州と杭州とは絹織物を産する外共に



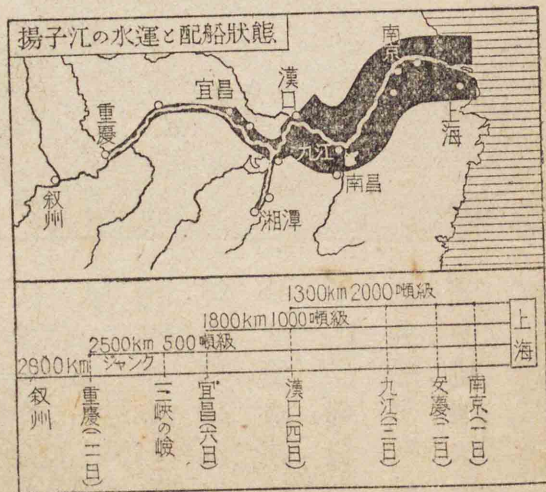
る。江畔に近い大冶は豊富な鐵鑛を産し、石灰岩から積出し、その大部を我が八幡製鐵所に送り來り、一部は漢陽に送り、萍鄉から來た石炭と結んで製鐵業が起つた。それ等は漢冶萍煤鐵公司の經營で、我が借款に負ふ所多く、その代償として毎年鐵鑛と銑鐵を我が國に送つて來てゐた。



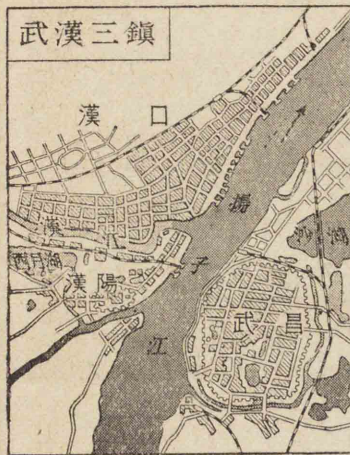
減水期の漢口



増水期の漢口



流を湖れば沙、市宜の二開港あり、宜昌



漢陽、武昌と鼎立して武漢三鎮と呼ばれ、揚子江の水運と京漢、粵漢線との連絡點に當り、九省の會と稱せられ、位置が極めて優秀である。増水期には一萬五千噸級の大洋航行の汽船が溯り、上海と共に中支の新式工業の盛な地である。洞庭湖脚に岳州があり、その南に湖南省の中心開港長沙がある。本

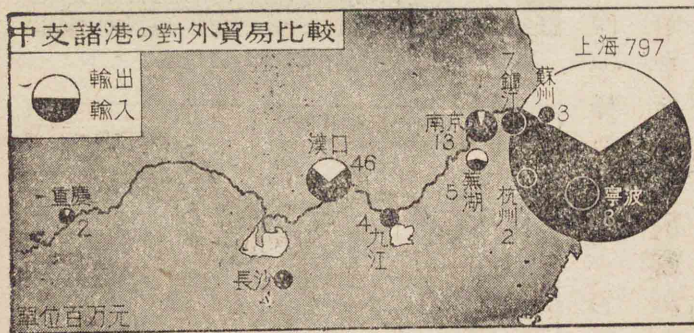


廬山

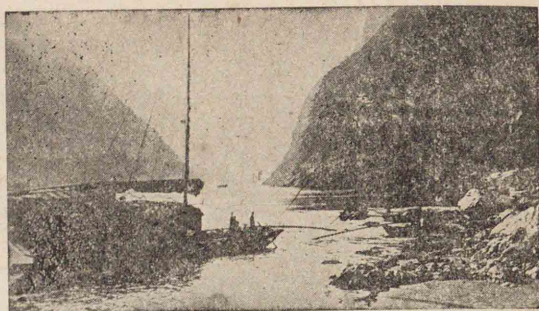
(2) 江西盆地 中心の九江(潯陽)は鄱陽湖の揚子江に注ぐ所にあり、茶を輸出する。湖に臨む廬山は長江流域在留外人の高地の避暑地として名高く、湖頭の南昌は九江から我が借款にかゝる南潯線が通じ、湖東の景德鎮は陶器の名産で弘く知られる。

(3) 湖廣盆地(湖北湖南) 中心は漢口で、揚子江と漢江の會合點にあり、漢陽、武昌と鼎立して武漢三鎮と呼ばれ、揚子江の水運と京漢、粵漢線との連絡點に當り、九省の會と稱せられ、位置が極めて優秀である。増水期には一萬五千噸級の大洋航行の汽船が溯り、上海と共に中支の新式工業の盛な地である。洞庭湖脚に岳州があり、その南に湖南省の中心開港長沙がある。本

(4) 四川盆地 面積略我が國に等しく、米小麦等の各種農作よく行はれ、石炭・金・石油・鹽等も産出し、工業も行はれ、優に一國家の資力をもつてゐる。その中心成都は絹織物を産し、盆地の咽喉港重慶は嘉陵江と揚子江との



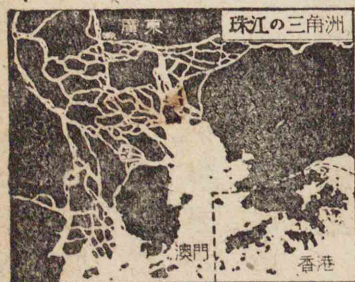
會合點にあり、近時蔣政權の首府となり、漢口から溯るこ  
と一、五〇〇の舟流にあるが、もと舟運を妨げた三峽の險は増水期には一、〇〇噸級の特殊快速船が航行する。漢中盆地(陝西)は漢江上流にあり、中心



三峽の(新)灘

漢中は蜀の棧道によつて成都と通ずる。西康省は西藏への漸移地帯で、大雪嶺山脈が南北に走り、西藏への通路に康定(打箭爐)がある。  
(5) 雲貴高原 揚子江と珠江との分水嶺をなし、中南支の漸移地域である。交通は不便であるが、高原内に中心昆明、雲南、貴陽があり、昆明は佛領印度支那に至る滇越鐵道によつて海に通じ、又大理を経てピルマに、貴陽を経て重慶に至る要地である。蒙自と騰越とは何れも國境貿易場である。

(三) 南支那 珠江の流域が主で、南嶺以南を占め、行政上主として福建、廣東、廣西三省を含み、地理的には福建地方、兩廣地方、香港、海南島の四區に分れる。  
南嶺の海岸には三都澳、馬尾、泉州、廈門、汕頭、香港等の港市に富み、珠江は西江、北江、東江から成り、西江が最も長く、

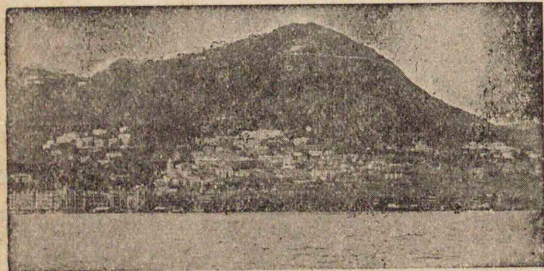


えた貿易港で、**厦門**と**汕頭**(廣東)とは共に港市である。  
**(2) 兩廣地方**(廣東、廣西) 中心の**廣東**は三角洲上に在つて、南支で最も商工業の盛な都會で、粵漢線はこゝから南嶺の分水界を越えて武昌に通じてゐる。西江の上流、廣西地方には**梧州**、**桂林**、**南寧**等があり、**南寧**は**龍州**と共に佛印に通ずる要地である。



廣東の沙面租界附近

と密接な関係があるから、土地不割譲を約し、取引の関係も深い。閩江流域の中心は**福州**で、その外港は**馬尾**である。福州、**三都澳**は茶、**温州**(浙江)に温州蜜柑の集散が行はれる。  
**泉州**は昔榮

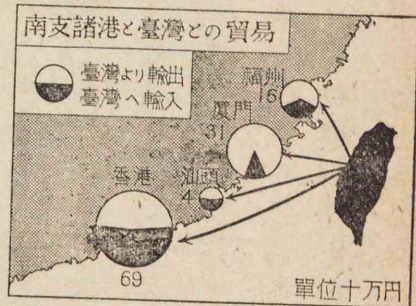
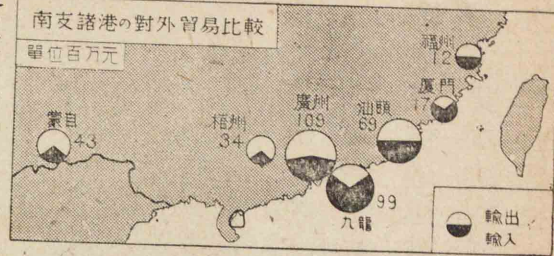


海上から見た香港

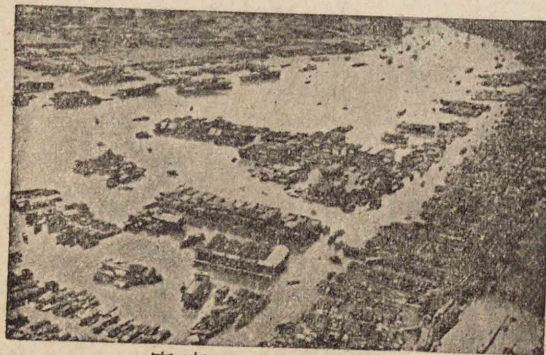
資本主となり然らざるものは労働に従事し、**厦門**、**汕頭**、**香港**から毎年多數往來し、年々の送金も多い。我が臺灣の本島人ももとはこの地方から移住したものである。

**(1) 福建地方**

もと長崎との関係深く、今は臺灣



廣東灣に三角洲を造る。氣候が亞熱帶性で、雨も多いため、米、茶、甘蔗等の成育よく、桑の如きも四季綠葉で、養蠶は殆ど年中行はれ、生絲、絹織物、茶等を多く産し輸出する。南支那の住民は南洋に移住又は出稼するものが多く、これ等は華僑と稱せられ、能力、財力のあるものは商工業の



廣東の水上生活者

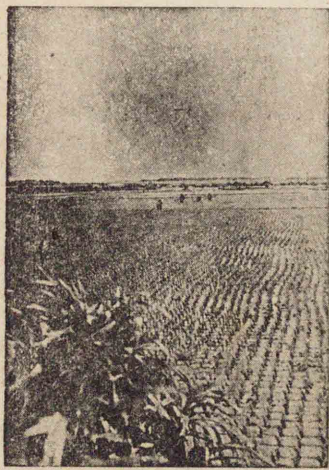


香港島から見た九龍半島

(3) 香港(英領) 廣東灣口の一小島に過ぎないが、英領の自由港で軍港を兼ね、英國の東洋に於ける商業及び軍事上の根據地である。港は香港島と對岸の九龍半島との間を占め、港市をヴィクトリアといひ、洋式の街區をなす。取引額は大であるが、主に仲繼貿易である。我が國から輸入する石炭、人絹布、ポプリン、晒金巾は獨占的である。九龍半島の南端は英領で、それにつゞき廣大な租借地がある。澳門(葡領)は

ポルトガル人活動時代には我が國にまでよく知られた港であつた。廣州灣佛租借地は佛領印度支那に近いためフランスが租借したが餘り利用されず、近く還附に決してゐる。

(4) 海南島 面積略我が臺灣と等しく、

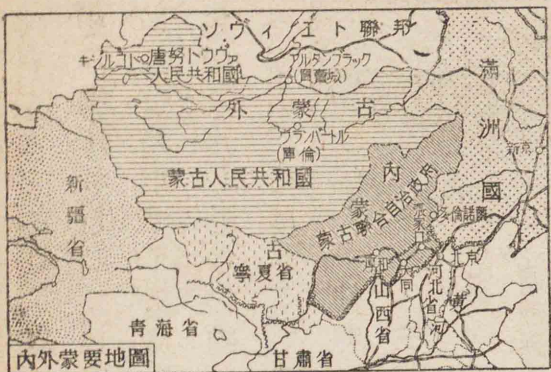


海南島の水田風景

熱帯性の農業が行はれ、資源に富み、且つ位置上、南支、南洋に對する要地である。その首都瓊州と海口、三亞の港市がある。

(乙) 邊疆 邊疆は更に蒙古聯合自治政府、寧夏省、蒙古人民共和國、新疆、青海、西藏に分れる。

(一) 蒙古聯合自治政府 蒙古は廣大な高原で、ゴビ沙漠によつて内外蒙古に分れる。内蒙古は主に蒙古人が住み、牧畜が主であるが、支那本部の接壤地帯であるから漢人の移住するもの多く、放牧の外、粟、高粱、小麥等を栽培し、漸次支那本部及び滿洲に編入され、察哈爾、綏遠及び寧夏の三省が置かれたが、最近察哈爾、綏遠二省は山西省北部と共に蒙古聯合自治政府を建設して支那政府から獨立した。龍煙鐵礦(宣化)大同、石炭は重要資源として知られてゐる。この國は日滿兩國と共に防共の第一線に當る使命を有



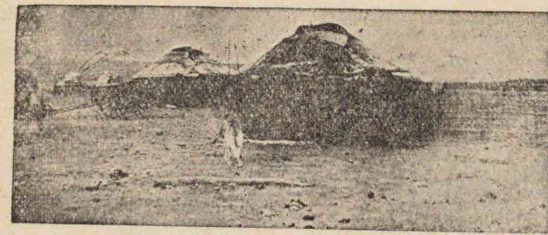
は日滿兩國と共に防共の第一線に當る使命を有

するものである。主な中心地は張家口・多倫諸爾・大同厚和包頭で、首府張家口は漢蒙の交界にある貿易市で羊毛、駱駝毛、毛皮等の取引が盛で、包頭は京包線の終點で、黄河により寧夏地方との取引が行はれる。(二)寧夏省は牧畜が主で黄河畔に首都寧夏がある。



厚和の蒙古人

(三)蒙古人民共和國 外蒙古は喇嘛教主活佛が首長となり、自治を行つてゐるが、今はソ聯の勢力下に蒙古人民共和國と稱する自治政府を樹



蒙古の移動式家屋



蒙古沙漠中の隊商

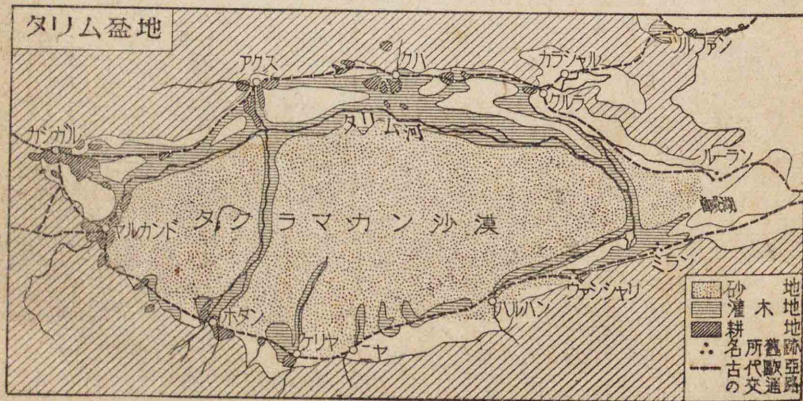
た。共和國と稱する自治政府を樹てた。首都はウランバートル(庫倫)で、喇嘛教の大寺院がある。シベリヤに接する國境貿易市アルタンブラック(買賣城)は茶の取引が盛である。張家口から

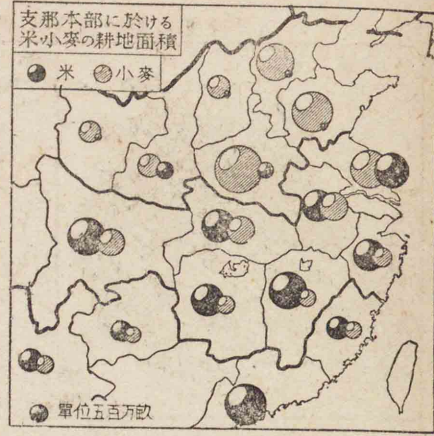
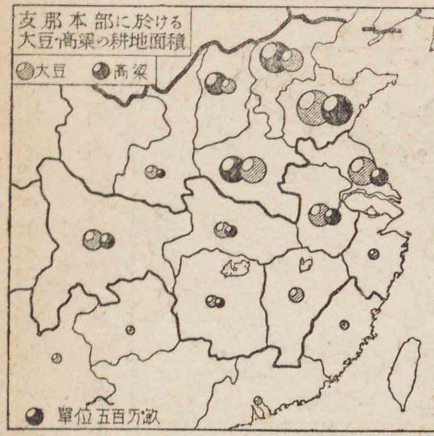
ウランバートルへは自動車を通ずる。

(四)新疆 天山山脈によつて天山北路と天山南路とに分たれ、北路には伊犁盆地があり、南路にはタリム盆地があり、中央にタクラマカン沙漠が横たはる。天山山地の雪融の水が流れ出る山麓線の泉地にすべての耕地と聚落とがあり、天山北路の交通路の位置もこれによつて決定される。新疆はソ聯との接壤地でソ聯の勢力が延び、伊犁迪化(首都)哈密は連絡路の要地である。

(五)青海 西藏と共に一大高原で、ヒマラヤ、崑崙の諸山脈が並走し、その間の高原は四千米以上に達し、寒暑の差極めて甚だしく、降水量少く、犛牛羊の牧養が主業である。首都は西寧である。

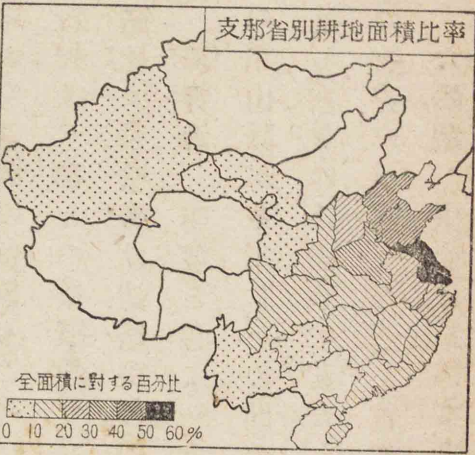
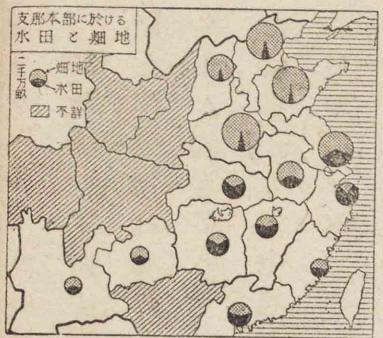
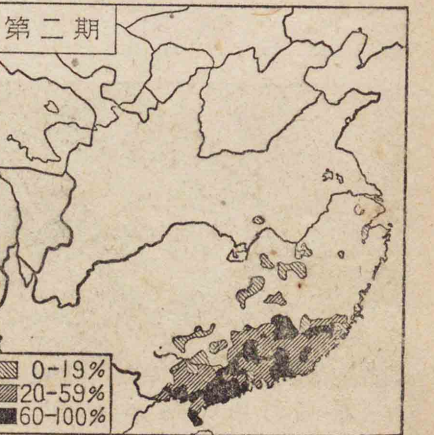
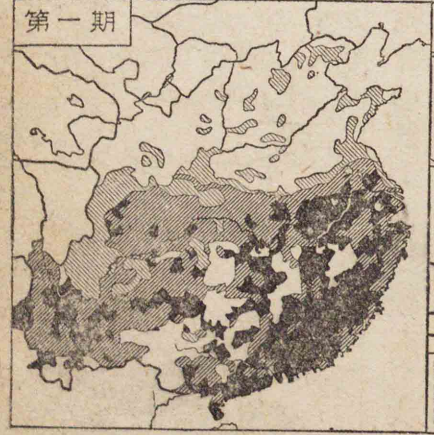
(六)西藏 中心は拉薩で、莊嚴な達賴喇嘛の宮殿があり、達賴喇嘛は喇嘛





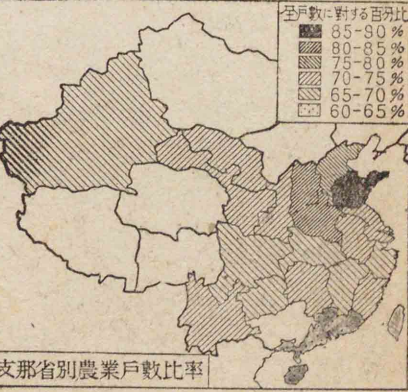
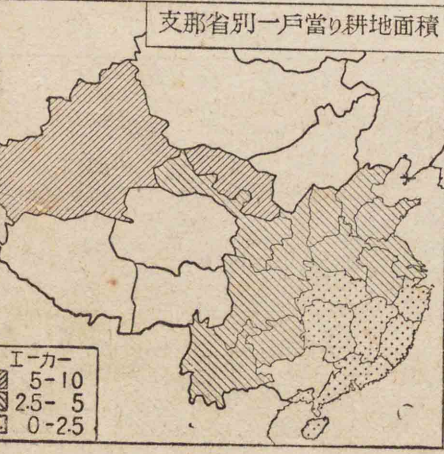
が極めて豊富である。耕地面積農業戸數等から見れば北支が最も農業が盛である。北支は降水量少く、専ら畑作で高粱大豆小麥玉蜀黍等を主産物とし、中南支は氣温高く、雨量多く、水田大いに開け、米産豊に、茶、甘蔗等を多く産する。棉の栽培は北支を主とし、中

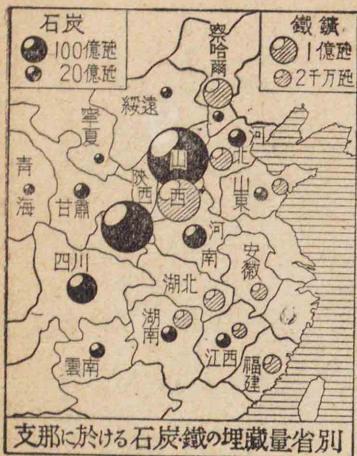
支那に於ける水田耕作



の教主で、英國駐在兵の後援の下に政治上の實權を握つて半ば獨立する。この西藏は英領印度の接壤地域として重要である。支那は國土廣く、地形氣候の變化が多いため、産業も亦各地に於て相違がある。農業は古來最も主要な産業で、殊に東部は低地廣く季節風帯に屬し、土地開け農産

産業



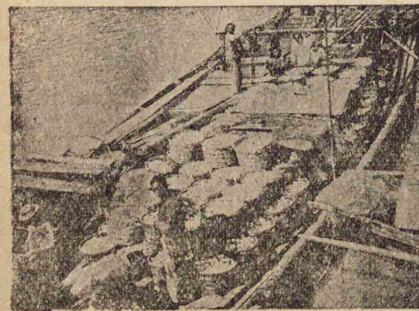
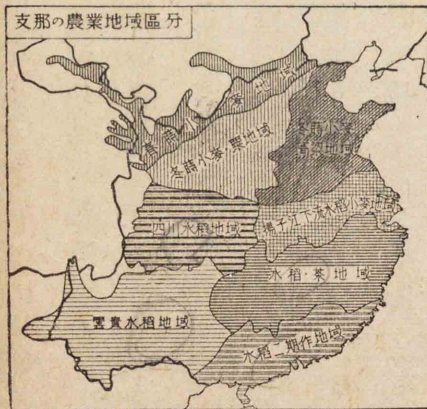
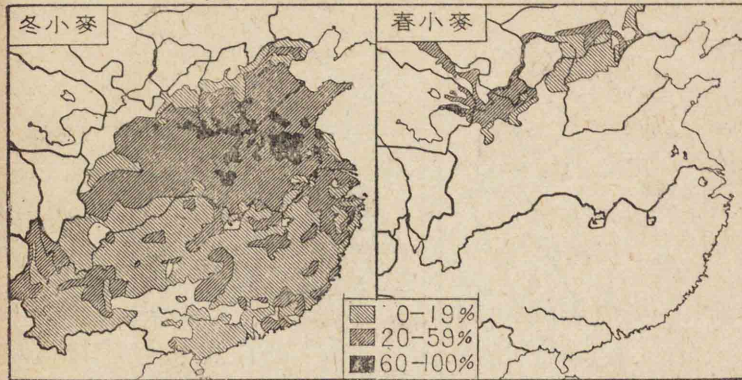


等に輸出されるが質の改良を要することは満洲と同じである。東部低地も亦家畜多く、北は馬、驢、騾、黄牛、南は牛、水牛を特色とし、豚、鶏は各地に盛に飼はれて、特に支那を特色づける。山東牛は青島に、奥地及び兩湖の皮革は漢口に集められてそれら輸出される。鑛

良をはかり、我が國に輸出する。奥地には今尙罌粟(阿片製造用)の栽培が多い。養蠶は盛で、我が國と共に世界の二大養蠶國で、南支は年五回の飼育さへ行はれる。果實は北支の苹果類から南支の柑橘類、龍眼、荔枝、鳳梨、バナナ等に至るまで各種の氣候適應種を生産する。北支の西部山地、蒙古及び西部邊疆地方は雨量少く、草原多く、羊、山羊、馬等の放牧が主な生業で、沙漠地方では駱駝、高原ではヤクを飼養する。羊毛は寧夏、包頭、張家口等を経由して天津に集められ、米國



支那に於ける冬小麦と春小麦



運河利用の鶏卵輸送

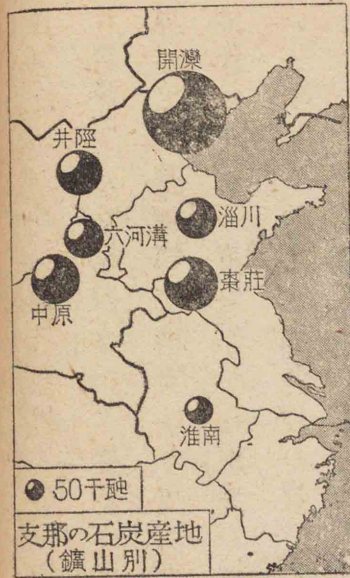
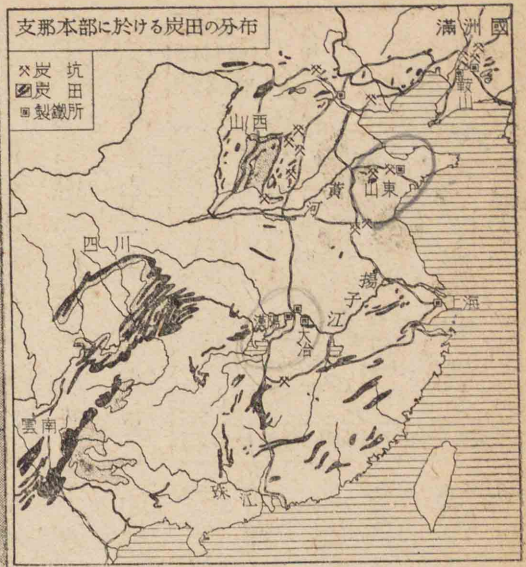
は在來種の外に米棉種を朝鮮より移植して改

ず尙輸入する。棉

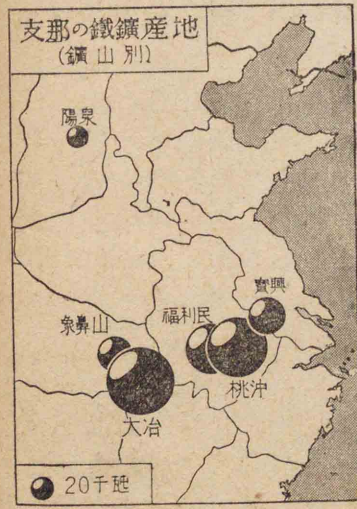
はれ、いづれも多量に生産するに拘らず尙輸入する。棉



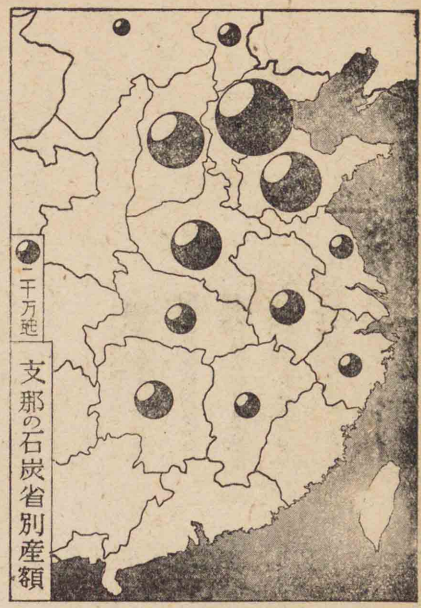




産は豊富で、北・中支に於ては石炭と鐵とを多量に埋藏し、世界の注視する所であるが、未だ採掘は充分で無い。石炭の埋藏量は北支八八%、中支六%、南支一%の比で、北支が最大で殊に山西省が多い。鐵の埋藏量は蒙古二八%、北支二四%、中支三六%、南支一〇%の比である。大冶鐵山は全支産額の過半を占め、漢陽兩製鐵所は此の鐵鑛

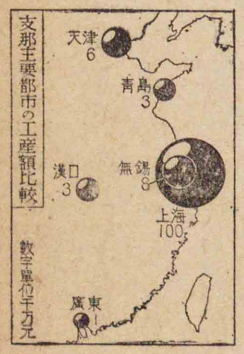


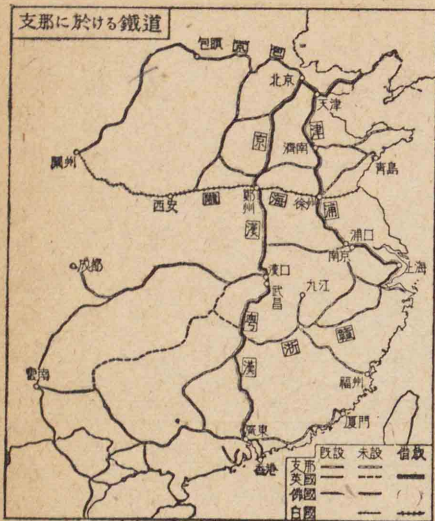
の鐵鑛



に依存してゐる。タングステンは世界の約六割を産し、江西省が多く、アンチモニーは世界の約六割を産し、湖南省が多く、錫は雲南に多い。石油の埋藏は陝西・四川・新疆等に在るものと見られてゐる。食鹽は北支の天日製鹽、四川その他奥地の井

鹽等があり、工業鹽として輸出される。天然の資源は豊富であるが、人的要素が不十分なため、未だ工業は幼稚である。然し製絲は江蘇・浙江・廣東地方に行はれ、茶と共に重要輸出品であつたが、我が國に壓倒され、絹織物も亦嘗て輸出に於て世界の首位を占めてゐたが我が國の十分の一に減じた。陶器をはじめ手工業は在來のまゝ、尙盛である。近代の新工業は上海が最も盛で、無錫、天津、青島、漢口之に次ぎ、香港、廣東等にも

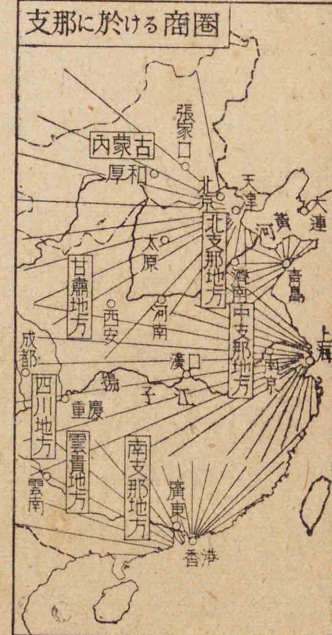




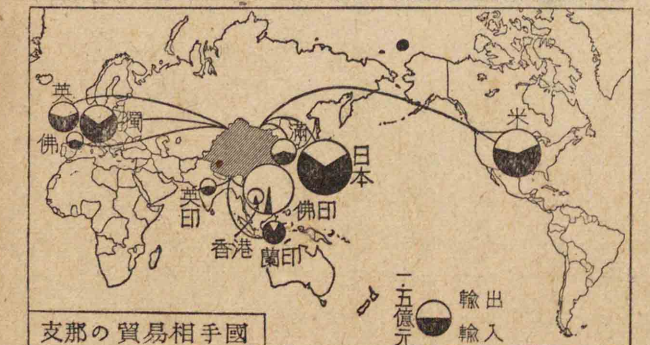
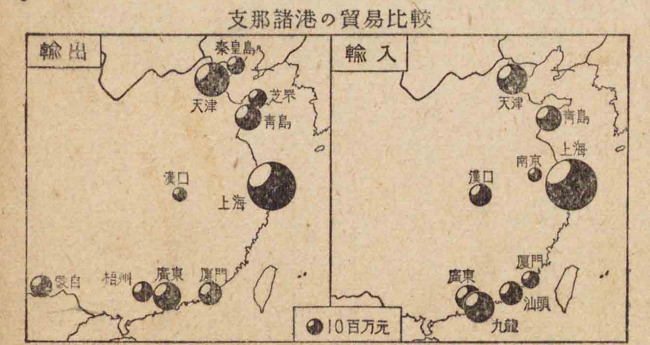
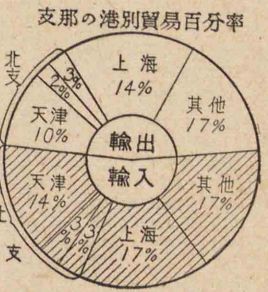
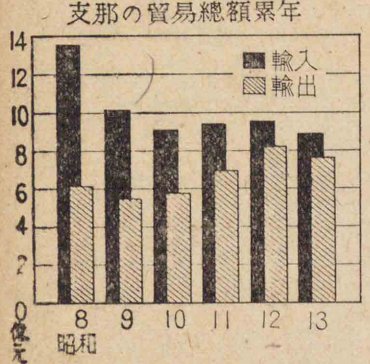
地方の核心で、それ〴〵商圏を持ち、貿易額の比率は北支一五%、中支六二%、南支二三%で、上海の貿易は全支の五割以上を占めてゐたが、事變後は北支の取引が優勢となつた。取引國は日英米であつたが、最近は日佛印米獨英の順となり、輸出品の主なものは金屬礦物油類生絲鷄卵茶大豆皮革棉花落花生綿絲等で、輸入品は米金屬礦物機械器具棉花紙石油染料顏料藥品小麥木材等である。

**交通**

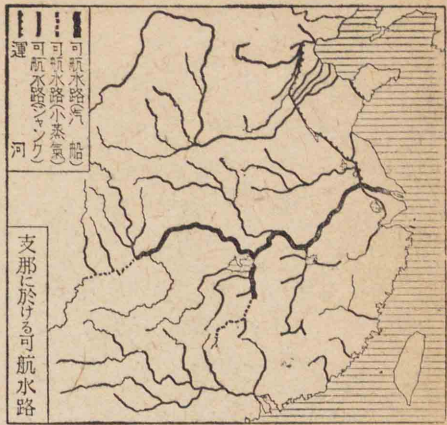
中・南支は河湖運河の舟運の便があり、北支は陸路による外はないので、所謂南船北馬の語がある。東部低地では一輪車馬車轎驢馬等を用ひ、西部高



東等が各  
の香港廣  
青島南支  
支の天津  
海漢口北  
中支の上  
外國貿易は

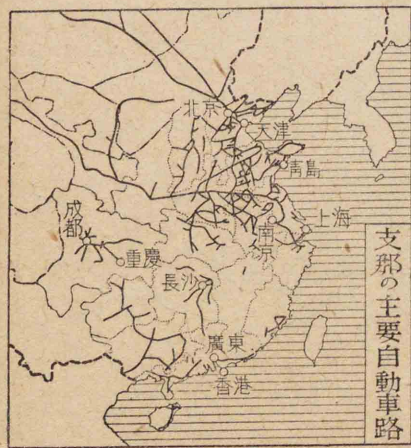


紡績製粉マツチ煙草製造等が興りつゝあるが、未だ國內の需要を充たすには前途遼遠である。中支でも紡績業は最も盛で、前記の外各地方中心に工場があり、棉花の生産、石炭の近在、勞力の低廉等が立地要因をなしてゐる。桐油工業は四川湖廣地方の原料を漢口に集めて製造し、全支産額の九割を占め、塗料として歐米へ輸出する。中支の上外國貿易は



地では駱駝・ヤク等による。京包線以外の鐵道は悉く日英佛白米等の投資によつて開通し、縦貫線は東に京山(滿洲と連絡)津浦海南等の諸線、西に京漢粵漢の二線があつて南北を連絡し、横斷線は膠濟線隴海線浙贛線等がある。航空路は米獨等の資本により上海天津香港より漢口、北京青島蘭州重慶成都昆明等の内地に及ぶ。

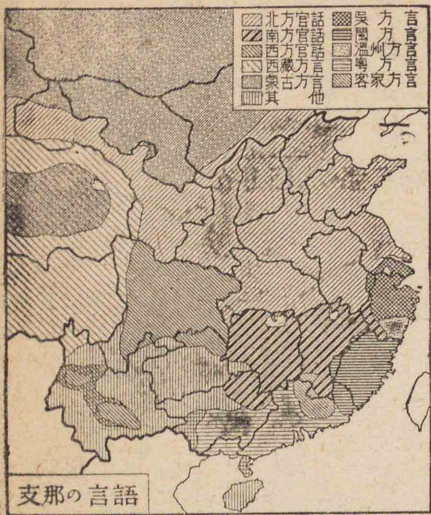
黄河を除く遼河白河揚子江珠江等は水運盛で、殊に揚子江は支那の地中海と稱せられ、可航水路も長大で、上海から重慶まで約二、五〇〇。○の間は汽船漢口まで一、〇〇〇。○の間は汽船を通じ、我が汽船會社も主要航路網をもつ。大運河は古來著名で、天津より杭州まで約一、三〇〇。○の間に及び北中支を結び、もと米



の輸送に役立つ、今は一部埋積してゐるが、北部と南部は利用されてゐる。海上交通は我が船舶の力により發達し、我が國は英國と共に優勢で、米國がこれに次ぎ、航路の中心は貿易の中心と一致する。

**住民**

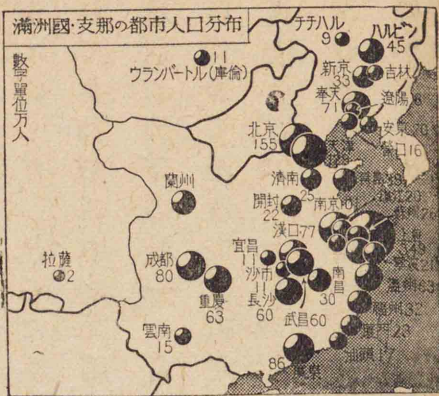
アジャヤ人種(蒙古人種)に屬し、數多の種族に分れ、最も多數を占める漢族は古來支那文明の代表種族で、主に支那本部に住み、一部は滿洲國及邊疆にも發展してゐる。揚子江流域の原住民である苗族は漢族に壓迫されて、南嶺の山中に残存する。滿洲族は滿洲が原住地で、南下して



政權を握つたが、漢人化し、蒙古族も往昔南下して威を振つたが漢人化し、蒙古に残つたものはなほ遊牧をこととする。トルコ族は新疆地方に、西藏族は青海西藏地方に住むが、文化の程度は低い。言語文字は種族によつて異なり、漢族さへ北方南方の官話の別があり、人種の

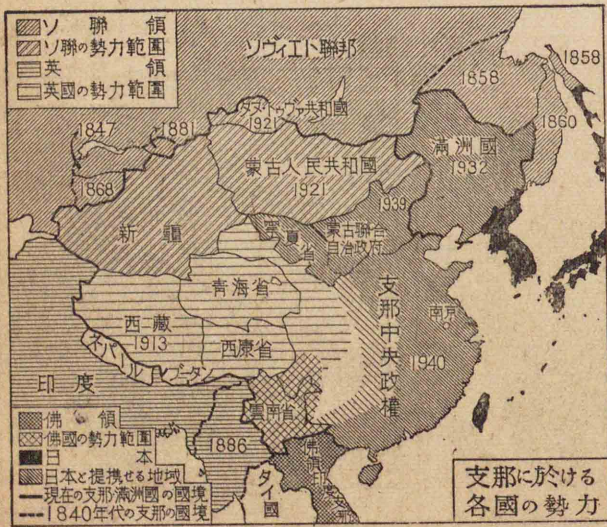
復雜と共に國家統一の困難な一原因となる。宗教も多種多様で、本部では儒教、道教、佛教が主であるが、蒙古及西藏は喇嘛教が盛んで、新疆及本部の西部には回教（マホメット教）が行はれる。キリスト教徒は漸次その數を増し、米佛の宣教師が勢力をもつてゐる。

支那は人口多くその數約四億五千萬で、世界の全人口の約五分の一に當る。その大部分は東部に集まり、揚子江、黄河、珠江等の下流平野、湖廣、四川の諸盆地、南嶺東海岸地方等が殊に密度が大である。従つてその過剰の地方では滿洲國及海外に移住又は出稼し、北支那の住民は滿蒙へ、南支那の住民は外南洋地方へ向ひ、又過去に於て一般に濠洲北米、南米、南阿等世界到る處に移住し、漢族の國外にあるものは實に八〇〇萬人に達する。然しその生活が白人と調和せず、白人の温帯の植民地では多く移住を禁ぜられた。白人に適しない熱帯の植民地のマレー諸島のみは支那人移住者の獨占場の觀がある。



支那に於ける各國の勢力

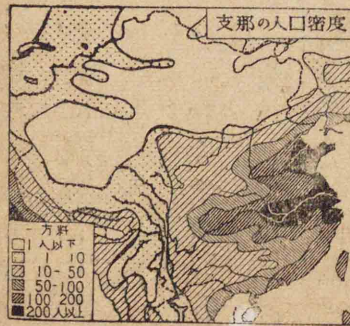
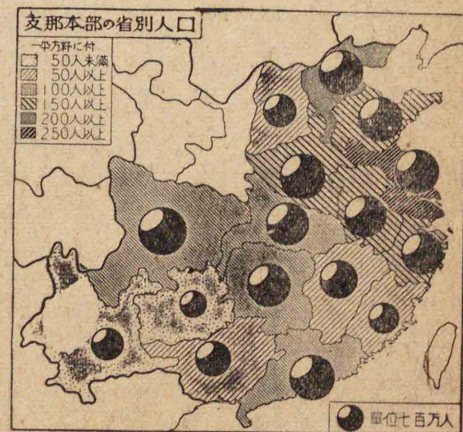
ソ連の勢力範囲  
 英の勢力範囲  
 佛の勢力範囲  
 日本と提携せる地域  
 現在の支那滿洲國の國境  
 1840年代の支那の國境



支那本部の人口分布

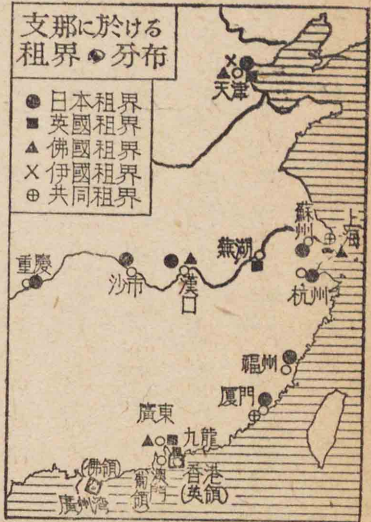
支那本部の省別人口

支那の人口密度

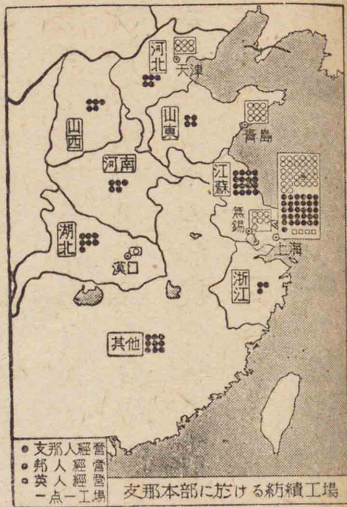
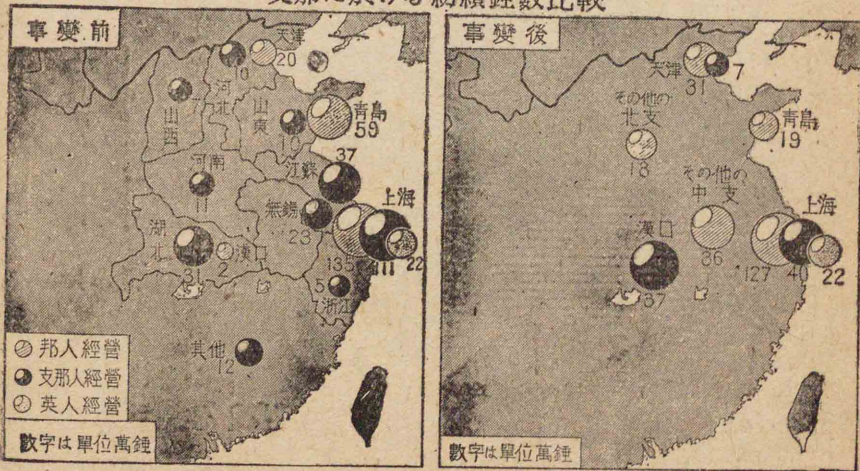


政治

支那は古來政變が多く、漢族内の王朝の改變のみでなく、滿蒙族も政權爭奪に加はつたが、常に君主專制であつた。然るに明治四十五年清朝倒れて共和制の中華民國が興り、南京の國民政府が天下の統一に當つたが、近時蔣政權に代つて汪政權が成立し、我が國は之を正式に承認した。ここに日滿支三國の善隣友好關係は樹立せられ、東亞恒久平和の基礎が確立するに至つたのである。



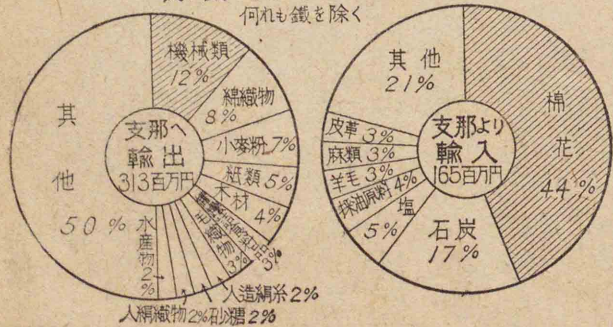
支那に於ける紡績錘數比較



我が國との關係

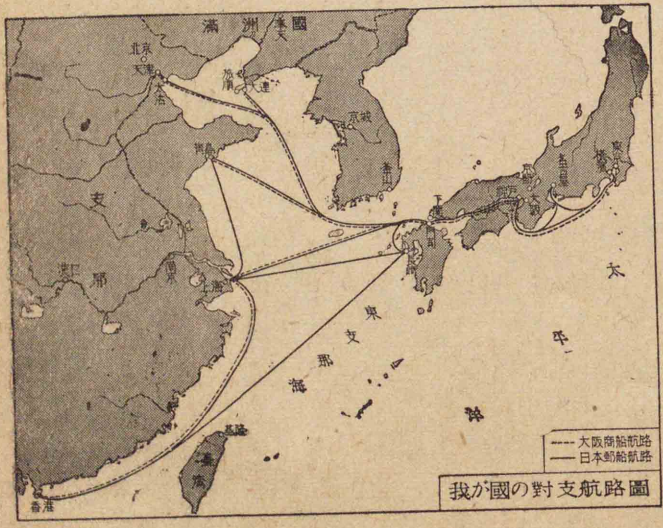
古く我が國は支那の文化に負ふ所が多かつたが、日清日露兩役後は我が國は常に新文化を支那に輸出してその啓發に努めた。東洋平和日支國土の保全、經濟提携等のため、日露日獨の兩戰役の犠牲を拂ひ、北支及中支の鐵道、鑛山、製鐵等に投資し、上海、天津、青島等に紡績工場等を設け、彼我の關係は益、深きを加へ、一はこの國を扶け、一は列強と對峙するの素地を作らんとした。然るに支那は我が眞意を解せず、徒らに抗日容共政策に狂奔し、遂に今次の支那事變を惹起し、今や北支は勿論、上海、國都、南京、漢口、廣東等は我が軍の有に歸したが、國民政府は第三國の援助を求めてなほ屈せ

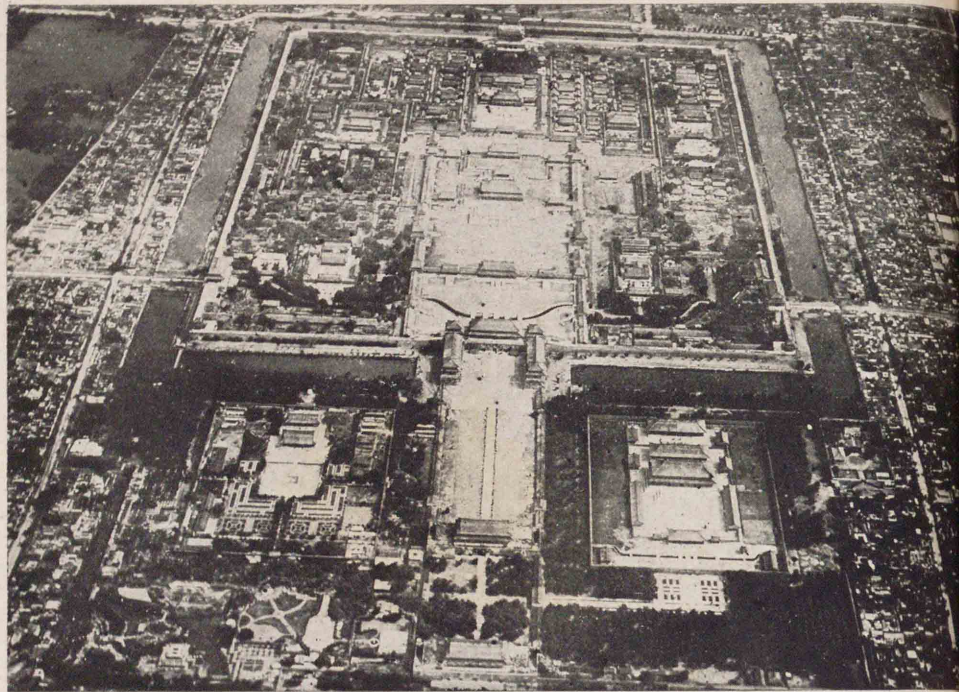
我が國の對支貿易品百分率 (何れも鐵を除く)



ず、首府を重慶に遷し、長期抗日を唱へて未だ反省するに至らない。最近新に國民政府が樹立され、南京を首府とし、我が國と協力して日支共存共榮の實を擧げんことを期してゐる。蓋し支那の運命は直接我が國に影響することが大である。この國は面積が廣くて工業原料品及食料品に富むが、工業は未だ進まず、而も人口は多くて、精製品の需要が多く、且つ距離の極めて近い隣國であるから、彼の原料資源を我が國に輸入し、我が製品を彼に輸出するに絶好の取引國である。北支の埋藏量の多い石炭は我が國の指導によつて今後大いに開發さるべく、又大冶桃冲タウチン（安徽）の鐵鑛は事變前既に我が八幡に運ばれ、漢冶萍の銑鐵も我が國へ輸出されてゐたほどであるから、今後は一層他の鑛産物と共にこれ等豊富な鑛物資源は我が國の重工業の發達に資すべきである。棉花羊毛の改良増産が我が國輕工業の發展を利すべく、上海、天津、青島等に於ける邦人の紡績業の著しき躍進も事變前の業績に徴して期して待つべきである。鹽の増産も亦我が化學工業の發達に貢獻する所大であらう。かくして始めて滿

洲と共に日滿支ブロック經濟が秩序づけられるのである。これ等の生産地域を考慮すれば、北支が特に重大な關係を有することが認められる。目下我が國は日支合辦で、我が資本技術を以て北支の石炭、鐵、鹽等の重要資源の開發に従事し、北支經濟の積極的指導に當つてある。こゝに於て國防上滿洲に次ぐに蒙疆國防經濟上滿洲、蒙疆に次ぐに北支、これに次ぐに中南支と、順次東亞の新秩序建設のために我が國は東亞協同體の綜合的國防經濟計畫を實行中である。故に事變前は我が國へは棉花、採油原料、石炭、鑛石、皮革、麻等の原料品、肉類等の食料品及び油糟、大豆ソウ、穀コメを輸出し、その額は我が全輸入額の一八分の一に當り、我が國からは機械類及同部分





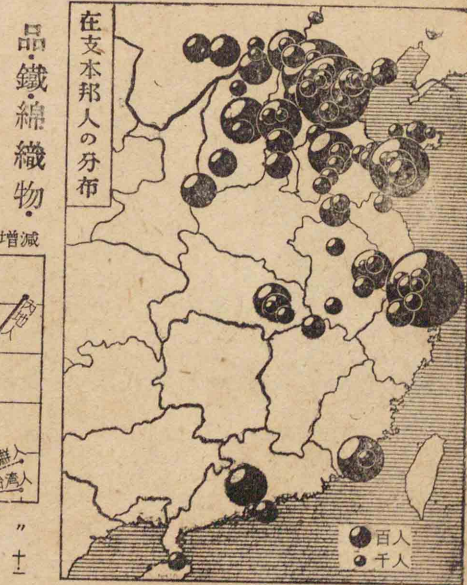
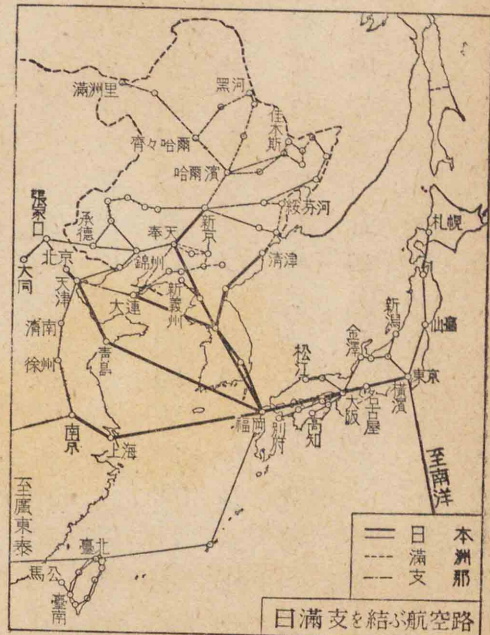
飛行機から見た北京(舊宮城附近)

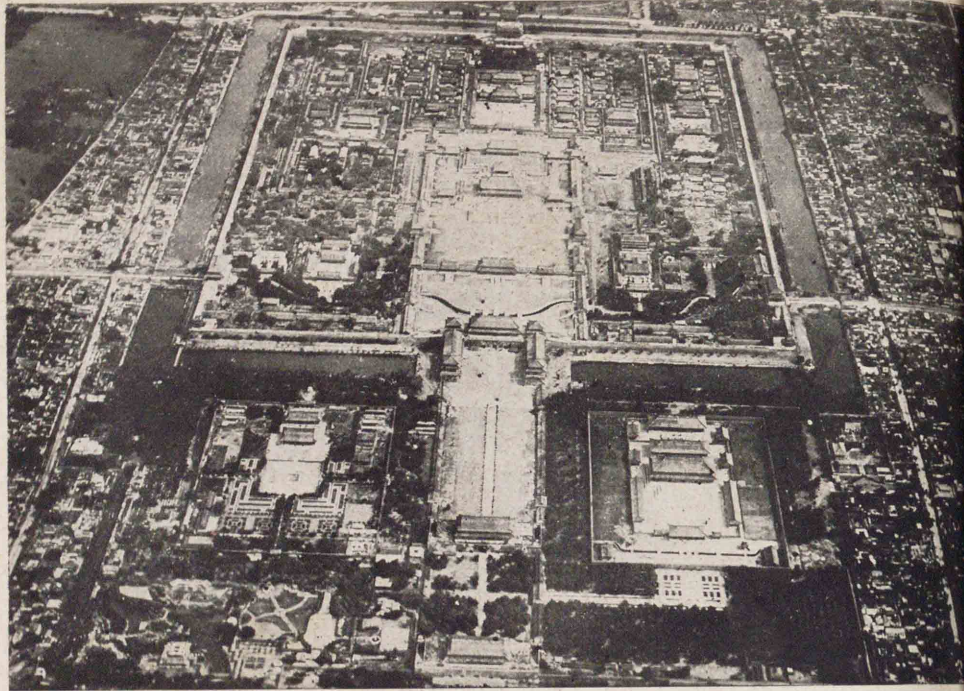


北京街頭の景観

我が對支汽路及航空路網は日滿支一體に貢獻する所が大である。邦人の渡支するもの近時著しく多く、天津、上海、青島、北京、濟南、南京は勿論、

紙類、水産物、精糖、毛織物等の精製品を輸入し、その類は我が全輸出額の一七分の一に當つてゐたが、最近は輸出に食鹽が、輸入に人絹及人絹織物、小麦粉、木材等が目立つて増加して來た。





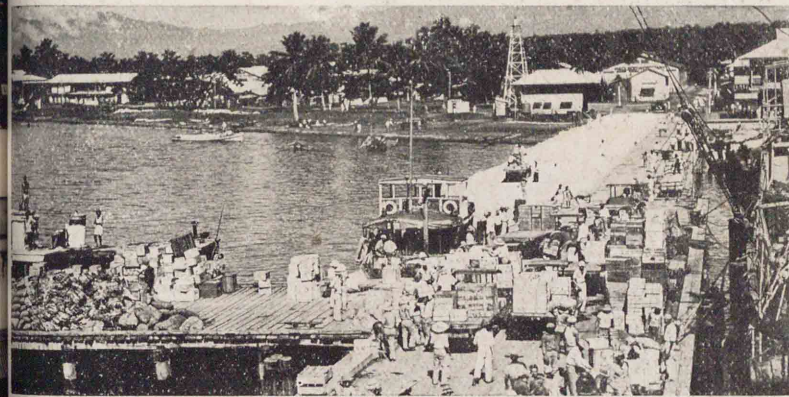
飛行機から見た北京(舊宮城附近)



北京街頭の景観



シンガポールの景観



フィリピンのダヴァオ港

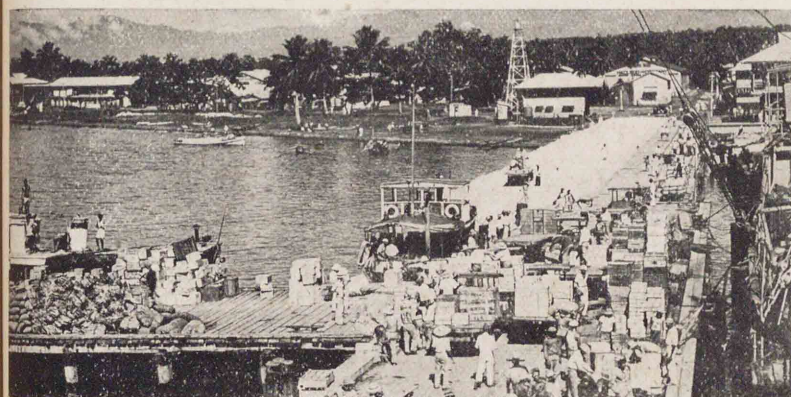


ジャヴァ島の椰子の林と火山(ボイテルズルグ)





シンガポールの景観



フィリピンのダヴァオ港



ジャヴァ島の椰子の林と火山(ボイテルズルグ)

論、張家口・厚和・石門・太原・漢口・厦門・廣東等にまで及び、尙續々増加の傾向がある。

- (一) 支那の地勢・氣候・産業と我が國のそれ等との差異を挙げよ。
- (二) 北支・中支及南支を比較せよ。
- (三) 支那の國勢が振はない地理的理由を述べよ。
- (四) 日滿支ブロック經濟の必要を述べよ。
- (五) 東亞新秩序建設の必要を述べよ。
- (六) 蒙疆地方の地理を説明せよ。

### 第三節 南洋

南洋は内南洋と外南洋とに分れ、内南洋は我が南洋群島を意味し、外南洋は印度支那半島・マレー諸島を含む。外南洋の總面積は我が國の六倍に當り、南亞に位するが、東亞の外郭の意味で廣義の東亞に含ましめる。

#### 一 印度支那半島

#### 位置・區分

この地方は後印度とも稱し、アジャ大陸の東南部の半島で、行政上、タイ國(泰國)・佛領印度支那・英領マレー・ビルマに分たれるが、地理

的には同一地域性を持つてゐる。

**地勢氣候**

印度支那山脈が掌  
狀に縦走し、その各縦谷にメコン・メ  
ナム・サルウィン・イラワヂ等の諸河が  
相並んで流れ、各下流に廣大な三角  
洲を造り、一山脈はマレー半島とし  
て長く南方に延びる。

熱帶性季節風帯に屬し、氣温によ  
る四季の別がなく、夏は南西風が卓越して雨季となり、冬は北東風が吹い  
て乾季となる。



印度支那の地形

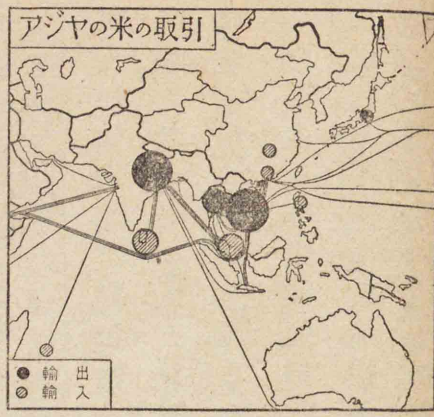
**産業**

各三角洲地域は米作の好適地で、高温多雨のため收穫年二回  
以上に及び産額頗る多く、ソンコイ河流域の米はハノイに集り、トンキン  
(東京米として外港ハイフォンから、メコン河流域のものはサイゴンに集り、  
サイゴン(西貢)米として同港から、メナム河流域のものはバンコクに集り、

タイ(泰米として外港パクナムから、イラワヂ河  
流域のものはラングーンに集り、ラングーン(蘭  
貢米として同港から輸出される。我が國にとつ  
て米の重要な補給地帯である。又この地方は  
栽培ゴム・チーク材・無煙炭・鐵・錫等の重要資源  
に富んでゐる。

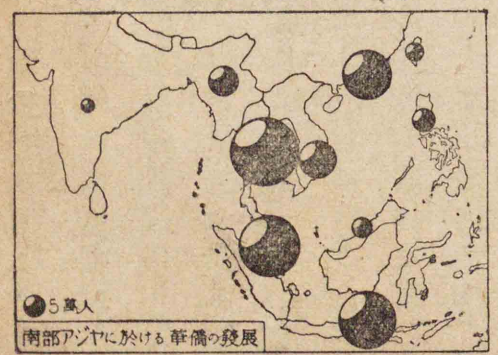
**處誌**

泰國(舊稱シヤ

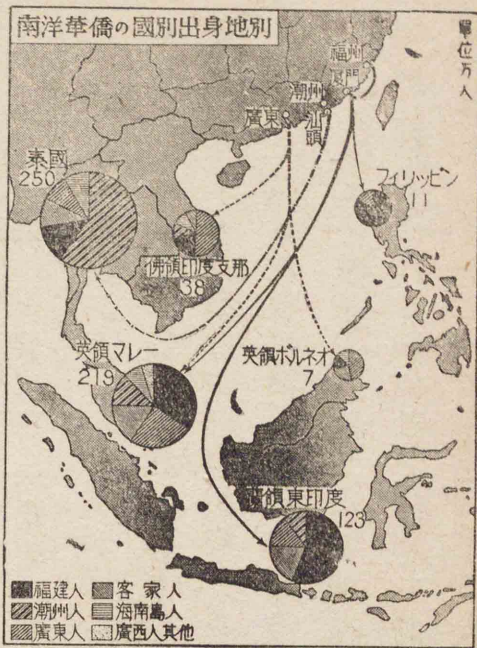


輸出 輸入

面積は約六二萬方呎で、我が國の約九割に相當  
し、人口は約一、五五〇萬で、住民の九割餘は佛教徒で  
ある。從來英・佛勢力の間の緩衝國として獨立を保  
つてゐたが、最近頓に國民主義勃興し、新興アジヤ民  
族として起ち、立憲君主國となり、我が國はこの國を  
援助し、日泰友好親條約を締結し、相共に東亞の共  
榮に貢獻することとなつた。嘗て天正・慶長の頃こ



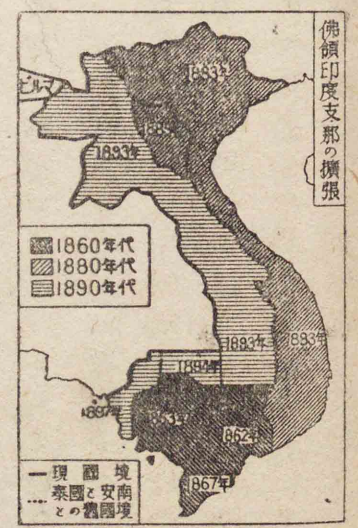
5萬人 南部アジヤに於ける華僑の發展



以上の輸出品に對し、輸入品は綿織物、食料品、金屬製品等である。輸出先はシンガポール、ピナン等で、我が國は六位であるが、輸入は我が國が首位で、シンガポール、英國これに次ぐ。華僑は二五〇萬人と稱せられ、商業方面を獨占し、精米業、製材業に進出してゐる。首府バンコク(盤谷)はメナム河に臨み、一國の政治、經濟、文化の中心で、バクナムを外港とする。近時東京との間に定期航空路が開かれた。鐵道は奥地のシエンマイまで通じて

みる。

佛領印度支那 面積は約六三萬方料で、我が國の約〇九倍に當り、人口は約二、二〇〇萬で、安南人が約七割を占め、佛人は三萬人に過ぎない。華僑は三〇餘萬人で、經濟的の勢力を殆ど獨占してゐる。

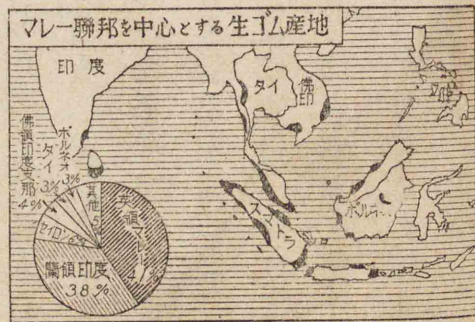
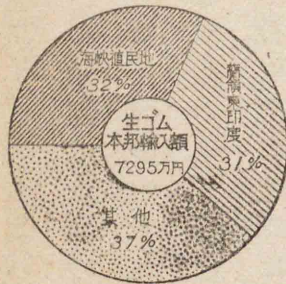
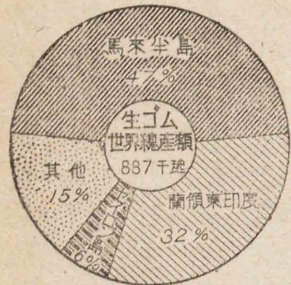


フランスは東洋經營に志し、安南國から交趾支那(首府サイゴン)の割讓を受けて直轄植民地とし、次に同國のカンボヂヤ(王都プノンペン)、トンキン(首府ハノイ)及安南(王都ユエ)それぞれ自身を保護國とし、シヤムからラオス國(王都ルアン普拉バン)を獲得して保護國とし、現在の佛領印度支那聯邦を構成した。尙その上隣接支那から廣州灣を租借し、ハノイから國境老開を経て昆明に

通ずる滇越鐵道を敷設した。米が主産で、棉花・ゴム・茶・甘蔗等も産するが、輸出の半は米で、ゴムは一割五分に當る。鑛産は石炭が主で、ホンゲイ(瀾基炭の名によつて我が國にも知られ、品質優良な無煙炭で、三分の二は我が國及附近の國へ輸出してゐる。錫・亜鉛・タンクステン等も産出して輸出される。輸入品は綿織物が主であるが、輸出入共、佛國が過半を占め、我が國は六位である。我が國が佛印と取引の少いのは佛國が輸入制限策を講ずるためであつて、邦人の在留者の少いのも外人の企業を極力制限してゐるからである。

交趾支那の首府サイゴンは佛印最大の經濟都市で、サイゴン河に臨み、汽船の航行自由で、又海軍根據地である。その外港シロンは輸出米の精米業の中心である。トンキンのハノイ(河内)はソッコイ河畔に位し、政治の中心で、總督が駐在する。航空路はパリとの間に開けてゐる。外港ハイフォン(海防)は東京第一の商工業地で、我が汽船も定期に發着する。安南のカムラン灣はバルチック艦隊の寄航地で知られる良港灣である。

英領マレー(馬來) 面積は約一三萬方呎で、海峽植民地・マレー聯邦・マレー非聯邦から成る。海峽植民地はシンガポール・マラッカ・ピナン等を含み、西洋人の東洋進出最古の根據地で、最初は葡人、次は蘭人、最後は英人によつて領有され、シンガポールはジョホール王との條約によつて割讓されたもので、ジョホールはマレー非聯邦に屬する。人口は約四六〇萬で、内マレー人は約二〇〇萬、華僑は約二二〇萬、印度人が約六〇萬で、歐洲人は僅か二萬人に過ぎない。ゴムはブラジルより移植した



たものから始まり、南米の野生ゴムの市場を奪つて、セイロン・蘭印産のゴムと共に世界市場を壓するに至つた。最大の産地はマレー聯邦で、マレー非聯邦これに次ぎ、ジョホール附近には邦

人のこの栽培に従事する者が多い。錫はゴムと並ぶ重要資源で、マレー聯邦が主産地で、その産額は世界の首位(四割)を占め、英支人の投資によつて採掘され、日米その他へ輸出される。鐵鑛はジョホール州をはじめ非聯邦に産し、採掘は我が國の手で行はれ、殆ど全部我が國に送られる。輸出取引國は米國が首位で、英日これに次ぐ、輸入は蘭印が主で、英日これに次ぎ、我が國は輸出入共第三位である。我が國より輸入する綿布、絹布類はこの地で輸入制限が加へられてゐる。シンガポールに於ては總人口七二萬中、五五萬までが華僑で各方面に勢力をもつてゐる。シンガポール(新嘉坡)・ピナンは各一小島上に在り、共に位置が優秀なために發達し、前者は東亞印度濠洲に至る三主要航路の焦點に當り、仲繼貿易が盛であり、又英國の有力な海軍根據地があり、ロンドンとの間には航空路が開けてゐる。シンガポールは香港と共に政治・經濟・軍事上の英國の東亞に於ける前進基地である。ピナン(彼南)はマラッカ海峽に臨むマレー第二の港市であり、マラッカは歴史的の港である。

ビルマ(緬甸) 面積は六〇萬方呎で、我が國より稍狭い。人口は一、四〇〇萬で、ビルマ人が約九割を占め、泰國と同様佛教徒が多い。嘗て王國であつたが、印度の一州となり、最近分離して英國の直轄植民地となつた。米作が主で、棉花・チルク材等を産し、石油・鐵錫・タンングステン等に富み、これ等を輸出するが、資本は殆ど英國系の獨占である。輸出入とも印度及英國が優勢で、我が國が輸出に於て第六位、輸入に於て第三位(綿織物・人絹織物等)を占めるのは輸入制限の結果である。イラワヂ川の下流平野に首府ラングーン、中流にマンダレー、雲南との國境にクンロン・バモ等があり、多くは鐵道で連絡され、英國が陸路により支那へ進出する通路に當る。

(一) 印度支那半島の重要資源について  
詳述せよ。

(二) 我が國と印度支那半島との關係を  
統括して述べよ。

### 位置區分

#### 二 マレー諸島

外南洋の南部を占め、我が臺灣の南に當り、米・英・蘭・葡四國

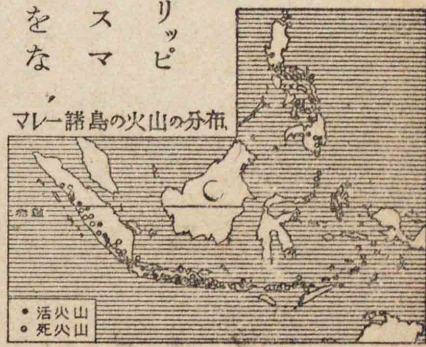
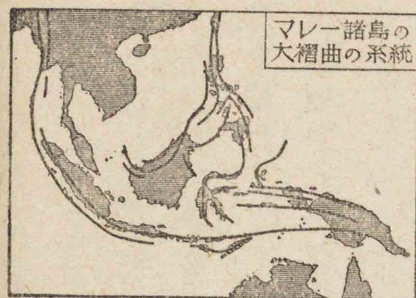
の植民地で、主なものは米領フィリッピン諸島、蘭領東印度に属するジャバ島、スマトラ島、ボルネオ島、セレベス島、モルッカ諸島等である。

**地勢・氣候**

臺灣の褶曲と火山とはフィリッピン・セレベス及ボルネオにつき、琉球海溝と相應するフィリッピン海溝がその東方にある。印度支那山脈の繼續はスマトラ・ジャバ・小スンダ列島の骨格を形成する一大彎曲をなし、その弱線に沿うて多くの火山が列狀に噴出する。

氣候は赤道の南北に跨るため純熱帶性で、氣温甚だ高く、年中の較差が殆ど無く、乾雨の二期にのみ分れるが、一般に降水量多く、從つて植物はよく繁茂する。

フィリッピン(比律賓諸島) バシ海峡を隔てて臺灣と相對し、面積は約二九萬方呎で、我が朝鮮・臺灣・樺太を合したもののよりも大きい。人口は一、五〇〇萬で、フィリッピン

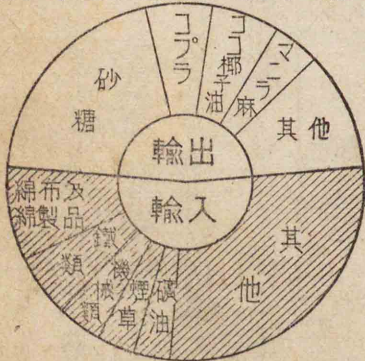


麻切倒作業中の本邦移民

人(褐色人種)が總人口の九割を占め、白人・華僑との混血も多く、歐米化されてゐる。スペイン領から米領となり、最近は自治を許され、一九四六年に完全に獨立することになつてゐる。白人は僅かに一萬二千人に過ぎず、華僑は約一一萬人である。

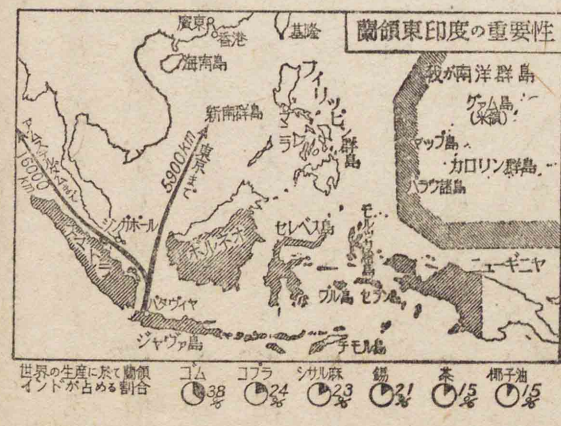
るが、新な入國を禁ぜられ、邦人は約二萬一千人で、内一萬四千人はダヴァオに集つてゐる。華僑はこゝでも經濟的に活動してゐる。農業が主で、米・甘蔗糖・コブラ(世界一位)・マニラ麻(一位)・煙草等を産し、又ラワン材に富み、我が國へも輸出し、南洋材として知られてゐる。鑛産は金・鉛等を産し、鐵鑛は石炭に乏しいため殆ど全部我が國へ輸出される。我が國にマニラ麻・木材・鐵鑛・葉煙草等を輸出するのに對し、我が國から綿織物・人絹

フィリッピンの輸出入品

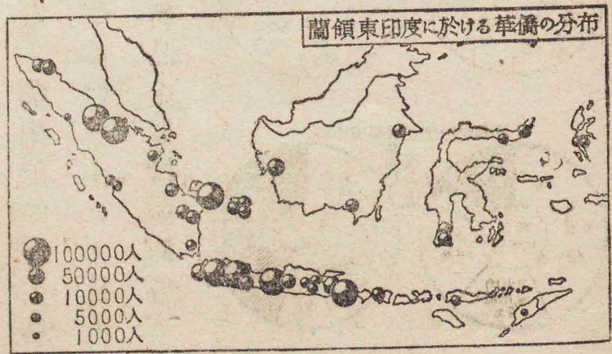


織物・メリヤス等を輸入する。取引國は米國が首位で、我が國これに次いでゐるが、近時輸入制限を受けてゐる。首府マニラはルソン島の中心港市で、米本國とは太平洋横斷航空路によつて連絡してゐる。附近のカヴィテは米海軍の重要な根據地である。ミンダナオ島のダヴァオは邦人經營のマニラ麻栽培の中心地で、外南洋第一の我が拓植開發地を成し、麻の産額は全比島の三分の一に及び、輸出量の七割は邦人商社が扱つてゐる。我が汽船はマニラ・ダヴァオ・サンボアンガ等に寄航する。

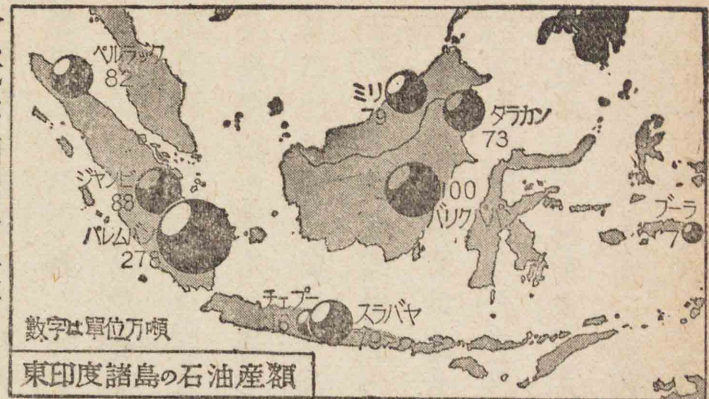
蘭領東印度 面積は一九〇萬方料で、我が國の三倍に近く、和蘭本國の五八倍に當る。人口は約六、一〇〇萬で、その約七割はジャヴァ島に住み、同島の密度は三一五人で世界第一位を占めるが、その他の諸島は密度極めて小である。土人は約五、九〇〇萬(九八%)で、華僑は一二三萬蘭



人は二四萬、邦人は約七、〇〇〇人で、蘭人の大部分は蘭印生れか混血兒である。この地の華僑も各社會に優勢である。東印度會社所有から和蘭本國の植民地となり、總督がバタヴィヤに駐在してゐる。米作の外、ゴム(世界二位)、甘蔗糖、茶、コーヒー(三位)、規那(一位)、椰子油(一位)、コブラ(二位)、煙草、香料、カポック(二位)等の熱帶農産物を豊富に産し、何れも大部分輸出される。砂糖はジャヴァ糖として世界的に知られ、粗糖を我が國



及歐洲に輸出する。紅茶はジャヴァが主産地で英國へ送る。ゴムは英領マレーに次ぎ、世界の約三分の一を産し、遅れて發達したものであるが、今やジャヴァは勿論、スマトラ・ボルネオ等にも發展性が大きい。規那はキニーネの原料として世界の需要の約九割を供給してゐる。鑛産は錫、石油共に名高く、錫は世界の約二割を産し、パンカピリト

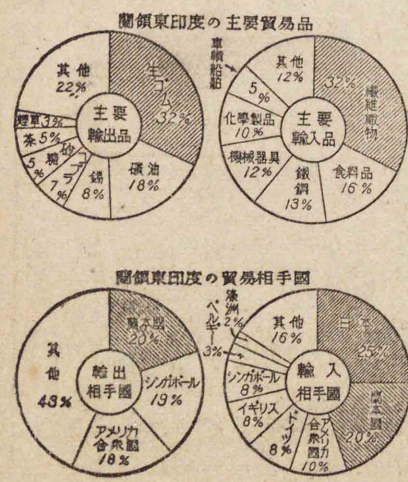


数字は單位万噸

東印度諸島の石油産額

シンケブの三島に採掘され、その五割は米・日・英等に輸出し、米國は最大の取引先である。石油はスマトラ・ボルネオ・ジャバ等に産出し、シンガポール・日支等に輸出し、英米の會社が採油權と販賣を競ひ、我が國も若干参加してゐる。輸出品のゴム・石油・椰子油・錫・砂糖・茶・コブラ・煙草・香料・コーヒ等。對し、輸入品は綿織物・綿絲・食料品・金屬機械類等で、輸出先は蘭・シンガ

ポール・米・英・日の順位で、輸入相手國は日蘭米獨英の順位で、我が國が首位である。我が國へは石油・ゴム・砂糖・木材等を輸出し、我が國から土人向綿布・人絹布・鐵器類・自轉車・陶磁器・雜貨類

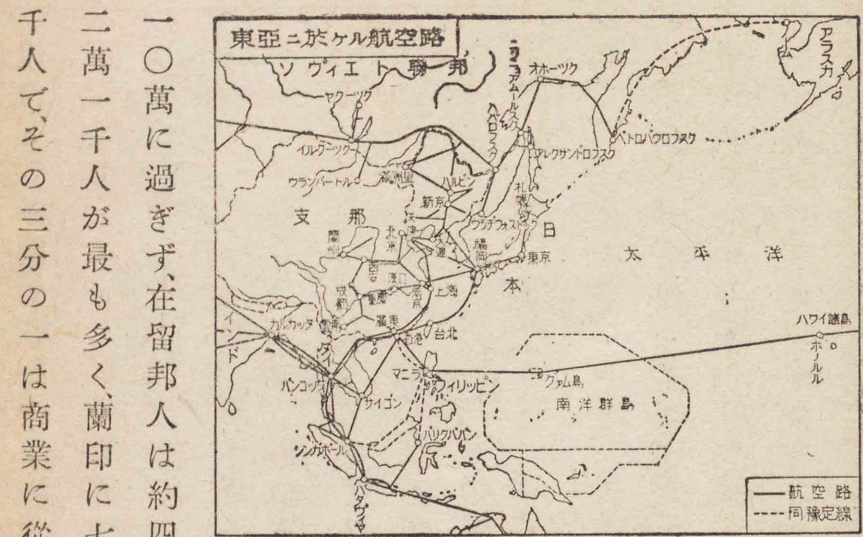
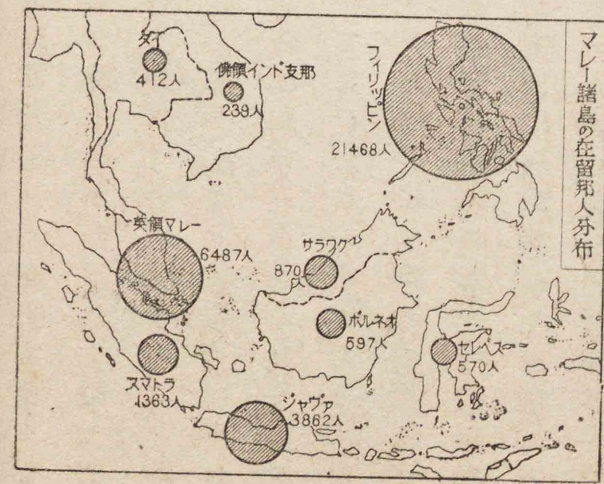


ジャバ島に於ける邦人商店分布

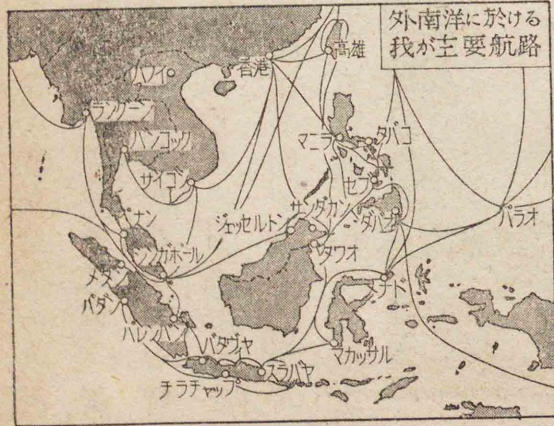
が多く輸入され、殊に綿布は英領印度に次ぐ主要市場で、その進出が著しかつたので、最近日蘭會商が行はれて輸入制限を受けた。オランダ本國の阿姆斯特ダムとバタヴィヤとの間には定期航空路がある。ジャバ島は米・甘蔗・茶・コーヒ・煙草・規那石油等に特色が見られ、首府バタヴィヤはその西部にあり、政治・經濟・文化の中心で、又有數の港市である。同島東部のスマタラ、中部のサマランは共に砂糖の輸出港である。スマトラ島は煙草・ゴム・茶・椰子油・コーヒ・石油・錫等に特色が見られ、北部にメダン、南部にパレンバン、西部にパダン等がある。ボルネオ島はゴム・コブラ・木材・石油等に特色が見られ、バリクパパン・バンジール・シンボン・チャナク等の中心があり、英領ボルネオには中心サンダカン・タワオがある。セレベス島はコブラ・香料(肉荳蔻)に特色があり、メナド・マカッサルが中心である。モルッカ諸島は香料(丁香)・小スンダ諸島はコブラの主産地である。

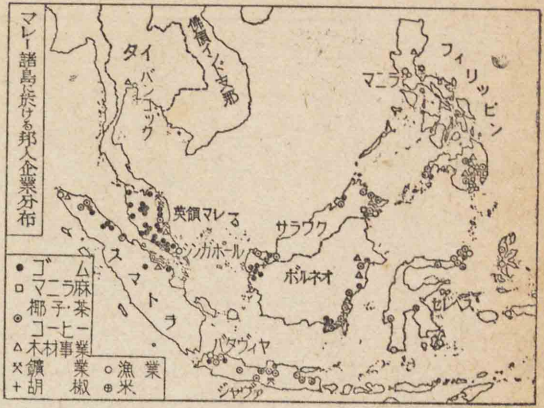


南洋と我が國との關係 南洋の資源の世界に於ける地位は、ゴム九割、椰子油四割、コブラ七割半、規那九割、麻五割半、米二割、錫五割半、錫鑛五割半、タンゲステン一割、石油三分で、東亞共榮圈としてブロック經濟構成のために必要なゴム、麻、砂糖、棉花等の熱帯農林資源、錫、石油、鐵鑛、無煙炭、ニッケル、マンガンの鑛物資源をこの地方は包藏してゐる。鯨鮪の漁獲のためにも我が漁夫は出漁してゐる。泰國以外は歐米の植民地で、政治的經濟的にその勢力圏内にあり、歐米人は農業投資植民地として農園農業を行ひ、輸出向原料及食糧品等を生産してゐるが、これ等は我が國の夙になすべきことであつた。而して歐米人は工業未發達のこの土人に對して精製品を輸出しつゝある。これこそ東亞のブロック内に於て供

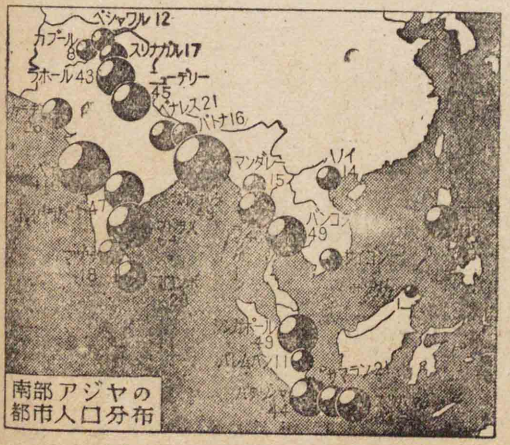


給さるべきもので、我が綿織物その他の工業品の最近の進出はこれを證するものである。英佛蘭米諸國人は本國から自國船による航路と航空路を有し、經濟的關係の維持發展に努めつゝある。これも我が國の汽船の進出すべき所である。全人口一億三千萬に對し歐米人は僅かに一〇萬に過ぎず、在留邦人は約四萬人で、比島の二萬一千人が最も多く、蘭印に七千人、英領に七千人で、その三分の一は商業に従事し、殊に小賣





商店が多く、輸入卸商も相當に進出してゐる。その他は水産業工業農業に従事してゐる。南洋の華僑は六百萬人と稱せられあらゆる事業とあらゆる地域に浸潤してゐるが、新式工業及貿易事業には歐米人に壓倒されてゐる。邦人が進出の遅れた理由は、歐米諸國に比し發展上立遅れたこと、從つて有利な經濟的條件を與へた資源開發事業に先鞭を着けられたこと、最近では政治的理由から邦人の入國制限、企業上の障礙等が多くなつたこと、種々の人種が居て邦人に對する感情の誤解のあること等で、英蘭佛米の警戒華僑の排日の如きは、その例證である。



南部アジヤの都市人口分布

が、泰國民とは益、友好關係にあり、多數を占める土人は日本人に親しみを感じてゐる。華僑の好惡も時に變化がある。世界的の大變動は歐米の支配的植民地から脱して、東亞人の東亞共榮圈の完成に好機を與へつゝあり、貿易投資移住の發展、華僑との親和互助も遠からず實現さるべきである。

- (一) マレー諸島と我が國との氣候産業を比較せよ。
- (二) 熱帯植民地としての外南洋と各本國との關係を説述せよ。
- (三) 我が國とフィリピン諸島及蘭領東印度との關係を別々に説述せよ。
- (四) 我が國と南洋との關係を總括して述べよ。

第四節 極東シベリヤ

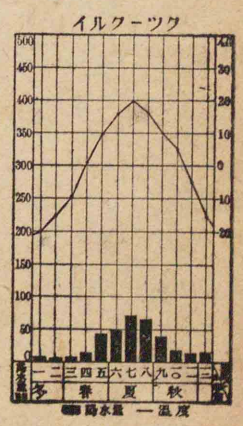
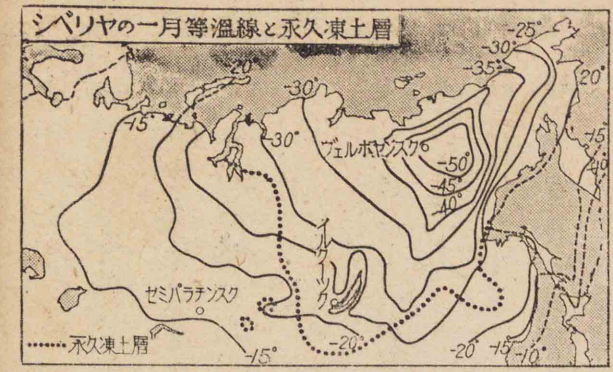
位置・區分

シベリヤは略北緯五〇度以北を占め、西はソ聯本國に、南は支那及滿洲に接し、東は我が國及ベーリング海峡を隔てて北米大陸に對する。外蒙古滿洲朝鮮樺太等に於て、日滿支三國と密接な關係がある。

シベリヤの面積は約一、二〇〇萬方呎であるが、こゝには東亞の外郭として極東シベリヤ(イルクーツク州以東)を述べる。地理的に大別すると高地帯・森林帯・凍土帯の三區となる。

**自然**

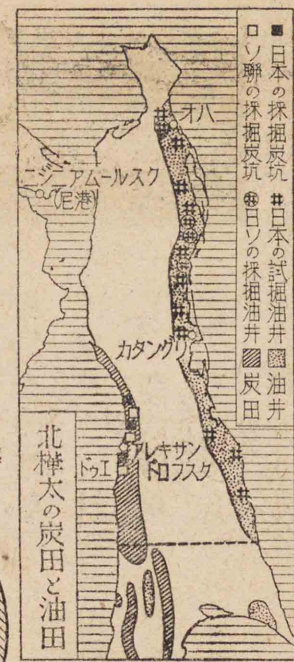
東部は高地帯をなし、スタノヴォイヤブ、ロノイサーヤン等の山脈が走り、その縦谷にバイカル湖を湛へ、又黒龍江・レナ河等の本支流が流れるが、一般に高臺性で、西部の斜面にはエニセイ河が北流する。太平洋岸にはオホーツク海・カムチャッカ半島及樺太島の變化があり、カムチャッカ半島には火山が多い。ソ連領北樺太は我が南樺太と同一地形の繼續で、大陸と間宮海峡で境する。



高緯度の地方であるから寒暖の較差が大である上に、東部には山脈があつて海の影響を絶ち、北極海からは寒風が容易に吹き込むため、内陸は一層較差が甚だしく、ヴェルホヤンスクの如きは一月と七月との較差が六〇度に達する。降水量は少く、一般に乾燥して凌ぎ易い。

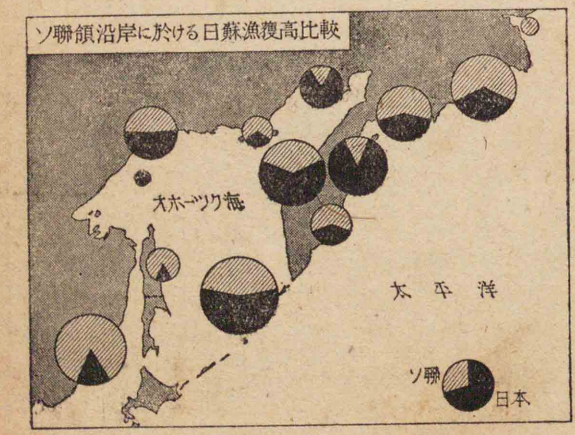
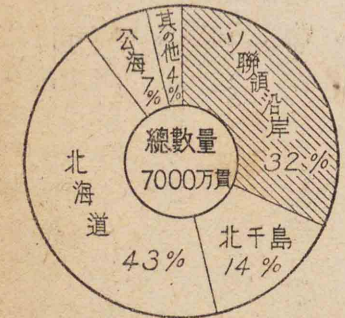
**人文處誌**

北樺太の中心は



クテ、我が國は尼港事件の代償としてオハ油田及ドウエ炭田の採掘權を得た。ソ連領内の日本海・オホーツク海及ベ

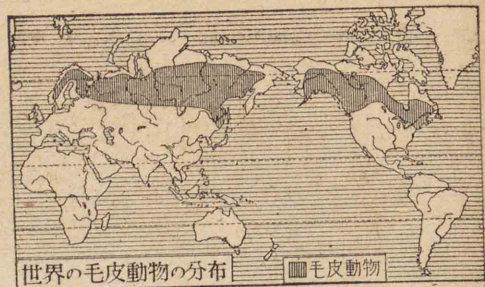
北洋に於ける鮭鱒の漁獲高百分率





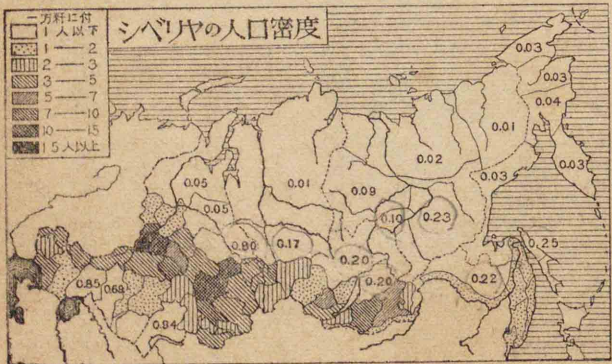
ウラヂヴォストック港

イリシグ海は世界三大漁場の一つで、日露戦役の結果我が國の漁業権が確認せられ、鮭・鱒・蟹・鱈等を漁獲する所が謂北洋漁業に出漁する邦人が多く、黒龍江のニジニアムールスク(ニコライエフスク)、カムチャッカのペトロパウロフスクはその根據地で、鮭罐詰類は主に英國へ輸出される。膾炙の繁殖地としてコマンドル諸島がある。黒龍江流域及それ以西の山地には金銀鐵石炭等の礦物を埋藏し、一部は採掘され、農業も亦行はれる。シベリヤ鐵道はウラヂヴォストックからカリムスカヤまでは國境を走る極東線、黒龍江線等で迂回し、イルクーツクを経て、モスコに達する。ハルビン經由の場合は滿洲の濱洲濱綏兩線を利用する。この鐵道は露國が極東に發展せんとする政治上軍事上のために設けたもので、歐亞の連絡のために役立ち、鮮滿から滿洲里經由が最も時間の短縮になる。冬は橇の使用が盛である。黒龍江は冬季凍結するが、他の季節は水運が便で、ニ



世界の毛皮動物の分布

ル湖の東にチタ、西にイルクーツクがあり、共に交通經濟の中心で、イルクーツクは炭田によつて重工業が興りつゝある。森林帯は寒帯性針葉樹の密林が東西に連なり、中に住む狐、貂から貴重な毛皮が獲られ、ヤクーツクはその取引の中心である。樹木限界の北は凍土帯(ツンドラ帯)で、一年の大部は地下深く



シベリヤの人口密度

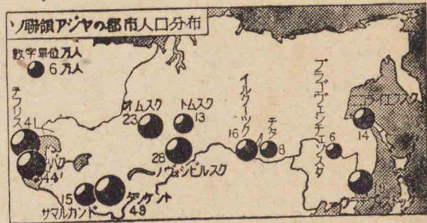
ジニアムールスク、ハバロフスク、ブラゴヴェシチンスク等の河港があり、河畔のコムソモリスクは新興工業都市である。海外貿易はウラヂヴォストックで行ひ、北滿との國境貿易はブラゴヴェシチンスク、外蒙古との取引はキヤフタに於て行はれる。ウラヂヴォストック(浦鹽斯德)は重要な門戸で、我が敦賀及北鮮との關係は頗る密接であるが、冬は碎氷船を必要とする。バイカ

西部シベリヤ 極東シベリヤの高地帯から西部シベリヤに下ればオ

### 第三章 西部シベリヤ及中亞

(一) 極東シベリヤの資源を述べよ。 (二) 極東シベリヤと我が國の關係を述べよ。

ロシア人は近來國境を越えて外蒙方面に發展し漸次勢力を占めるに至つた。シベリヤは行政上從來のロシア本國と共にソヴェト聯邦を組織する。

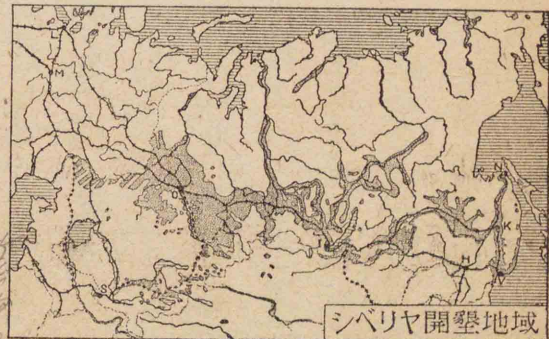
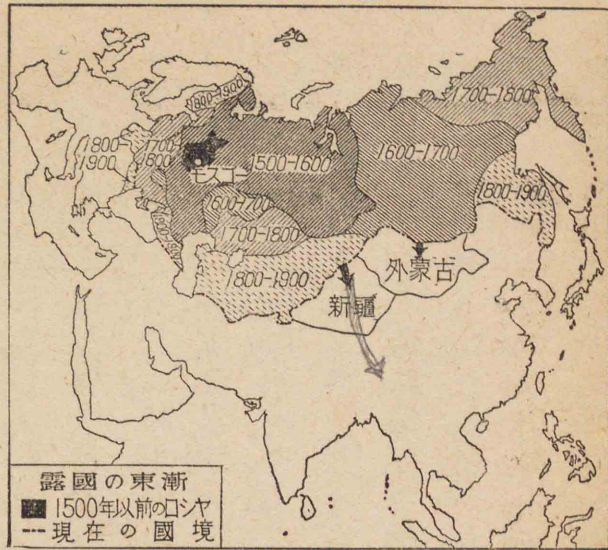


移民がシベリヤへ



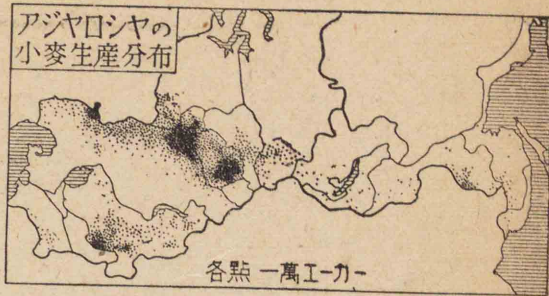
外バイカル地方の農村

て經營したが、開拓の進むにつれ自由移民が増加し、シベリヤ鐵道開通後はその沿線に著しく發展した。我が國と特殊關係にある滿洲國との接壤地域であるため、シベリヤと我が國とは重大な關係を有し、彼我の國防は緊張状態にある。



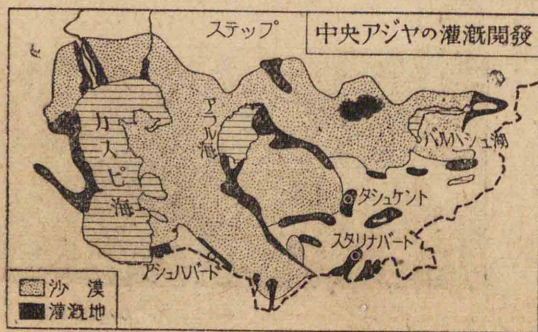
露國は最初、國事犯の流刑植民地とし

凍つてゐて、夏季は地表に苔が生じ、馴鹿が飼はれる。住民の九割はヨーロッパから移住したスラヴ族で、ギリヤーク、ツングース等の土人は人口少く、遊牧狩獵を營む。



ある。西部シベリヤもソ聯共和國の一部で、最初のシベリヤ移民の入植した地方である。

**中亞** 北部はシベリヤに續く草原で牧畜が行はれ、南部は概ね沙漠であるが、シル河アム河等による灌漑工事が大規模に進み、棉の産出が多く、水力發電



により沙漠中の鹽硫黄銅石炭石油が利用せられて工業が興りつゝある。ここもソ聯共和國の一部でこの地方の中心はタシケントである。ロシア人はこの地方から新疆地方に勢力を伸しつゝある。

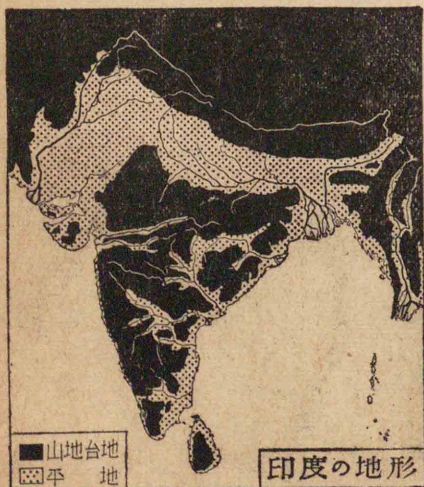
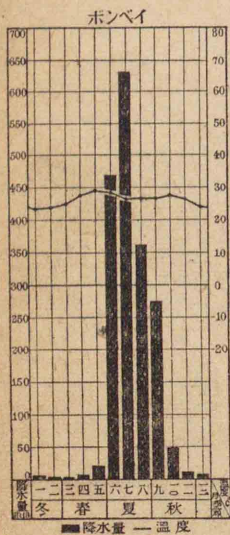
#### 第四章 印度

##### 位置區分

印度は南部アジアの中央に突出する半島で、行政上の印度帝國からベルチスタンを除き、セイロン島を加へたもので、面積約三八〇萬方呎、地理的に分てば**半島部****印度平野**と**マラヤ山地**の三區となる。

##### 地勢

半島部のデカン高原は古い硬い岩石の臺地で、西部は熔岩で蔽はれ、その西縁を

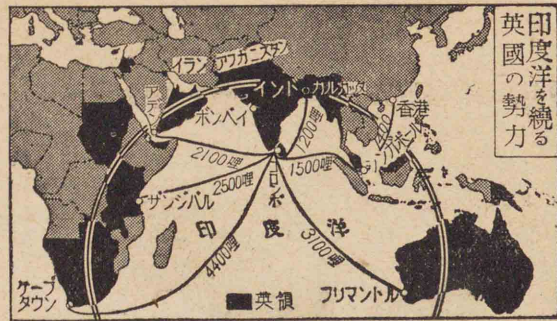


及パンジヤの乾燥地がある。

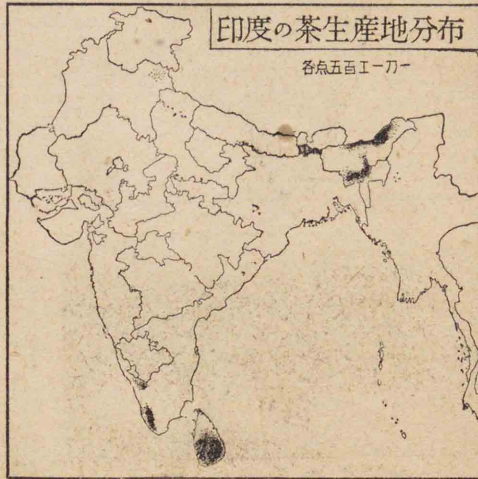
マンデル海岸の外は雨量が極めて少い。年中最寡雨なのはインドスの流域で、そこにタール沙漠

**處誌**

セイロン(錫蘭)島は半島の尖端に横はり、紅茶は良質で知られ、コロombo港から盛に輸出する。コロomboは印度洋上の位置優秀なため、



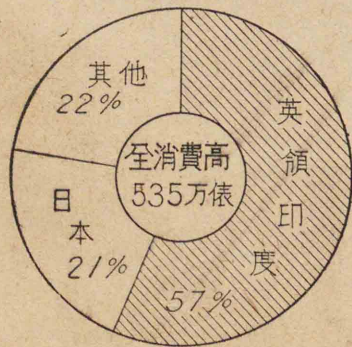
印度洋を繞る英國の勢力



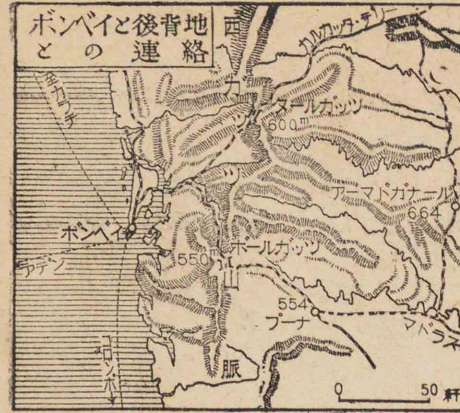
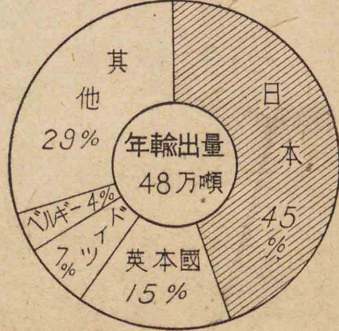
印度の茶生産地分布  
各点五百エーカー

冬は反対季節風が吹き、コロ

印度棉消費高百分率



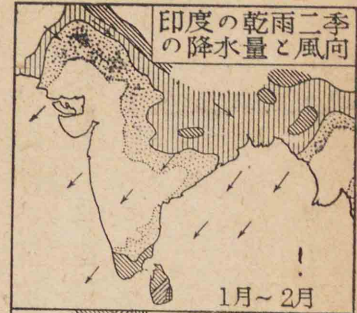
英領印度の棉花輸出先百分率



は若い褶曲山地で、高峻を極め、世界の最高峯エヴェレスト山がある。南北兩高地間の印度平野は、インダスとガンジスとの二流が相反して流れ、ガンジスの下流とブラマプトラ河との會合點に大三角洲がある。雨量はマラバル海岸及ビルマ山地の西麓に多く、殊にアッサム丘陵地は世界最多雨の地である。

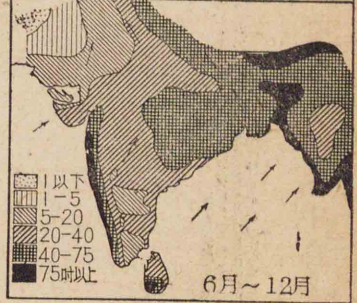
**氣候**

純熱帶性で、夏は南西季節風卓越し、



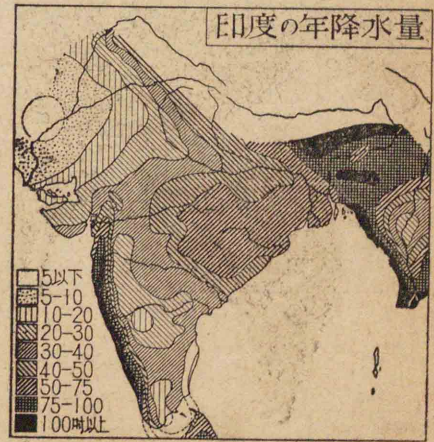
印度の乾雨二季の降水量と風向

1月~2月

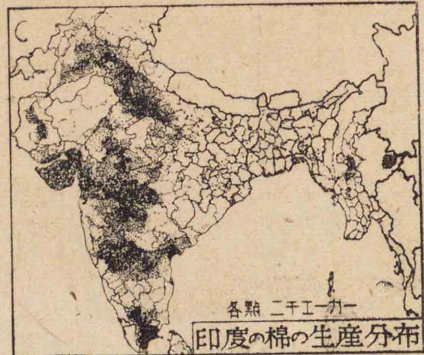
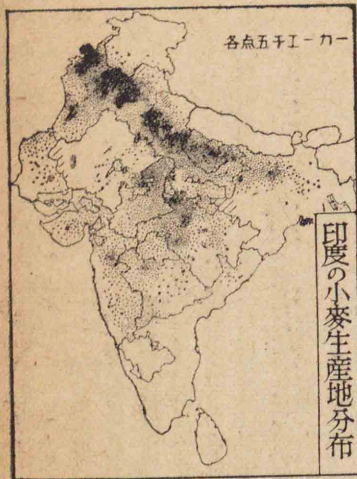


6月~12月

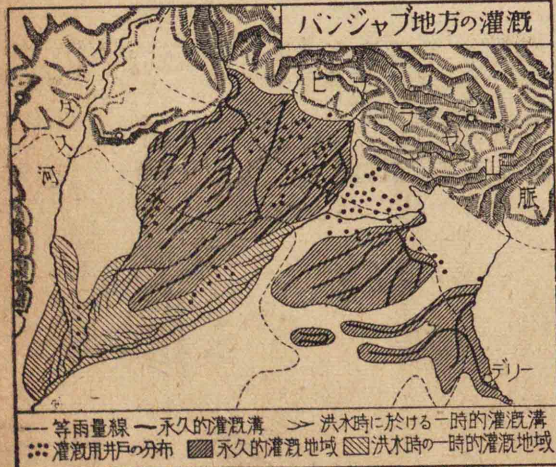
西ガーツ 山脈と 呼ぶ 北方の ヒマラ ヤ山脈



印度の年降水量



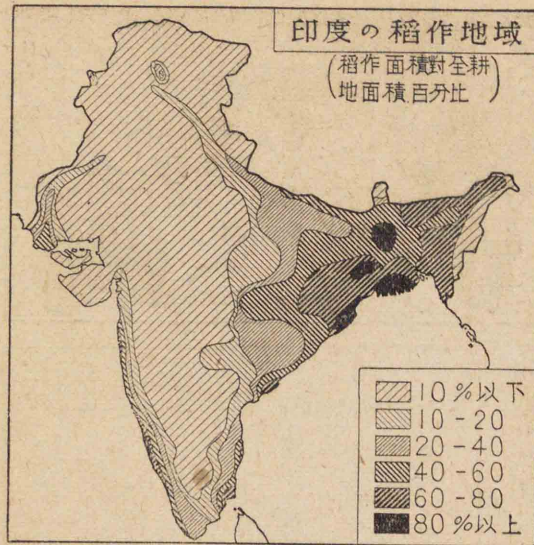
印度は風土よく農牧業に適し、その生産は多種多様で、米(世界一位)、小麦(世界一位)、甘蔗糖(一位)、棉、コーヒー、茶、ジュート(一位)、阿片、牛(二位)等の産が特に



パンジャブはヒマラヤの融雪の水を引く大規模の灌漑設備によつて小麦の大生産地帯と化し、カラチはその輸出港である。

**産業**

ヒマラヤ山地は支那との間に一大障壁をなし、前山にあるダーチリングはカルカッタに在るベンガル政廳、シムラはデリーに在る印度政廳の夏季の避暑地で名高い。

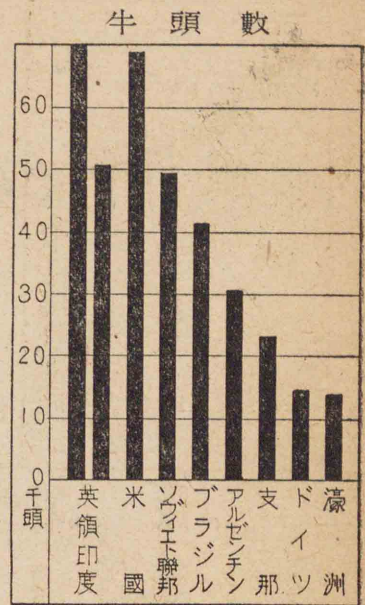


マドラス附近の田植

印度平野 高温多湿で米は年二回以上の收穫がある。茶はアッサム丘陵の傾斜地が多産地で、ジュート(黄麻、藍、甘蔗等)は低地に産する。平野の經濟上の中心都市カルカッタは貿易港で、印度の政治の中心都市はデリーである。

英國はこの島を特に直轄植民地とした。デカン高原西部の黒土地方は地味肥え、保水力強く、棉の絶好の栽培地である。ボンベイ孟買はこの地方と容易に連絡し、世界屈指の棉の集散地となり、綿絲紡績綿布の製造が盛であるが、尙日英から輸入する。棉花輸入のため我が汽船の來往が多い。東部は、粟、米、鐵礦、マンガン、石炭等を多く産し、海岸にマドラスがある。

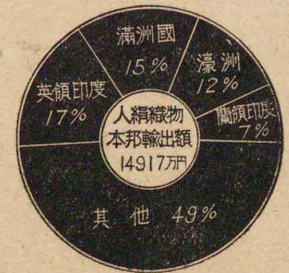
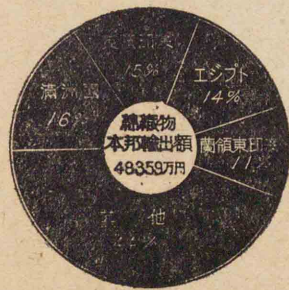




夥しい。石炭鐵鑛マンガン(二位等に富み鐵鑛は五割を輸出する。工業は尙振はず、綿絲綿織物の製造獨り盛で、製麻がこれに次ぎ、前者の中心がボンベイであるのに對し、後者の中心はカルカッタである。

外國貿易は主として原料品棉花・ジュート・採油原料・鑛物皮革綿絲等及食料品

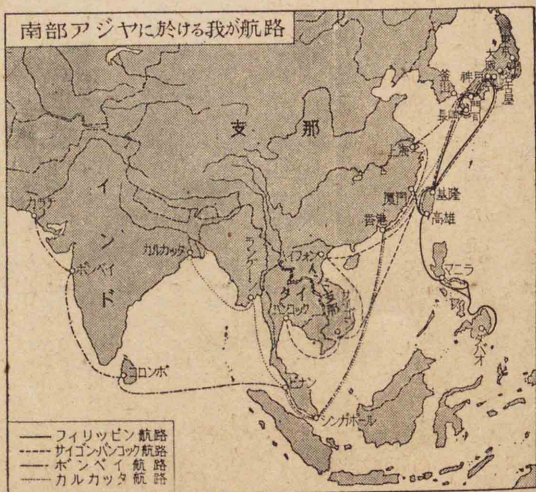
(米・小麥・茶等)を輸出し、精製品綿織物金屬機械器具等を輸入し、貿易額は多大である。取引は英本國との關係最も深く、我が國これに次ぎ、近時英本國と我が國と貿易上の競争が甚だしく、日印會商となり、輸入品が制限された。我が國へは棉花・銑鐵・麻皮革・豆類・鑛物等を輸出し、又綿織物・綿絲・人絹織物・絹織物・人造絹絲・硝子製品・毛織物・鐵及鐵



製品メリヤス・生絲・陶磁器等を輸入する。

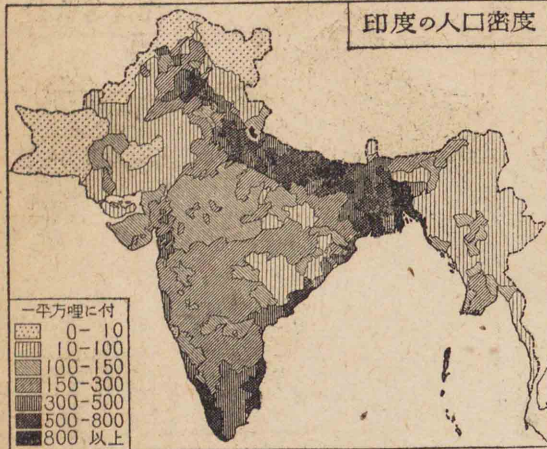
英國が鐵道網の發達に努力したため、印度平野は極めて密である。航路はカルカッタ・ボンベイ・コロンボ及カラチ等より諸外國に通じ、我が汽船もボンベイ・カルカッタに

航路を開く。英本國との間には、カルカッタ・マドラスから連絡航空路がある。

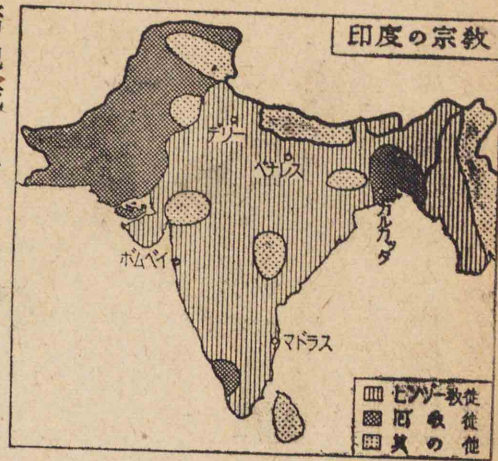


### 住民政治

原住民族のドラヴィダ族はデカン高原の一部に残存する。ヒンヅ族は住民の大部分を占め、古代文化の進歩は著しかったが、今は文化は不振の状態にある。然



印度の宗教



密地域はガンジス下流の平原で、疎な所はインダスの平原にあり、半島部も海岸を除けば餘り大でない。

歐洲人の東漸以來、葡佛經營の後を受け、東印度商會の經營が成功して、印度帝國が成立し、イギリス王が印度皇帝を兼ね、皇帝の任命した總督がこれを治めてゐるが、自治權獲得よりも完全獨立の要望が盛である。

- (一) 我が國と印度との關係を詳述せよ。
- (二) 印度の産業と交通につきて詳述せよ。

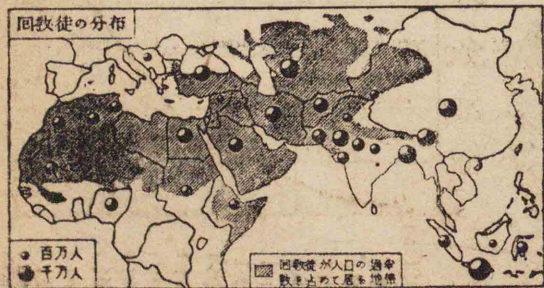
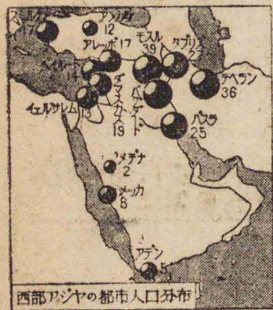
- (三) 印度の氣候と産業の關係を述べよ。
- (四) 印度と英國との關係を述べよ。

### 第五章 西亞地方

一般に高臺で乾燥地域をなし、酷熱で而も寒暑の較差が極めて大であるが、地中海沿岸のみ所謂地中海性氣候である。この地方は回教圈の中樞で、近時我が綿織物その他の商品の輸入が顯著となり、將來我が商圏の發展すべき地域である。

#### 第一節 北部高原

(一) イラン地方 印度の西に在り、諸山脈に圍まれた内陸流域の高原で、概ね沙漠をなし、従つて遊牧が主





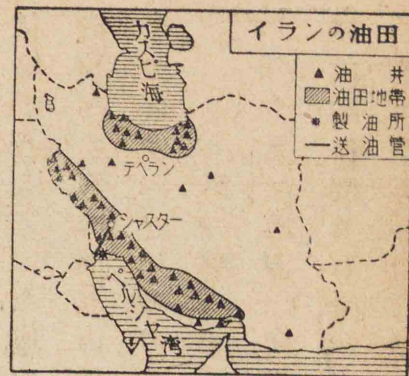
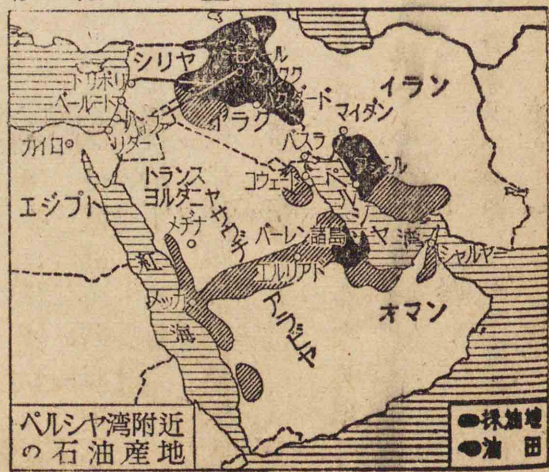
イル(スミルナ)は港市である。  
 (三)コーカシヤ ソ聯に屬し、コーカサス山脈の南のバクIの石油は世界的に著名で、黒海沿岸のバツIムから輸出する。

第二節 メソポタミヤ(イラク)

チグリス・ユウフラテス兩河の平野で、雨量は少いが山地に養はれた河水の潤で古代文化の發達した所今はバグダード・モスル地方の油田が重要視される。バグダード鐵道はイスタンブールの對岸スクタリより發し、バグダードを経てペルシヤ灣頭に達する。

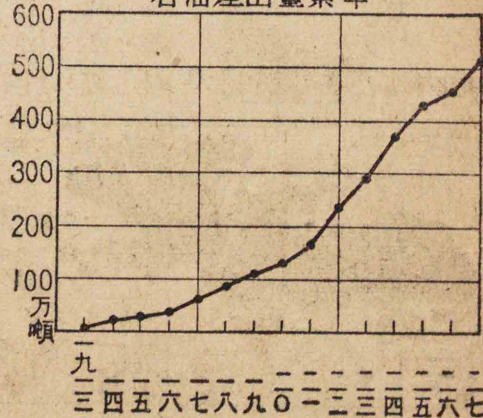
第三節 アラビヤ半島

卓狀の一大地塊で、紅海地溝帯によつて、アフリカ大陸から分離したもので、地理的には北アフリカに酷似する。



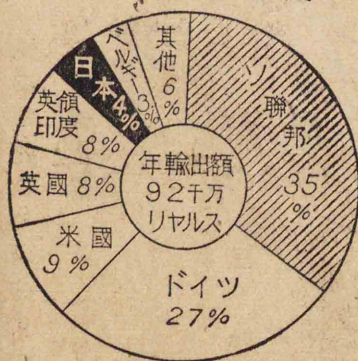
である。  
 (1) ベルチスタンは印度帝國の一部である。  
 (2) アフガニスタンは英ソの緩衝地帯をなす立憲王國で、首府をカブールといふ。(3) イ

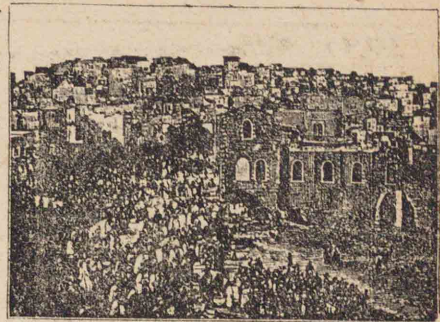
イランに於ける英國石油會社の石油産出量累年



ラン(舊稱ペルシヤ)は英ソの緩衝地帯で、イラン族の立憲王國である。油田世界四位は大いに世界の注意を惹き、泉地テヘランが首都である。  
 (二)トルコ(土耳其) 小アジア半島の高原を占めてゐる共和國で、第一次世界大戰の結果歐亞に互る廣大な領土を失つたが、近時國勢の振興に意を用ひてゐる。首府はアンカラでイズミ

イランへの主要輸出國





ベテレヘムに巡禮の到着

(一) シリヤ地方 地中海性の景觀をもつて、内陸は沙漠に漸移する。パレスチナはユダヤ人の郷土であるが、英國の統治下にアラビヤ人と争つてゐる。この地はキリスト教の發源地で、ベテレヘムはキリストの誕生地、エルサレムは墳墓の地、共に巡禮參拜者が古今を通じて多い。シリヤは佛國の委任統治下であり、泉地のダマスカスは隊商貿易の中心である。トランスヨルダニヤ(テラク)は英國の委任統治下にある。

(二) アラビヤ(サウヂアラビヤ等) 沙漠が主で、紅海沿岸は回教の發源地で、マホメットの誕生地、メッカ及墳墓の地、メチナは巡禮者が絶えない。

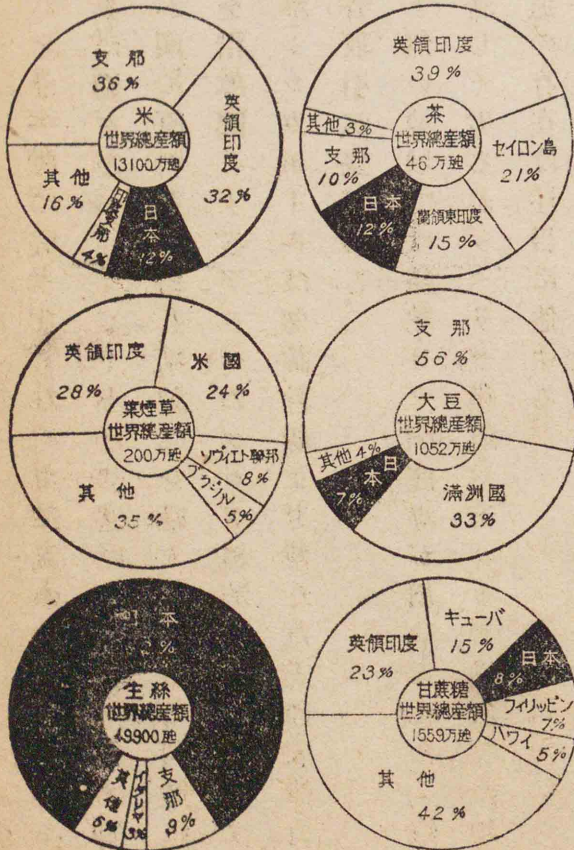
(三) アデン 紅海の口を扼し、交通上軍事上重要な位置にあるため、夙に英國の直轄植民地となつた。我が綿布の輸入港である。

(一) 西亞に於ける列國の勢力を説述せよ。  
(二) 西亞の資源及民族について説述せよ。

## 第六章 アジヤの人文總説

### 産業

古來農業が最も主要な産業で、季節風帯の米・茶・大豆・生絲等は世界に於て殆ど獨占的主産地で、棉・煙草・ゴム・甘蔗糖等は新大陸と對立する主産地である。比較的低温寡雨な北滿・パンジヤ・シベリヤ草原帯は小麦を産する。牧畜は耕地帯では舍飼、草原帯では放牧が行はれる。石炭・鐵は東亞、石油は西部高原、ビルマ・マレー諸島、金はシベリヤ、錫はマレー半島に産するが、未だ採掘は充分でない。近代



的工業は我が國を除いては一般に盛でなく、ただ東洋風の美術品が所々で手工的に製造されるに過ぎない。アジア洲は農産は多いが工業は振はないため、歐米及我が國に原料を供給し、精製品を購入する貿易状態にあるが、これは我が國を指導國とするアジアのブロック經濟を新に建設すべきである。上海、香港、シンガポールは勿論、幹線より離れた大連、天津、カッタ、ボンベイ等も各取引が盛である。

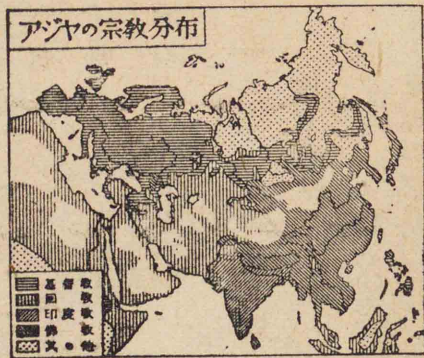
### 交通

鐵道の殆ど無い地域では駱駝、ヤク、馴鹿等が用ひられる。鐵道網は歐米に比して著しく劣るが、シベリヤ鐵道、バグダード鐵道等の如き政治的意義ある鐵道の存在は注目し得る。

航路は上海、香港、シンガポール、コロンボ、アデン及スエズ等を経由する幹線が最も交通頻繁で、生産能力の最も大なる季節風帯を貫いてゐる。

### 住民

ヒンヅ族は東洋化したヨーロッパ人種であるから、ヒマラヤ山脈はヨーロッパ人種とアジア人種との鋭い境界線である。スラヴ族は又シベリヤ鐵道に沿うて極東まで侵入した。これに反しアジア人種の



トルコ族は嘗てヨーロッパに威を振つた。漢族は北は滿蒙南は印度支那半島、マレー諸島にまで所謂華僑として大發展をなしてゐる。マレー諸島には大陸と異なるマレー人種がある。苗族、ドラヴィダ族の如き原住民族が侵入者に壓迫されて、一隅に残存するものもその例が少くない。ヨーロッパ人種は熱帯植民地に於ては、英、佛、蘭共に支配階級の少數の人に限られ、労働者には漢族、ヒンヅ族等を使ふ。佛教、基督教、回教等の如き世界の大宗教は悉くこの大陸から發源し、佛教は東部に、回教は西部に、基督教は各地に行はれる。外に喇嘛教、ヒンヅ教、儒教、道教等がある。

人口は約一二億で世界全人口の過半を占め、その大部分は季節風帯に住み、殊に支那の東部平野と印度平野とは世界有数の集團地である。これに反し、沙漠草原及森林帯は極めて人口が稀薄で、極端な對照をなす。

政治

歐米の植民地又は委任統治地が多く、獨立國は唯一完全な我が國を除いては、滿洲國・支那・タイ・イラン・トルコ・アフガニスタン等で、然も支那は國威振はず、四疆より列強の勢力が及び、タイ及イランは緩衝地帯として、トルコは縮小された國家として存在するが、今はアジア民族國家として我が國に倣つて新興の意氣に燃えつゝある。然るに英領印度・佛領印度・支那・蘭領東印度・ソ聯領アジア等は皆各本國にとつて最も重要な植民地としてその維持に苦心してゐる。イギリスは又主要幹線航路の寄航地として、香港以西適當な間隔を以て半島部の突端を巧に直轄植民地として所有する。かゝる國際情勢のもとに於て、我が國は東亞共榮圈の盟主として、アジア民族の指導に任じてゐる。

(一) アジャに於ける産業と氣候との關係を統括して述べよ。

(二) アジャに於ける歐米各國の勢力を統括せよ。

(三) アジャに於けるブロック經濟について説述せよ。

(四) 我が國にとつてアジャのどの地方が重要であるかその理由を述べよ。

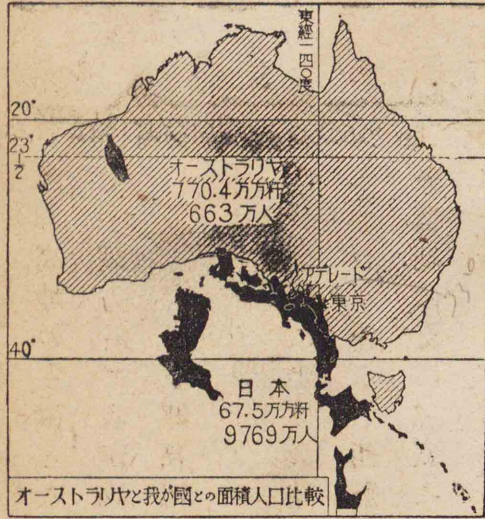
バクターの油田



オーストラリアの小麦の積出

オーストラリアの綿羊の群

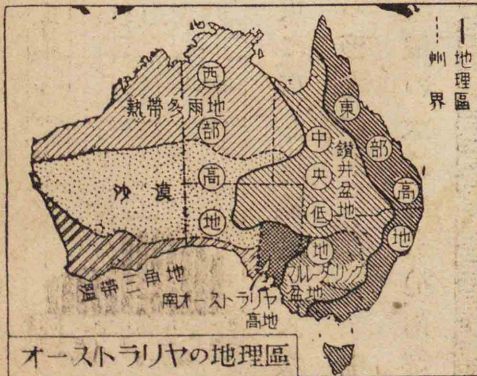




### 位置区分

大陸は南半球に於ける我が國と相對的位置にあり、世界

最小の大陸である。政治的にはク  
インスランド・ニ  
ーサウスウエール  
ス・ヴィクトリア等  
の七州に分れる  
が、地理的には東  
部高地、中央低地

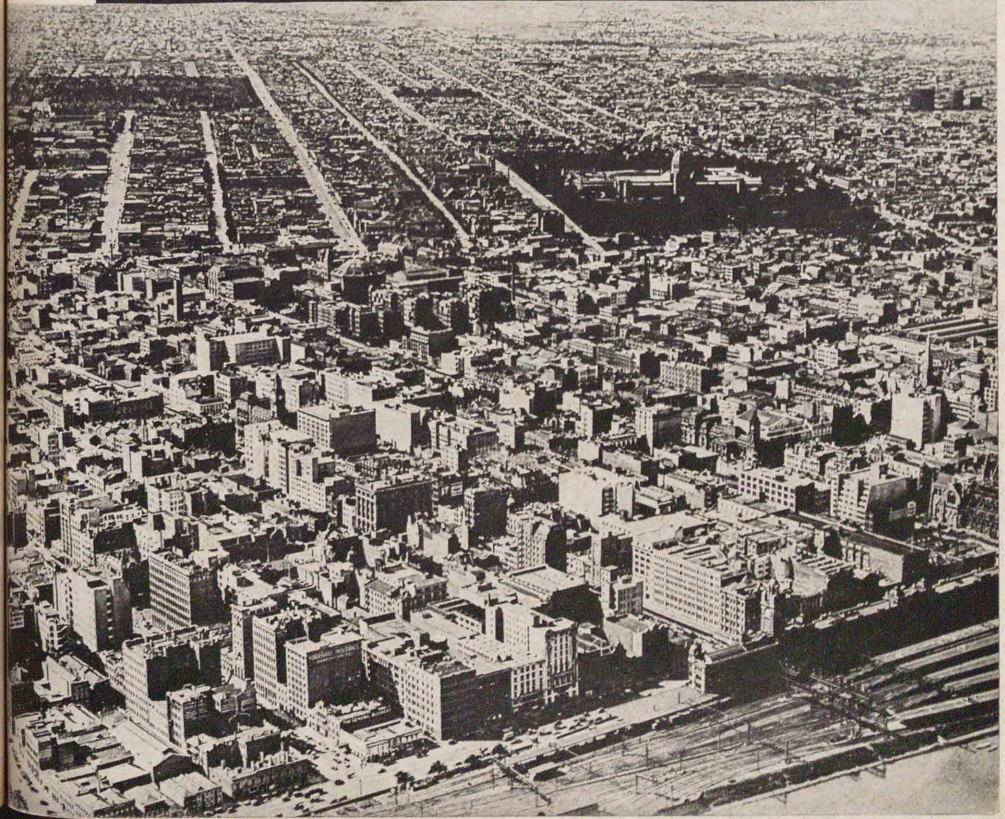


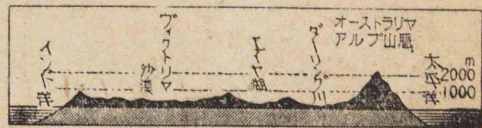
## 第二篇 オセアニヤ(大洋洲)

### 第一章 オーストララシヤ

#### 第一節 オーストラリヤ(濠洲)

上 シドニーの夜景(シドニーハーバー橋)  
下 飛行機から見たメルボルン





オーストラリアの東西断面

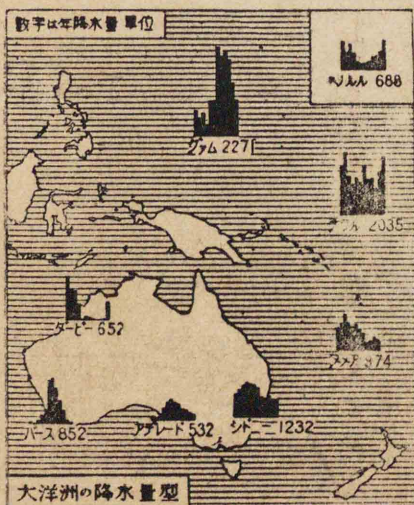
西部高地の三區となる。面積は約七〇萬方呎で、我が國の一一倍に當る。

**地勢** 東部高地には褶曲山脈のオーストラリアアルプスが海岸に沿うて南北に走り、大陸の分水界は著しく東に偏し、岸に近く大堡礁が長く連る。西部高地は卓狀地で、その邊緣が海に迫る。中央低地は更に三區に分ち、北部には内陸流域の大鑽井盆地、南部にマルレーダーリング盆地と南

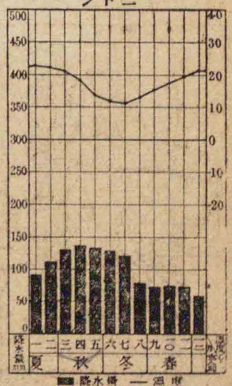
オーストラリア高地とがある。

**氣候・植物帶**

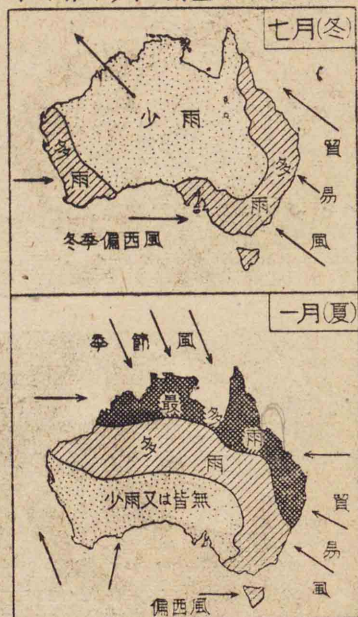
南回歸線が大陸の中央を通過するため、一月即ち南半球の夏は大陸の中央が最高溫地帯となり、北東部には北東貿易風、北西部に北西季節風が卓越し、そこに多量の雨を齎らす。七月即ち南半



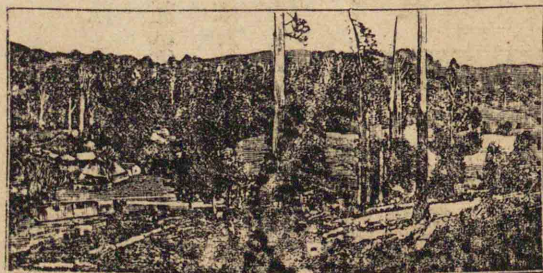
大洋洲の降水量型



オーストラリアの雨量と風向との關係



球の冬は北部は乾季となるが、南部は西風卓越して雨を齎らし地中海性氣候の特色



ユーカリの林

を現はす。夏冬共に雨の及ばない西部高地の中央部に沙漠が生じ、中央低地も降水量少く、大部分草原をなし、東部高地西南三角地等の降水量適度の地方にはユーカリを代表樹とする林野及耕地がある。

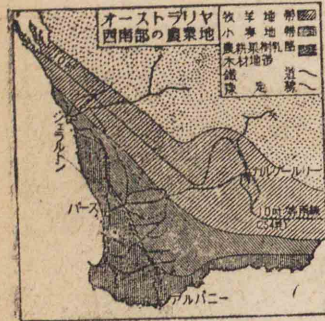
**處誌**

東部高地の北部の海岸は甘蔗玉蜀黍等を産し、ダウンスヴィルブリスベインの諸港がこの地方の中心である。南部のニューサウスウェールズ、ヴィクトリア、二州は本大陸中最も文化の發達した地域で、シドニー、メルボルン

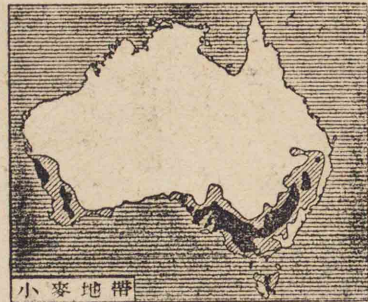


シドニー





陸から輸入した羊・牛の飼育に適し、何れも世界的産物となつた。羊は世界の二割を占め世界第一位で、羊毛も世界の第一位で、この國輸出の首位を占めてゐる。製酪業殊に發

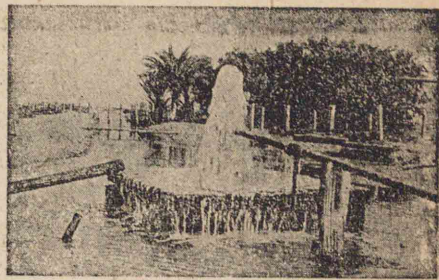
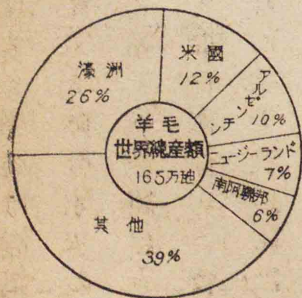


西南三角地は冬の降水量の恩恵で、農牧業が行はれ、パリスはその中心である。内部の草原沙漠ではクールガルチー等の金産地のみ利用される。タスマニヤは氣候溫和で、農牧業共に進んでゐる。

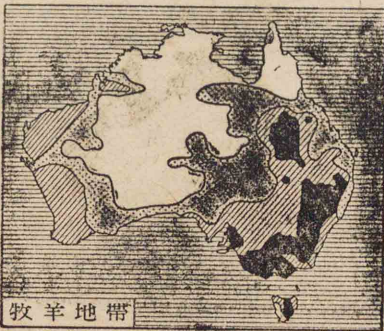
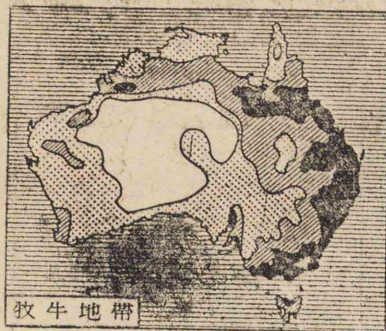
**産業・交通**

氣候・風土が小麦輸出國として三位の栽培に適し、又移民が舊大

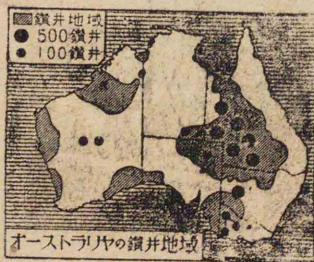
達し、バター・チーズの輸出量多く、又冷凍の羊肉・牛肉の輸出も多い。東・西山地の金産(四位)は豊富で最初の移民潮來の誘因をなし、東岸の石炭は重要視され、工業も次第



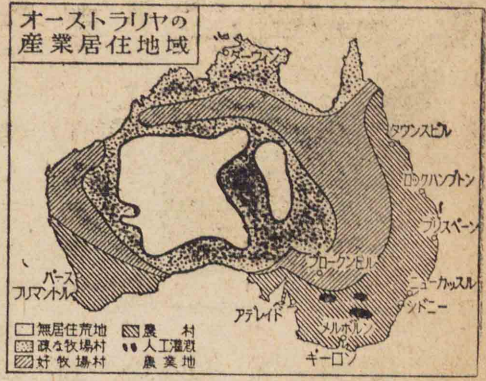
クイーンズランドの鑽井



この二都に集散し盛に輸出される。聯邦の首府は特に山間地域のカンベラの地を選び、新市街が建設された。大鑽井盆地には鑽井による牧羊が行はれ、南オーストラリアには門戸アデレードがある。西部高地は沙漠不毛の地であるが、



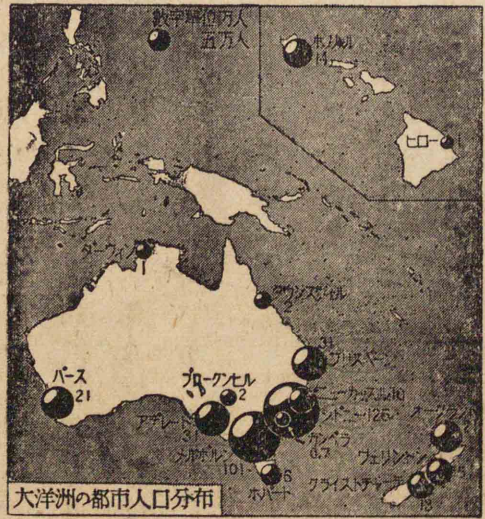
の二中心がある。シドニーは附近に炭田をもち、その美港はポートジャクソンの見事な溺れ谷である。メルボルンも亦一灣頭に位する。東斜面は牧羊が盛で、分水界を越えた西斜面の中央低地は降水量比較的少く、牧羊と小麦の耕作に適し、それ等の羊毛・小麦・肉類等は



に興りつゝあるのは注目し値する。鐵道は開拓鐵道が港から海岸線に直角に走り、大陸分水界の狹隘等を抜けて内陸に延びてゐる。航空路はロンドンに通じ、海上交通も本國と關係が深い。貿易は英國が過半を占め、米國これに次ぎ、我が國は五―六位である。輸出は羊毛、金、バター、小麥、小麥粉、冷凍肉、鉛等の原料品、食料品を

主とし、輸入は自動車、石油、機械、綿織物、人絹織物等の精製品が主である。

**住民政治** 人口は約七〇〇萬、原住民の土人は全く勢力なく、英人の支配下にある。人口密度が諸大陸中最小であるから移民の必要は大いにあるが、英人

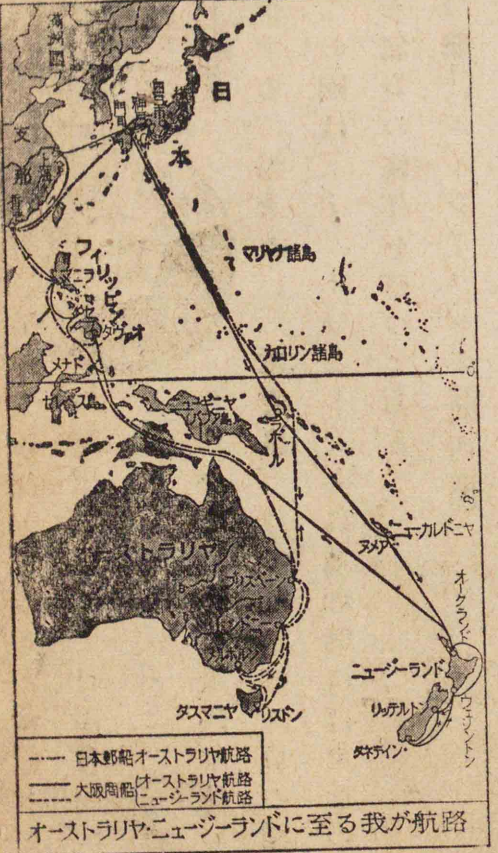
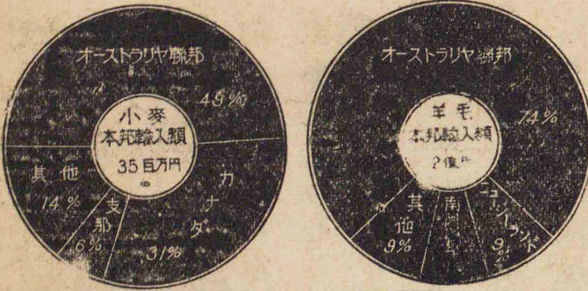


オーストラリア 120

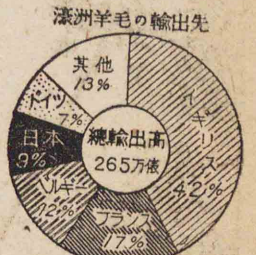
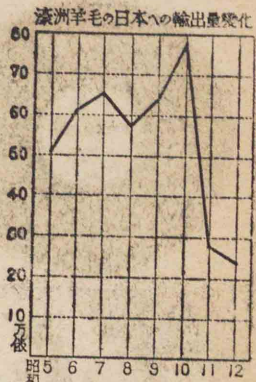
は「白人濠洲」と稱して他の移民殊に日支人を拒絶する。この地は十八世紀の探検以來英國の領有に歸し、オーストラリア聯邦を組織して、英國の有力な自治植民地となり、英國王の任命する總督が行政を統轄するが、本國との關係は漸く變じ、現在では殆ど獨立の姿をなしてゐる。

**我が國との關係**

我が汽船はブリスベイン、シドニー、メルボルン等に通ひ、羊毛、小麥等を我が國に輸入



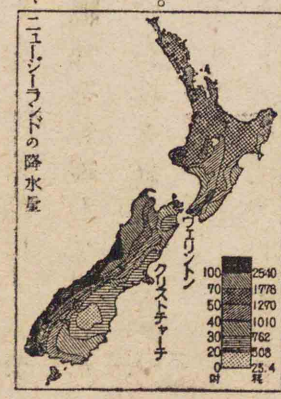
し、人絹織物、綿織物、生絲等を我が國に輸入



約二、〇〇〇人在留するに過ぎない。木曜島では邦人が眞珠貝の採集に従事してゐる。この國はニュージーランドと共に地理的には東亞のプロック經濟を補強する屈竟の條件を持つてゐる。

### 第二節 ニュージーランド(新西蘭)

北島は二大褶曲の結合點、南島のアルプスはその延長で、火山現象これに伴ひ、北島には無数の間歇泉があるが、南島には氷河がある。氣候溫和で、西風が卓越するため、南島の西斜面は極めて降水量多く、東は著しく少い。この降水量の程度に左右されて、東岸は小麥を栽培し、牛は北島の西岸に、羊は兩島の東斜面に多く、



従つて輸出は酪製品羊毛(四位)、凍肉が主で、輸入は織物、自動車等である。取引は英國が主で、米國これに次ぎ、我が國は五―六位で輸入は制限されてゐる。經濟上凡てがオーストラリアの縮圖である。英國の自治植民地で、首府はウェリントンで、商港はオークランドである。

- (一) オーストラリア及ニュージーランドの資源と自然との關係を説述せよ。
- (二) オーストラリア及ニュージーランドと我が國との關係を説述せよ。

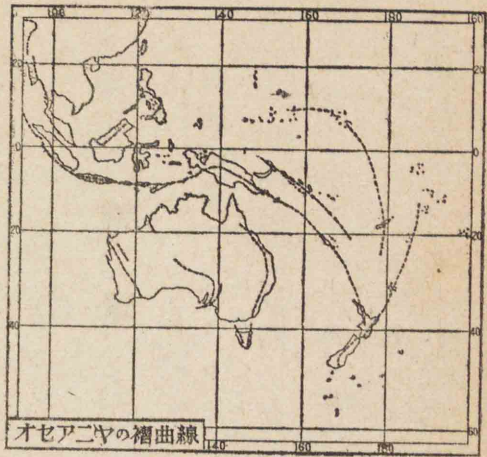
## 第二章 太平洋諸島

### 位置區分

オーストラリア大陸の東北に位し、太平洋上に散在する諸島で、我が南洋群島を含む。略一八〇度の經線と赤道とを境として、東半のポリネシア(多島の意)、西北部のミクロネシア(小島の意)及西南部のメラネシア(黒人島の意)の三區から成る。

### 自然

オーストラリア大陸を中心として數列の弓狀列島群をなし、

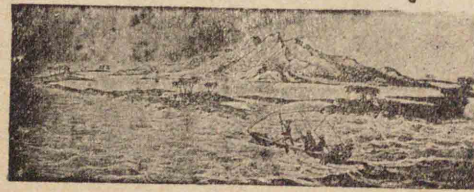


常に海風に吹かれ、又熱帯特有の驟雨が毎日降るため比較的凌ぎ易い。

**處誌**

メラネシヤ パプア(蘭領英領濠洲委任統治はニ

ーギニーとも稱し、面積八〇萬方呎で、我が國よりも大で、西半は蘭領東印度の一部である。人口は凡そ九〇萬と稱し原始的で野蠻である。熱帯原生林繁茂し、コブラと金とを



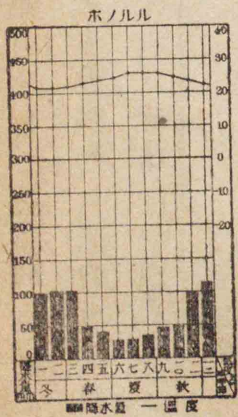
珊瑚礁をもつた火山島

海溝がこれに伴ふ。諸島の大部分の基盤は海中山脈で、海面に現れた部分は高島といはれる火山島と低島といはれる珊瑚島とからなり、赤道海流に洗はれてゐる。南北回歸線の間を完全に占めてゐて、各島は極めて小で、海洋が主であるから純熱帯海洋性氣候で、北東南東の兩貿易風と赤道無風帯とが規則正しい排列をなす。

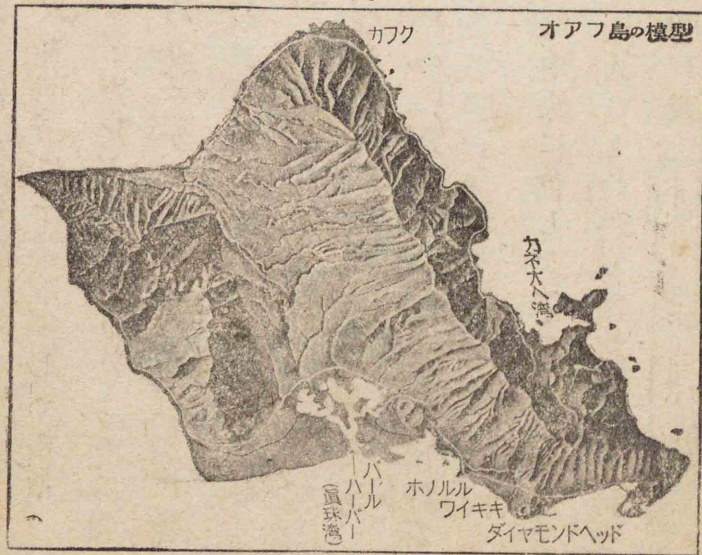
産するが、將來の開発が有望と見られ、邦人も開拓に一部着手してゐる。貿易政治の中心はモレスビーである。ニューカレドニア(佛)はニッケルの産で名高く、邦人の採掘に従事するものもあり、ニッケル及鐵鑛を我が國に輸送する。首府はヌメアといふ。フィジー諸島(英)のヴィチレヴ島には貯炭所を有するスヴァの良港がある。

ミクロネシヤ グラム島は米領に屬し、貯炭所海底電線伸繼所がある。ナウル島(英委)はオーシャン島(英)と共に燐礦の特産地である。我が南洋群島もこの地域に屬する。

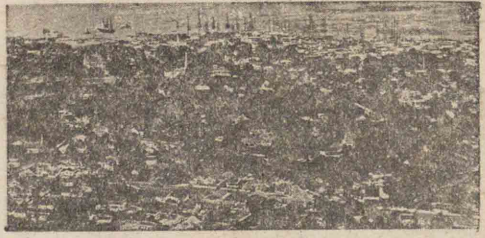
ポリネシヤ ハワイ群島は太平洋の略中央に位し、ケア・ロア・キラウエア等の火山多く、キラウエア山は直徑五呎の大火口と灼熱した熔岩湖を持つて有名である。北回歸線の南に位し、熱帯に屬するが、海風常に吹いて涼しく、雨多く植物よく繁茂し、冬も百花絢爛である。甘蔗・パイナップル・コーヒー・バナナ米等の栽培が盛で、殊に砂糖



とパインアップルの罐詰の産額が多く、米本國へ輸出する。面積約一萬七千方軒で、我が四國島と略等しく、住民は約四一萬、その内約六分の五は移住民で、カナカ土人は文化低く、年々人口が減少する。移住民中最も多いのは邦人で約一五萬人(在外内地人の一六%を算し、總人口の約四割に當り、葡人及支那人がこれに次ぐが、米國と等しく東洋人は今後の移住を禁ぜられた。我が移民は多く、甘蔗栽培等の農業及罐詰業に従事し、又商業を営むものも少くない。この島はもと王國であつたが、一八九八年米國に併合され、首府ホノルルはオアフ島の南岸に位し、太平洋上の寄航地で、我が桑港<sup>サンフランシスコ</sup>航路は往復とも必ず寄航する。航空港、海底電線の仲繼所としても好位



太平洋諸島 126



ルノホのた瞰から上山

置にある。附近に軍港パールハーバー(眞珠灣)があり、山に圍繞された見事な溺れ谷で、海軍根據地である。

**人文** 風土上、甘蔗糖とコブラとが主要な産物で、燐礦、パインアップルの産もあり、水産業も有望である。然し面積が大で無いから陸産額は大でなく、諸島の價値は寄航地、貯炭所、海底電線仲繼所、海軍根據地、航空港等の所在地として重要である。

ハワイ諸島の地理を説述せよ。

「太平洋篇二四五頁参照」



飛行機から見たベルリン  
(ウンテルデンリンデン街を望む)

此の緯度の対比と本邦とヨーロッパ



### 第三篇 ヨーロッパ(歐羅巴)

#### 序 説

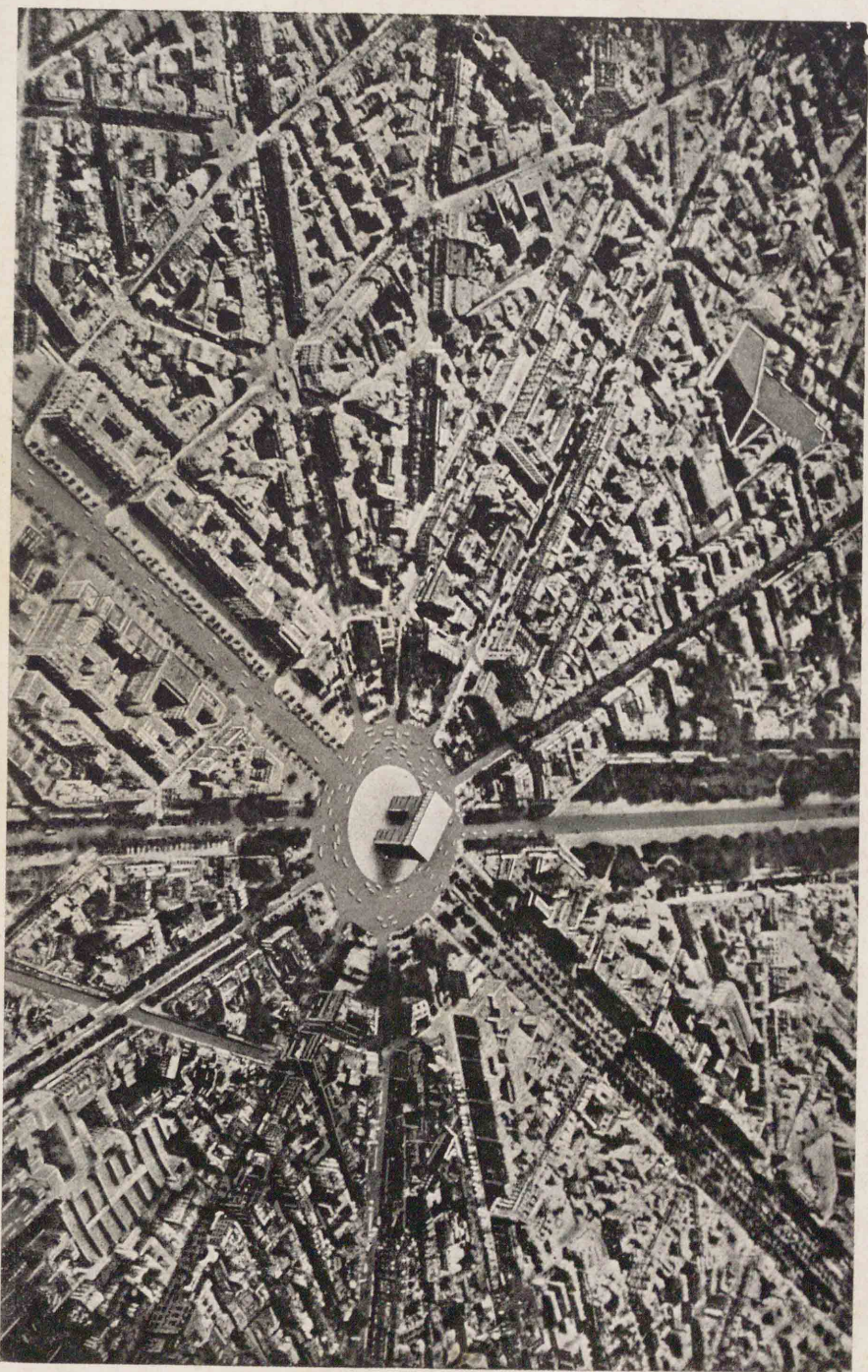
##### 位置区分

ヨーロッパはユーラシア大陸の一大半島で、面積は約一、〇〇〇萬方呎で、アジアの略四分の一に過ぎないが、人口は約五億で世界全人口の約四分の一を有し、且つ世界文化地帯の核心地域であるから獨立した大陸と認められる。然し凡ての現象はアジアと密接な関係がある。本洲には有力な國家が多いが、位置的關係によつて大別すると、東部ヨーロッパ・北部ヨーロッパ・中央ヨーロッパ・西部ヨーロッパ・南部ヨーロッパの五區となる。

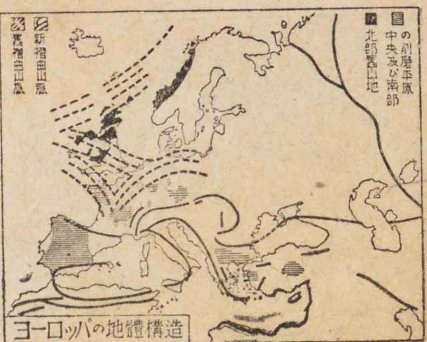
第一章 ヨーロッパの自然總説

##### 地勢

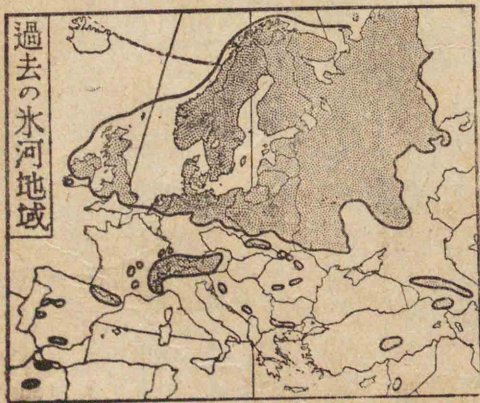
北部にはスカンディナヴィヤ半島からイ



飛行機から見たパリ



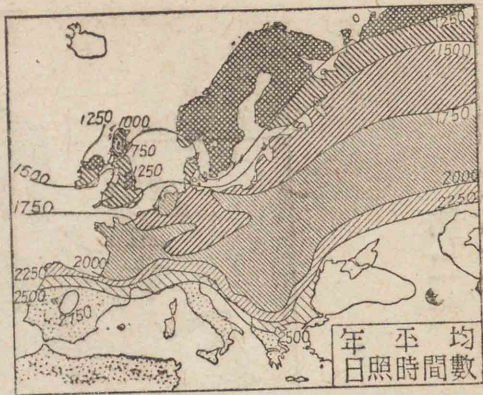
ス山脈を中心として西はピレネー山脈及シエ  
ラネヴァダ山脈に始り、東はバルカン山脈・ギリシ  
ヤ半島に及び、更にコーカサス山脈・タウルス山  
脈を経てヒマラヤに連る。アルプスのモンブ  
ランは四、八〇〇米に達し本洲の最高峯である。  
北部高地と中央高地との間にヨーロッパ平原が  
あり、諸大河の下流を占め、佛・白蘭・丁・獨波露の諸



ギリス諸島につゞく古い削磨された北部高地があ  
り、中部にはそれよりも新しい同じく準平原化され、  
且つ斷層によつて無數の地塊に分けられた獨佛に  
亘る中山性の中央高地があり、南部には最も新しい  
大褶曲で且つ高峻な南部山地がある。南部山地は  
アルプス山脈及その連續山地で、その山系の走向は  
極めて規則正しく、アルプ

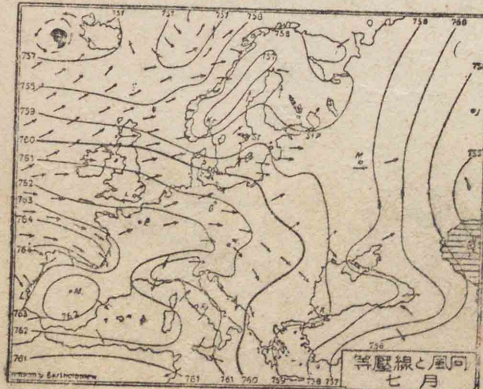
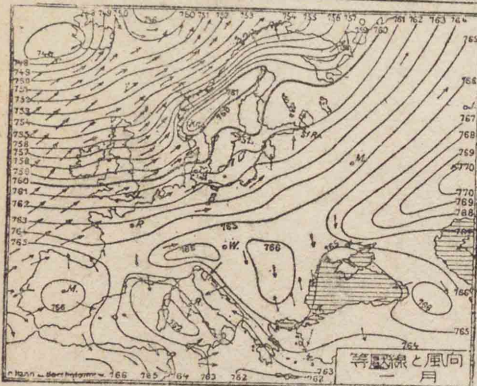
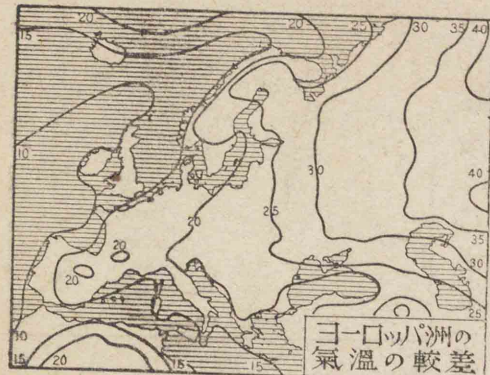
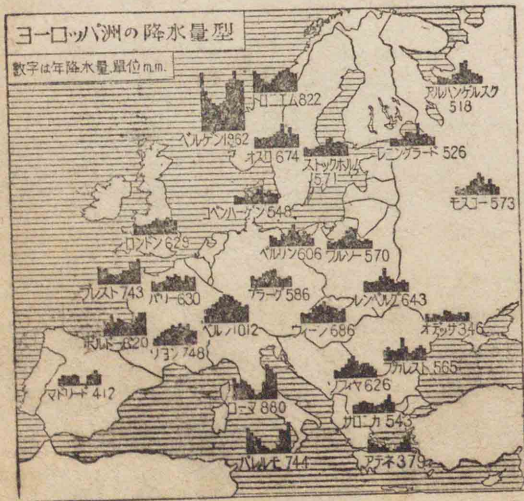
東するに従つて大となる。一般に西海岸は緯度に比し著しく温暖で、世界で他にその比を見ない現象である。

氣壓の配置はイスランド附近に常に低氣壓があり、アゾレス島附近に常に高氣壓があるため、夏冬を通じて西海岸の地方は



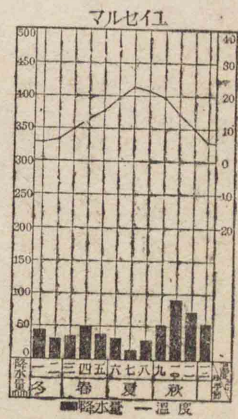
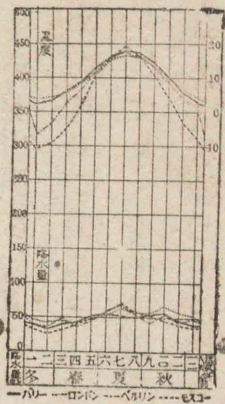
リス諸島がある。南歐にはイベリヤイタリヤバルカンの三半島があつて地中海とアドリヤ海黒海に分つてゐる。

**氣候植物帶** 一月と七月との等溫線が方向を異にするのは、西海岸が著しく海洋性であつて、東部の内陸が大陸性であることを示す。氣溫の較差は



ギイてて隔を海北

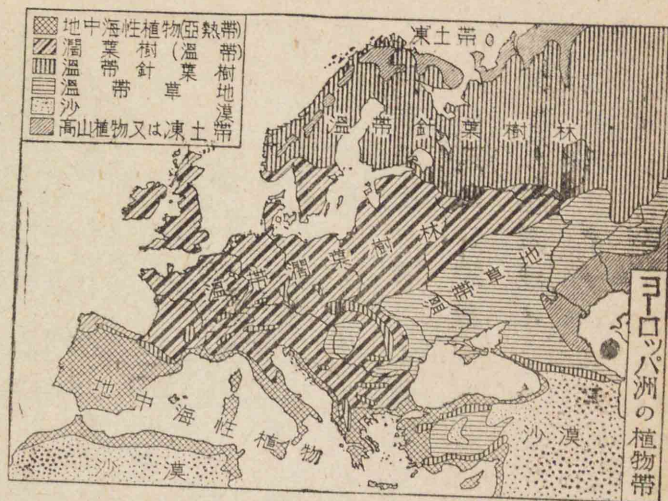
四大都市比較



國に跨る。水系は各斜面に分れ、ダニューブ(ドナウ)ヴォルガライン等は本洲の代表的河川である。本洲の北半は一般に大陸氷河の影響を受けてゐる。北歐に於てはスカンディナヴィヤ半島がボスニヤ灣とバルチック海を擁し、西歐では



れる。



## 第二章 東部ヨーロッパ(東歐)

偏西風が卓越する。そのため降水量は西海岸に面した斜面殊に山地に多く、東部に向ふに従つて減じ、裏海の沿岸は最も寡少となる。かくの如く西海岸と東部内陸とは気温・降水量の點に於て全く相反する氣候區をなすが、他に南部山地によつて境された地中海性氣候區がある。それは亞熱帶性で、夏は暑くて雨少く、冬は暖かて雨が多い。

北から南に凍土帯・寒温森林帯及亞熱帶林と漸移し、草原帯は僅かに東南部に限ら



第一節 ソヴィエト聯邦(露西亞)

**位置區分** ヨーロッパの東部にあつて、面積は約四八〇萬方呎で、歐洲の半を占め、我が國の約七倍に當る。地理的には南北ロシアの二區に大別される。

### 地勢

この國の大部分は所謂ロシア平原

で、諸河の分水界をなすヴァルダイ丘も僅か三〇〇餘米に過ぎず、ウラル山脈の外に大山脈はない。従つてヴォルガ・ドニエプル等は極めて緩かに流れ且つ蛇行する。

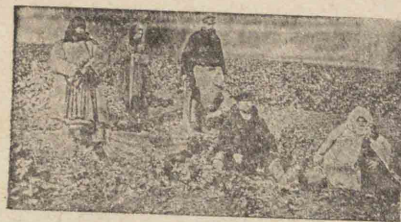
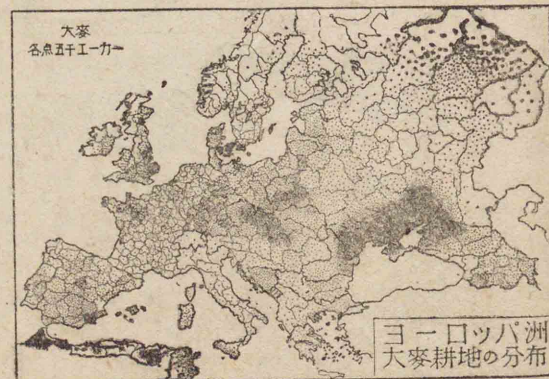
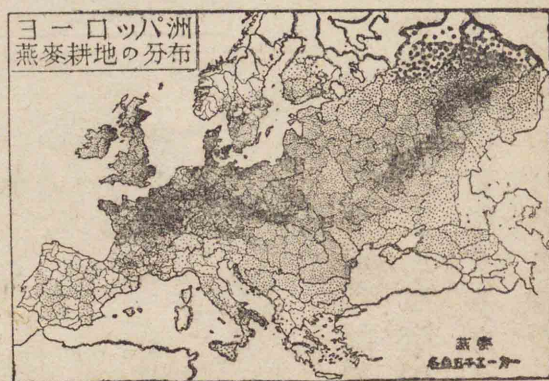
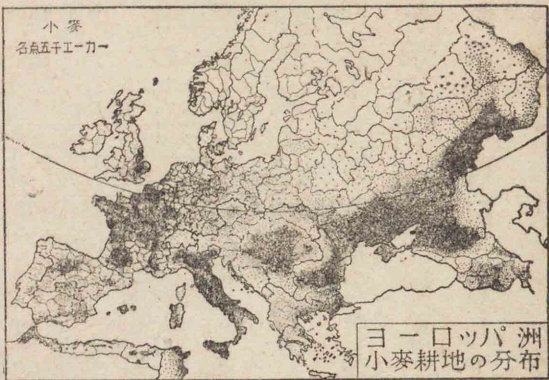
### 氣候

この國はアジア大陸の内陸部に接續し、且つスカンヂナヴィヤ山脈により暖い海風を遮ぎられるため、ヨーロッパでは最も大陸性氣候となり、冬季氣温低く、河川は北するに従ひその凍結期間が著しく長くなる。氣



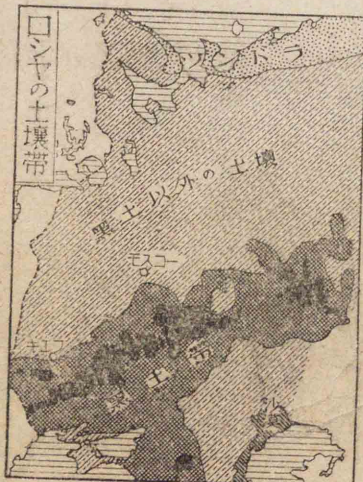
はてしと聯ソ全は産  
 鐵鑛・石油共に二位、石炭は四位、白金は二位、金は二位、マンガンは一位、アルミニウムは三位を占め、ウラル山地は殊に各種の鑛産に富み、金、白金、寶石等は有名である。モスコイ附近は夙に近代式工業が行はれてゐたが、新政府は近時各地に大規模な重工業、化學工業の促進計畫を立て、巨大な發電所を設け、鑛工業地帯と結んで綜合企業を行ひ、極東シベリヤのアンガ

はてしと聯ソ全は産



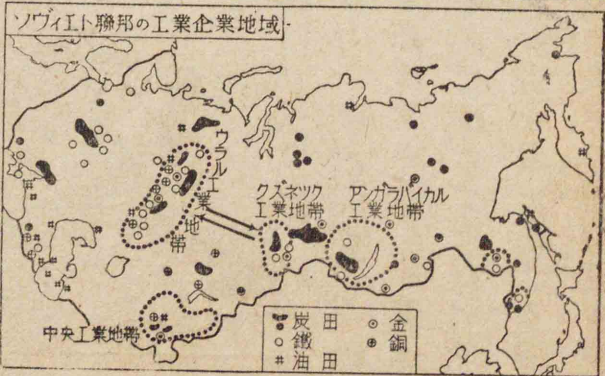
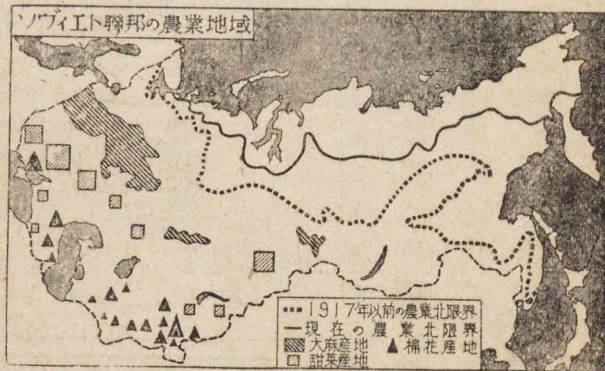
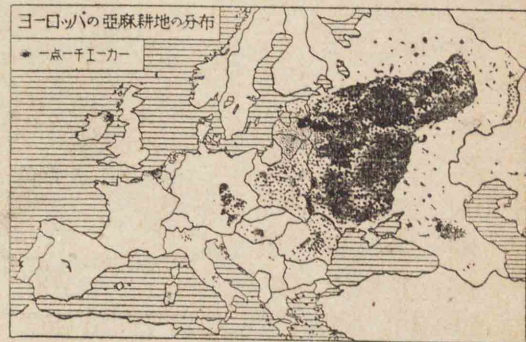
甜菜畑の農民

く、ヨーロッパの穀物倉と謂はれ、オデッサから輸出する。その北は燕麥、最北はライ麥（黒麥）を産し、亞麻、甜菜の三者は世界の首位である。森林帯はこの國の三分の一を占め、主に針葉樹に蔽はれ、木材は輸出品の首位を占める。鑛

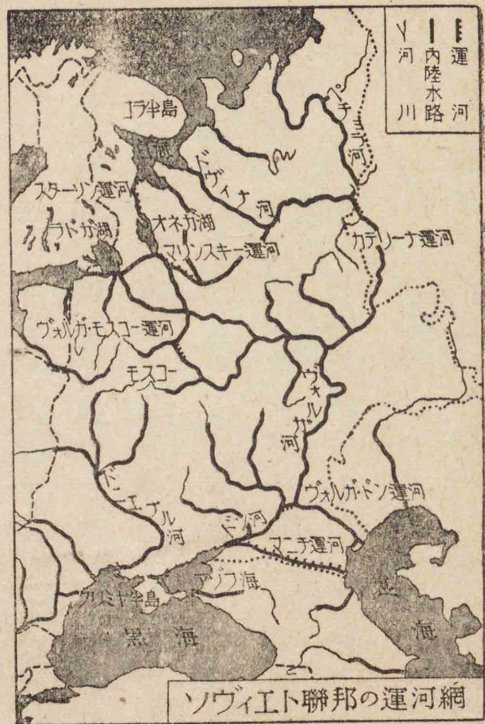


温降水量の關係上、凍土帯・森林帯・草原帯と南北に配列する。  
**産業交通** 氣温降水量・土壤及植物帯に適應して南北に規則正しく農牧林業地帯が排列し、南部ロシヤの草原帯は羊・牛・馬等の牧畜業地帯、その北は所謂黒土地方で、小麦・大麦等の産多

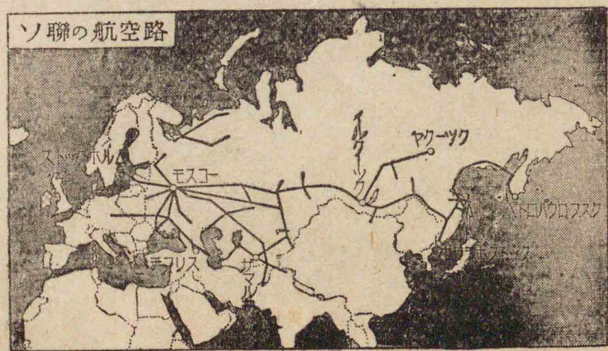
テバイ  
カル、西  
部シベ  
リヤの  
クズネツ  
ク、歐露  
のウラ  
ル等の  
工業地  
帯が形成されつゝある。鐵



鋼(三位)・トラクター(二位)・貨物自動車(二位)・農業機械(二位)の生産には既に成績を示してゐる。輸出品は木材・石油・毛皮・亞麻・穀物等で、輸入品は機械・金屬製品等で、取引は對外政策の具に利用するため今は米國と取引最も多く、英・獨これに次ぎ、我が國は政治的打開を見ない限り發展は見られない。



河は普  
く舟行  
に適し、  
各斜面  
の分水  
界が低  
いため  
容易に



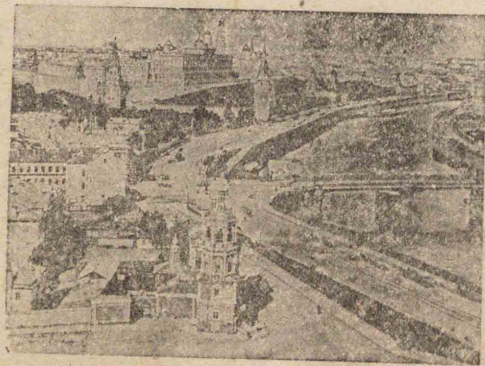
運河で連絡し得る。たゞ凍結期間が長いのは缺點である。モスコイは鐵道の焦點で、又シベリヤ鐵道やヨーロッパの諸國と連絡する。航空路はモスコイを中心とし、歐洲は勿論遠く極東中亞にまで達してゐる。

**住民政治**

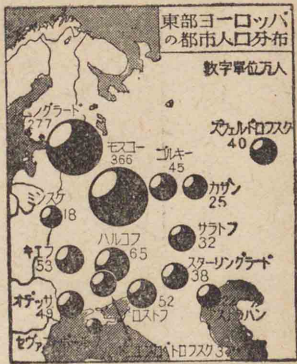
舊ロシア帝國は不凍港を求めて黒海・ペルシヤ・灣・太平洋に進出を計り、遂にシベリヤ・中亞に領地を獲得し、歐亞に跨る一大帝國と

なつてゐたが、多年の極端な専制政治が誘因となり、第一次世界大戦中に革命が起つて民族自決主義に従ひ、フィンランド・ポーランド及バルト海岸諸國は獨立し、スラヴ族も亦分立した。全ソ聯の人口は約一億七千萬人で、住民の大部分はスラヴ族で三種の別がある。大ロシア人(五二%)のロシアソヴェト共和國が中心となり、小ロシア人(二二%)のウクライナ共和國、白ロシア人(二二%)の白ロシア共和國、その他アジアにある諸共和國と合同してソヴェト社會主義共和國聯邦を組織した。全ソ聯の面積は二、二〇〇萬方呎で世界の二六%に當る。

この國は今ほスターリンの獨裁政治で獨ソ不可侵條約を結び、ポーランドの東半を無血占領し、バルト海岸諸國を併合し、フィンランドの一部を割讓せしめ、バルカンへの進出を企てたが、近時獨ソ關係は惡化して戰端を開くに至つた。



モスコ



**都邑**

首府モスコ(莫斯科)は略歐露の中央に位し、政治・商工業・交通の中心で、レニングラードは新政前の首府で、この國第一の商港である。ウラル地方の中心はスウェルドロフスクで、南ロシアの中心キエフはウクライナ國の首府である。黒海に臨むオデッサはこの國第二の商港である。

**我が國との關係**

極東に於て我が國と利害關係相反し、日露戰役・シベリヤ出兵を見た。その後露國の國體・政體の變革・滿洲國の獨立・支那事變の勃發・ソ支容共協定の成立・日獨伊防共協定の結成等事態の變化は益々兩國の關係を重大化した。依つて我が國は日獨伊條約の締結・日ソ中立協定の結成等により平和裡に日滿支との關係の好轉を圖つたが、突如獨ソ開戦を見るに及んで再び彼我の關係は重大性をもつに至つた。

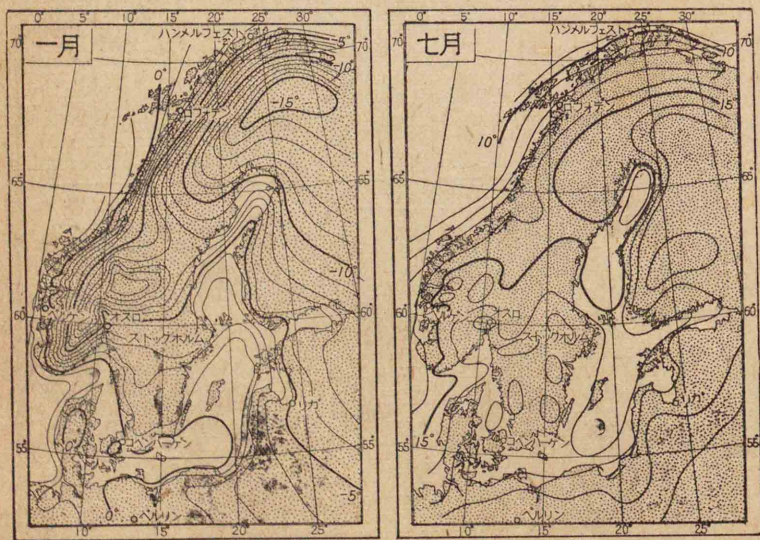
バルト海岸諸國 北ロシア平原の續きて、人種がロシアと異なるため第一次世界大戦により、エストニア・ラトヴィヤ・リトワニアの三小共和國



ノルウェーの峽灣

高原性で、分水界は稍西に偏し、北海斜面は急傾斜をなし、海岸は峽灣で壯絶な美景を呈し、バルト海斜面は緩傾斜をなし、湖沼群がある。冬はメキシコ灣流の影響で等温線は南北に走り、西岸は北まで凍ら

北歐の等温線



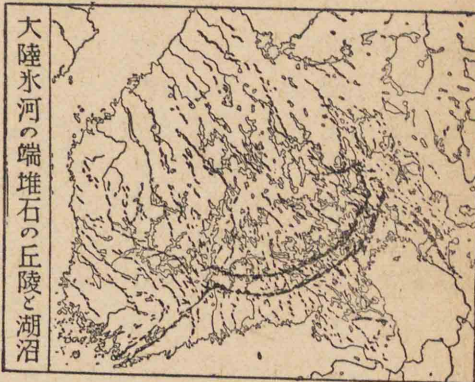
### 第三章 北部ヨーロッパ (北歐)

#### 第一節 スカンディナヴィヤ(スウェーデン)

デン(瑞典)ノルウェー(ノルウェー)

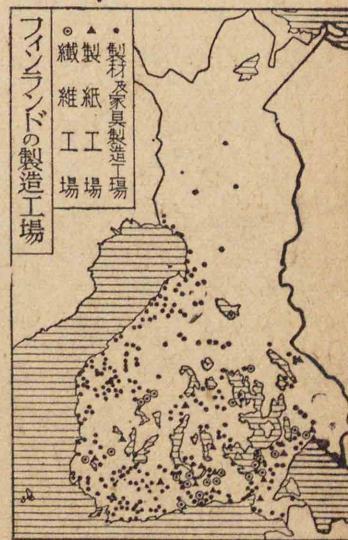
貌・風俗は歐化し、第一次世界大戦後ロシアから獨立した共和國である。

- (一) ソ連の産業と氣候との關係を述べよ。
- (二) ソ連と我が國との關係を述べよ。



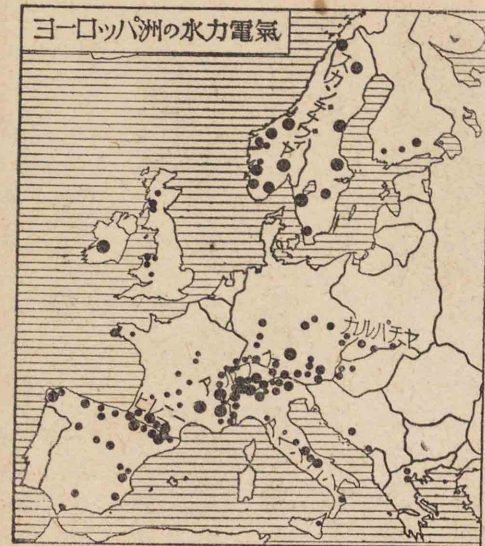
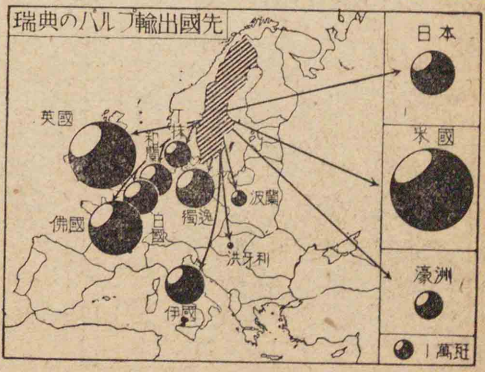
#### 第二節 フィンランド(芬蘭)

が獨立したが、ソ連の國防上重要な地域に當り、最近併合された。農業・林業が主で、リガ港は貿易上重要で、レヴァルコヴノと共に各舊首都であつた。

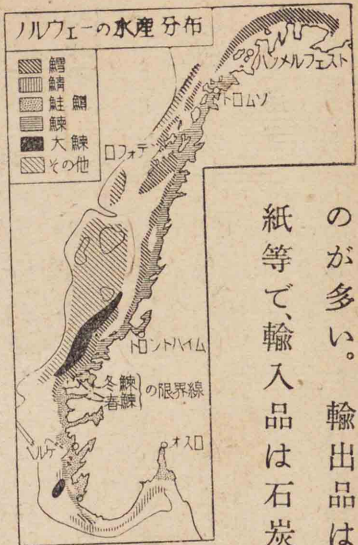




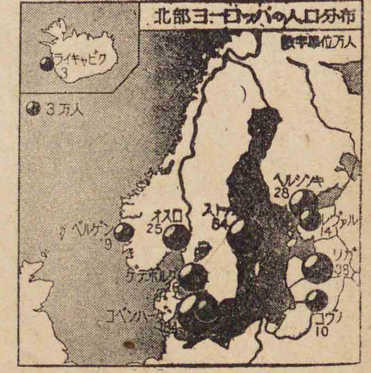
ない。脊梁山地により、純海洋性と純大陸性との氣候が東西に對立する。



スウェーデン 森林が面積の半を占め、木材・バルブ・紙・マッチの軸木及箱等の製造が盛である。湖沼瀑布が多いので水力電氣で動力を得る。鐵は極めて良質のものを産するが、石炭がないため、鑛石のまゝ、英・獨へ輸出されるものが多い。輸出品はバルブ・木材・鐵鑛紙等で、輸入品は石炭電氣機械類等である。取引はゲテボルグが盛である。

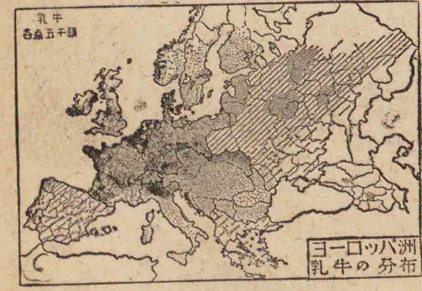


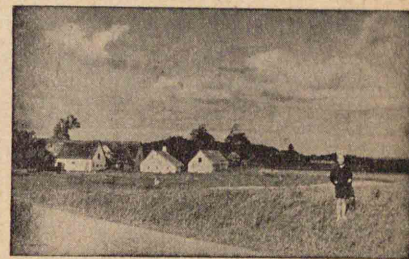
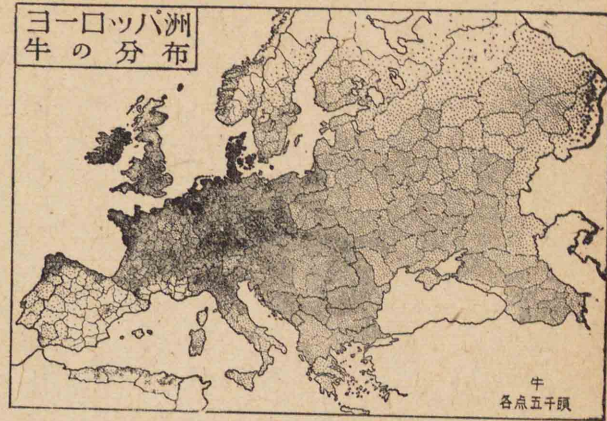
のが多い。輸出品はバルブ・木材・鐵鑛紙等で、輸入品は石炭電氣機械類等である。取引はゲテボルグが盛である。



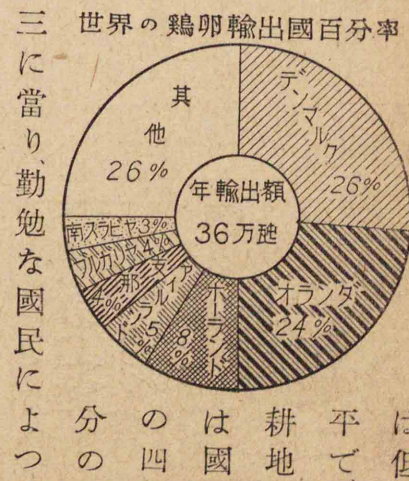
産の外生産に乏しく、北海に面し漁業本位の國で、鱈・鯨等を漁獲し、バルブと水産物である。兩國の住民はチウトン族で各立憲王國を建て、古來航海の技に長じてゐる。ストックホルム及オスロは各その首府で、共に風光がよい。

第二節 デンマーク(丁抹)  
デンマークはユトランド半島及附近の島を占め、土地





デンマルクの一農村



は低平な耕地の四分の一は

北部ヨーロッパ

チュートン族に屬し、政體は立憲王政である。バルト海の門戸にあたる首府コーペンハーゲンには海峽に臨む要地である。

イスラント(氷州)はデンマルク王が國王を兼ね、間歇泉で名高い。

スウェーデンの林業、ノルウェーの漁業及デンマルクの農牧業と我が國のそれ等と

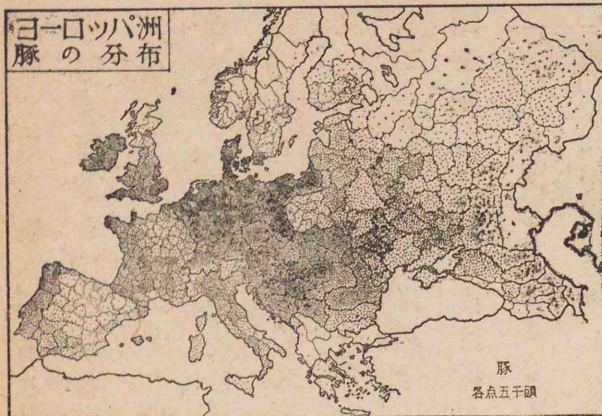
を比較せよ。

## 第四章 中央ヨーロッパ(中欧)

### 第一節 ポーランド(波蘭)

ロシアからドイツに至る漸移地帯をなすウイストラ河の流域の低平な平野で、ライ麥・馬鈴薯・亞麻等を産し、上シレジアには大炭田があり、カルパチヤ山麓には石油及岩鹽を産し、工業はロヅの紡績業が盛である。首府ワルソーはこの國の中心をなす。住民は西斯拉ヴ族のポーランド人が主で、ドイツ人の間を貫きバルト海に達する所謂ポーランド廻廊を有する。ウイストラ河口のダンチヒはドイツ人が多いため國際聯盟の管理する自由市とし、ポーランド人は自由に港を使用する権利を得てゐた。この國は面積三八萬方呎、人口三、〇〇〇餘萬で、百數十年前露・普三國のため分



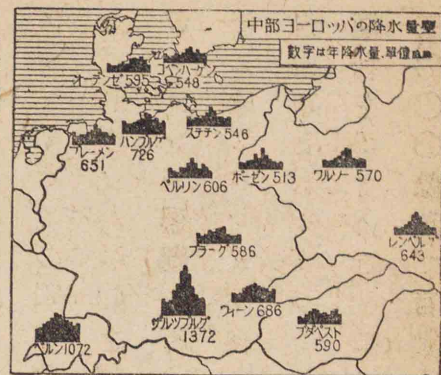
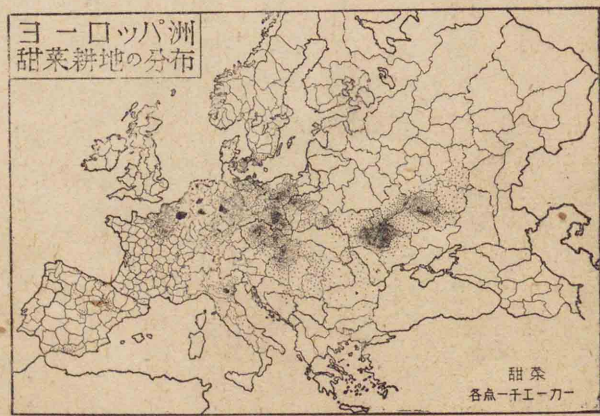


はライン地溝帯がある。ダニューブ河はこの高原から東へ流れ、ライン河はこの地溝帯を通過して、ライン河を合せ、ライン地塊に所謂ライン峡谷を造つて北流する。ボヘミア地方にはエル

ベ上流のボヘミア盆地、オーストリア地方にはダニューブ上流のウィーン盆地があり、アルプス山地は伊國との境に横たはつてゐる。氣候は稍溫和で、西歐の海洋性と東歐の大

**産業・交通**

地形・氣候・土壤とも必ずしも恵



割し盡され、各國語の使用により、各國化すること  
を強いられた。然るに未だ成らざる中に第一次  
世界大戦となり、悉く舊領地を回収して國家が復  
活し、共和國が成立したが、今次の大戦によつてダ  
ンチヒと共に獨ソ兩國に分割占據された。

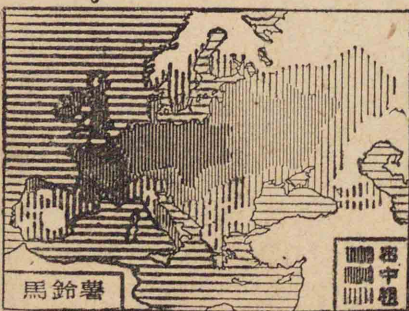
**第二節 ドイツ(獨逸)**

**位置・區分**

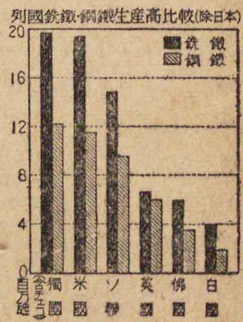
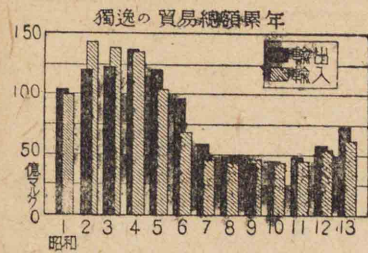
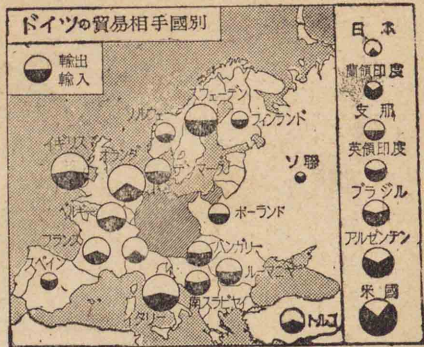
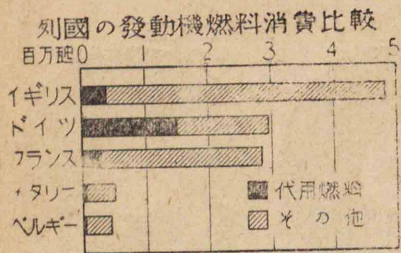
中央ヨーロッパの形勝の位置にあ

り、隣國との關係は常に緊張する。地理的に大別すれば北ドイツ・中央ドイツ・南ドイツ・アルプス地方・ボヘミア地方・オーストリア地方(ウィーン盆地)の六區となる。北ドイツは所謂ヨーロッパ平野の一部を占め、エルベ・オーデル・ウーゼルの諸河が流れ、中央ドイツは中山性の山地で、而も數多の地塊の集合である。南ドイツはアルプス山麓を含むバヴァリア高原で、西に

**地勢氣候**



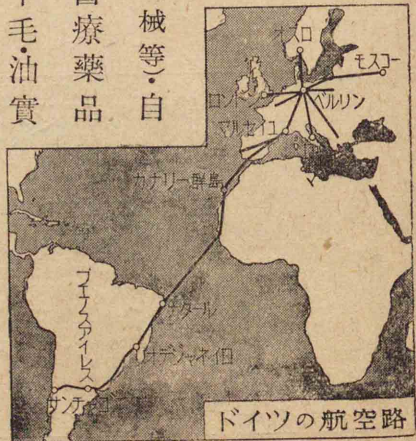


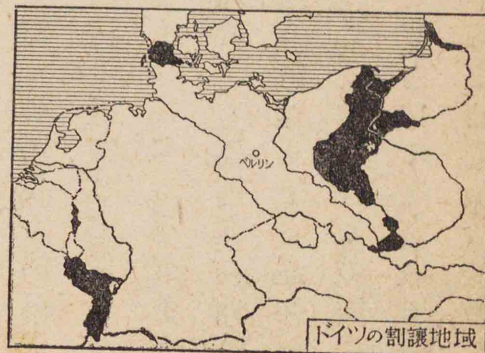
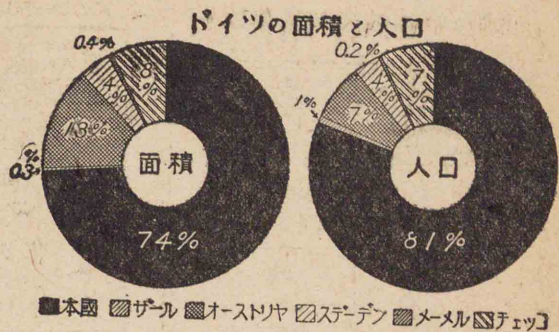


まれてゐないが、學術と勤勉とにより、各種の産業が平均に發達する。農業ではライ麥(二位)、燕麥(三位)、馬鈴薯、甜菜(二位)等が廣く栽培され、葡萄はラインの谷が名高く葡萄酒を産し、ビールはミュンヘン、ピルゼン等の産が有名で、この國の特色ある飲料である。豚の飼養(歐洲一位)は著しく多く、植林は行き届き、林相は見事である。又鐵、石炭、アルミニウム(二位)の埋藏夥しく、鐵鑛は尚スウェーデン、佛、西等よりも輸入し、鐵の産額は米國と並んで世界の首位を競ひ、石炭の産額亦米、英に次ぎ、世界第三位で、ルール、ザール、シレジア、ズデーテン等を主産地として輸出する。鉛、亜鉛も三位を占める。又豊富な岩鹽が採掘される。これ等の鑛産はこの國の大工業の基を開いた。工業は考案と生産とに獨特の長所を有し、製鐵、機械製造、製藥、化學工業、出版業、硝子等何れも世界第一流で、殊に藥品、化學製品(染料、塗料等)、機械類は無比である。又代用品

の發明・研究に努め、石油は皆無であるから石炭液化業が進んでゐる。輸出品は鐵製品、石炭、機械(電氣機械、工作機械、紡績機械等)、自動車、航空機、染料、塗料類、醫療藥品等、輸入品は棉花、果實、羊毛、油實及油種子、鐵鑛等である。ラインとダニューブを結ぶ運河をはじめ、北方河川相互を連絡する運河及河川の交通は鐵道と共に盛で、航空路は國の内外とよく連絡を保ち、南米にまで延びてゐる。

**住民政治** この國の住民は主にチュートン族のドイツ人で、南部には舊教も行はれるが、大部分は新教を奉ずる。國民は勤儉尙武の氣象に富み、教育及學術の進歩著

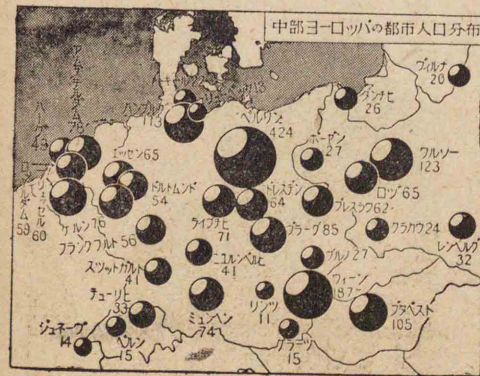




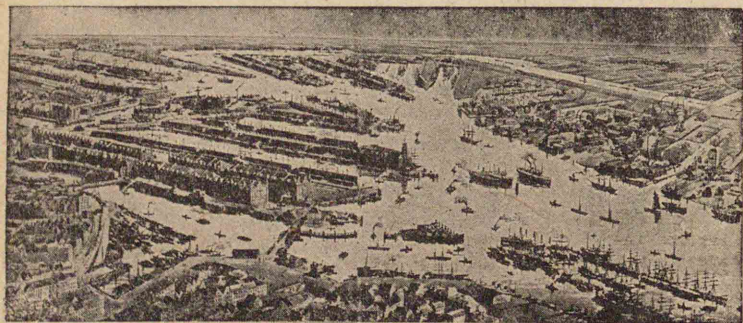
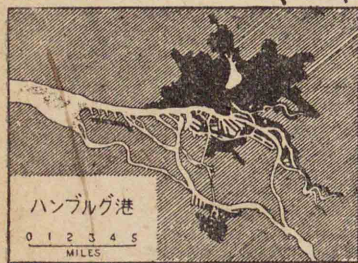
サクソニヤ地方で、ヨーロッパ

しく、學界に於ては世界の諸國に秀でた先進國である。人口密度は我が内地よりも稍小で、年々の増加も我より少く、南北アメリカに移住したものが多い。密度の殊に大な地方はライン河流域及

の工業地帯の代表的地域である。ヴェルサイユ條約の結果曩に佛國から得たアルサス・ローレンを還附し、ポーランド人の居住地をポーランドに割き、ダンチヒを自由市として獨立せしめなどして、面積八萬方呎、人口七五〇萬の地

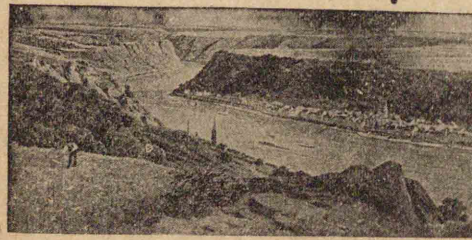


を減じ、海外に於てはアフリカ及太平洋に於ける植民地約三〇〇萬方呎を英佛及我が國等の勢力に委ねて割譲したが、新興勢力ナチスは、ヒトラーを中心として國勢の發展に全力を注ぎつゝある。新政府は單一國家として國防充實、産業振興、統制經濟等の計畫によつて國力を充實し、日獨伊防共協定を樞軸としてヴェルサイユ條約の極端を次々に破り、オーストリア・ズデーテン・チエッコ等を併合し、スロヴァキヤを保護國とし、日獨伊同盟を締結し、獨ソ不可侵條約により、獨ソ關係の好轉を圖つたがならず、遂に開戦するに至つた。オーストリア・チエッコ等の併合により一六萬方呎を増加して總面積六三萬方呎となり、人口は六〇〇萬を加へ、總人



口八五〇〇萬に達し、尙ポーランドその他を占據してゐる。オーストリア地方の住民はドイツ人で、ハンガリヤと共に多種の民族を集めてオーストリアハンガリヤ帝國を維持してゐたが、第一次大戰の結果瓦解し、各民族別となり、この國も共和國となつたが、最近遂にドイツに併合された。

**都邑** 北ドイツに首府ベルリン1420（柏林）があり、政治學術交通商工業の大中心である。北海に於ける門戸はエルベ河港のハンブルグで、勝れた繫船岸壁を有し、この國第一の貿易港である。ウーゼル河港のブレーメンも取引が多い。ライン河港はケルン、デュイスブルグで、附近のルール炭田は炭量が豊富で製鐵業等が起り、クルップ工場のあるエッセンを始め多數の工業都市が形成されてゐる。中央ドイツのエルベ河畔のドレスデンはサクソニヤの商工業及文化の中心都市で、又ライプチヒは出版業では世界一の稱がある。ラインの峽谷地方は葡萄と風光美で知られる。南ドイツのミュン



ラインの峽谷

ヘンはバヴァリヤの中心で、ニルンベルヒは鉛筆類で世界的に名高い。ボヘミヤ地方の中心はプラグで、オーストリア地方の中心ウィーンは舊奥匈國の首都として美術工藝及文化の發達した大都である。

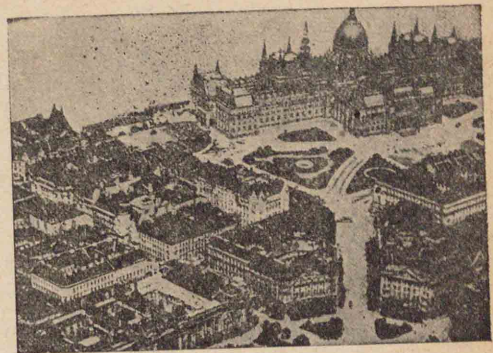
**スロヴァキヤ** 元チェコスロヴァキヤ國は西スラヴ族に屬し、奥匈國から獨立した國であつたが、チェコ族のボヘミヤ地方はドイツに併合され、スロヴァク族のスロヴァキヤ國は保護國となつた。スロヴァキヤ國はカルパチヤ山脈の南斜面に位し、農牧業が主である。

**我が國との關係**

我が國の文化は彼に負ふ所が大である。我が國へは機械類・染料・鐵・人造肥料等を輸出する。今や世界の新秩序建設のため伊國と共に三國同盟を結成し、國交益・親善を加へ、歐亞に於ける相互の指導的優位を尊重し、列強の國際對策に備へてゐる。

(一) ドイツの南部と北部とを比較せよ。  
(二) ドイツの産業の特色を詳述せよ。

(三) ドイツの工業の發達した理由を説述せよ。



ブダペスト

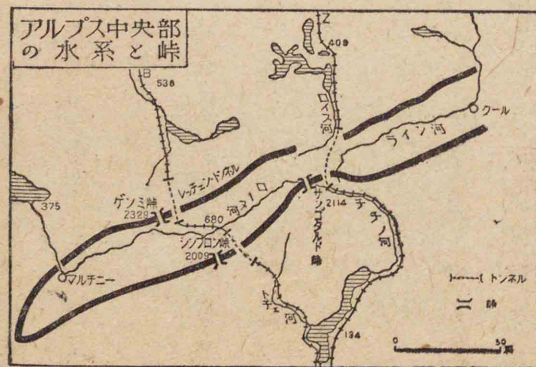
第三節 ハンガリヤ(洪牙利)

大弓形をなすカルパチヤ山脈とヂナルアルプスとに圍まれた内陸盆地で、中央をダニユーブ河が貫流する。寡雨のプスタと稱する草原には、牛、馬、羊等が飼養され、又玉蜀黍、小麥等を産する。住民はアジア人種のマジヤール族で、古來ヨーロッパ人種の中に島の如く存在してゐる。だから、言語・風俗の外は歐化して歐風の首府ブダペストを建設し、ヨーロッパに於けるアジア人種中最も進歩したものの代表で、王國を建ててゐる。

第四節 スイス(瑞西)

自然

獨・佛・伊三國の間に介在し、アルプスの西半を占め、面積は略九州に等しい一小山國であ

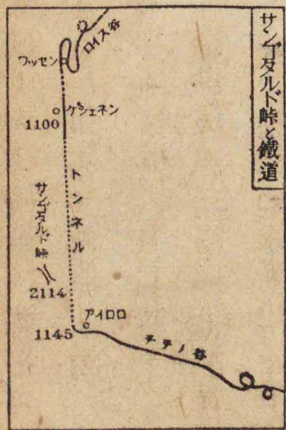


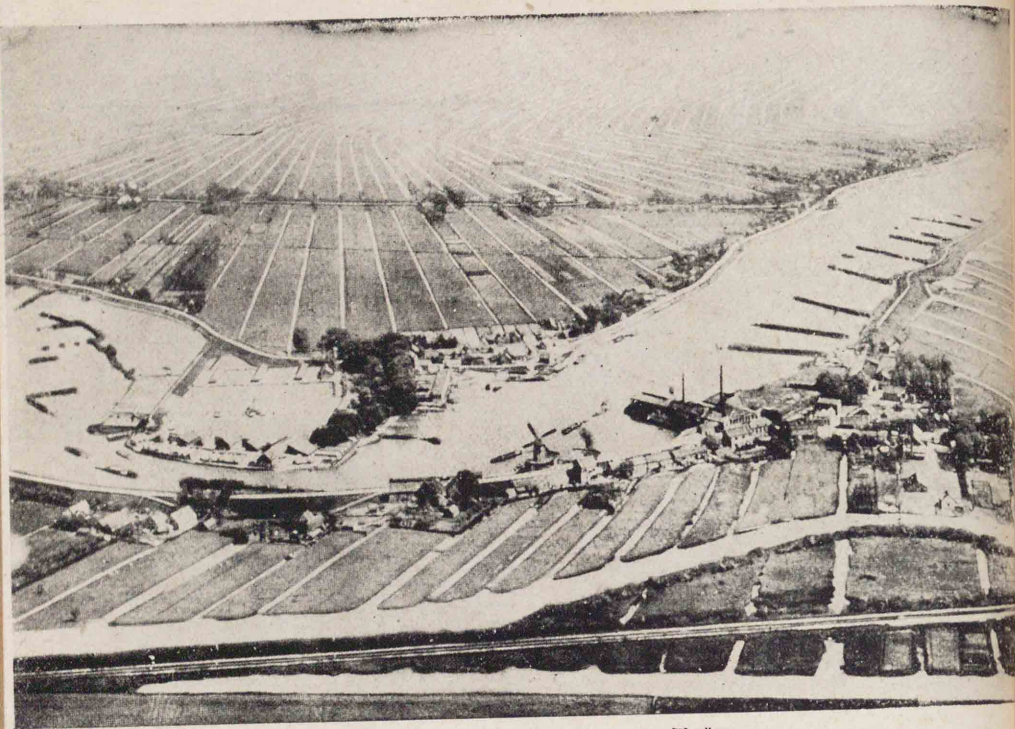
アルプスと牧場

る。南半のアルプスは、大褶曲をなし、高峻雄大で、萬年雪及氷河をもつ。ローヌラインが一大縦谷を造り、溪口にジュネーヴ・ポードン等の湖を湛へる。アルプスとジュラ山地との間に中央高原がある。氣候は山岳性で、夏は冷涼である。

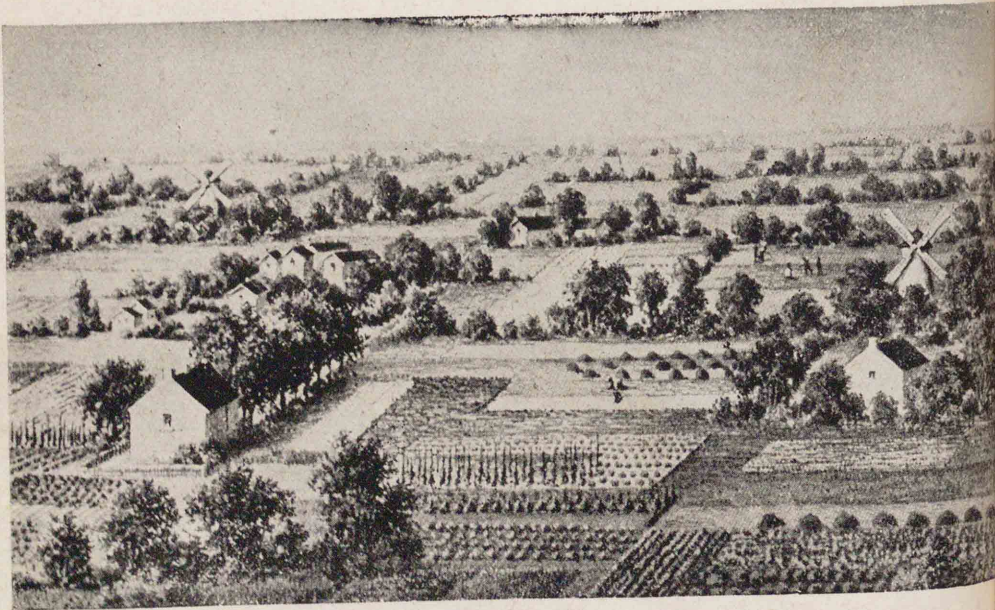
處誌・人文

首府はベルンで、ジュネーヴ・チューリヒ等は各湖脚に發達した相似形の都市である。面積の四分の一は牧場で、夏季は融雪を待つて山上に牛、羊を放牧するが、殊に乳牛が良質の乾酪、煉乳等を供給する。水力發電により工業が隆盛となり、内陸國であるから少量の原料を輸入し、熟練した技術によつて精巧に加工する産業が自然に發達した。ジュネーヴ等に盛な時計製造の如きはその適例である。チューリヒ付近には綿織物、絹織物、化學製品、機械等の工業が行はれる。我が國へは時計、染料、機械、煉乳





オランダのポルダーの景観  
(白線は運河網)



ベルギーのアントワープ附近の農村の景観

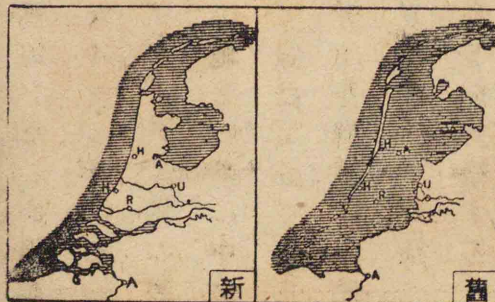
はれ、設備も亦完備し、観光客極めて多く、巨額の収入を得てゐる。

第五節 オランダ(和蘭)

ベルギーと共にライン河口附近の低地を占め、面積は約三萬五〇〇〇方呎で、略臺灣に等しい小國である。ライン河及マース河

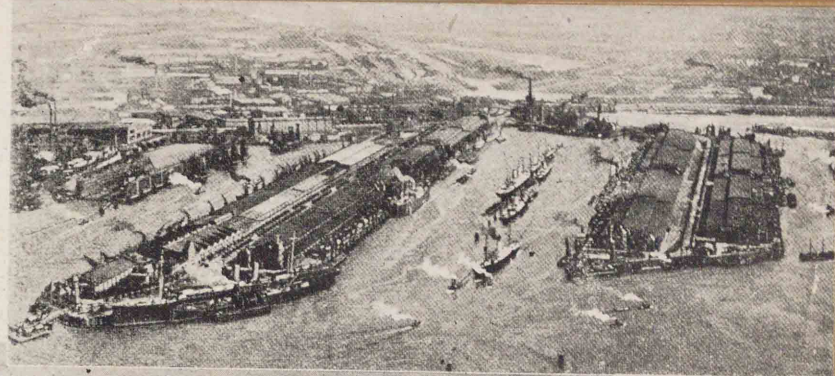


等を輸出する。アルプスは交通上の大障壁で、サンゴタルド・シンプロンの二大トンネルが南北を連絡する。この國は三箇國の接觸地帯であるから住民はチュートン族ラテン族から成り、言語は獨伊佛の三箇國語が各國境に近く行はれる。政體は聯合共和制で、永世局外中立國であるのは列強の緩衝地帯のためである。この國は山湖の景色が勝れ、世界の公園とい

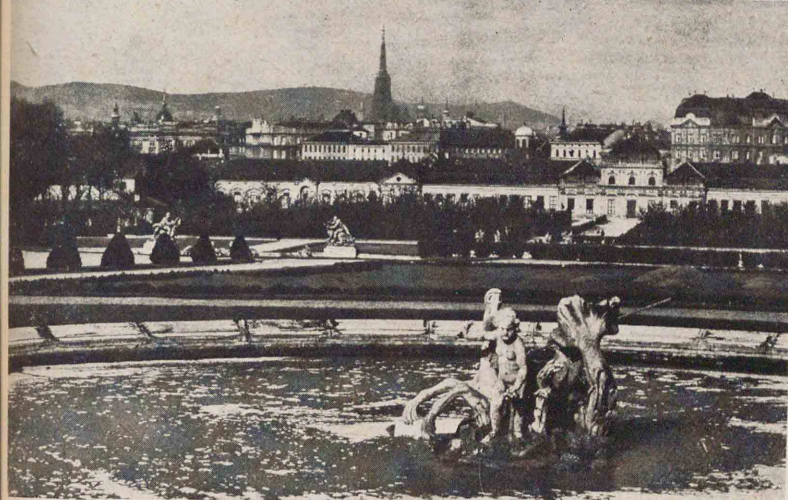


オランダの土地擴大

飛行機から見た  
ハンブルク港の一部



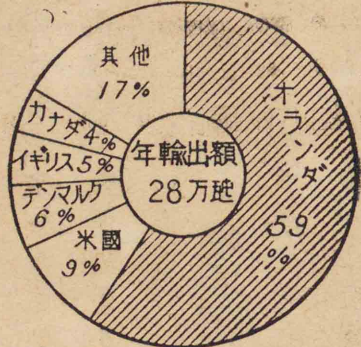
オーストリアの首府  
ウィーン



スイスの麓村



世界の煉乳輸出國百分率

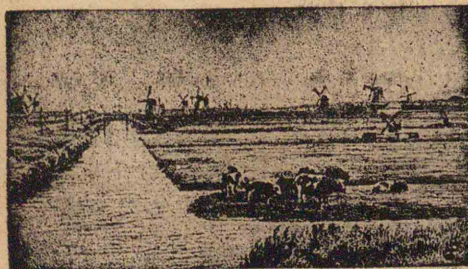


の舊分流の運んだ土砂によつて形成された海面下の低湿地が砂丘及堤防で囲まれ、その水は風車蒸氣ポンプ等で排水され、所謂ポルダーをなし、面積は全面積の四分の一に達する。西風が常に卓越し、海洋性の温和な氣候であるが快晴は少い。地形氣候は農牧業に適する。干拓したポルダ

ーは牧場に利用され、バター・チーズ・煉乳の産出が極めて多い。又チューリップ・ヒヤシンス等の觀賞植物の栽培が盛で、英・米等へ輸出され、その中心はハーレムである。この國の海外大發展時代のアムステルダムは大いに榮えた。ライン河港のロッテ

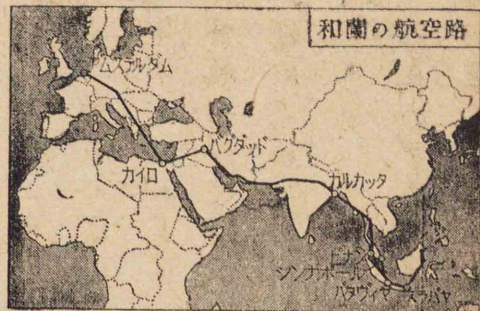


ハーレムの花畑



ポルダーの景觀

和蘭の航空路



ルダムは中歐諸國殊にラインの工業地を後背地とし、莫大な伸繼貿易が行はれ、一般に運河交通が最高の發達をなしてゐる。バター・チーズ・煉乳及蘭領東印度産の錫等を輸出する。遠く蘭印へ航空路を開いてゐる。王國の首府はハーグである。

人口は八七〇萬で、住民はチュートン族であり、言語はドイツ語に類似し、新教を奉ずる。人口密度は世界第二位にある。昔日に於ける海外發展の餘勢で、本國に六〇倍の領地をもち、蘭領東印度はその主なものである。ベルギーと共に英佛獨の緩衝地帯をなすため、常設國際司法裁判所に當てられる平和殿がハーグにある。

我が國との關係

我が鎖國時代には支那以外では唯一の貿易國であつたため、西洋文化はこの國によつて輸入され、醫學、物理學、博物學等の進歩を促した。今は蘭領東印度との關係が密接である。

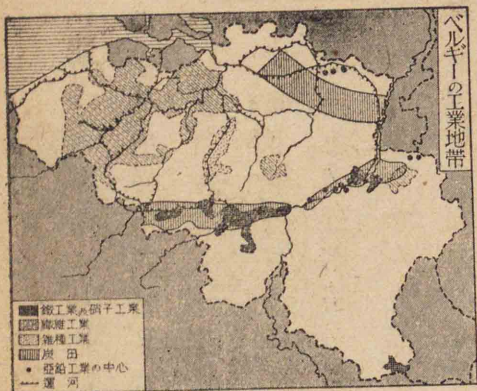
第六節 ベルギー(白耳義)

地勢・氣候

オランダの南に在り、獨佛の間に介在し、海を隔てて英國に對する。白蘭兩國は中歐と西歐との漸移地帯である。面積は約三萬方軒で、オランダより稍小さい。地理的に分てば山地丘陵地、低地の三區となり、略シエルト・マース兩河によつて分たれ、低地はオランダの低濕地に、丘陵地はフランスの平野に、山地はライン地塊につゞく。氣候はオランダと略同じく溫濕である。

處誌・人文

低地は酪製品を産し、丘陵地は農業行はれ、マース河及支流の谷からは石炭を産出する。不足する鐵鑛はルクセンブルグから輸入し、この石炭を利用して製鐵、製鋼業が盛で、その中心はリエージュである。良質の硝子類、各種の織物、レース等の製造も行はれ、獨佛に續く大陸の大工業地帯の一部を形成する。鐵道網の密度は世界



ベルギーの工業地帯

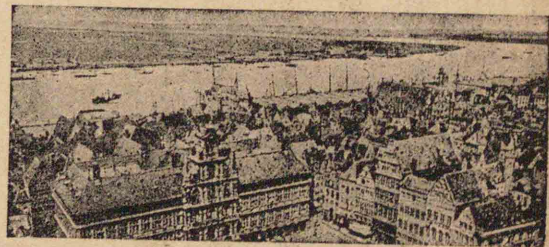
鐵工業、硝子工業、製糖工業、製紙工業、炭田、船舶工業の中心、運河

最大である。アントワープ(アンヴェルス)は自國の貿易のみでなく、中歐及北佛の咽喉港をなし、ロッテルダムと並び伸縮貿易額は莫大で、我が歐洲航路もこの地を終點とし、我が國へも鐵光學用硝子等を輸出する。

この國はチュートン族とラテン族との接觸地帯で、公用語としては兩語が併用される。但し宗教は共に舊教で、オランダ人と異なる。人口は約八三〇萬で、密度は世界第一位を占め、我が内地の一倍半に當る。首府ブリュッセル(ブラッセル)は國の中央にあり、市街壯麗で小パリーの稱があり、凡てに佛國的色彩が強い。

この國は立憲王政で、緩衝地帯であるが、獨佛兩國の間にあるため第一次世界大戰及今次の大戦に戰場となつた。

アフリカのコンゴはこの國の一大領地で、銅その他を供給する。  
ルクセンブルグ 獨佛白三國の間に介在する大公國で、同名の首府が



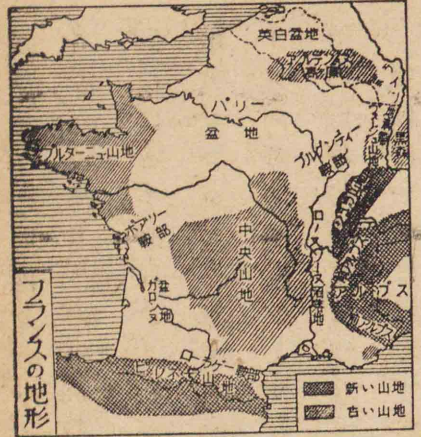
アントワープ

あり、ローレンに續く鐵の產地である。

- (一) スイスの山國としての利用に就いて我が國と比較せよ。
- (二) オランダに於ける産業と自然との關係を説述せよ。
- (三) ベルギーの商工業の盛な状態を説述せよ。

## 第五章 西部ヨーロッパ(西歐)

### 第一節 フランス(佛蘭西)



**位置・區分** 西歐の中央に位し獨伊と境を接しそれら諸國との關係が微妙である。面積は約五五萬方呎で、我が國の約八割に當る。地理的には南北フランスの二區に分れる。

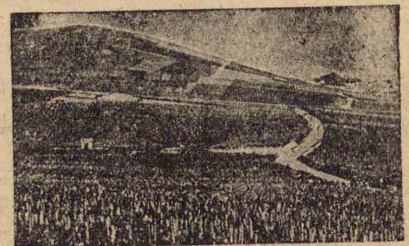
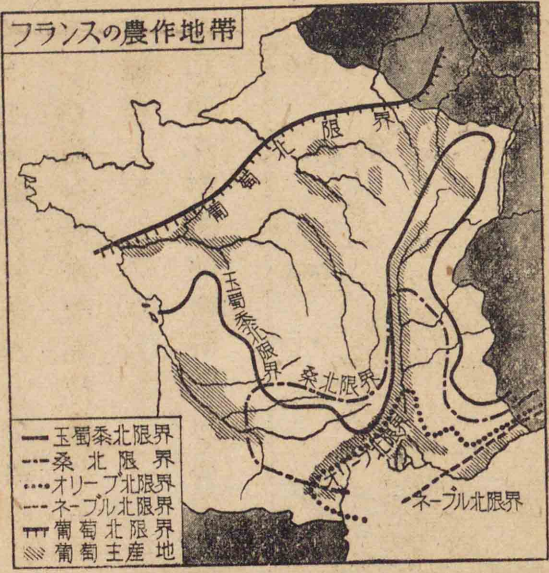
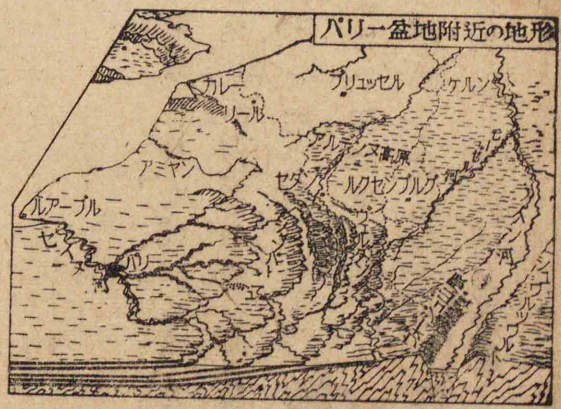
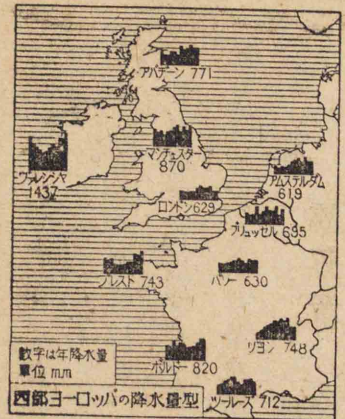
**地勢・氣候** 新しい褶曲山地であるピレネ山地は高峻で、直線狀をなし、アルプス山脈は大彎曲をなす。中央山地は、東北のヴォージュ山脈



及ライン地塊西北のブルターニュ半島に延び、共に古い削磨高原をなす。これ等の新舊山地の間にはセーヌ・ロアール兩河の流域にパリ盆地、ガロンヌ河の流域にガロンヌの谷、ソーヌ・ロアール河の流域にソーヌ・ロアールの谷があり、これ等の低地の相互の境は極めて低い。氣候は一般に溫和であるが、東南部は地中海性氣候である。

産業・交通處誌

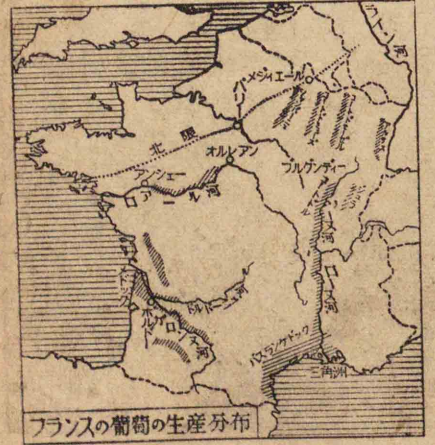
この國の半は農耕地で、パリ盆地は小麦・燕麥・甜菜等の主産地である。葡萄酒は質量共に世界に冠絶し、葡萄はパリ以南を主産地とし、パリ盆地では丘陵地に栽培され、殊にシャンパーニュ産の葡萄酒は最も良質である。ガロンヌの

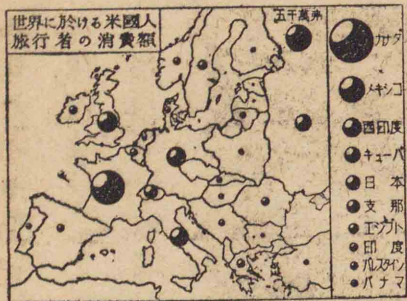


丘陵の緩傾斜面の葡萄畑

レンヂ類の特産地で、オリヴ・レモン・オ

リーヴ油・石鹼等をマルセイユから輸出する。又ロアール下流地方は氣候上桑が成育し、養蠶が行はれ、リヨンではその生絲と我が國及イタリヤより輸入したものとによつて世界的に精巧な絹織物を製して輸出する。北部の炭田はべ





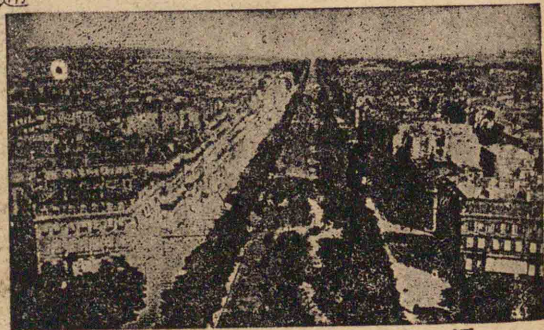
光客の多いこと世界一で、環状道路等よく整ひ、各國は都市計畫の範をこの市に採る西南郊のヴェルサイニの宮殿と庭園とは善美を盡す。パリーの海の門戸はセイヌの喇叭形の河口にあるルア、

ザルで、この國第二の貿易港をなし、米國通ひの巨船はシルブル港を利用し、ドーヴァー海峡に面するカレーはイギリスへの渡津である。南佛の中心はボルドーとリヨン、マルセイユで、マルセイユはこの國第一の貿易港であり、地中海沿岸及東洋との取引が多く、我が歐洲航路船はこゝに寄航する。カンヌ、ニ

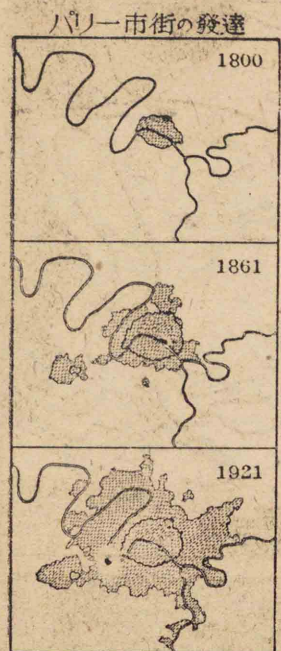
光客の多いこと世界一で、環状道路等よく整ひ、各國は都市計畫の範をこの市に採る西南郊のヴェルサイニの宮殿と庭園とは善美を盡す。パリーの海の門戸はセイヌの喇叭形の河口にあるルア、



一六〇七年のパリー

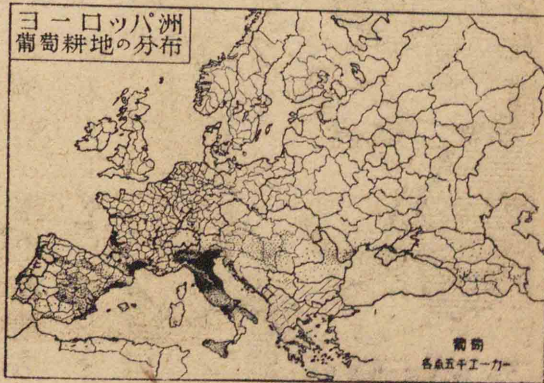


パリーのシャンゼリゼー通



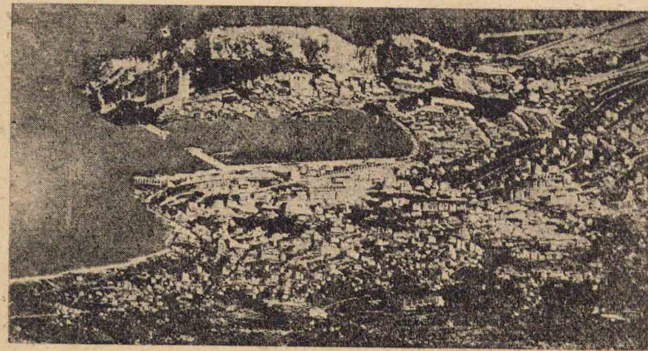
輸出し、石油、羊毛、棉花は需要の殆ど全部、石炭は四割を輸入に仰ぐ。首府パリ（巴黎）はこの國の政治・經濟・交通・文化の中心で、セイヌ河に跨り、市街は壯麗で、外人の觀

ルギー炭田の續きて、リール地方の織物工業の發達を著しく助ける。石炭に富むサンテチエンヌは工業が行はれる。第一次大戰の結果ローレンの鑛業區を得て鐵鑛の豊富な國となり、輸出さへする。美術工藝は一特色で、パリがその中心で、小さくて高價な裝身具、貴金屬品、化粧品等の製作が著しく進み、世界の流行界の先驅をなし、弘く世界を顧客として供給する。かくてこの國は化學工業品、鐵及鋼、綿織物、絹織物、葡萄酒、石鹼及香水等を



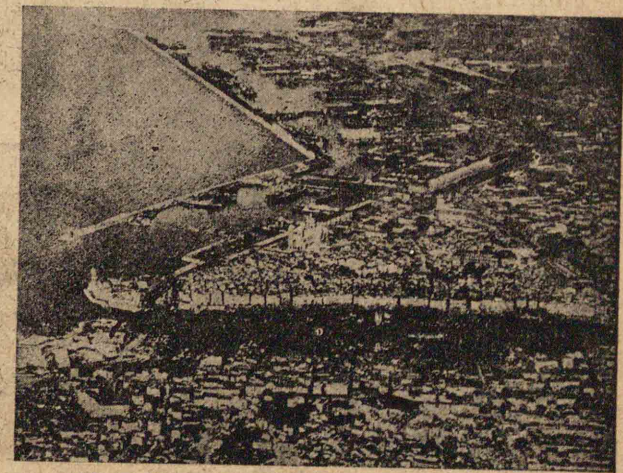
ス・モナコ(侯國)を含む沿岸一帯は歐洲第一の休養地帯で、リヴィエラと呼ばれる。

河川運河鐵道等の交通はパリを中心とした北部に最もよく發達し、各平野は鞍部が高くないので、相互の交通を妨げられることなく、運河さへ通ずる。航空路は歐洲は勿論、遠くアフリカ南米、印度支那にまで及んでゐる。



飛行機から瞰たリヴィエラのモナコ

人口は四、一〇〇萬で、その大部分はラテン族で舊教を奉ずる。フランス語は世界の外交語、交際語として尙ばれる。一般に文藝、美術に

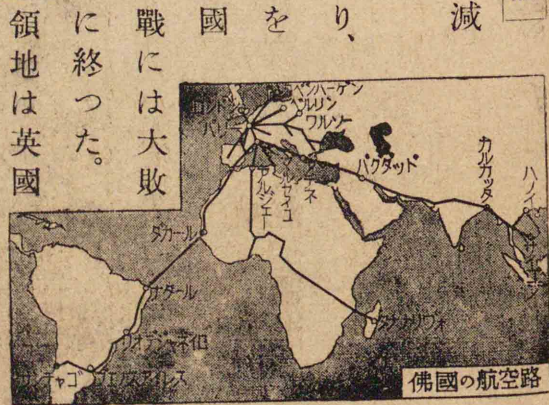


飛行機から瞰たマルセイユの港

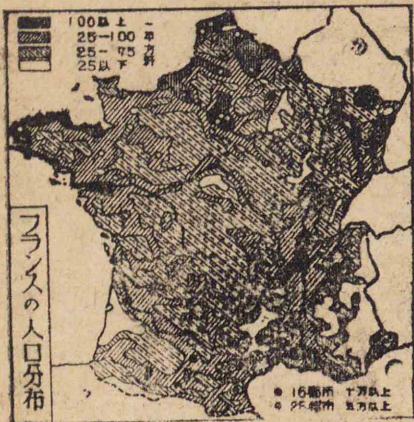
秀で、趣味は著しく進歩してゐる。人口密度は割に大でなく、最近人口が減少する傾向のあることはこの國の弱點である。

**政治**

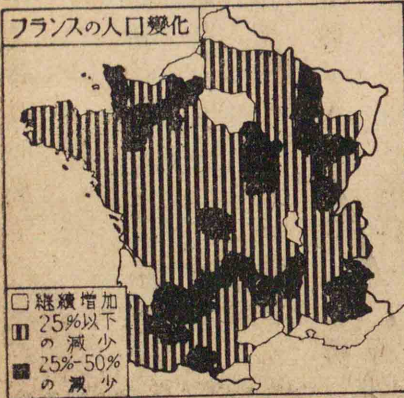
極端な變遷を経て現今の共和制となり、獨伊に對して英と協調し、又露と接近し、國際聯盟を保持して國際的地位をはかり、マジノ線を築いて國防につとめてゐるが、國力振はず、今次の第二次大戰には大敗に終つた。



佛國の航空路



フランスの人口分布



フランスの人口變化

□ 繼續増加  
■ 25%以下の減少  
■ 25%-50%の減少

領地は英國に次いで大で、略本國の二二倍を有するが、アフリカがその大部で、生産地が少く、印度支那が生産的な地域の一つであ



パリーのオペラ廣場の群集



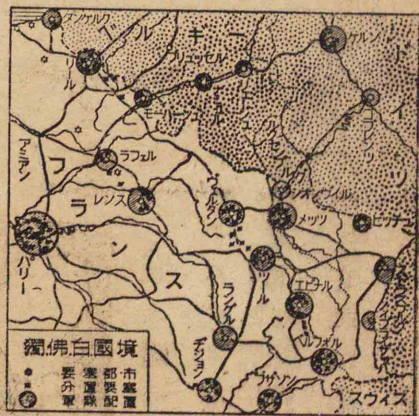
飛行機から見たパリーのコンコルド廣場

る 温帯に廣大な領土を有する英國とは大いに趣を異にする。

**我が國との關係**

維新後我が軍事・法律・學

藝等はこの國に範を採る所が多かつたが、今も美術學藝に就いては負ふ所が少くない。我が國からは生絲・綿織物等を輸入し、我が國へは機械類・鐵・合成染料・革類・毛織物・化粧品・葡萄酒等を輸出する。國際聯盟、對獨、對伊、對西諸問題、支那事變殊に佛領印度支那等に關しては彼我相互に國際的關心をもつ所が大である。



西部ヨーロッパ

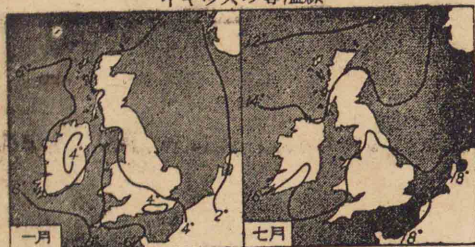
- (一) 獨佛の産業を比較せよ。
- (二) パリーの特色を挙げよ。
- (三) フランスの産業と自然との關係を

説述せよ。

- (四) フランスの國防について地理的に説述せよ。

第二節 イギリス(英吉利)

イギリスの等温線



位置・区分

イギリス諸島は大ブリテン・アイルランドの二大島が主で、大陸とは狭いイギリス海峡を挟んで相對する。面積は約二三萬方呎で、我が國の三分の一に當る。大ブリテン島は地理的にイングラ

イギリスの地理區



ランド・スコットランド・ウェールズの三地方に分れ、アイルランド島は北アイルランドとアイルランド國から成る。

地勢

イングランドの南部は波浪狀の平野で、ベニンとウェールズとは山地をなし、テームス・セヴァン・ハンバー等の諸河は諸方に流れ、河口は喇叭狀をなす。スコットランドは地溝帯をなす中央低地をもつ山地で、湖に富み、景色よく、海岸は沈降して狭長な灣入をなす。アイルランドには沼澤地をなす中央低地がある。北海は淺く、諸島は陸棚上にある。



飛行機から見たロンドン

**氣候**

この國は凡て北緯五〇度以北にあるに拘らず、灣流の影響を受けて氣候が極めて溫和である。一月に於てはイングランドの南岸とスコットランドの北端とが同溫度になり、等溫線は南北に走る現象を呈する。偏西風が年中卓越するため山地の西側は著しく雨が多し、一般に濕氣に富み、霧深く、快晴の日は少い。

**産業・處誌**

小麥がイングランド・スコットランドの東部に多いのは氣候の關係で、牧羊が東斜面に、牧牛が西斜面に多いのも雨量と牧草との關係に基く。小麥は輸入小麥に壓倒され酪製品の需要が増加するため、畑を變じて牧場にする傾向がある。耕地面積は小で、人口多く、而も工業の勃興は農業の不振を來たし、食

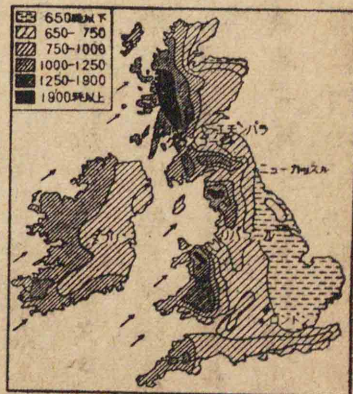
小麥の分布



羊の分布



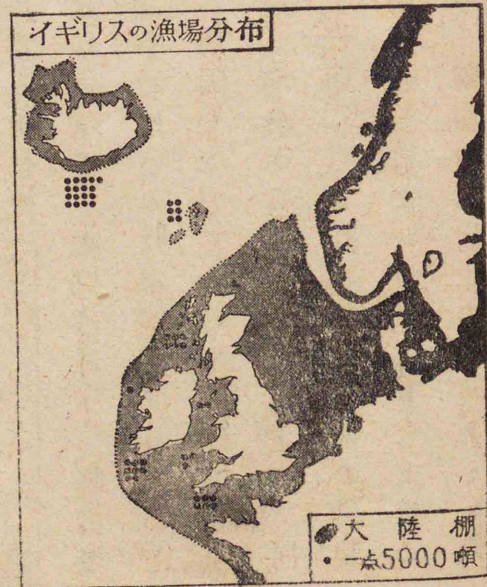
牛の分布



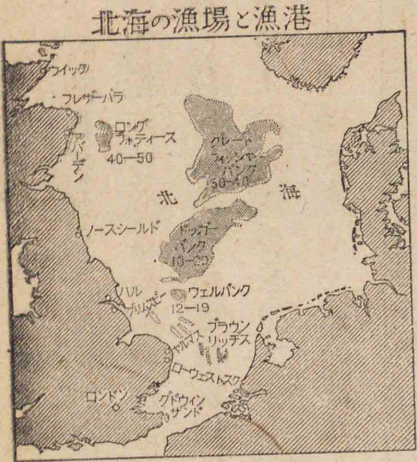
イギリスの降水量

料は不足し一年の收穫は僅か三箇月を支へ得るに過ぎない。畜産は牛馬共に世界の良種を以て稱せられるが、しかも尙肉類は需要の六割を輸入する。北海は陸棚をなし、魚族に富むため鯨鯨等の漁獲多く、東岸には漁港の發達著しく、ドッガーバンクに最も近い

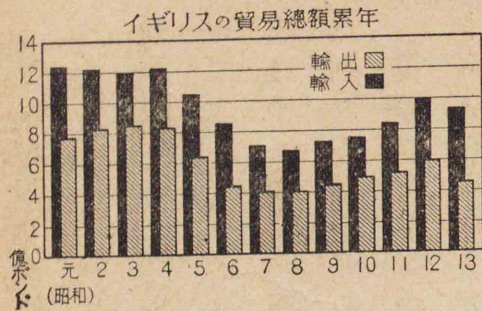
ハル・グ



イギリスの漁場分布

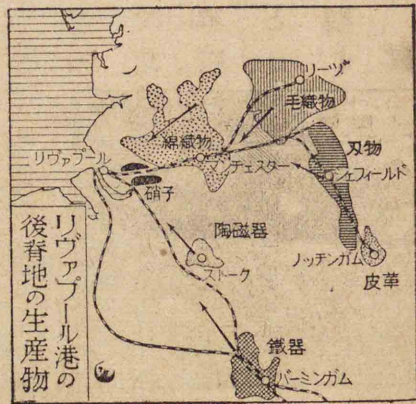


リムスビーは共に漁港として有名であるが、この國への我が鮭類の罐詰の輸入も多い。石炭(二位)鐵の産出は甚だ多量で、且つ兩者は殆ど同一地域に産出して工業の發達を促し、製品は良質と耐久力とに特色がある。綿絲紡績綿織物・毛織物麻織物造船

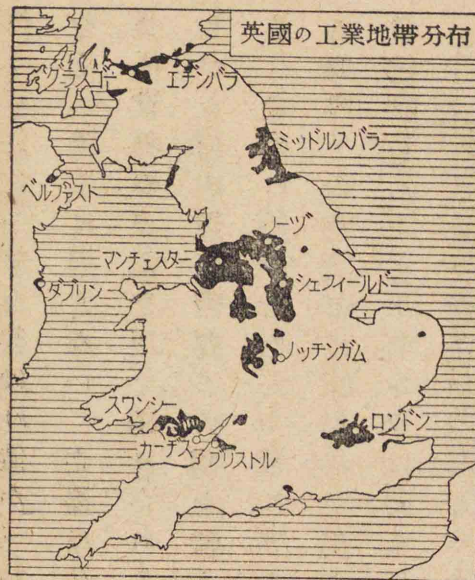


ミッドルズバラは鐵鑛を産し、製鐵業が盛である。ウェールスは石炭輸出港として世界的である。スコットランドの中央低地は炭田を有し、グラスゴーは喇叭状のクライド河の港で、造船業はこの國第一で、製鐵業も行はれ附近は綿絲紡績も盛である。貿易額の大と關係國の廣いことは米國と比肩し、米國と共に世界經濟界の中心である。輸入は肉類・小麥(需要の八割)・バター

ムがあり、製鐵業が盛で、ペンその他大の鐵製品を産し、附近は黒郷と稱せられる。タイン河口のニューカッスルは東麓炭田の北部を占め、石炭の輸出港であると共に大造船所を有し、附近のミッドルズバラは鐵鑛を産し、製鐵業

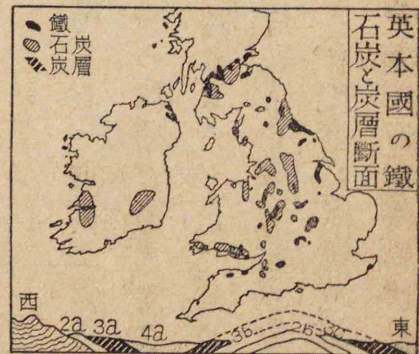


パンニン山地東西の氣候



その中心である。西側は風上に當り、降水量多く濕氣に富み、綿絲の紡績に適する。東側は風下で、降水量少く草地に富み、牧羊が行はれてゐたのが誘因となつて毛織物業が起り、今は遠く海外から原料を輸入する。同じく炭田に恵まれ、又物その他の鐵製品製造が盛なシェフィールドも東麓にある。南麓の炭田上にはバーミンガ

等の工業は何れも皆世界第一位を、製鐵業は第四位を占め、機械・化學工業も行はれる。ペンニンの東西兩山麓には豊富な炭田がある。それを燃料として西に綿絲紡績及綿機業が行はれ、その中心はマンチェスターで、東麓の炭田には毛織物業行はれ、リーズがその中心である。西側は風上に當り、降水量多く濕

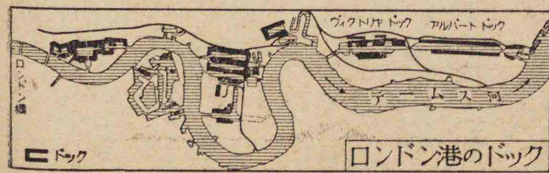
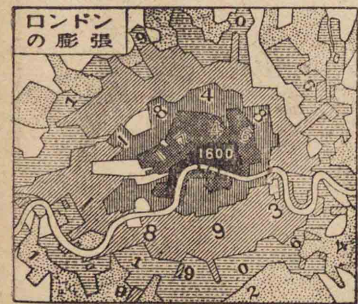


九割果實茶等の如き食料品、棉花(米國・エジプト等から)羊毛(濠洲・ニュージール  
 ンド等から)採油原料・鐵鑛(三割)石油等の如き原料品が多く、輸出は綿絲・綿  
 織物・鐵鋼製品・機械・船車・化學製品・毛織物等の精製品及石炭(佛・伊・獨等へ)が  
 主で、よく工業國の特色を發揮し、又伸縮貿易も盛である。取引は自國の  
 植民地は勿論、米國を始め世界各國との間に行はれ、實に世界に於ける標  
 式的の商業國である。

首府ロンドン(倫敦)はロンドン盆地の中央、テムス河に跨  
 り、人口約八六〇萬、ニューヨークと並ぶ大都市で、又巨船を泊し



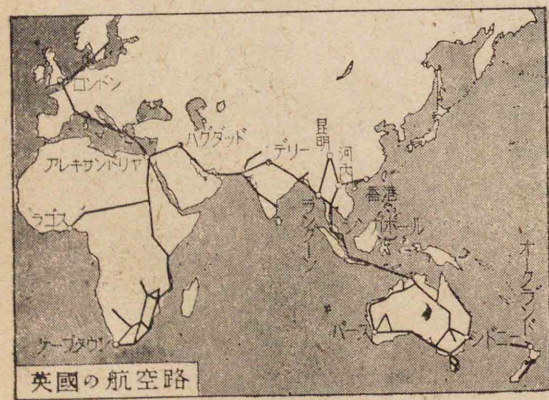
得る大貿易港であ  
 る。大英帝國の首  
 都として、又世界經  
 濟の一大中心とし  
 ての機關と景觀と  
 を備へてゐる。對



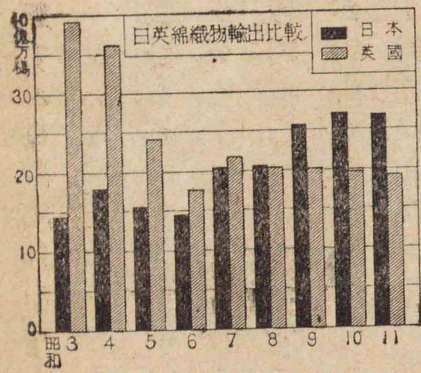
米航路はサザンプトンを起點とし、軍港としてはポーツマスがある。ラ  
 ンカシャー地方の工業都市の輸出入は喇叭形のマーシー河口にあるリヴァ  
 プールがこれに當り、ロンドンと並ぶ貿易港で、南北米との取引が多い。  
 スコットランドの貿易港グラスゴウは同地方の經濟の中心、この國第二の  
 大都で、エジンバラは古都で、學藝が盛である。北アイルランドの中心は  
 ベルファストである。

**交通**

分水界が低いため、運河網がよく發  
 達し、喇叭狀の河口は満潮に際しては巨船を泊  
 し得る良港が多い。大陸へはドーヴァーからカ  
 レーに連絡する。海運業は世界無比で、英國の  
 船舶は世界の三分の一を占め、地球上到る處に  
 船舶を見ない所がない。航空路は歐洲各國線  
 と連絡し、又遠く南阿・印度・濠洲までの自國經營  
 線をもつてゐる。

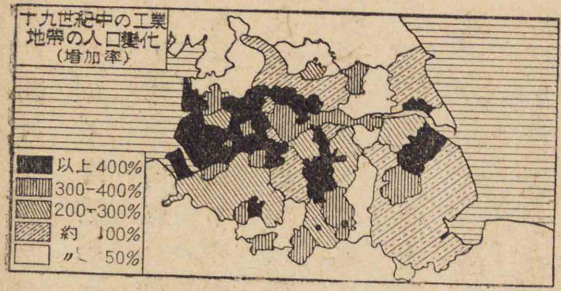
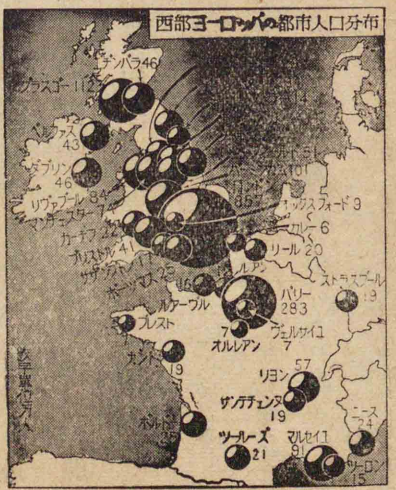






我が國との關係  
我が國は海軍・海運業・貿易業・學藝及造船業その他の工業の發達に於てこの國に負ふ所が多い。イギリスのヨーロッパ大陸に

實し、世界三大海軍國の一である。三〇〇年來海上に活躍して、地球上到る處に領土を獲得し、その總面積は世界陸地の四分の一に近く、總人口約五億に及び、北半球の熱帶季節風帶のインド、溫帶のカナダ、南半球溫帶のオーストラリア、ニュージールランド、南アフリカの如き好植民地、ジブラルタル、マルタ、アデン、コロンボ、シンガポール、香港等の如き通商上・軍事上の重要地點を夙に領有し、世界一の植民地所有國となつた。故に國際上從來佛と提携し、米と親しみ現狀維持にとめつゝある。

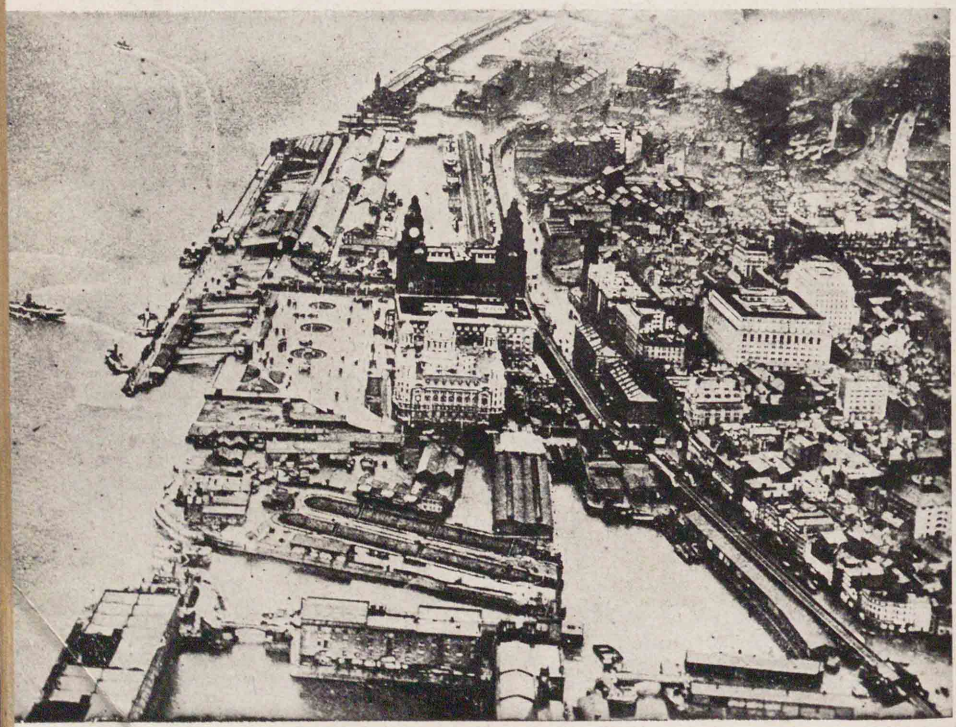


政治  
この國は立憲君主國で、本國は大ブリテン、北部アイルランド聯合王國と稱し、植民地を合せて大英帝國を組織する。海軍は國防及貿易保護のため充



住民  
人口は約四、八〇〇萬で、イングランドに於てはチュートン族に屬するアングロサクソン人が多く、英語は世界の商業語として最も勢力をもつ。國人は一般に沈着で、實際を重んじ、且つ常識に富む。人口密度は白蘭兩國に次ぎ、その密度の大な地域は工業地帯で、ロンドンを除く他はすべて炭田の分布と一致する。工業の勃興に伴ひ、人口が都市に集中した現象は殊に著しい。

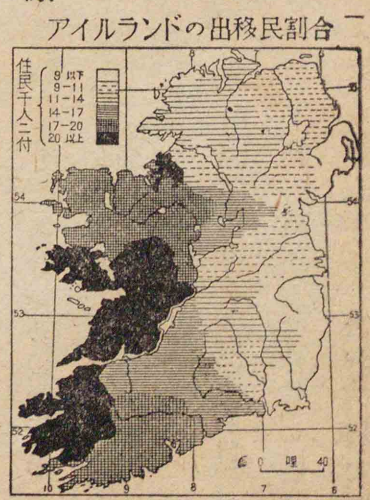
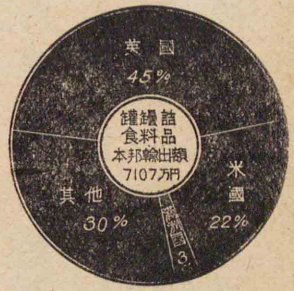
イングランド中央平原の景觀

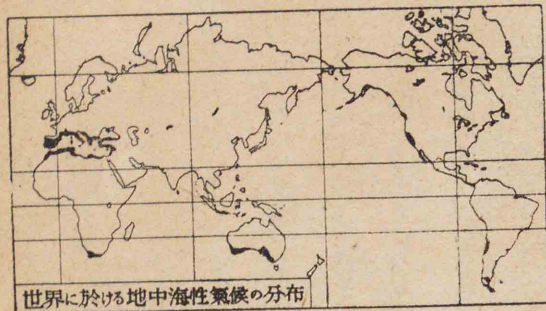


飛行機から見たリヴァプール

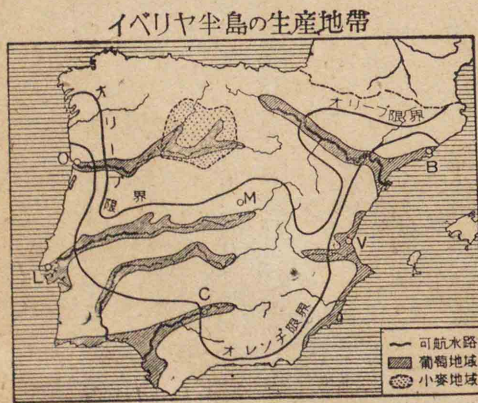
對する地位は、我が國がアジア大陸に對するそれと類似し、國情も亦類似の點が少くない。嘗て攻守同盟國であつたが、その後我が國勢の發展に伴ひ、彼我の利害相反し、國際上對立國となつた。彼我の取引關係は、我が國へは機械類・毛織物・鐵類等を輸出し、我が國からは生絲・罐頭詰食料品・木材・絹織物等を輸入する。近時世界の國際市場に於て彼我の商品、殊に綿絲・綿織物等は激烈な競争状態にあり、英國は大英帝國のブロック經濟を以て對抗しようとしてゐる。

アイランド國(アイルランド)アイランド(愛蘭)の首府はダブリンである。東北部を除く大部分は原住民族のケルト族が住み、舊教を奉じ、農牧業本位の生活をするが、收穫少く年々新大陸に移住するものも多い。イギリスと種族・宗教・産業・生活等を異にするため獨立して共和國となつた。





イベリヤ半島はヨーロッパの西南端に突出し、南はジブラルタル海峡によつてアフリカに對する。中央は一大削磨高原で、南はシエラネヴァダ、北はピレネーの新しい褶曲山地によつて縁どられる。氣候は北部を除いた海岸は



179 南部ヨーロッパ地中海地方

## 第六章 南部ヨーロッパ(南歐)地中海地方

第一節 イベリヤ半島 スペイン(西班牙)イスパニヤ、ポルトガル(葡萄牙)

(一) イギリスと我が國との産業を比較せよ。

(二) イギリスの産業及商業が發達した地理的理由を挙げよ。



飛行機から見たローマ



イタリアのポー河流域平原の景觀

地中海性で、中央高原は大陸性である。

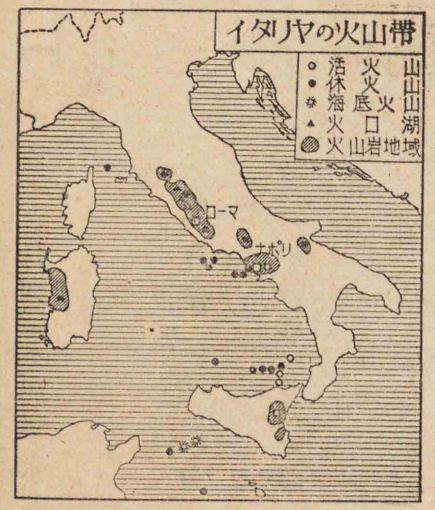
スペイン・ポルトガルは共に共和国で、首府は高原上のマドリッドと海港リスボンとである。各溪谷には葡萄酒を輸出し、オリーブ油・コルクの輸出は共に世界第一位である。スペインは鐵銅・水銀等に富むが、多くは鑛石のまま、英獨等に輸出される。スペインの貿易港はヴァルセロナである。

住民はラテン族で、舊教を奉ずる。國民戦線のフランコ新政府は滿洲國を承認し、日滿兩國と防共協定を締結した。地中海の口を扼する要地ジブラルタルは英領となつてゐる。

### 第二節 イタリア(伊太利)

#### 位置・地勢・氣候

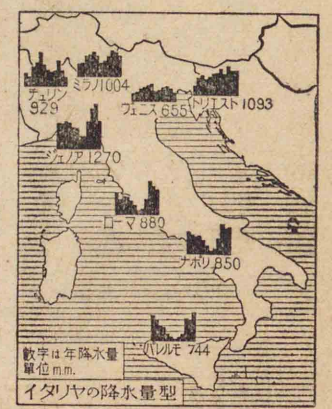
地中海地方の中央に半島をなして東南に長く延びる。地理的には北イタリア(大陸部)南イタリア(半島部)



イタリアの火山帯  
● 活火山  
○ 休眠火山  
△ 海底火山  
□ 山山湖地



ナポリ湾沿岸の火山



イタリアの降水量型  
数字は年降水量  
単位mm.

の二區となる。

北イタリアの中樞はロンバルディア平原で、アルプスとアペニン山脈とに圍まれ、ポー河これを貫流し、東方、アドリア海に注ぐ。この地域の

をなすアペニン山脈はシリール島を経てアフリカに達し、その内側には

ヴェスヴィオ・エトナ等の火山噴出し、地震も亦多い。半島部の氣候は純然たる地中海性である。

#### 産業・交通・處誌

農業は最もす

ぐれ、小麥・米(ロンバルディア平原)・葡萄・オリーブ・オレンジ・レモン・無花果等の亞熱帯性の果實、桑等は氣候に恵まれて産額多く、マカロニ・葡萄酒(二

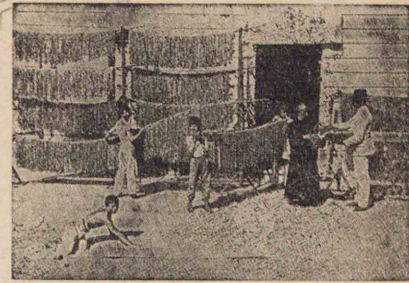


各點二百五十噸



地中海沿岸のオリーブ生産分布

各點五百佛噸

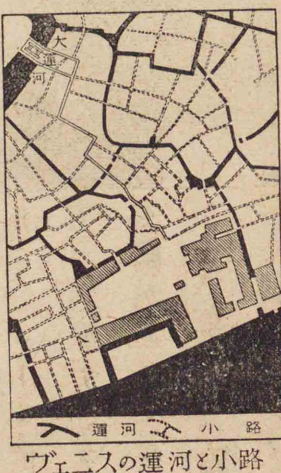
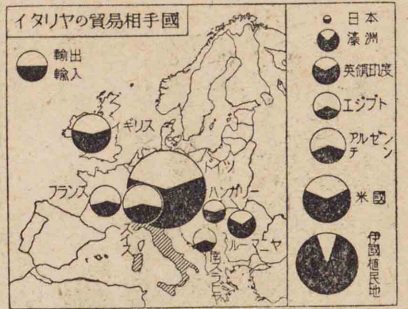
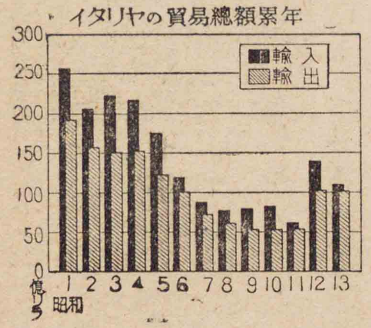


イタリアの名産マカロニ

位オリヴ油乾果等を産出して輸出し、繭生絲の産額は歐洲第一である。大理石・硫黄(二位)・水銀(一位)の産出も有名である。石炭は乏しいがアルプス山地の水力電気と豊富な勞力で近代工業が次第に盛大となり、ミラノを中心として生絲工業の外、人造絹絲・絹織物・綿絲・綿織物・毛織物等の製造が行はれる。従つて輸出品は果實・綿織物・人絹・毛織物等が多く、輸入品は石炭・棉花・機械・石油・羊毛・鐵類等を主とし、取引國は獨米が主である。

地理的  
位置  
ミラノの地位  
重要  
主要  
アルプス山脈  
隆起  
アフリカ  
ヤ平原が盛で、その中心ミラノはアルプスの大障壁を横斷して中歐・西歐と通ずる鐵道の集る所で、ジェノアを咽喉港とする。アドリヤ海灣頭

品は石炭・棉花・機械・石油・羊毛・鐵類等を主とし、取引國は獨米が主である。



の瀉湖を占めるヴェニスは中古一大海上權を有したが、交通系が西に偏したため今は雅趣に富む水の都として知られる。

の門戸である。南イタリアには首府ローマと貿易港ナポリ(ネーブルス)とがあり、ローマ(羅馬)は舊羅馬帝國の首府で、遺蹟に富み、遊覽客多く、ナポリは我が汽船の寄航地で、ヴェスヴィオを望むナポリ灣の風景は絶佳である。フロレンスは繪畫・彫刻の名作を有する美術都市である。

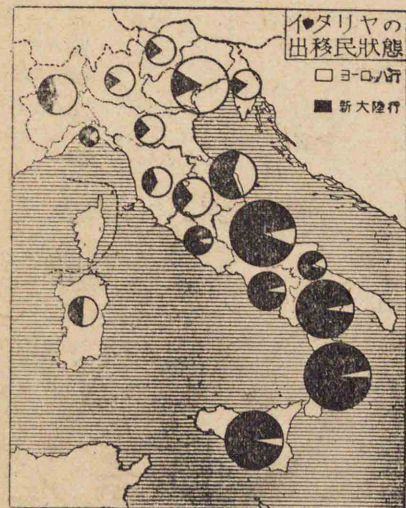
住民政治

ラテン族と舊教の本源地で、文化

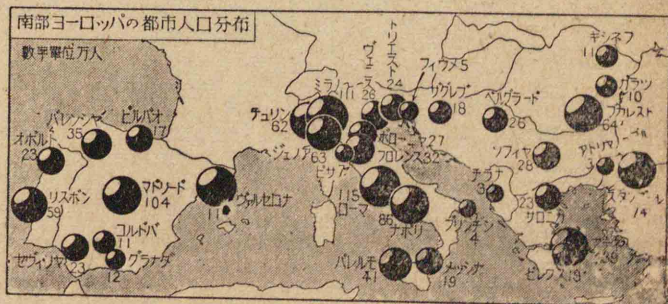


ナポリとヴェスヴィオ

の發達古く、美術音樂等今に見るべきものが多い。人口密度の大な農業國であつたから兩米等に出稼するものが極めて多かつたが、今は引留めてゐる。立憲王國で地中海地方では一大勢力を有し、フランスが活動してドイツと結び、全體主義國家として國勢の發展に努めてゐる。この國はアルプス地方とダルマチヤ海岸とに國境を擴め、又近時エチオピア及アルバニヤを併合し、更にアフリカに大飛躍をせんとしてゐる。ローマ市内に法王の君臨するヴァチカン王國があり、マルタ島に英國の軍港がある。



我が國との關係  
この國は自然人文共に我と類似する點が少くなく、殊に、持た



南部ヨーロッパ—地中海地方 164

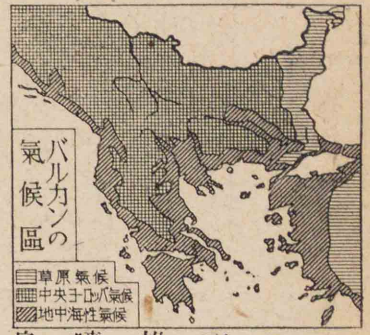
ざる國の新興國として國情の相通するものがある。嚮に日獨伊三國防共協定を結成したが今又三國同盟を結んで一層親交を深めた。我が國から生絲等を輸入し、我が國へは水銀、機械等を送る。

- (一) イタリアと我が國との類似點を擧げよ。
- (二) イタリアの地中海に於ける地位を説述せよ。

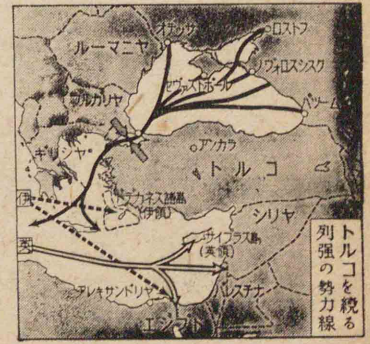
### 第三節 バルカン半島

ヨーロッパの東南隅に突出した半島で、小アジア半島と共に歐亞兩大陸連絡の好位置にある。北部はトランシルヴァニアアルプスが乙字形にバルカン山脈に續き、南部はデナルアルプスがダルマチヤ海岸を走つてギリシヤ半島に及んでゐる。エーゲ海(多島海)・マルモラ海によつて歐亞の連續は絶たれ、中に無數の島嶼がある。ダニユーブ河は鐵門を出て、ルーマニア平原を東流し、黒海に注ぐ。全半島は山がちで、到る處に山間盆地を見る。海岸はすべて地中海性の氣候であるが、内陸は稍大陸性を帯びる。

ルーマニア  
名物  
地理



住民は殆ど全部農民である。この地方は歐亞の接觸地帯で、地形も數多の小區域に分れ最も複雑な人種の分布をなし、國際上の噴火山と稱せられる。嘗て全半島を支配したトルコ族はアジア



人種で回教を奉じ、住民の多數を占めるキリスト教徒のヨーロッパ人種と融和せず、獨立したヨーロッパ人種も南斯拉ヴ族のセルヴィヤ族を中心として、ユーゴースラヴィヤ王國を、ブルガリヤ族はブルガリヤ王國を、ラテン族のルーマニア族はルーマニア王國を、ギリシヤ族はギリシヤ王國を、アルバニア族はアルバニア王國を各建設したが、近時の歐洲戰勃發に伴ひ獨逸、英の勢力圏爭奪の的となり、今は獨逸勢力下にクロアチヤ族、モンテネグロ族は各同名の獨立國を建設し、我が國はクロアチヤを承認した。ユーゴースラヴィヤ 首府ベルグラードはダニューブ河とサウ河との會

合點にあり、バルカン半島縦貫路の要衝に當る。

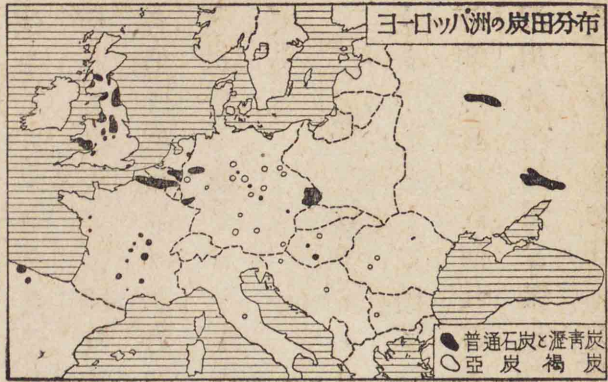
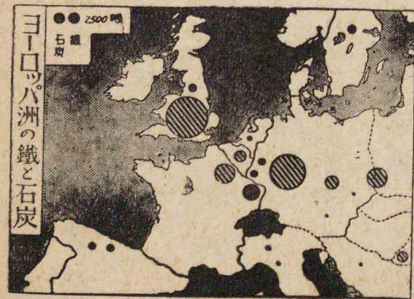
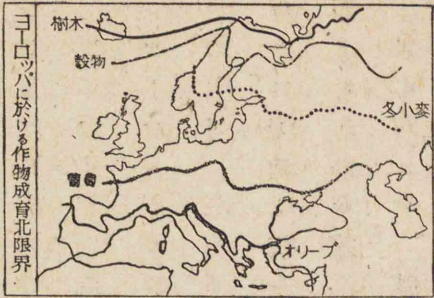
ルーマニア 平原では小麥を産し、歐洲の穀物倉と稱せられ、首府ブカレストは平原の中心にあり、山麓では石油と岩鹽とを多量に産する。ブルガリヤ 首府ソフィヤは山間盆地の中心で、近東鐵道に沿つてゐる。ヨーロッパトルコ トルコは大戦後僅か一部分を残して首府も小アジアに引退したが、イスタンブール(コンスタンチノープル)はボスポロス海峽に臨み、近東鐵道の終點に當り、水陸交通の要地である。この地はもとの東羅馬及トルコ帝國の首府で、羊毛、穀物等を集散する。アルバニア 僻遠な山地で中心をチラナといひ、伊國に併合された。ギリシヤ(希臘) 乾葡萄、無花果、煙草等を産し、又兩米へ出稼するものが多い。古代文明の發祥地であるが、今は首府アテネにはアクロポリス等の遺蹟が残るのみである。サロニカはベルグラードから來る縦貫鐵道の終點に當る門戶港である。この國は近時の歐洲戰に英國の援助を受けて獨逸と戰つたが、敗れて今は獨逸の支配下にある。

- (一) バルカン半島に戦亂の絶えない地理的理由を擧げよ。
- (二) バルカン半島の住民について詳述せよ。

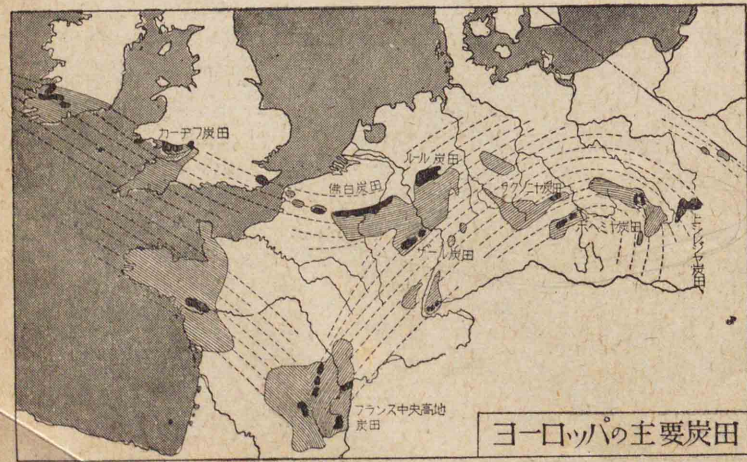
## 第七章 ヨーロッパの人文總説

### 産業

小麥の産地はソ聯南部及ルーマニヤが主で、歐洲の穀物倉と呼ばれ、パリ盆地も亦産額が多い。ライ麥はソ聯北部から北歐及中歐の北部平原に産し、燕麥・大麥も亦略同じ地帯に産する。馬鈴薯及甜菜はドイツとソ聯とが主産地である。地中海地方は亞熱帶性の果實を産し、オリヅ油の産額が多く、養蠶も亦米作と共にこの地域の特殊産業で、生絲の生産も豊富である。牧畜業も振ひ、デンマルク・オランダ・スイス及イギリスは乳牛に、イギリスは良



馬に、ドイツは豚の産に著れる。林業は北部及中部に盛である。水産は北海に極めて盛で、世界の三大漁場の一と稱せられ、鱈鰵が多い。石炭は中央高地の北縁及イギリスの炭田に産し、極めて豊富で、鐵の夾在と相俟つて近代工業の勃興の主因をなし、延いて一般文化の發達を促したことが莫大で、獨・英・佛の隆盛は實にこれに負ふところが多い。獨・白・佛に互るヨーロッパ平原の西部及イギリス即ち中歐及西歐諸國は米國と並び世界の最盛最



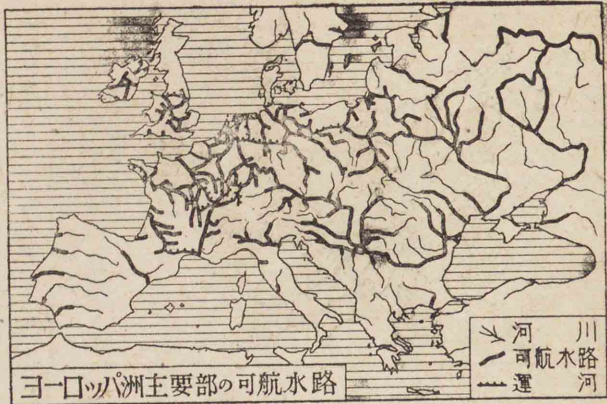
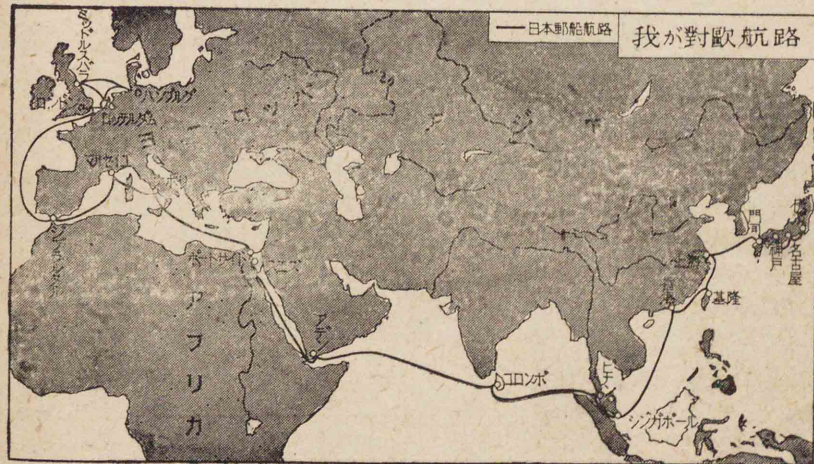
化の發達を促したことが莫大で、獨・英・佛の隆盛は實にこれに負ふところが多い。獨・白・佛に互るヨーロッパ平原の西部及イギリス即ち中歐及西歐諸國は米國と並び世界の最盛最



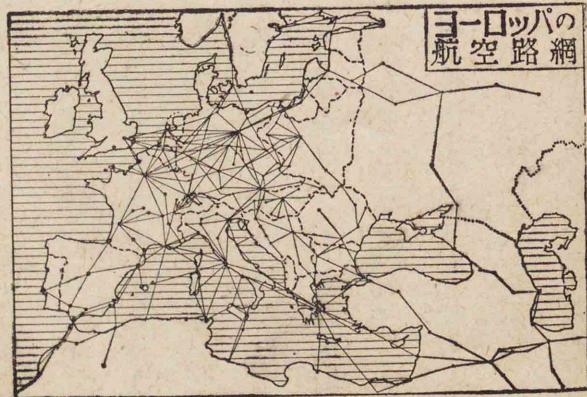
大最高級の工業地帯で、精製品の産出が夥しく、他の大陸諸國へ供給する量は甚だ大である。工業の原料は一部ヨーロッパの所産に俟つが、大部は他の大陸から供給を仰ぎ、食料品の如きもヨーロッパ産のみに依ることができないため、諸國の海外貿易は何れも盛大で、米國及我が國を除く他の世界各地は概ねその勢力下にある。英獨佛は商業が最も盛で、ロンドン是世界經濟の大中樞である。

**交通**

ロンドン・パリ・ベルリン・モスクワを中心として數多の鐵道幹線がある。運河網の發達は何れの大陸よりも顯著で、重要河川は内陸國と海との國際的連絡に貢獻する。海上交通は北海沿岸諸國の活動最も著



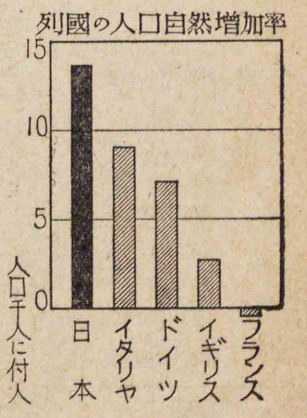
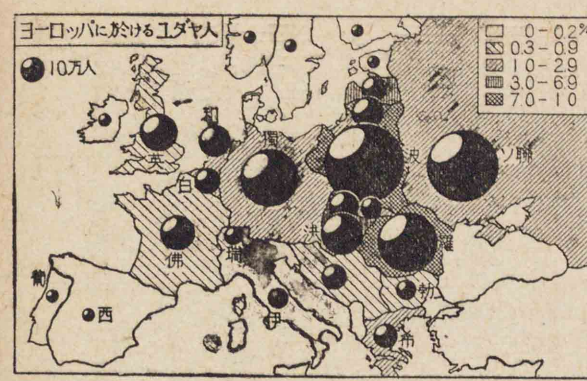
しく、ロンドン・アントワープ・ロッテルダム・ハーグ等がその活動の大根據地である。近時航空路の發達が目覺しく、ベルリン・パリを始め列國の首府を中心として獨佛英ソ聯伊等の經營線が歐洲は勿論各大陸



に延びてゐる。  
**住民** 大部分はヨーロッパ人種で、三大種族があり、そのうち現今最も優勢なものはチュートン族で、ラテン族は概ね昔の隆盛を恢復するこ

人種分布圖・人口分布圖・人口密度圖・言語分布圖・宗教分布圖・交通圖・政治區劃圖等は附圖參照。

と難く、スラヴ族はその発展の過渡期にある。各國の人口の増減が重大な關心事である。チュートン族は中部・北部に住し、着實・勤勉・學術に長じ、商工業に堪能で、新教を奉じ、獨英人はその代表である。ラテン族は西南部に住し、浮華で感情に傾き易いが優美・快活で、文學・美術に長じ、舊教を奉じ、伊佛人がその代表である。スラヴ族は東部に住し、多くは質朴な農民で、文化は前二者に劣り、ソ聯人がその代表である。ユダヤ人は經濟力を有し、各國で問題となつてゐる。アジア人種の主なものはマジール・フィン・トルコの三族で、マジール族の如きは歐化されて、優に白人と伍してゐる。人口は約五億餘、その密度は大陸中最大であつて、その大な地方は主として中歐・西歐の商工業地



帯である。

**政治**

國家の分布は密で、三〇餘の大・小國が相接し、世界の列強は勿論多くこの中にある。中央にドイツ、西に英佛があり、その緩衝地帯にオランダ・ベルギー・スイスが介在し、ドイツとロシアとの間に緩衝國としてポーランドがあつた。南歐ではイタリヤが獨り優勢で、バルカン半島は小國對立し、常に不安が絶えない。アジア人種の建設する國家はハンガリー・フィンランド二國で、トルコはこの大陸に一部の領土を有するのみとなつた。併しトルコの領土以外には、他の大陸の國家の植民地は一もなく、大小の國家が國際競争場裡に群り立つの偉觀を呈する。

- (一) 歐亞兩大陸の自然人文を比較せよ。
- (二) 獨・伊・英佛の國勢を比較せよ。
- (三) ヨーロッパの文明が最も發達した理由を地理上から説述せよ。

# 第四篇 アフリカ(阿弗利加)

## 序説

### 位置区分

印度洋を隔ててオーストラリアの西に位し、北は地中海を隔ててヨーロッパに對し、アジアとはスエズ地峽により境する。気候的には赤道の南北に跨る熱帯大陸で、政治的にはヨーロッパの勢力の最も強大な大陸である。地形に著しい變化がないから、たゞ位置的關係により、北部アフリカ中部アフリカ東部アフリカ南部アフリカ及附屬諸島の五區に分つ。面積は約三千萬方呎で、アジア洲の三分の二に當る。

## 第一章 アフリカの自然總説

### 地勢・海洋

北部の山脈を除けば、全表面殆ど高臺狀をなし、河川は高臺の縁邊で概ね急湍又は瀑布をなす。高臺上にはコンゴ盆地、チャード盆地等が變化を興へるが、殊に著しいのは東部の大地溝帶で、高峻な火山と

高原が之に伴ふ。東にモザンビーク海流、西にベンゲラ海流がある。海岸は出入極めて少く、島嶼も乏しい。

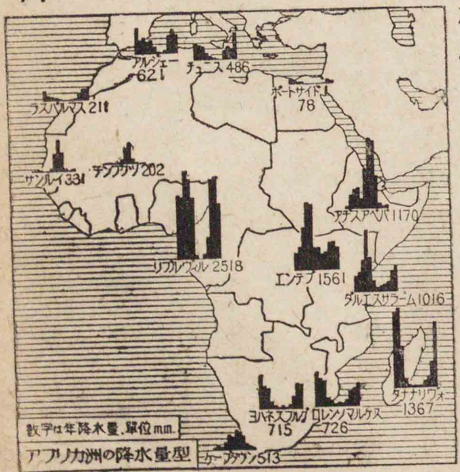
### 氣候植物帶

全面積の四分の三は熱帯で、南北兩端のみ地中海性氣候區で、大陸性氣候地域最も廣く展開し、南北兩部に沙漠を生ずるに至つた。ワヂと泉地とは沙漠の特色である。兩乾燥地帯に挟まれた中央部は、貿易風と季節風とにより、多雨地をなす。植物は降水量に支配され、中央の高温多雨帶に熱帯原生林繁茂し、その南北はサヴァンナ草地(ステップ)沙漠に漸移する。

## 第二章 北部アフリカ

### 第一節 バルバリ諸國

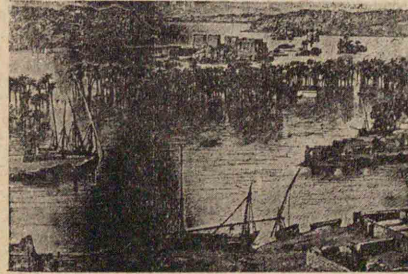
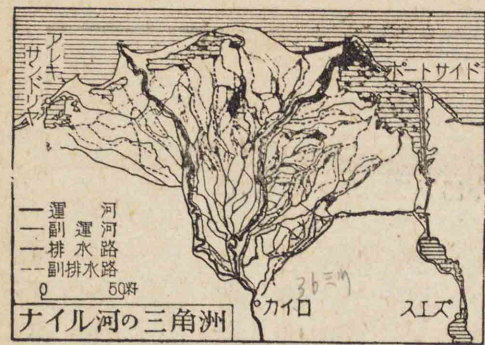
地中海岸の西半をいひ、ヨーロッパの褶曲山



脈のつゞきであるアトラス山脈の部分で、所謂地中海性氣候を呈し、アルジェリヤの如きは葡萄・オリーブの果實を産出する。ヨーロッパの對岸に位置するため、佛はアルジェリヤを領土とし、チュニス・モロッコを保護地とし、伊はトリポリを、イスパニヤはセウタを領有した。

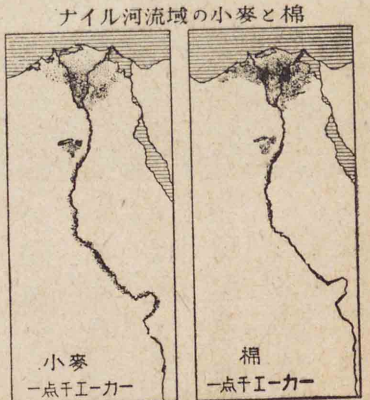
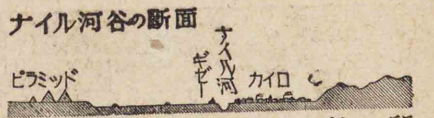
第二節 エジプト (埃及)

エジプトはナイル河の下流を占め、ナイル河は青ナイルの支流を合せ、沙漠の間を過ぎ、下流に標式的三角洲を造る。青ナイルの源アビシニヤ高原は夏季雨量多く、水量激増し、遂にナイル下流に定期の氾濫を起す。そのため兩岸の狭長な洪瀆地及三角洲上に沃土が運ばれ良

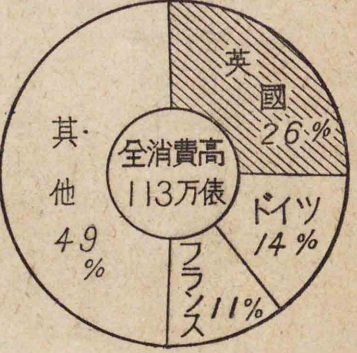


氾濫期のナイル河

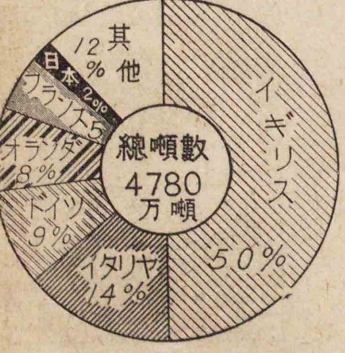
質の棉花・煙草の外、甘蔗・米・小麦・玉蜀黍等も産する。古代文明の發祥地であるのも實にこれに起因する。今はアスアンの大堰堤が築造され、乾季にも人工的灌漑により耕作が可能となつた。三角洲頂點の首府カイロは本大陸最大の都市で、咽喉港アレキサンドリヤは古くから商港として榮えた所で、アフリカ縦貫鐵道の北半がこの地から起り、ハルツームの南まで延長した。スエズ運河は延長約一六〇浬、アラビヤとの地峽部に湖を利用して造つた大運河で、歐亞連絡の最重要航路が通過するため、各國の船艦の通行多く、我が汽船も常にこ



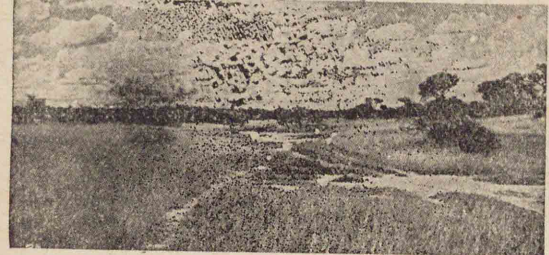
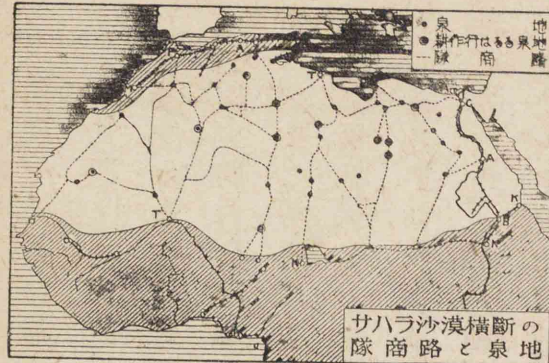
エジプト棉消費高百分率



スエズ運河通航船舶



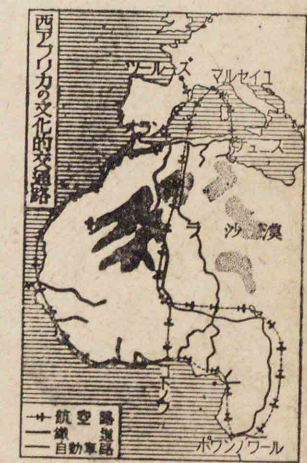
れを利用する。ポルトサイドとスエズとは運河兩端の重要港である。この國は人口一六〇〇萬の立憲王國で、イギリスから獨立したが尙イギリスに利權を掌握されてゐる。我が國へ棉を輸出し、我が國から綿織物等を



輸入する。世界第一の大沙漠で、一般に高臺性をなし、純大陸性氣候をもつてゐる。泉地多く、そのの棗椰子は最も重要な産物である。隊商は泉地を辿つて往來し、今は自動車路・航空路があり、それ等の大部分は佛國の勢力圏に屬する。

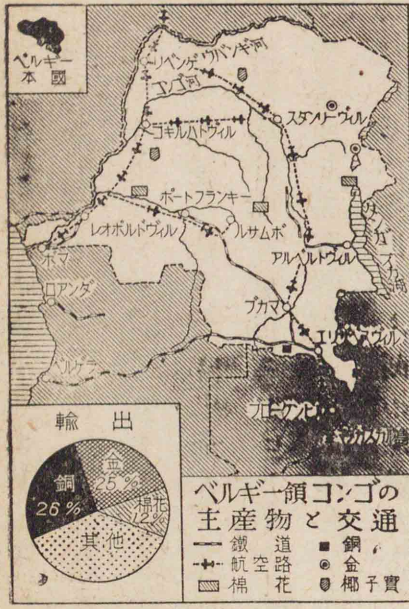
輸入する。

第三節 サハラ



第三章 中部アフリカ

スダン地方は大部分サヴァンナをなし、主にスダン黒人の住する未開地である。東部のアングロエジプトスダンはナイル上流の一大盆地で、イギリスとエジプトとの共同政治が行はれ、首府はハルツームである。西部には黒人の獨立國リベリヤ共和国がある。ベルギー領コンゴはコンゴ河流域のコンゴ盆地をなし、高温多雨のため熱帯原生林よく繁茂し、ゴ



ム椰子油・象牙・銅・金・ラヂウム等を産出する。

第四章 東部アフリカ

紅海の南岸からモザンビック海峡に至る地方で、ケニヤ・ウガンダをはじめ、政治上伊・佛・英・葡諸國の領地に

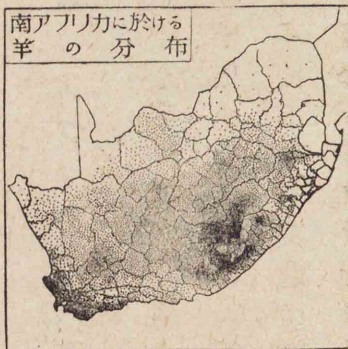
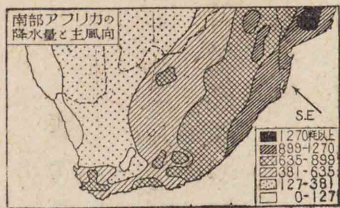


アフリカの大地溝帯

分れる。紅海から続く地溝帯は湖沼列をなし、アビシニヤ高原は隆起地塊で、キリマンジャロ等の火山はこれ等の弱線に沿うて噴出する。氣候は純熱帯性で、棉花・コーヒー・コブラ等を産し、高原の草地には牧畜が行はれ、天然曹達象牙の輸出もある。海岸から内地に向ふ開拓鐵道があり、モンバサからヴィクトリア湖畔へ、ダルエスサラムからタンガンイカ湖畔へ、チブチからエチオピアの中心アヂスアベバに達する。ダルエスサラム・モンバサ及ザンジバルは港市で、我が定期航路が開かれ、棉花・曹達を輸出し、綿織物を輸入する。

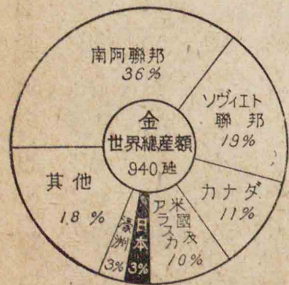
エチオピア(伊僊)は高原状をなし、熱帯性の棉・コーヒー・ゴム等を低所に、温帯性の麥類を高所に産する。住民はセム族でキリスト教を奉ずる。この地は嘗て獨立國であつたが、最近イタリアに併合せられた。

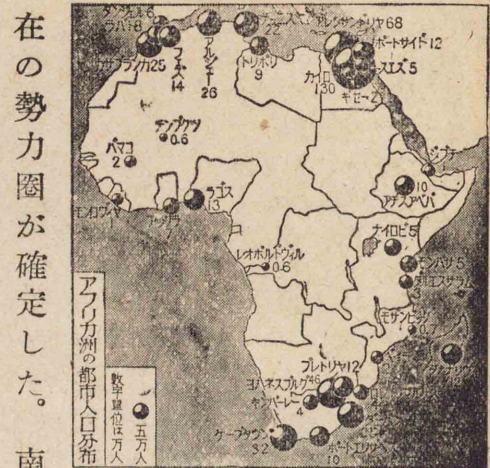
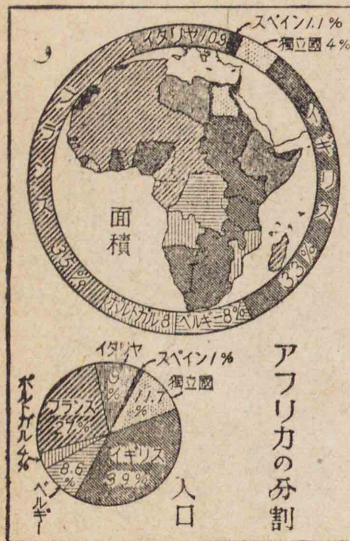
### 第五章 南部アフリカ



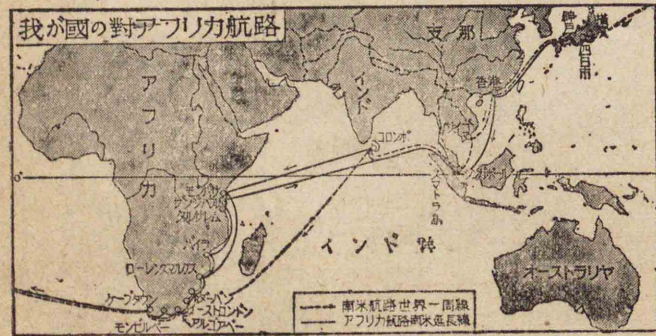
大陸の南部を占め、南端を喜望岬といふ。海岸は温帯及亞熱帯性氣候で、降水量も適度のため小麥・玉蜀黍等を産し、内陸の草原地方では牛羊の放牧が行はれる。鑛産は最も重要な産業で、キンバリーの金剛石とヨハネス

ブルグの金とは世界第一で、北ローデシヤの銅(三位)も重要である。南阿の經濟上の中心はケープタウンで、交通・商業上重要な位置を占め、金・羊毛・金剛石・皮革等を輸出し、大陸縦貫鐵道の南半はこの地を起點とし、コンゴまで開通した。東岸のダーバンは石炭・羊毛を輸出する。取引は英本國が主であるが、我が南米航路の汽船もダーバンとケ





在の勢力圏が確定した。南阿及バルバリ地方が最も経済的価値のある地域である。大戦後ドイツ領土は凡て英佛等の委任統治地となつたが、最近ドイツの舊領



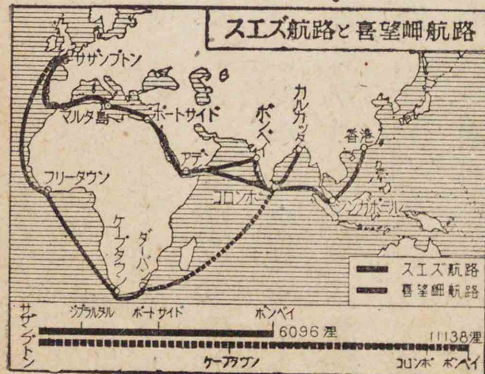
### 住民政治

北部はヨーロッパ人種のセム・ハム

産業交通 産業は未だ發達せず、金銅・金剛石・天然曹達・小麥・羊毛・棉の外はゴム・椰子・油・象牙等の天産物あるのみである。交通は縦貫鐵道・開拓鐵道も進捗し、横斷路も開け、航空路は英佛により各縦貫線が開かれてゐる。

### 第六章 アフリカの人文總説

イプタウンに寄航する。住民は土人・英人及最初の開拓者蘭人の子孫のブリア人である。政治上では、四州が南アフリカ聯邦を組織し、行政廳をプレトリアに置き、議院をケープタウンに設け、イギリスの自治植民地である。面積約一二〇萬方呎、人口約一、〇〇〇萬である。サヴァンナ地帯の南ローデシヤ(植民地)及北ローデシヤ(保護領)等も英領である。マダガスカル島は世界第四の大島で、佛領に屬する。



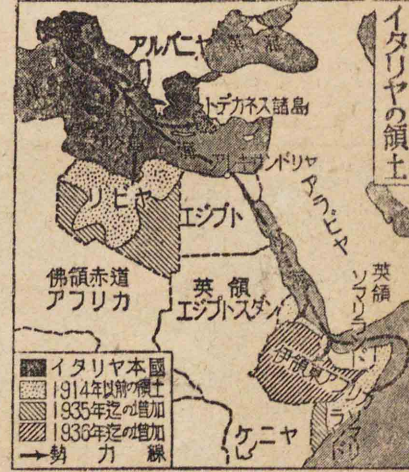
地回復熱が盛となり、又イタリヤのアフリカへの進出は最近殊に著しい。

**我が國との關係**

我が歐洲航路の汽船はスエズ・ポートサイドに寄航し、エジプトと貿易を行ふが、南部へも航路開け、南米航路は南阿に寄航し、又東部アフリカにも新に航路を開いた。我が國との貿易は最近大いに發達し、南阿及東阿より棉花、曹達、埃及よりは棉花、燐礦石を我が國へ輸出する。

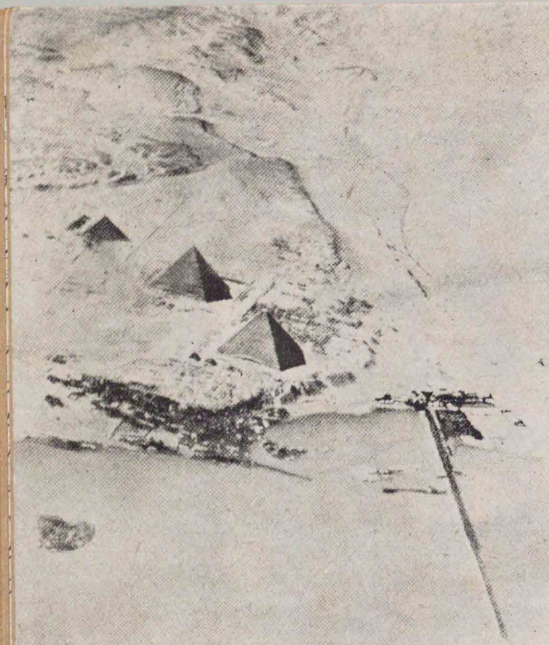
- (一) アフリカの文化が進まない地理的理由を説述せよ。
- (二) アフリカ大陸に於ける列強の勢力圏について説述せよ。

- (三) アフリカ大陸に於ける降水量と人文との關係について説述せよ。

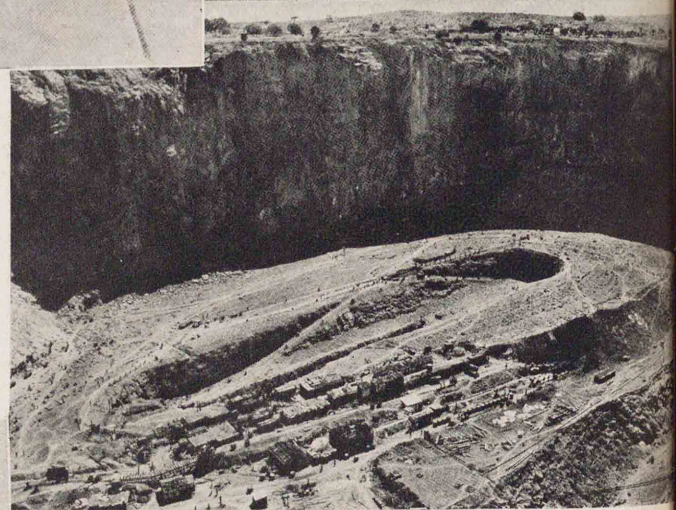


アフリカ

飛行機から見た  
ナイル河とリビヤ沙漠



ブレトリヤの  
ダイヤモンド坑



トリポリの  
オアシス中の市場







ミシシッピ河口の鳥趾状三角洲

## 第五篇 北アメリカ(北亞米利加北米)

### 序 説

#### 位置面積區分

南アメリカと共に**新大陸**と稱せられ、大西太平洋兩洋に面する。面積は約二、四〇〇萬方呎で、ヨーロッパの二倍に當る。政治區を重んじ、カナダ・北米合衆國・メキシコ・中央アメリカ・西印度諸島の五區に分けるが、カナダ・北米合衆國は地理上、共に略東西の數帶に區劃される。

### 第一章 北アメリカの自然總説

#### 地勢・海洋

東部の**アパラチヤ山脈**は低い山地をなし、海岸に並行して横たはる。西部の**コルデレラ山系**は最新の褶曲・斷層による大規模な隆起をなして、北はカナダから合衆國を経て南はメキシコ及中米に互り、更に轉じて西印度諸島を構成し、南米に連つてゐる。火山又これに伴ひ到

る處に噴出する。兩山地の間に南北に互る中央平原とメキシコ灣の陥落地とがある。セントローレンス河は五大湖の水を集めて東北流して大西洋に注ぎ、南部斜面の諸流は殆ど皆ミシシッピー河に集つてメキシコ灣に注ぐ。大西洋岸は北部は沈降して出入に富み、グリーンランド島があり、南するに従ひ、稍幅の廣い海岸平野を成し、メキシコ灣流に洗はれてゐる。太平洋岸は北部は出入に富み、アラスカ半島、アリューシャン列島が連つて、アジア洲とベーリング海を抱いてゐる。中部にはカリフォルニア半島がある。

**氣候・植物帶**

一月の等温線は西部高地及中部平原の著しく低温なことを示し、七月のそれは反對に著しく高温なことを示し、内陸は大陸性の度が極めて甚だしい。海洋性の地域でもカナダの西岸は緯度に比し著しく温和である。熱帯地方は垂直



的の變化が大きい。降水量は南部の貿易風帶と北部の偏西風帶の風上とに多く、内陸殊に高原は著しく小である。極北のツンドラから寒帶性針葉樹林・温帶性混森林・亞熱帶林を経て熱帶林まで南北に排列し、西部高地は乾燥のため草原から沙漠に漸移してゐる。

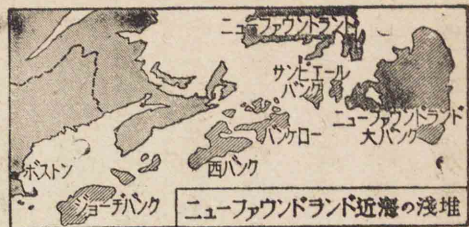
**第二章 カナダ(加奈陀)**

**位置・面積・區分**

大陸の北部を占め、地理的に分つと、大西洋沿岸地方、東部高地、セントローレンス河の谷、中央平原、西部高地、太平洋沿岸地方、北極海沿岸地方の七區となる。面積は九六〇萬方呎である。

**地勢・氣候**

東部高地は高臺から成り、セントローレンス河の下流は喇叭形の谷をなす。中央平原は低平で、五大湖の外ウイニペグ湖等の大湖沼群がある。西部高地はカナディアンロッキーと稱し、西部は沈降した多島海岸で、峽灣もある。大西洋沿岸は寒流に洗はれ、氣温低く、太平洋沿岸は黒潮の影響で比較的溫暖で、中央平原は大陸性である。降水量は太平洋

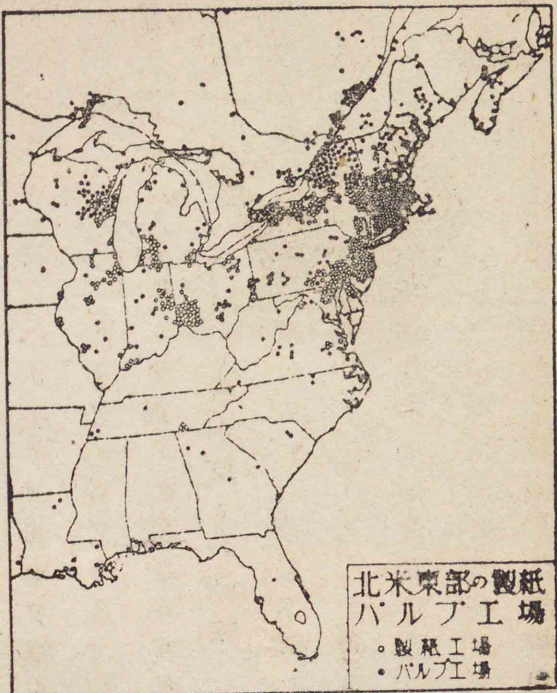
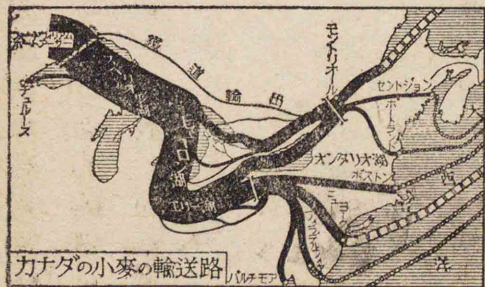


沿岸に多く、中央平原に少い。

産業・交通・處誌

産業は農業が主で、中央平原の南部は所謂プレーリー(草原)をなし、夏季比較的高温のため小麦の産が豊で、英本國の穀物倉と謂はれ、五大湖の水運を利用して歐洲へ輸出し、ウイニペグは製粉業の中心である。その北は森林帯で、東部及太平洋岸共に木材を産し、殊にオッタワを中心として木材・パルプ・紙の製造が盛である。又東西兩岸は有名な漁場で、ニュー

ファウンドランド島(英國自治植民地)沖のニューファウンドランドバンクは魚族の集合に適し、鱈・鯨等獲れ、世界三大漁場の一であり、又アラスカ(米)の鮭・鱈、フレザー河の鮭も漁獲多く、邦人の従業するものもある。鑛産は金(三位)銀(三位)銅(三位)ニッケル(二位)鉛・亜鉛等の産出が多い。ナイヤガラ瀑を始め河湖による水力電氣が豊富で、

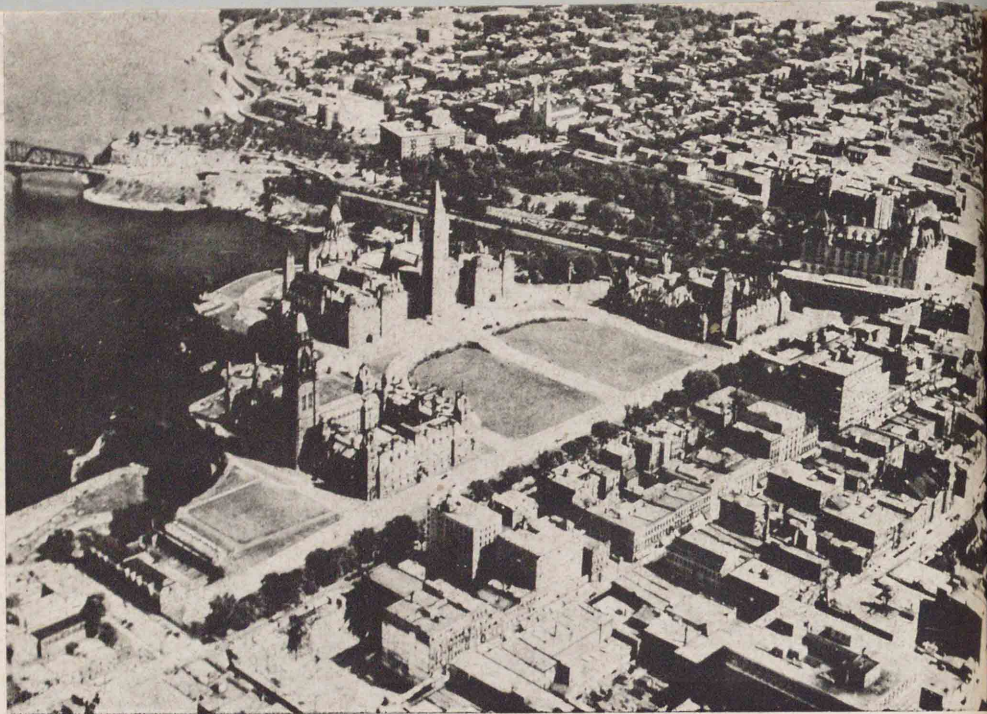


紙工場の東部米北  
パルプ工場  
・パルプ工場

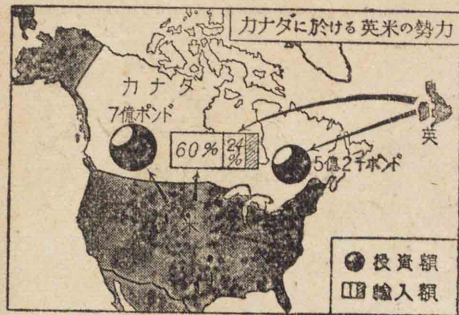
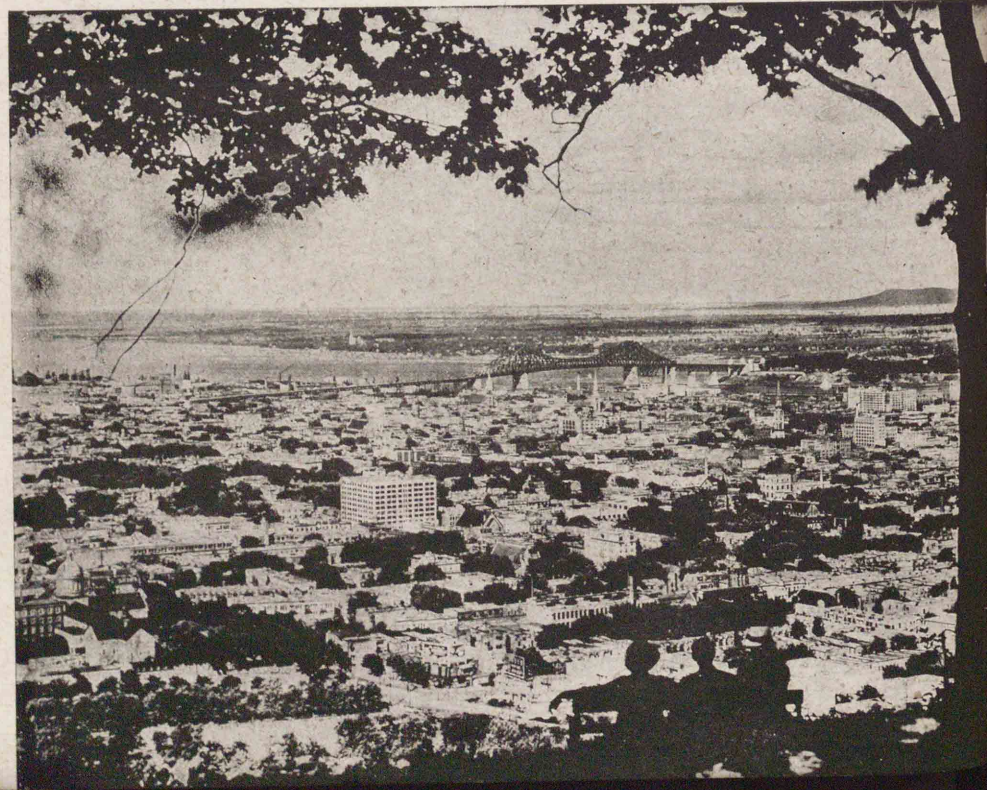
工業に利用される。二横斷鐵道は兩洋の連絡と共に世界一周捷路の幹線をなす。東の水陸交通の十字路に當り、セントローレンス河の大洋航行船溯航の終點に當り、ハリファクスは歐米連絡の不凍港である。太平洋岸の連絡點はヴァンクーヴァーとプリンスルパートで、ヴィクトリアはヴァンクーヴァーと共に我が商船の寄航地である。

首府はオッタワで、商工業の最も盛なのはモントリオールである。セントローレンス河口に位するケベックは古い都會である。中央平原の中心ウイニペグは湖沼群の南端を占め横斷鐵道の通過する地點にある。

飛行機から見たカナダのオタワ



カナダのモントリオール



カナダの輸出品は新聞用紙・小麦・金塊・銅・ニッケル・鉛・亜鉛・バルブ・木材等で、輸入品は石油・石炭・機械・鐵類・棉花・砂糖等で、取引は米・英兩國が主である。

### 住民政治

住民はイギリスの移住民の子孫が主であるが、セントローレンス河の谷には先住民のフランス人の子孫が多く残つてゐて、フランス語が公用語として許されてゐるほどである。英國の自治植民地の中、最も主要なものの一つで、カナダ領土と稱し、英國皇帝の任命した總督が治め、議會もあり、獨立國の形態をとり、英本國よりも米國との關係が密接である。

### 我が國との關係

太平洋を隔てた對岸にあり、太平洋岸には夙に我が同胞が移住し、その數約二萬人(在外内地人の二%)で、農業・漁業・林業等に從事する。今は移民の制限を受ける。貿易は我が國へバルブ・木材・アルミニウム・小麦・印刷用紙・亜鉛等を輸出し、我が國から陶磁器・玩具・茶生絲等を輸入する。



飛行機から見たシカゴ



サンフランシスコの一部とオークランドベイ橋

(一) カナダの資源と自然との関係を述べよ。

(二) カナダと英米兩國との関係について説述せよ。

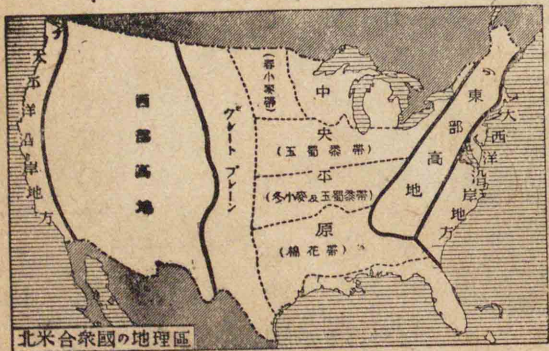
### 第三章 北米合衆國

#### 位置・面積・區分

大陸の中部を占め、面積は約七八〇萬方呎で、我が國の約一二倍に當る。東は大西洋、西は太平洋に面し、北はカナダに、南はラテンアメリカに接し、新大陸中最も形勝の位置にある。行政上は四八州に分たれるが、地理的に分つと大西洋沿岸地方、東部高地、中央平原、西部高地、太平洋沿岸地方の五區となる。

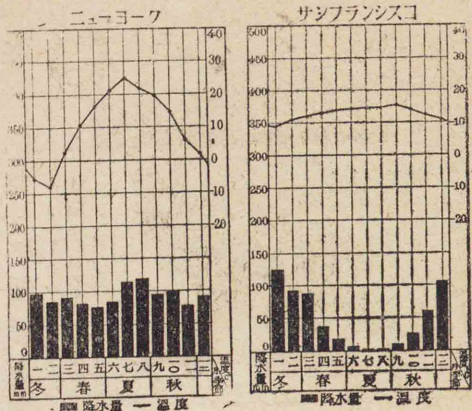
#### 地勢

東部高地は中山性のアパラチヤ山脈で、その東麓に瀑布線を造る。西部高地はコルデラ

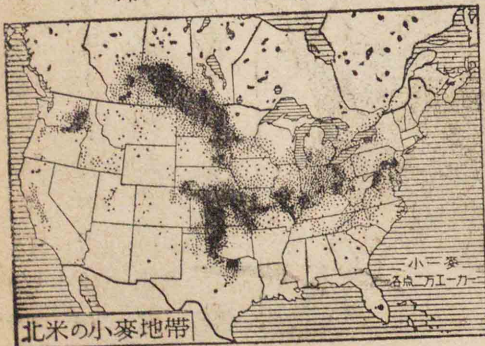


北米合衆國の地理區

地帯・玉蜀黍地帯棉花地帯が横はり、棉玉蜀黍は世界一位、小麦は二位、特に棉は世界の四割に達し、黒人が栽培に従事し、ニューオルリーンス・ガル



棉の収穫



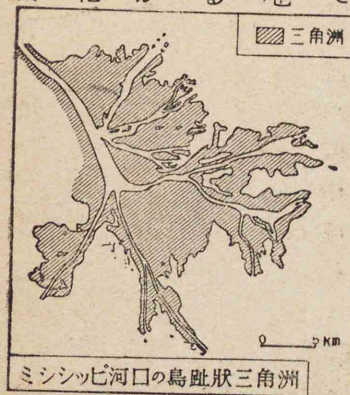
候である。中央平原の北部は降水量比較的少く、大陸性であるが、メキシコ灣岸は多湿で亞熱帶性である。西部高地の内陸盆地は乾燥し、最も大陸性で、太平洋岸の南部は地中海性の氣候である。  
**産業** 農業は大農法で、機械力を用ひ、大量生産が行はれる。中央平原に最も盛で、降水量・氣温等の關係で、北から南へ小麦



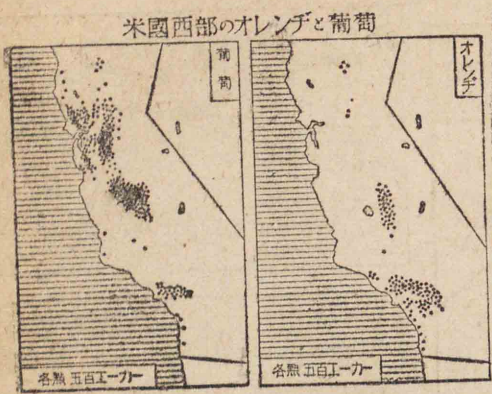
北米大陸の東西断面

部は温帯の代表的氣候  
**氣候** 緯度上では温帯に屬するが、地形的の大變化があるため氣候上の變化が多い。大西洋岸の北

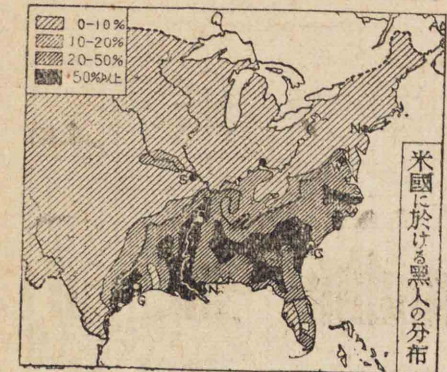
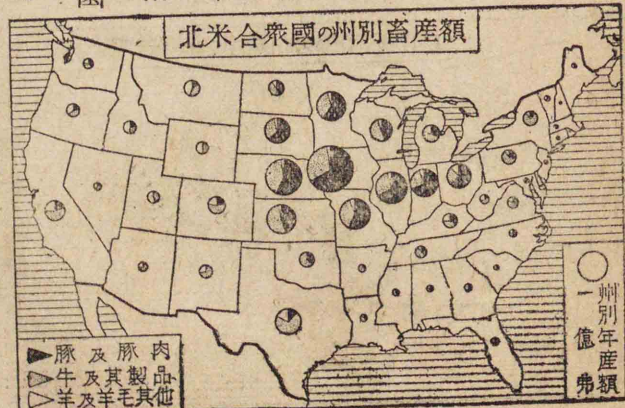
山系の最も幅の廣い部分に當り、東にロッキー、西にカスケード、シエラネヴァダの山脈があり、その間に大鹹湖を含む大盆地等がある。黄石公園、コロラド河の大峽谷の如き又この中にあり、太平洋沿岸には海岸山脈の内側にピュージェットサウンド、カリフォルニアの谷等の狭長な陥没地が並んでゐる。東西兩高地の間は低平な中央平原で、五大湖とナイアガラの瀑とがあり、ミシシッピ河はミズーリ河等を合せてメキシコ灣に注ぎ、河口に鳥趾狀三角洲を造る。



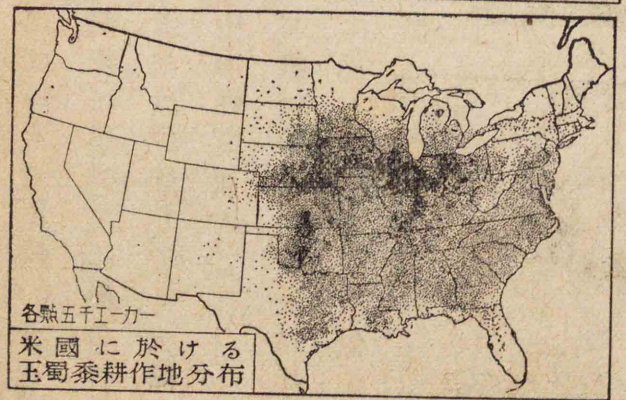
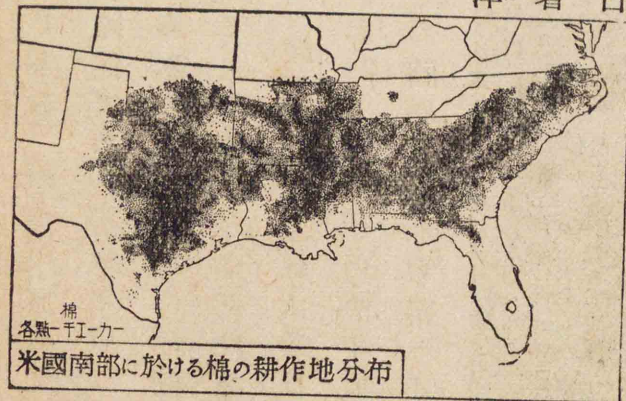
ナイアガラの瀑布



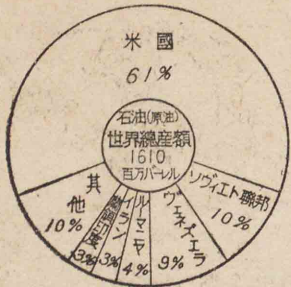
岸が殊に勝れ、カリフォルニアは地中海性の氣候で果實の栽培、乾燥に適し、オレンジ、葡萄、オリブ等の亞熱帶性果實を産し、生果を冷蔵貨車で東部地方へ供給する。灌漑による果樹園及農場が開發され、邦人の移住者が多數これ等の農業に従事する。太平洋岸の北部はカナダに續く森林地帯で、木材に富み、邦人の働いてゐるものもある。鑛産に至つては鐵鑛、石炭、原油、銅、鉛、亜鉛、アルミ



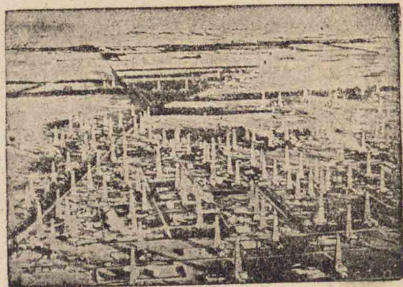
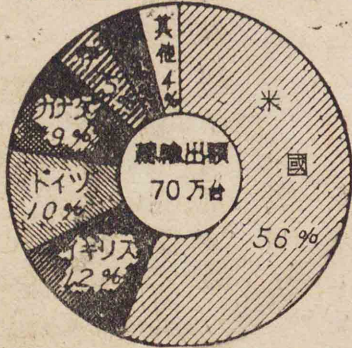
ヴェストンから歐洲及我が國へ輸出する。小麥は南部は冬蒔、北部は春蒔で、湖上の水運によりニューヨークに運ばれて輸出され、製粉業はミネアポリスを中心である。玉蜀黍は牛及豚の飼料とするためこの地帯は牛及豚の地帯と一致する。西部のグレートプレーンズは放牧を主とする。豚は世界一位、牛は二位を占め、シカゴはその屠殺で著名である。果實は太平洋



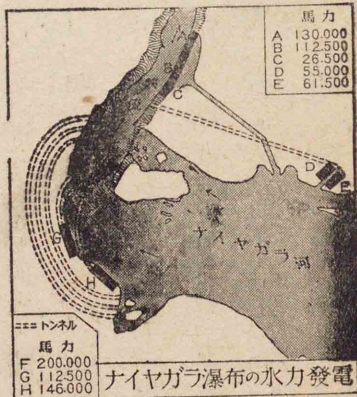
世界の製鐵首都と呼ばれる。カリフォルニア・テキサス兩州、銅は西部山地を主とする。ナイヤガラの瀑



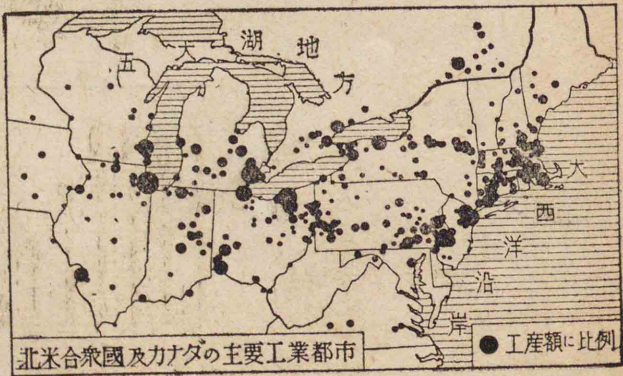
世界自動車輸出百分率



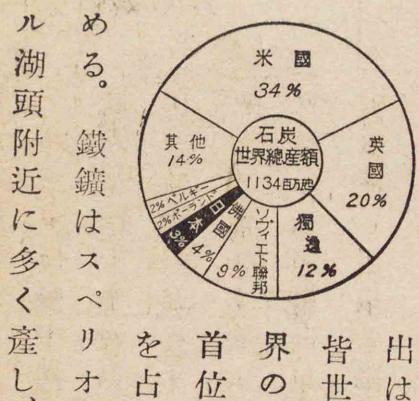
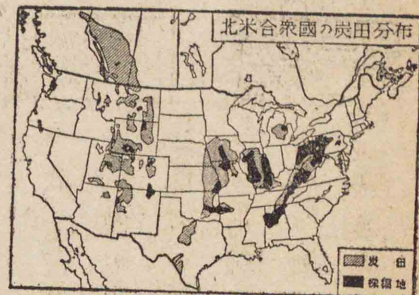
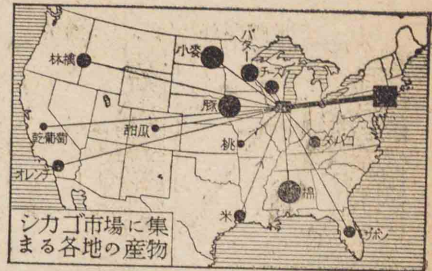
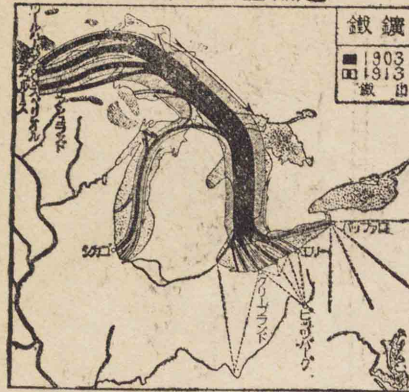
カリフォルニア油田



チカゴの製鐵所は、世界の製鐵中心地として知られる。この地には、鉄の原料となる鉄石の産地が豊富にある。また、この地には、鉄の加工工場が数多くあり、鉄製品が大量に生産されている。



鐵鑛の湖上輸送

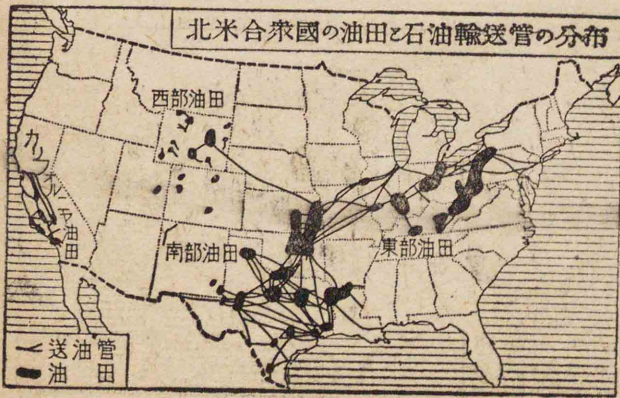


ル湖頭附近に多く産し、める。鐵鑛はスベリオを首界皆出は産

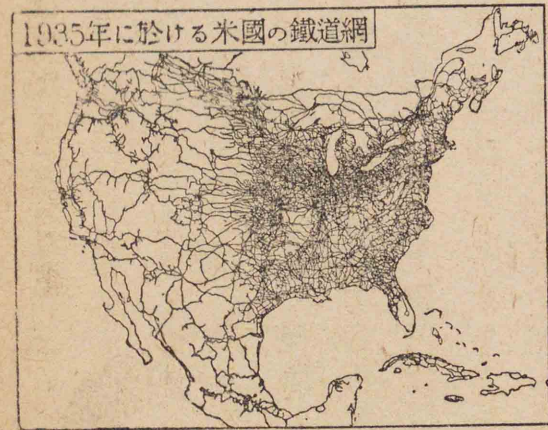
スチール等の産



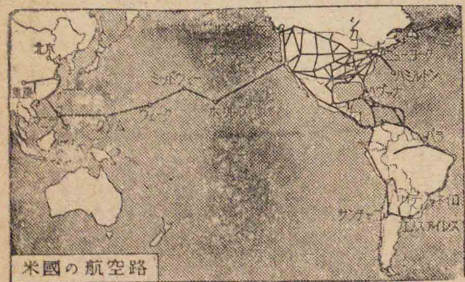
オレゴン森林の林相







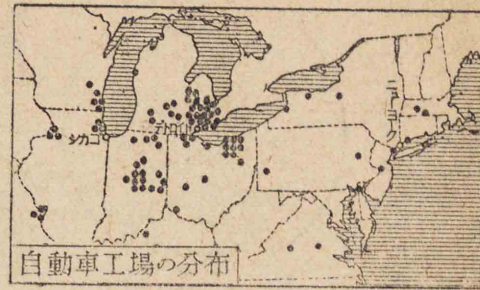
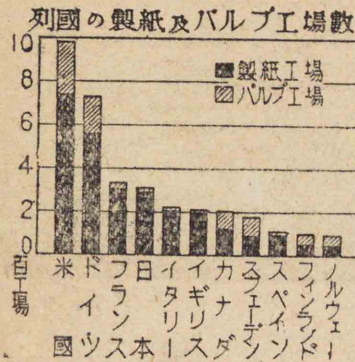
地方に東部の増加の迅速なことも驚くべきものである。



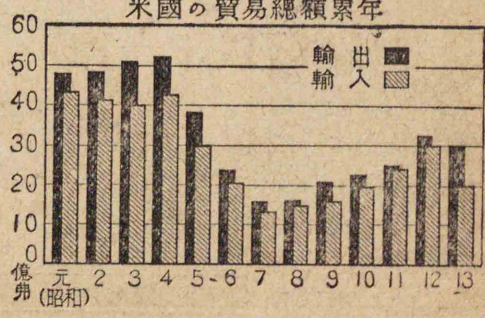
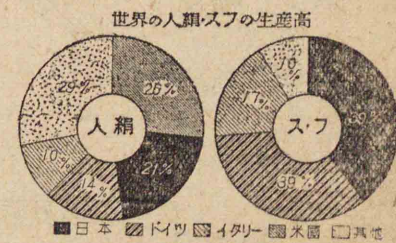
**交通**

鐵道は東部から發達し始め、西部高地も横斷鐵道の幾多の幹線が全通し、鐵道網の密度

一クに移つたとさへ言はれるほどで、英國と並ぶ大商業國となつた。主要輸出品は機械・石油・棉花・自動車及部分品・鐵及鋼・煙草・木材等で、輸入品はコーヒー・生ゴム・パルプ・生絲・錫等である。取引は加英との間に多く、我が國これに次ぐ。



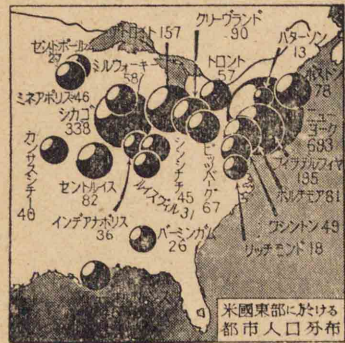
は米國側も水力發電の源として望を囑してゐる。かく天然の資源に富み、人的要素と相俟つて各種工業が發達し、ヨーロッパ列強に劣らない。主な工業は紡績及食



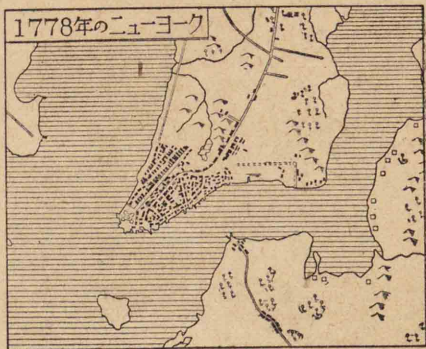
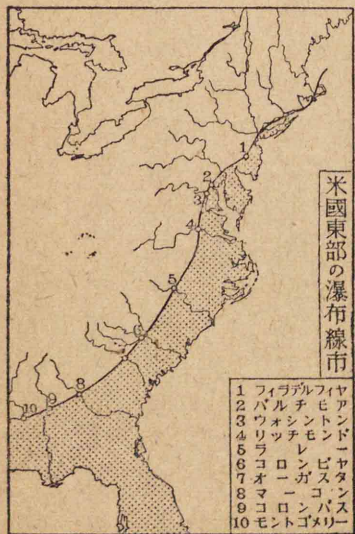
殊に密である。大湖地方の水運は利用著しく、鐵鑛・小麥・石炭等の輸送が大規模に行はれ、アメリカに於ける地中海の觀があり、ミシシッピー河は舟運の便よく、これ又内海の役目をなす。海港は歐洲に對してニューヨーク・ボストンがあり、太平洋諸國に對してはサンフランシスコ・シヤトルがあり、第一次大戦後は世界海運界に著しく擡頭してきた。自動車の利用は世界に一頭地を抜き、航空路は國內は勿論南米及東亞にも連絡する。

都邑

大西洋沿岸地方の海岸平野内縁にある瀑布線には所謂瀑布線市が發達し、有力都市が並ぶ。そのうちフィラデルフィヤはニューヨークに

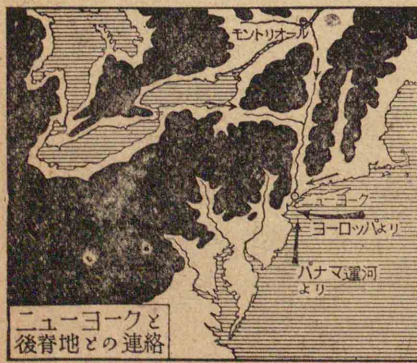


續く商工業地帯の主要部分をなし、ポルチモアと共に貿易港である。ワシントン(華府)は首府として特に設計さ

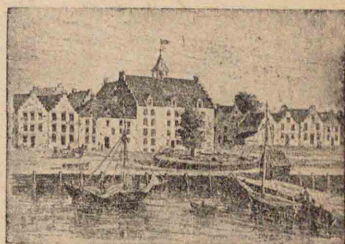


れた政治都市である。ニューヨーク(紐育)は人口約六

九〇萬、ロンドンと並ぶ世界の大都市で、ハドソン河口は深く、繋船岸壁が連り、大後背地の中央平原との連絡もよく、その貿易額は世界第一、又金融の中心で、高層建築が特色である。附近のバタソンは我が生絲の大消費地で、ボストンは學藝都市である。中央平原の大中心シカゴ(市俄古)は合衆國第二の大都會で、ミシガン湖頭に位し、五大湖の水運の要地で、又横斷鐵道等の通過の焦點に當る。附近はもとプレーリーであつたが、今は一大農牧地帯となし、シカゴはその生産品市場となり、工業も盛となつた。ミシシッピーの中流にはセントルイスがあり、河口にはニューオルリーヌスがある。西部高地の大盆地は著しく寡雨でソルトトレイク市以外に



は顯著な聚落も無い。  
太平洋沿岸には門戸  
としてシヤトル・サン  
フランシスコ・ロスア  
ンジェルスの三港市が  
發達し、大陸横斷鐵道

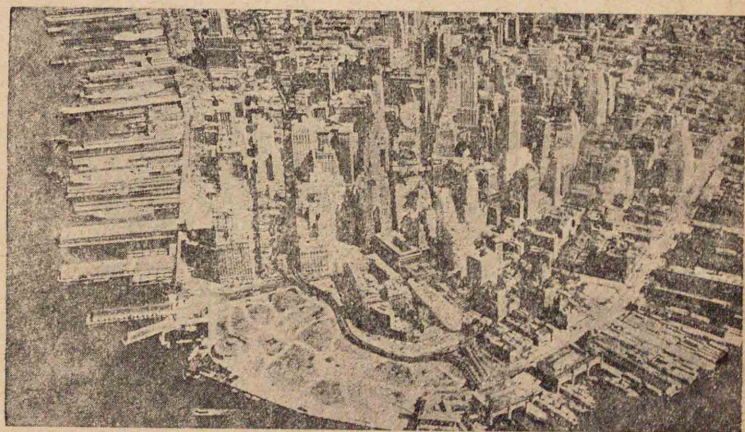


一七七九年のニユー  
ヨーク

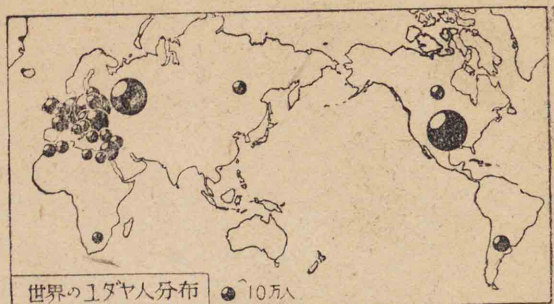
と太平洋航路とを連絡し、世界一周路の役  
目をなす。シヤトルはタコマと共に我が  
汽船の寄航地、サンフランシスコ(桑港)は太  
平洋岸の略中央に位し、ハワイ經由の我が  
汽船の發着點である。南加の中心ロスア  
ンジェルス(羅府)は發達極めて速かて西岸第  
一の大都となり、附近にはサクラメントと共に邦人の農場が多い。

**住民**

人口約一億三千萬、原住民族のインディヤンは壓倒されて僻遠



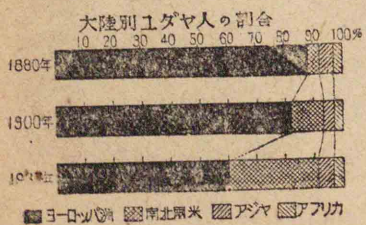
飛行機から瞰たニユーヨーク



世界のユダヤ人分布 ●10万人

の地に住み、人口は極めて少い。新移住者の中最も勢  
力あるものは英人の子孫で、従つて國民の多數は英語  
を用ひ、宗教も新教が多い。獨人はこれに次ぎ、伊佛人  
も多く、ヨーロッパの各民族が雜居する。近時ユダヤ人  
の移住も多い。これ等は東部から移住して太平洋岸  
に達したが、本邦人・支那人は太平洋岸に移住した。こ  
ゝに二つの民族の流れが接觸して移民問題を惹起し、  
遂に有色人種は新に移住を禁ぜられた。

地理的環境の最も適した所に人の  
蝟集することが舊大陸よりも顯著である。故に人口密  
度は極めてよくその地の價值を示す。大西洋岸の北部  
及大湖地方の商工業地帯が最も密で、西部高地が最も疎、  
太平洋岸も二、三の都市を除けば言ふに足らない。故に  
移民の必要は充分あるが種々の關係で門戸が鎖されて

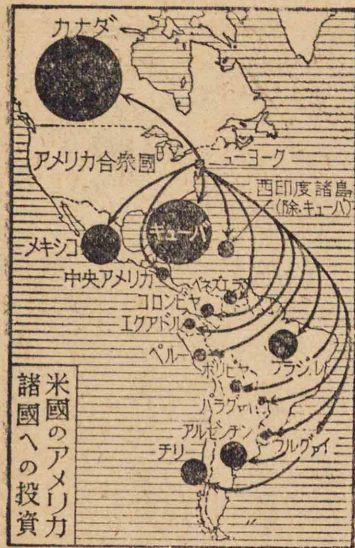


る。

### 政治

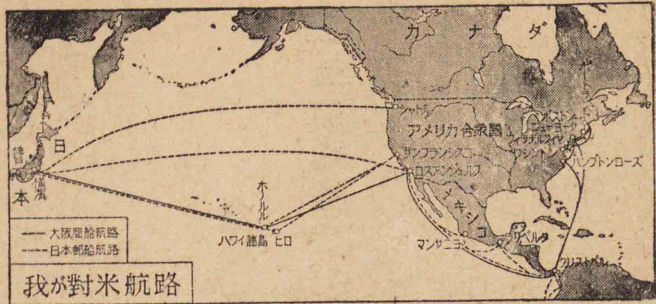
最初東部に蘭佛の植民地があつたが、英人優勢となり、本國から獨立し、聯邦共和國が成立した。

領地は太平洋にハワイ・グム・フィリッピン及アラスカをもち、大西洋では西印度諸島に勢力を扶植し、更にメキシコ以南のラテンアメリカをモンロ一主義汎米主義のもとに指導し、又パナマ運河地帯を永久租借した。この國は資源豊富にして産業の發達著しく、國力充實し、歐洲及極東の重要問題に就て常に日・英・獨・佛・伊との間に伍して解決にあたり、世界に雄飛しつゝある。



### 我が國との關係

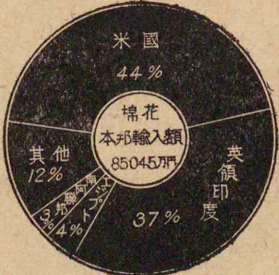
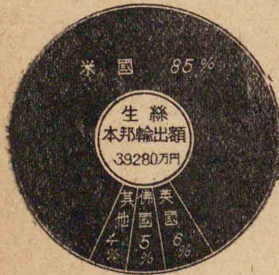
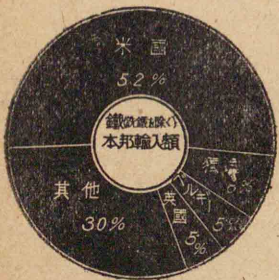
幕末に於て我が國の開港を促し、その後も我が文化の彼に負ふ所は少くない。我が移民は一萬在外内地人の一二%に達し、主として太平洋沿岸地方に移住して農



ス・茶・電球等で、我が國への輸出品の主なものは棉花・石油

業の發達に貢獻してゐるが、今後の渡航は禁止された。

我が國は太平洋を隔てて相對し、我が汽船の往來繁く、貿易關係は極めて密接で、我が國第一の取引國で、我が貿易額の四分の一に當り、我が國からの輸入品の主なものは生絲が七割を占め、その他は綿織物・罐頭詰食料品・陶磁器・植物性油脂・玩具・絹織物・メリヤ



層鐵機械自動車木材銅等である。最近米國は資本その他によつて支那南洋に進出せんとしてゐる。

- (一) 日米兩國の農業を比較せよ。
- (二) 米國の資源と自然の關係を述べよ。
- (三) 獨英佛と米國との特色を比較せよ。
- (四) 米國の大西洋岸と太平洋岸との自然人文につきて比較せよ。
- (五) 米國の世界に於ける地位を述べよ。

#### 第四章 メキシコ及中央アメリカ

##### 位置地勢

この地方は北米合衆國の南にあり、南米との連絡をなす地峽的地域である。コルチレラ山系の最も幅の狭くなつた部分で、海岸には狭長な平野がある。他は一帶の高原で、その邊緣は山脈をなし、これに伴つて火山が噴起する。

##### 氣候産業交通

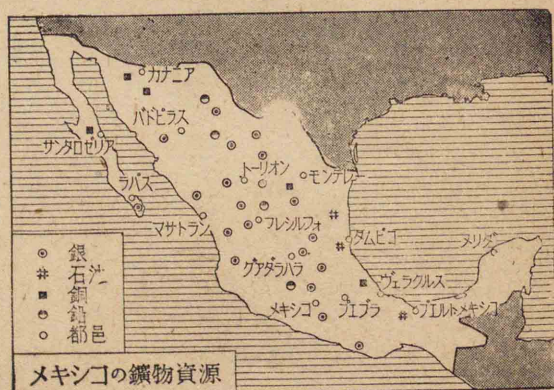
大部は北回歸線以南にあり、北東貿易風帯に屬し、標高約一、〇〇〇米と二、〇〇〇米の高さによつて熱帶亞熱帶溫帶の三帶に

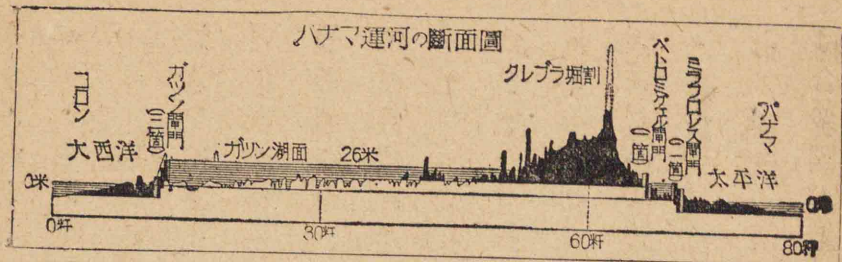
分れ、海岸低地に甘蔗米、棉バナナ、中間地帯に煙草、コヒー、高原地帯に小麥、玉蜀黍を産する。銀と石油との産は多い。我が國へは棉花を輸出し、我が國からは人絹絲を輸入する。

テワンテペク地峽は鐵

道が通じ、ニカラグッ地峽は運河を計畫したことが

あるが、兩洋連絡路はパナマ運河で行はれてゐる。この運河の交通に與へた影響は頗る大で、我が汽船もこれを通過して北米東海岸と連絡する。この運河は閘門式で長さ約八〇浬ある。もとコロンビヤ國の地であつたが、米國はパナマ共和國を獨立せしめて、同國から幅約一六浬の運河地帯を永久に租借し、これに軍事上の設備をした。兩端にはパナマ・コロン





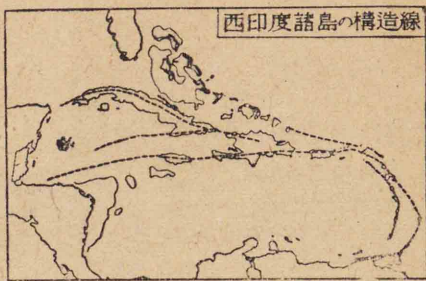
の兩港市がある。

### 住民政治

スペイン移民の子孫が最も勢力をもち、言語・宗教・風俗悉くスペインと同様である。インデヤン及それ等と白人との混血種のメスチゾもゐる。邦人は約四、〇〇〇人で、メキシコの南部に移住して農業に従事する。都市は氣候上多く高原に建設せられるが、海岸にも所々に門戸の港市がある。政治的にはメキシコ共和国(首府メキシコ)を始めとし、グアテマラ(首府グアテマラ)、サルヴァドル(首府サンサルヴァドル)、ホンデュラス(首府テグシガルパ)、ニカラグワ(首府マナグア)、コスタリカ(首府サンホセ)、パナマ(首府パナマ)、英領ホンデュラス等の群小國がある。

### 第五章 西印度諸島

大アンチル及小アンチル諸島は中米及南米を連絡す



### 交通・産業

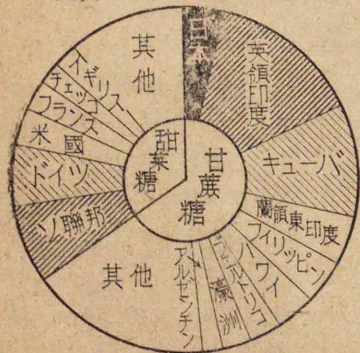
る弓形の海中山脈で、氣候は標式的の北東貿易風帯に屬する。各島嶼は何れも甘蔗・コーヒ・煙草・バナナ等を多く産する。殊にキューバ島は砂糖の産額世界二位で、首府ハバナは煙草で名高い。ハイチ(首府ハイチ・ドミニカ(首府トルシロ)の外英米佛領の島がある。

### 第六章 北アメリカの人文總説

産業は農業最もよく發達し、大農法で機械の使用が著し

く、農牧共に生産潤澤で、舊大陸へ多く供給し、合衆國及カナダの南部を通じた大平原が最もその生産が多い。石炭・鐵・石油・銅・木材等の自然の富源に富み、その額は舊大陸の諸國を凌ぐ。従つて工業も近時著しく發達した。凡てこれ等は合衆國が主で、カナダこれに次ぎ、南部諸國は

世界の砂糖産額比較

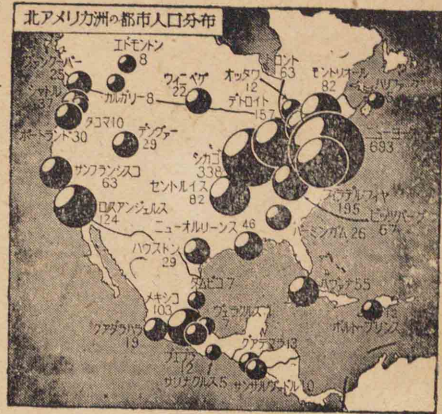




アリゾナ州のプレーリーの景観



南カリフォルニアの山麓果樹園



ンは今は退歩し、南部はラテン族中央はチユートン族が占め、外に東南部の黒人、北部のエスキモー人がゐるが、チユートン族の米人が最も勢力をもつ。

**住民政治**

人口は約一億八千萬、インヂヤ言ふに足らない。一〇数條の大陸横断鐵道は兩洋を連絡し、パナマ運河により水運も連絡した。港は東岸に發達し、西岸も漸次發展した。取引は英國と最も關係が深い。航空路は兩米連絡は勿論南米に通じて歐洲とも連絡し、又太平洋横断路もある。

人口は約一億八千萬、インヂヤ

- (一) 我が國と北米諸國との關係を統括せよ。
- (二) 北米とアジヤとを比較せよ。

- (二) 北米とヨーロッパとを比較せよ。
- (四) パナマ運河の交通、經濟、政治、軍事の諸點に於ける價值を説述せよ。



アルジエンチンの首府ブエノスアイレス



ブラジルコーヒー栽培地の中心サンパウロ

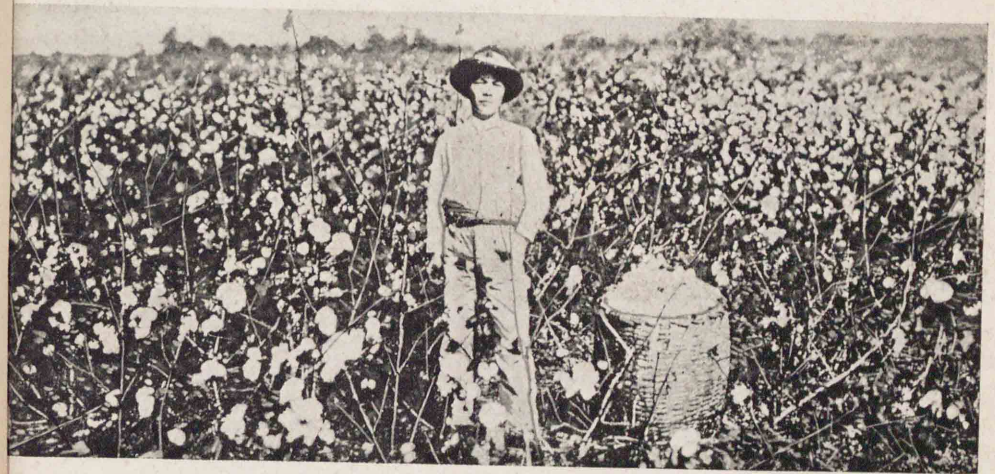


ブラジルの美しき都 リオデジャネイロ





サンパウロに於ける本邦移民のコーヒー乾燥



ブラジルに於ける本邦移民の棉花の採取



ブラジルに於ける日本人小學校

## 第六篇 南アメリカ(南亞米利加南米)

### 序説

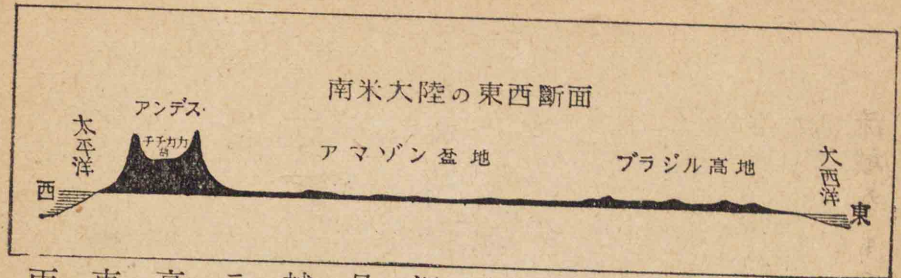
#### 位置・面積・區分

新大陸の南半を占め、大部分は南半球に屬する。この大陸は政治的には數多の國家と少數の植民地とに分れ、地理的には東部高地・中央平原・西部高地・太平洋沿岸地方の四區に分つことを得るが、ここでは位置的關係により、東部・南部・西部の三區に區分する。

### 第一章 南アメリカの自然總説

#### 地勢・海洋

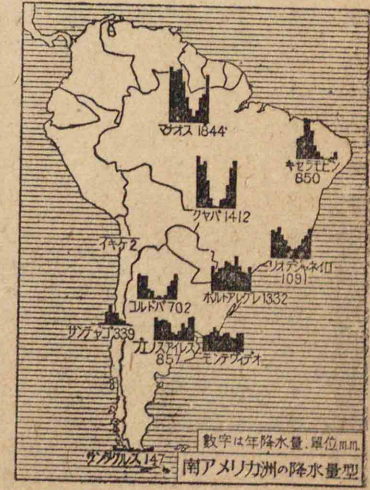
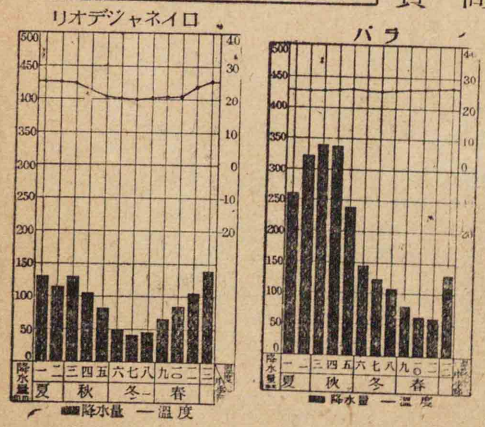
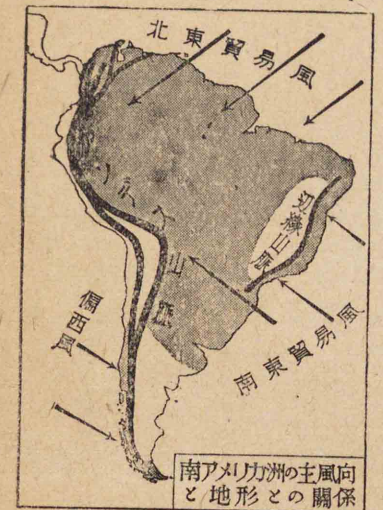
東部には高原狀のギヤナ高地・ブラジル高地の二地塊があり、西部には新しい褶曲による高峻なアンデス山地が大陸の北端から南端まで一大屏風の如く聳える。兩山地の間は一大中央平原で、アマゾン・ラプラタ兩大河が流れる。東岸は三角狀に突出し、西岸の南部は峽灣



をなす。東にブラジル海流、西にペルー海流がある。

**気候・植物帯**

一月は大陸の中央が著しく高温となり、北東貿易風がアマゾン盆地に充分吹き込み、アンデスの山麓にまで多量の雨を齎らす。七月は最高温部が著しく北に移り、風向は南東貿易風、越し、ブラジルの高地の東岸に雨を齎す。



らず、別にチリの中部地域は夏乾季となり、冬雨季となる地中海性の特徴を有する。四季、雨の齎らされない地域にアタカマ沙漠が生じた。中央平原は気候により、リャノ・セルヴァ・パンパと變化し、熱帯アンデス山地に於ては垂直的に熱帯・亞熱帯・温帯・寒帯の植物景觀が現れる。

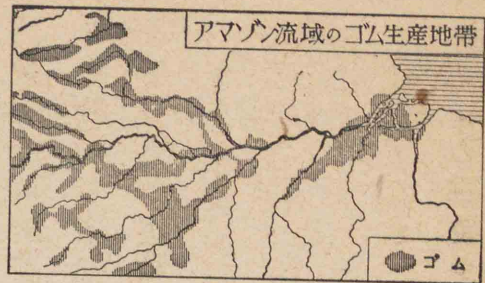
**第二章 東部南アメリカ(ブラジル)**

ヴェネズエラ(首府カラカス)のリャノは牧牛に適し、石油三位は近時産額著しく増加し、原油の輸出は世界の首位である。

ギヤナは英・蘭・佛の三國に分屬する。ブラジル(伯刺西爾)は大陸の東部にあり、面積は約八五〇萬方呎で、我が國の約一二倍半に當る。ブラジルの高地とアンデス山脈とに圍まれた廣大且低平な平野は熱帯多雨帯に位し、アマゾン河は世界最大の水量と流域をもつてゐる。熱帯原生林セルヴァはゴムの自然

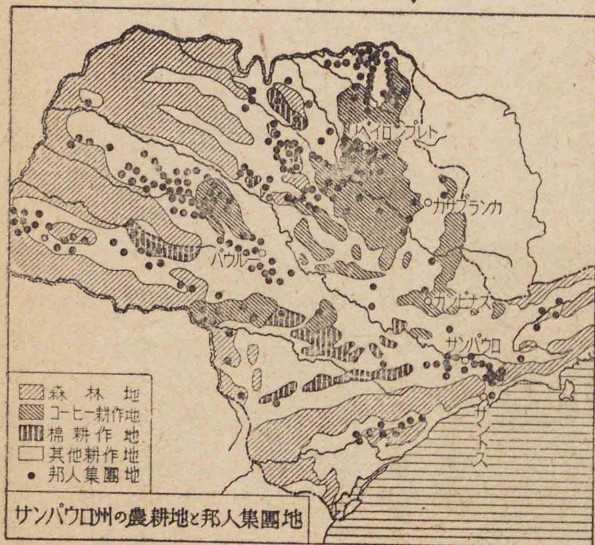


アマゾン流域のセルヴァ



林としては世界第一で、アマゾン河中流のマナオス及河口のベレン(パラ)はその集散地である。ブラジル高地の南部は最も価値ある農業地帯で、亞熱帯性氣候に恵まれた世界第一の珈琲の栽培地をなし、世界産額の約六割を占め、邦人移住者の多數在住するサンパウロ州に最も多く生産する。サンパウロはその中心、

外港はサントスで、貿易額はこの國第一、而もコーヒーはその大部分を占める。このコーヒー園労働者の大多數は邦人であるが、近年棉花の好調に鑑み、その栽培をなすものが多く、同州生産の大半を占め、漸次増大の機運にあると共に伯國



棉花の日本向輸出高は年々増加し、邦人の棉花の栽培に成功するものも多い。邦人の手による農産額は一億二千萬圓に達すると謂はれる。我が移民は約二三萬人(在外内地人の二三%)で、その中心地はサンパウロの外リベイロンプレートパウルー等である。輸出品はコーヒー、棉花等でココアも輸出される。首府リオデジャネイロは良港灣を有し、風光明媚で、コーヒー取引の中心である。人口は約四、四〇〇萬、人口密度は我が内地の約四〇分の一に過ぎないため、移民の入國を必要とするが、種々の事情により歐洲及我が國の移民に對し最近は制限が行はれてゐる。この國は南米三大共和國の一である。

ブラジルに於ける我が移住地について詳述せよ。

### 第三章 南部南アメリカ(アルゼンチン)

大陸の南部を占め、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイの三國を含み、大部分はブラジル山



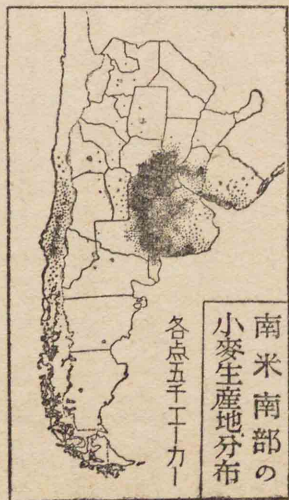
地の南端と南アンデスとに挟まれたラプラ  
タ河流域の低地である。中央部は南米中最  
良の温帯性気候であるが、降水量少く、パンパ  
の草原をなしてゐる。

パラグアイ(首府アスンシオン)は草原帯をなし、  
牧牛が主で、肉類を輸出する。

ウルグアイは全國到る處牛、羊の牧場に適  
し、肉類、羊毛等を首府モンテヴィデオから盛  
に輸出する。

アルゼンチン(亞爾然丁)は面積約二八〇

萬方呎で、我が國の四倍強に當り、南米第二の大國で、而もその大部分は低  
平なパンパをなし、最良の農牧地で、羊と牛とは殊に多く、羊毛の産額は世  
界第三位を占め、肉類、皮革、バター等と共に盛に輸出される。氣候が白人  
の生活に適するため、ヨーロッパ人が續々移住し、遂に小麥(六位)の一大産地



と化し、世界の市場に於て首位を占める。工業は未だ農牧的工業で、製粉  
及冷凍肉の製造が盛である。首府ブエノスアイレスは南半球の最大都  
市で、水陸交通の要地となり、我が南米航路の終點で、ロサリオと共に農畜  
産の集散地である。鐵道網の密なことは南米に於て一頭地を抜き、二條  
のアンデス横斷鐵道は海拔高度の大なアンデスを越えてチリに達する。  
取引は英國が盛で、我が國は六―七位に當り、我が國より綿織物を輸入し、  
我が國へ羊毛を輸出してゐる。我が移民は約六、〇〇〇人で、主として農  
牧業に従事してゐる。この國はスペイン人の子孫の建てた共和國で、人  
口約一、三〇〇萬を有する南米第一の強國である。

アルゼンチンが南米に於て最強國となつた理由を説述せよ。

#### 第四章 西部南アメリカ(チリ・ペルー)

アンデス山地及太平洋岸を含み、そのうちにコロンビヤ・エクワドル・ペル

1. ボリヴィヤ・チリの五共和國がある。アンデス山脈は南米に於けるコル  
 デレラ山系で、中央部にボリヴィヤ高原をもち、チリでは海岸山脈との間に  
 狭長な縦谷がある。北部は純熱帯性氣候であるが、土地が高峻であるか  
 ら垂直的に亞熱帯・温帯と變化し、ボリヴィヤ高原は永久の春と云はれ、溫和  
 な氣候である。南部は偏西風卓越し、降水量が多いが、中部は偏西風の北  
 限外に當り、アタカマ沙漠を生じてゐる。

コロンビヤ コーヒー(二位)石油等を産出して輸出し、首府ボゴタは二、  
 六〇〇米の高地にある。

エクワドル ココア・石油等を産して輸出し、パナマ帽は特産である。首  
 府キトーは三、〇〇〇米の高地にあり、グワヤキルを外港とする。

ペルー(秘露) 海岸帶狀地には甘蔗・棉・米等を栽培し、又石油・銅・銀の産も  
 あり、棉花・石油・銅等を輸出する。沿岸の島嶼には鳥糞の特産がある。首  
 府リマはスペイン風の都市で、外港カリヤオはこの國第一の港、我が汽船の  
 寄航地である。我が移住民約二萬人(在外内地人の二%)の大部分は商業を

営み、又棉花栽培に従事してゐる  
 ものもある。

ボリヴィヤ 高原を主とする内

陸國で、錫(三位)アンチモニー(三位)

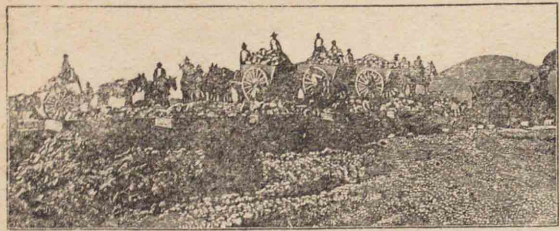
等を産し、首府はラパスで、チリのアリ

カをその外港とする。

チリ(智利) 南北緯

度三八度に亘る狭長

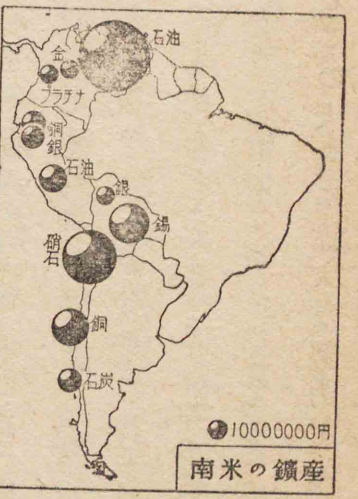
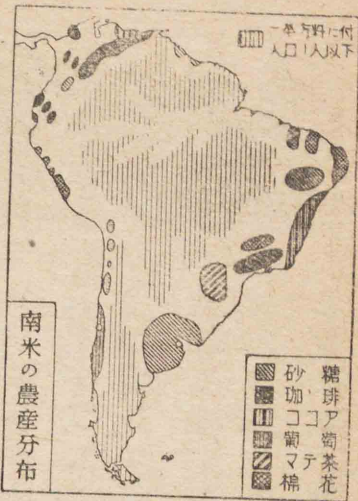
積な國で、熱帯から寒帯までの氣候をもつ。山地の銅(二位)  
 は世界的に注目されるに至つた。アタカマ沙漠の不毛  
 地の縦谷に硝石(二位)の産があり、精製してイキケ等から  
 輸出し、我が國へも送られる。中部は地中海性氣候で、重  
 要な農業地帯をなし、灌漑地域に小麦・葡萄等を産する。  
 首府サンチャゴはこの縦谷の中心で、西は外港ヴァルパラ



硝石の貨車積込み

チリ硝石の産地





ヴァルパライソは我が汽船の寄航地である。大陸南端にはマゼラン海峡がある。この國は面積約七〇萬方料、人口約五〇〇萬の共和國である。

### 第五章 南アメリカの人文總説

#### 産業・交通

農牧業及鑛業が主で、ブラジルのゴム・コーヒー、アルゼンチンの小麥・羊毛、肉類、ヴェネズエラの石油、チリの



硝石、銅は南米の代表的産物で、食料品、原料品の世界的供給地である。工業は未だ見るべきものがなく、繊維品、機械、鐵及銅燃料、自動車等が輸入される。プラタア、アマゾン等の河流は溯航が自在である。鐵道はパンパのみ密で、チリには縦谷に縦貫線がある。アンデスは一大障壁であるが、横斷鐵道が敷設され、その高地都市と外港とを結ぶ同様式の山岳鐵道は到る處にある。航空路は米獨等により經營され、北米及歐洲と連絡する。

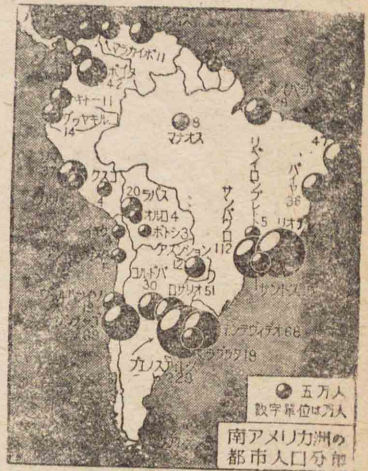
#### 住民・政治

もと西葡兩國の植民地であつたが、本國が植民政策を誤つたため悉く獨立の共和國となり、所謂A・B・C三國が優勢で、ポルトガル系のブラジルを除けばすべてスペイン系の共和國である。伊獨等の移民は續々渡來し、新興の氣分を増進しつゝある。主要國の産業・交通の發達は米英等の資本に負ふ所が大で、貿易は米英の外ドイツの進出が著しい。米國は汎米政策を實現し、この大陸に偉大な勢力をもつてゐる。

イソに通じ、東はアンデス横斷鐵道により、ブエノスアイレスに達する。

住民は約九、〇

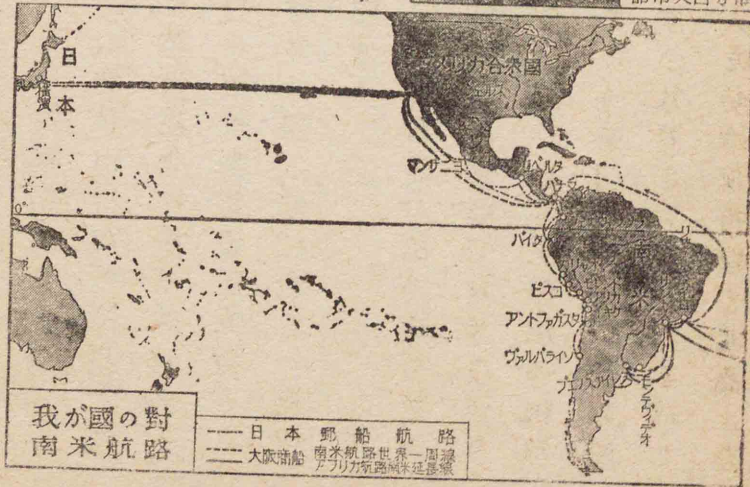
〇〇萬で、うち最も多數を占めるものは土人及土人と白人の混血種で、白人は總人口の四分の一に過ぎず、居住地域も殆ど温帯に限られてゐる。人口總數は我が國の人口にも及ばず、密度が極めて小であるから各國とも移民を必要としてゐる。



我が國との關係

亞熱帯のブラジルと

熱帯のペルー等に約二〇餘萬の我が移住民が活動する。北米、濠洲に入國を禁ぜられた我が國人にとつては絶好の移住地であつたが、最近或程度の移民制限の實施を見るに至つた。貿易

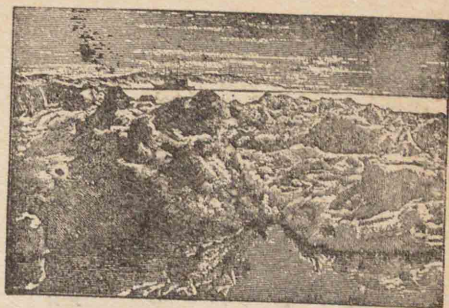


は今後盛になるべき地域で、東海岸と西海岸とは共に我が汽船の定期航路が開かれてゐる。

- (一) 南北兩米を比較せよ。
- (二) 南米の氣候と産業との關係を總括せよ。
- (三) 南半球に於ける三大陸を比較せよ。
- (四) 邦人の發展地としてのブラジルの價值を説述せよ。

第七篇 兩極地方

北極地方 北極を圍む北緯六六度半以内をいひ、スピッツベルゲン・ノヴァヤゼムリヤ・グリーンランド等を含む。北極探検は十九世紀頃から試みられ、遂に一九〇九年米國のペアリーが北極に達し、且つ北極地方は堅く凍結した深海であることが確められた。磁極と寒極とは一致しないことも夙に明らかとなつてゐた。イタリヤのノビレは飛行船で北極上を



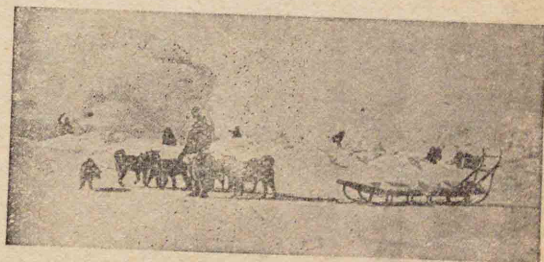
スコットの探検船

飛翔することに成功した。

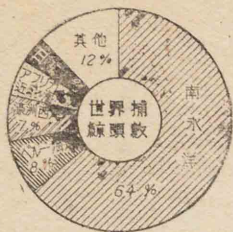
**南極地方** この地方の探検は主としてオーストラリア方面から企てられ、本大陸が一大高原であることが明らかにされ、一九一年ノルウエー人アムンゼンは遂に南極に達し、英人スコットは約一月遅れて同じく南極に達したが、

歸途高原上で遂に斃れ、

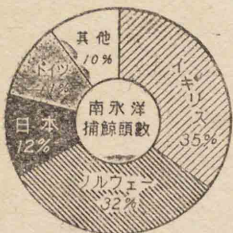
最近又米國のバードは飛行機で南極上を飛翔した。南極大陸近海に於ては英諾獨船と伍して我が捕鯨船は國際的に活躍し



南極探検中のアムンゼン



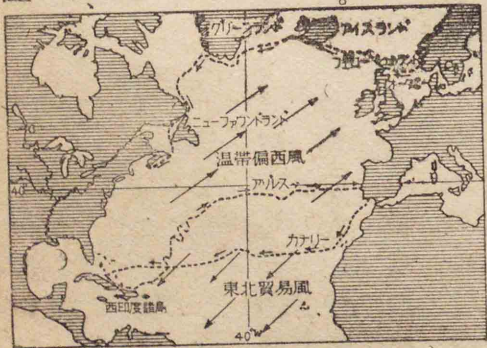
てゐる。



## 第八篇 大西洋と太平洋

大西洋及太平洋を中心とした諸國民の活動は顯著で、大西洋は既に歐米人によつて充分よく利用され、勢力圏も略確定してゐるが、太平洋は今や漸く世界列強の競争場裡と化し、この間に處して我が國は歐米諸民族に對するアジア民族の代表として太平洋問題に關し重大な關心を有する。この問題の解決に就ては我が國は八紘一宇の肇國の大精神により、世界の平和に貢獻し、人類の福祉を増進すべき重大な使命を果さなければならぬ。

**大西洋** 北大西洋は歐米兩大陸、南大西洋はアフリカ南米兩大陸の間を占め、メキシコ灣流、カナリヤ海流、北赤道海流、ブラドル海流、南赤道海流、ブラジル海流、ベンゲラ海流等の暖流、寒流が略環狀に流れ、貿易風、偏西風が吹いてゐる。コロンブスの新大陸

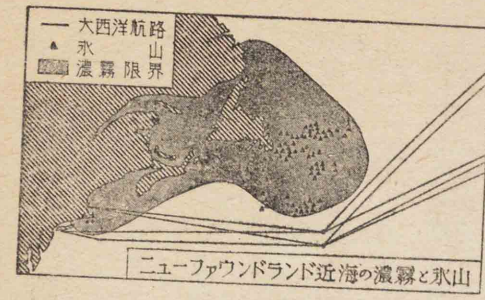


コロンブスの航路と風向



發見の航海に於ては、往航はカナリヤ島と海流貿易風の力により、歸航は偏西風とアゾレス島によつて容易に到達し得たのである。

リヴァプール・ロンドン・サザンプトン・ハンブルグ・シエルブル等の歐洲諸港から北米諸港、殊にニューヨークへの航路(約三、〇〇〇哩)は最も殷賑を極める。従つてその最短距離に當るニューファウンドランド島近海の濃霧と流氷とが常に警戒される。歐洲からパナマ直通航路の外、南米東岸航路

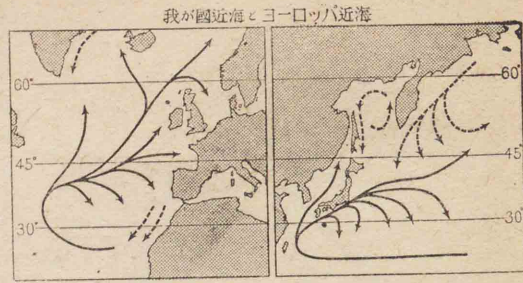


がある。兩米の石油・小麦・棉花・羊毛・肉類等の衣食の原料品燃料等と歐洲の工業品との交易のためこれ等の航路が發達した。渡洋航空路も歐洲と兩米との間に各直通線が開けてゐる。歐洲列強は完全にアフリカ大陸をその支配下に置き、北米合衆國は汎米主義のもとに中・南米の指導者となり、カナダと共同防衛を結び、ニューファウンドランド島・バリーミューダ島及西印度諸島は西半球防衛の海軍基地と

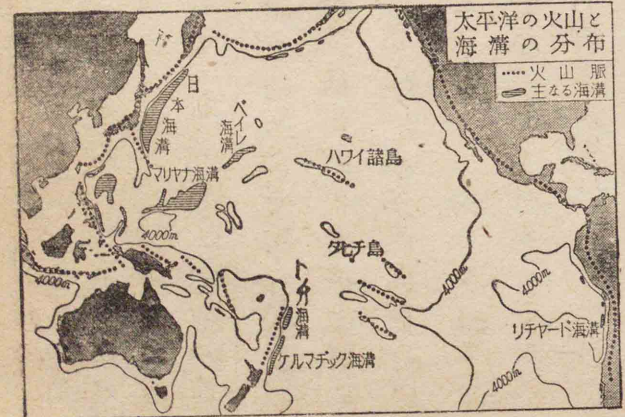
・ドイツ航空路一四九頁参照

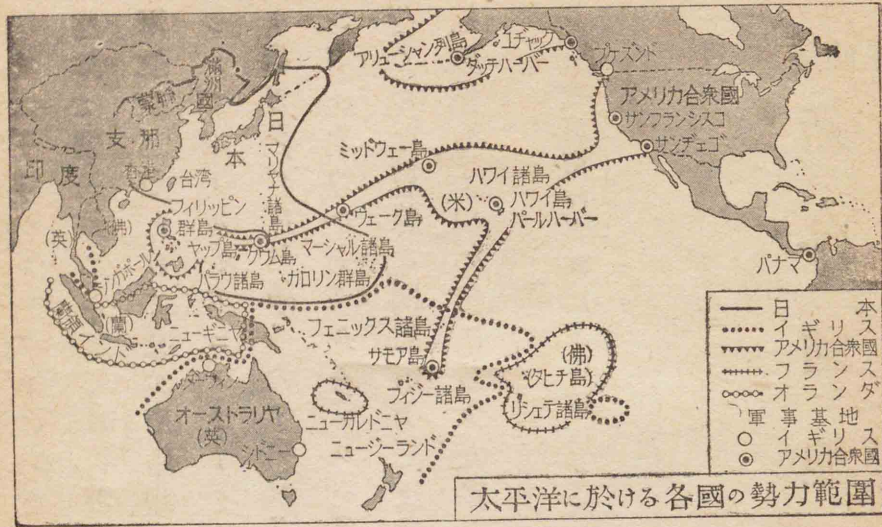
して注意を惹いてゐる。

太平洋 北太平洋はアジア・北米兩大陸、南太平洋はオーストラリア・南米兩大陸の間を占め、日本海流・黒潮・カリフォルニア海流・北赤道海流・千島海流・親潮・南赤道海流・東オーストラリア海流・ペルー海流等の寒暖兩流が略環狀に流れ、貿易風偏西風等の吹くことは大西洋と類似した、東亞沿海が季節風のも卓越することが異なる。太平洋の周縁には火山と海溝とが環狀に配列してゐることも特色である。

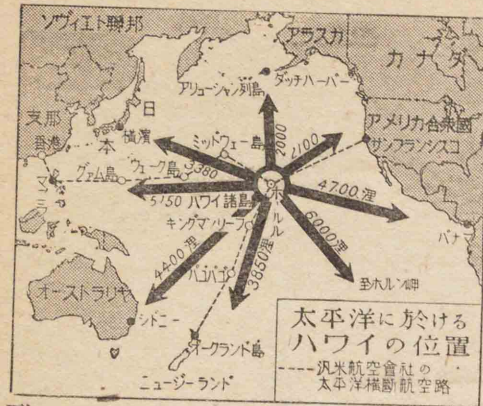


北太平洋に於ける北方航路は香港・上海・神戸・横濱等からホノルル(横濱・ホノルル間約三、〇〇〇哩)





營の航空路は南洋に至り、英國線は更に濠洲へ、ソ聯線は極東の太平洋岸に達してゐる。海底電線は南北兩洋にそれぞれ横斷線があり、我が小笠原經由の線はガム島に於て幹線と連絡する。これ等各種の交通通信線は洋上のハワイ島に於て集中し、フィジー島がこれに次いでゐる。これ等を利用して兩岸の大陸の生絲綿織物絹織物茶石油鐵機械ゴム錫小麥羊毛肉類等が洋上を交互に輸送されてゐる。大西洋との相違の一つは兩海岸の隔りが大なこと、従つて貯炭所寄航地航空港海底電線伸繼所等として島の利用價值が大なことである。

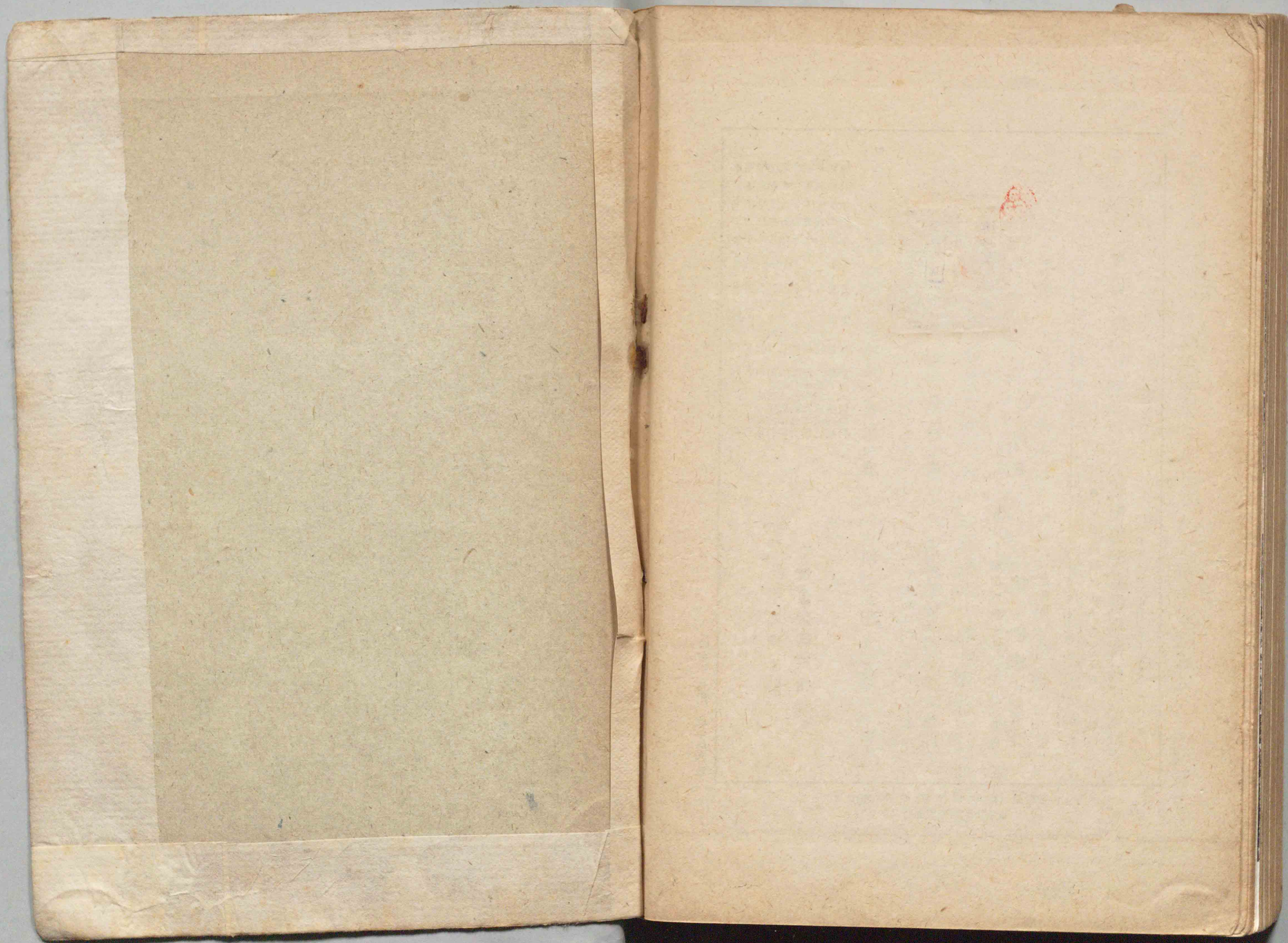


經由サンフランシスコ(ホノルル)桑港間約二〇〇〇哩又はシヤトルへ、南方航路はロシアンゼルス又はパナマを経て南米及北米東岸に直通し、我が汽船會社は米加等と並んでこれ等の航路に就航してゐる。南太平洋に於ては我が國から内外南洋を経てシドニーへ、ホノルルからフィジー諸島(スヴ)を経てシドニーへ、サンフランシスコからサモア、フィジーを経てシドニーへ、パナマからソシエテ諸島、ニュージーランドを経てシドニーへ至る諸航路がある。渡洋航空路はサンフランシスコからハワイ、ミッドウエー、ウエーク、グアム、フィリピン諸島を経て香港へ至る線と、ハワイからシドニーへ至る線とが開けてゐる。

- ・ 米國の航空路 一一九頁參照
- ・ 英國の航空路 一七五頁參照

- ・ 太平洋諸島 一二三頁參照
- ・ 北米航路 二二五頁參照
- ・ 南米航路 二四二頁參照
- ・ 濠洲航路 一二一頁參照





了二  
岩崎百合子

広島大学図書

2000081591

